

土 木 学 会 認 定 C P D プ ロ グ ラ ム

# 令和元年度 土木学会全国大会 案内

Japan Society of Civil Engineers 2019 Annual Meeting

大会テーマ

## 激甚化する自然災害、 挑戦する土木

～レジリエントな社会の構築に向けて～

日 時：令和元年9月3日（火）～5日（木）

会 場：香川大学幸町キャンパス、レクザムホール【香川県県民ホール】大ホール（基調講演会・特別講演会・全体討論会）、JRホテルクレメント高松3階「飛天の間」（交流会）、香川県社会福祉総合センター（映画会・国際関連行事）、JR高松駅・高松空港（パネル展示）

主 催：公益社団法人 土木学会

全国大会情報

<http://www.jsce.or.jp/taikai2019/>

本附録の掲載情報は、令和元年7月31日現在のものです。  
掲載情報が変更になっている場合もございますので、ホームページも合わせてご確認ください。

QRコード



令和元年度全国大会参加者へのアンケートご協力をお願い

<http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/151>

全国大会参加者へのサービス向上と運営の効率化のため、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。（2019年10月31日までにご回答ください）

QRコード



# ENGINEERING CONSULTANTS

5,880km

私たちが手掛けた鉄道プロジェクトの総延長



## ***NIPPON KOEI***

誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。

[www.n-koei.co.jp](http://www.n-koei.co.jp)



# 土木学会誌7月号付録「全国大会案内」

日時：令和元年9月3日(火)～5日(木)

会場：香川大学幸町キャンパス、レクザムホール【香川県県民ホール】大ホール(基調講演会・特別講演会・全体討論会)、JRホテルクレメント高松3階「飛天の間」(交流会)、香川県社会福祉総合センター(映画会・国際関連行事)、JR高松駅・高松空港(パネル展示)

## 大会テーマ「激甚化する自然災害、挑戦する土木

～レジリエントな社会の構築に向けて～

### ■ CONTENTS

#### ◆挨拶 令和元年度 土木学会全国大会を迎えて

#### ◆講演会・討論会概要、講師紹介

・基調講演会—会長講演	4
・特別講演会	5
・全体討論会	5

#### ◆全国大会会場案内・大会行事

・会場所在地・アクセス・キャンパスマップ	7
・大会スケジュール	8
・行事案内	
(1) 基調講演会	9
(2) 特別講演会	9
(3) 全体討論会	9
(4) 第74回年次学術講演会	9
(5) 研究討論会	9
(6) 交流会	9
(7) International Program (国際関連行事)	10
(8) 映画会	11
(9) パネル展示	11
(10) アンサンブルシヴィル演奏	11
・一時保育のご紹介	12
・香川大学幸町キャンパス会場でのインターネット接続	12
・第74回年次学術講演会 DVD-ROM版概要集一般申込方法	12

#### ◆年次学術講演会講演要領

・講演会発表の進め方	13
・ウィルス対策について	15
・土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰制度について	15

## 挨拶 令和元年度 土木学会全国大会を迎えて

### 「激甚化する自然災害、挑戦する土木 ～レジリエントな社会の構築に向けて～」



**小林 稔** KOBAYASHI Minoru  
令和元年度土木学会全国大会実行委員長  
国土交通省四国地方整備局長

令和元年度土木学会全国大会を9月3日(火)から5日(木)までの3日間、香川大学幸町キャンパスを主会場として開催いたします。

四国での全国大会の開催は平成23年に愛媛大学で開催して以来8年ぶり、香川県高松市での開催は初めてとなります。

香川県は、日本で初めて国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の中心に位置し、四国の東北部にあります。面積は全国で最も小さく、平地と山地はおおよそ半ばしています。北は瀬戸内海をはさんで、瀬戸大橋で岡山県と結ばれ、東及び南は徳島県に、西は愛媛県に接しています。海面には多数の島が点在し、風光はまことに美しいものがあります。気候は、四季を通じて温暖少雨で、気候温和、明るい瀬戸内海の気候に恵まれています。近年では「うどん県」として知られています。今回、お越しいただく高松市は、香川県の県庁所在地であり、地方にありながらも利便性の高い都市機能を有しております。また、瀬戸内海の風景やコンパクトにまとまった街並みが魅力であり、「瀬戸の都」と称されております。

美しい自然と温暖な気候に恵まれたこの地は、万葉集にも、「玉藻よし讃岐の国は 国がらか見れども飽かぬ」と歌われています。その見れども飽かぬ讃岐の国が、瀬戸内海の島々をキャンパスとした瀬戸内国際芸術祭で脚光を浴びているのは、皆様もご承知のとおりです。本年は、3年に1度の芸術祭の開催年です。本大会の開催日には芸術祭の夏会期は終わっていますが、本大会の香川での開催は

時宜を得たものといえるでしょう。

今回、主会場となる香川大学では、「地域に根ざした学生中心の大学」として、地域の防災・危機管理、地域をフィールドにした地域活性化教育などを推進しています。それを更に進めるため、香川大学では、平成30年3月に従来の「工学部」の募集を停止し、新たに「創造工学部」を新設しました。

次世代を担う技術者には、単なる設計能力だけではなく、「どのようなモノが必要なのか」、「どのような社会になったら幸せになるのか」といったコンセプトそのものを創り出すことが出来る「デザイン能力」が必要となるでしょう。新しいビジョンを現実化しようとする際に直面する危機に対しては、「リスクマネジメント能力」が必要でしょう。香川大学創造工学部では、「デザイン思考」と「リスクマネジメント」を2本の柱として、工学教育を行っています。教育学部や法学部のある幸町キャンパスでの開催とはなりませんが、本大会は地域の工学教育の面からも得がたい機会となりました。

さて、今回の全国大会のテーマは、「激甚化する自然災害、挑戦する土木」とさせていただきます。

平成28年熊本地震や平成30年7月西日本豪雨など、ここ数年、毎年のように自然災害に見舞われています。インフラ整備を進めているにも関わらず、被害が発生し続けています。あたかも自然が人間の挑戦に対して再考をうながしているように思えました。そこで、私たち土木技術者に何が出来るのか、もう一度考えてみたいと考えました。

ここ四国にも、人々の夢と希望を背負って活躍された先人たちの足跡が残っています。国内最大の灌漑用ため池である香川県の満濃池を改修したのは弘法大師 空海、高知県の掘り込み港湾 手結港を改修したのは野中兼山です。小樽港の整備に従事された「港湾工学の父」廣井勇は高知県の出身です。橋梁工学の大家で廣井の後継者といわれる増田淳は香川県の出身、信濃川大河津分水路の可動堰建設工事を指揮した宮本武之輔は愛媛県出身の土木偉人です。

このような先人たちのゆかりの地で、災害に対して土木技術者に何が出来るのかを考える、それは即ち、私たち土木技術者が社会に貢献できる「夢」をもう一度考える機会ことに他ならないと思います。

全国大会の行事として、二日目に、基調講演会、特別講演会、全体討論会を配置しました。最初に、林康雄土木学会会長の基調講演があります。特別講演は、瀬戸内国際芸術祭の総合ディレクター 北川フラム氏にお願いをいたし

ました。地域の活性化に向けての一つの答えを示していただけると考えております。そして、全体討論会では、「激甚化する自然災害、挑戦する土木」をテーマにパネルディスカッションを行います。私たち土木技術に何が出来るのか、新しい「令和」の時代に、私たちは何をイメージし、何を成せばよいのか、それを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。私たち土木技術者の新しい「夢」を見つけるお手伝いをしたいと思います。

本大会は、土木学会の7つの研究部門が一堂に会する唯一の、そして、最大の機会です。「瀬戸の都 高松」にて、皆様の参加をお待ちしております。

本大会にて、研鑽を積まれるとともに、会員相互の交流、情報交換などを通じて新しい令和の時代の「土木技術者の夢」を見つけるお手伝いが出来る事を願って、挨拶とさせていただきます。

## 講演会・討論会概要、講師紹介

### ■ 基調講演会 — 会長講演

9月4日(水) 14:00 ~ 14:45 レクザムホール (香川県県民ホール) 大ホール



第107代土木学会会長

**林 康雄** HAYASHI Yasuo  
鉄建建設(株) 代表取締役会長

#### 学会歴

1983年 土木学会入会  
1997年 フェロー会員  
2007~2009年度 理事  
2009年度 副会長  
2018年度 次期会長  
2019年度 会長

#### 学歴・職歴

1975年3月 東京大学工学部土木工学科卒業  
1975年4月 日本国有鉄道入社  
1987年4月 東日本旅客鉄道(株)入社  
2000年11月 同 総合企画本部 投資計画部長  
2003年6月 同 理事 八王子支社長  
2006年6月 同 理事 建設工事部長  
2007年6月 同 取締役 建設工事部長  
2009年4月 同 常務取締役 鉄道事業本部副本部長  
2013年6月 鉄建建設(株) 代表取締役執行役員副社長  
2014年6月 同 代表取締役社長  
2018年6月 同 代表取締役会長

講演題目：人口減少社会におけるインフラストラクチャーのあり方

## ■ 特別講演

9月4日(水) 14:55～15:55 レクザムホール(香川県県民ホール) 大ホール



photo by Mao Yamamoto

**北川 フラム** KITAGAWA Fram  
 アートディレクター

## 略歴

1946年新潟県高田市(現上越市)生まれ。東京芸術大学卒業。主なプロデューサーとして、現在のガウディームの下地をつくった「アントニオ・ガウディ展」(1978～1979)、日本全国80校で開催された「子どものための版画展」(1980～1982)、全国194ヶ所で開催し、アパルトヘイトに反対する動きを草の根的に展開した「アパルトヘイト否! 国際美術展」(1988～1990)等。地域づくりの実践として、2000年にスタートした「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(第7回オーライ! ニッポン大賞グランプリ[内閣総理大臣賞]他受賞)、「水都大阪」(2009)、「瀬戸内国際芸術

祭2010、2013」(海洋立国推進功労者表彰受賞)等。長年の文化活動により、2003年フランス共和国政府より芸術文化勲章シュヴァリエを受勲。2006年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)、2007年度国際交流奨励賞・文化芸術交流賞受賞。2010年香川県文化功労賞受賞。2012年オーストラリア名誉勲章・オフィサー受賞。2016年紫綬褒章受賞。2018年朝日賞受賞。2018年文化功労者受賞。「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」、「瀬戸内国際芸術祭」、「北アルプス国際芸術祭」、「奥能登国際芸術祭」総合ディレクター。

## 講演題目：地球環境時代における地域・土木・美術の働き

過疎化や少子高齢化の問題をかかえる地域をアートをと  
おして活性化させてきた実例を、世界最大級の国際芸術祭  
「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」や瀬戸内

海の島々を舞台に開催される現代美術の国際芸術祭「瀬戸  
内国際芸術祭」を軸にお話します。

## ■ 全体討論会

9月4日(水) 16:10～17:50 レクザムホール(香川県県民ホール) 大ホール

## テーマ：レジリエントな社会の構築に向けて ～未来に向けて土木が担うもの～

## 討論内容：

2018年は大阪北部地震、西日本豪雨災害、台風21号、北海道胆振東部地震等、日本各地において自然災害が猛威をふるった年であった。これらの自然災害は、都市や沿岸域の社会基盤の脆弱性、人命を守るための避難の在り方、風水害と地震災害の連鎖などの様々な課題を改めて写し出すこととなった。

今後確実に発生することが予測されている南海トラフ巨大地震や、温暖化による激甚化が予測されている風水害をはじめとする自然災害への備えがますます求められている。これまでの自然災害を振り返りながら、社会基盤ならびに社会全体のレジリエンスの強化に向けて我が国の土木工学が貢献すべき役割を考える。

## 全体討論会講師の紹介：



[コーディネーター]

**金田 義行** KANEDA Yoshiyuki

香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 特任教授、副機構長、地域強靱化研究センター長、学長特別補佐

1979年東京大学理学系研究科大学院地球物理学専攻修士課程修了。94年東京大学理学博士取得、97年海洋科学技術センター(現：国立研究開発法人海洋研究開発機構)入所、2009年地震津波・防災研究プロジェクトプロジェクトリーダー、14年名古屋大学減災連携研究センター特任教授を経て16年より現職。平成30年防災功労者内閣総理大臣表彰など多数受賞。



[パネリスト] **堀 宗朗** HORI Muneo

(国研) 海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 部門長、数理学・先端技術研究開発センター (MAT) センター長 上席研究員

1961年生まれ。Ph.D. (Applied Mechanics)。東京大学地震研究所教授を経て本年度より現職。専門は応用力学、地震工学、計算工学。主な研究テーマは統合地震シミュレーションの開発や超高層ビル等の構造物モデリングなど。JACM Award for Computational Mechanics、土木学会出版文化賞などを受賞。著書に「東日本大震災の科学」(共著)、「Introduction to Computational Earthquake Engineering」等。



[パネリスト] **佐谷 説子** SAYA Setsuko

内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(普及啓発)

2016年7月より現職。自助・共助による防災を推進するため、「防災推進国民大会」の企画、地区防災計画に取り組み自治体ネットワーク「地区防'z」とともに地区防災計画の推進、ボランティア・NPO・行政の協働、多様性のある防災、企業BCP等に取り組む。防災分野での国連に対する日本政府の窓口を務め、特に仙台防災枠組の実施、米国・インド・トルコ等の防災二国間協力を推進。1993年建設省入省。総合政策局国際建設市場国際建設交渉官、都市局都市政策課企画専門官、住宅局住宅政策課住宅建設推進官等を経て、2012～2016年はOECD公共ガバナンス・地域開発局持続可能な地域開発政策課長(パリ)。東京大学法学部卒業、カリフォルニア大学バークレー校MBA。



[パネリスト] **高瀬 直輝** TAKASE Naoki

四国旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 工務部長

1969年香川県坂出市生まれ。91年広島大学工学部土木工学科卒業後、四国旅客鉄道(株)に入社。2017年4月より現職。お客様に「安心して」、「喜んで」、「末永く」JR四国をご利用していただくために、鉄道施設の維持管理、新設、改良、防災対策等の鉄道施設全般に関する業務に従事している。



[パネリスト] **小林 正直** KOBAYASHI Masanao

香川県庁 危機管理総局危機管理課 副課長

1989年4月香川県入庁、2014年香川県危機管理総局危機管理課課長補佐を経て、2019年より現職。



[パネリスト] **大本 裕志** OOMOTO Hiroshi

岡山県商工会連合会 専務理事

1956年生まれ。大阪大学法学部法学科卒業。85年岡山県入庁、93年地域振興部県民生活課主任、2001年土木部管理課長補佐。その後、総務部、企画振興部、生活環境部、備中県民局地域政策部、環境文化部における要職を歴任し、環境文化部長を最後に退職。2017年より現職。2018年の西日本豪雨に際し、災害対策本部長として対応。



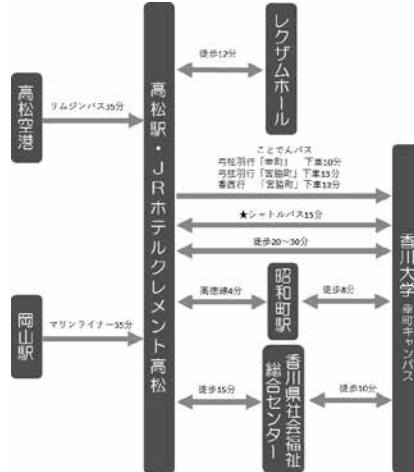
[パネリスト] **指田 朝久** SASHIDA Tomohisa

東京海上日動リスクコンサルティング(株) ソリューション創造本部 主幹研究員

1955年生まれ。東京大学工学部を卒業し東京海上火災保険(株)に入社、1996年現会社設立とともに出向。危機管理、事業継続計画、情報セキュリティなどのコンサルティングに従事。立教大学21世紀社会デザイン研究科客員教授他複数の大学院の非常勤講師を兼務、京都大学博士(情報学)、気象予報士、情報処理技術者システム監査の資格をもつ。著書に「リスクマネジメントがよ〜くわかる本」他多数。

# 全国大会会場案内・大会行事

## ■ 会場所在地・アクセス・キャンパスマップ



### 香川大学幸町キャンパス (第74回年次学術講演会、研究討論会)

- 〒760-8521 高松市幸町1-1
- ◇ JR高松駅から：『ことでんバス(まちなかループバス)』で「香川大学教育学部」または「香川大学法学部・経済学部」下車。徒歩1分。
- ◇ JR高松駅から：徒歩20～30分(経路により異なります。)
- ◇ 高松空港から：『高松空港リムジンバス』で「中新町」または「県庁通り」下車。徒歩10～15分。
- ※大学内への車の乗り入れはできません。
- ★年次学術講演会開催中、JR高松駅から香川大学幸町キャンパスへのシャトルバス(無料)を運行します。JR高松駅から幸町キャンパス間の所要時間は約15分です。発着場所、運行ルート、ダイヤは大会ホームページでご覧ください。

### レクザムホール(香川県民ホール) (基調講演会・特別講演会・全体討論会)

- 〒760-0030 高松市玉藻町9-10
- ◇ JR高松駅から：徒歩12分

### JRホテルクレメント高松 (交流会)

- 〒760-0011 高松市浜ノ町1-1
- ◇ JR高松駅から：徒歩2分

### 香川県社会福祉総合センター (映画会・国際関連行事)

- 〒760-0017 高松市番町1-10-35
- ◇ JR高松駅から：徒歩15分

### お問い合わせ：

- ◇土木学会 全国大会委員会事務局 総務課  
TEL：03-3355-3442
- ◇令和元年度土木学会全国大会実行委員会事務局  
四国支部 TEL：087-851-3315  
(一時保育に関する問い合わせは、四国支部へお願いします。)

### 大会ホームページ：

<http://www.jsce.or.jp/taikai2019/>



# ■ 大会スケジュール

1日目 令和元年9月3日(火)					2日目 令和元年9月4日(水)					3日目 令和元年9月5日(木)				
香川大学 幸町 キャンパス	香川県社会福祉 総合センター		香川大学 幸町 キャンパス	JR 高松駅	高松 空港	香川大学 幸町 キャンパス	レクザム ホール (香川県 県民ホール)	JRホテル クレメント 高松	JR 高松駅	高松 空港	香川大学 幸町 キャンパス	香川県 社会福祉 総合 センター	JR 高松駅	高松 空港
講義室	コミュ ニティー ホール	会議室等				講義室	大ホール	飛天の間			講義室	コミュニ ティー ホール		
8:40	年次学術 講演会1 (90分)					8:40	年次学術 講演会5 (90分)				8:40	年次学術 講演会7 (90分)		
10:10						10:10					10:10			
10:25	年次学術 講演会2 (90分)	10:30	海外 支部 会議			10:25	年次学術 講演会6 (90分)				10:25	年次学術 講演会8 (90分)	10:30	
11:55		映画会				11:55		移動時間			11:55		映画会	
12:40	研究 討論会					12:40					12:40	年次学術 講演会9 (90分)		パネル 展示 1
14:40						13:25	演奏				13:50			パネル 展示 2
14:55	年次学術 講演会3 (90分)	14:20	国際 若手 技術者 ワー クシ ョッ プ			13:55	実行委員 長挨拶				14:00	基調講演		
16:25						14:45					14:25	年次学術 講演会10 (90分)		
16:40						14:55	特別講演				15:55			
17:00	年次学術 講演会4 (90分)					16:10					16:10	年次学術 講演会11 (90分)		
18:10						17:00	全体 討論会				17:00			
						17:30					17:30			
						17:50					17:50			
						18:30					18:30			
						19:30					19:30			
						20:00					20:00			

## ■ 行事案内

### (1) 基調講演会

9月4日(水) 14:00～14:45 レクザムホール(香川県県民ホール)大ホール

#### 基調講演「人口減少社会におけるインフラストラクチャーのあり方」

土木学会 会長 林 康雄(鉄建建設(株) 代表取締役会長)

【会場】レクザムホール(香川県県民ホール)大ホール

【入場料】無料(一般参加可能)

### (2) 特別講演会

9月4日(水) 14:55～15:55 レクザムホール(香川県県民ホール)大ホール

#### 特別講演「地球環境時代における地域・土木・美術の働き」

北川 フラム(アートディレクター)

【会場】レクザムホール(香川県県民ホール)大ホール

【入場料】無料(一般参加可能)

### (3) 全体討論会

9月4日(水) 16:10～17:50 レクザムホール(香川県県民ホール)大ホール

#### テーマ「レジリエントな社会の構築に向けて ～未来に向けて土木が担うもの～」

コーディネーター 金田 義行(香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長 特任教授)

パネリスト 堀 宗朗(海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 部門長)、佐谷 説子(内閣府 政策統括官付参事官)、高瀬 直輝(四国旅客鉄道(株) 工務部 部長)、小林 正直(香川県庁 危機管理総局 危機管理課副課長)、大本 裕志(岡山県商工会連合会 専務理事)、指田 朝久(東京海上日動リスクコンサルティング(株) 主幹研究員)

【会場】レクザムホール(香川県県民ホール)大ホール

【入場料】無料(一般参加可能)

### (4) 第74回年次学術講演会

9月3日(火)～5日(木) 香川大学幸町キャンパス

9月3日(火) 8:40～10:10、10:25～11:55、14:55～16:25、16:40～18:10

9月4日(水) 8:40～10:10、10:25～11:55

9月5日(木) 8:40～10:10、10:25～11:55、12:40～14:10、14:25～15:55、16:10～17:40

### (5) 研究討論会

9月3日(火) 香川大学幸町キャンパス

9月3日(火) 12:40～14:40

### (6) 交流会

9月4日(水) 18:30～20:00 JRホテルクレメント高松

【会場】JRホテルクレメント高松 3階「飛天」

【参加費】 事前申込み：(一般)6,000円、(学生)2,000円 〔事前申込み期日：8月27日(火)〕

当日申込み：(一般)7,000円、(学生)2,000円

※申し込みは、大会情報ホームページ(交流会)をご覧ください。

大会情報ホームページ(交流会)：<http://www.jsce.or.jp/taikai2019/>

## (7) International Program(国際関連行事)

---

JSCE Annual Meeting International Program focuses on current issues and challenges facing the civil engineering profession. Please take this opportunity to share ideas and opinions with engineering professionals from around the world.

国際関連行事として、期間中に英語による以下の行事を実施します。ふるってご参加ください。

○ Venues : Kagawa Prefectural Comprehensive Social Welfare Center(Public-Interest Incorporated Foundation), Kagawa University Saiwaicho-Campus, and others

(会場：香川県社会福祉総合センター、香川大学幸町キャンパス、他)

### 1. International Roundtable Meeting (国際ラウンドテーブルミーティング)

Theme : “Effectiveness of Developing Quality Infrastructure -Issues and Approaches-”

「質の高いインフラの重要性 課題とアプローチ」

Date : September 3 (Tues)

Time : 13:30 ~ 17:00

Venue : Kagawa Prefectural Comprehensive Social Welfare Center(Public-Interest Incorporated Foundation)

(会場：香川県社会福祉総合センター)

### 2. The 21st International Summer Symposium (第21回インターナショナルサマーシンポジウム)

Date : September 3 (Tues) ~ 4 (Wed)

Time : 8:40 ~ 11:55

Venue : Kagawa University Saiwaicho-Campus

(会場：香川大学幸町キャンパス)

### 3. International Workshop for Young Civil Engineers (国際若手技術者ワークショップ)

Theme : “When a Mega Disaster Strikes, How would you respond if you were a mayor?”

「巨大災害が発生した時、あなたが市長だったら、どう対応する？」

Date : September 3 (Tues)

Time : 13:00 ~ 17:00

Venue : Kagawa Prefectural Comprehensive Social Welfare Center (Public-Interest Incorporated Foundation)

(会場：香川県社会福祉総合センター)

### 4. IAC Networking Reception (IAC ネットワーキングレセプション)

Date : September 3 (Tues)

Time : 17:30 ~ 19:30

Venue : Kagawa University Saiwaicho-Campus (香川大学幸町キャンパス)

For further details, please visit the JSCE IAC website : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

詳細については、土木学会国際センターのホームページをご覧ください。

皆様の御参加を御待ちしております。

## (8)映画会

9月3日(火)、5日(木) 香川県社会福祉総合センター

【会場】香川県社会福祉総合センター(1階コミュニティホール)

【主催】土木技術映像委員会

【入場料】無料(一般参加可能)

### 9月3日(火)

10:30 開会挨拶 土木技術映像委員会

10:35 「名神高速道路【昭和のビッグプロジェクトシリーズ】」(77分)

11:52 「パッテンライ!!～南の島の水ものがたり～」(90分)

13:22 「JR六甲道駅復旧工事の記録」(14分)

13:36 第28回映画コンクール 最優秀賞受賞作品

「復興の道しるべ～三陸鉄道北リアス線震災復旧工事～」(44分)

14:20 第1日目 終了

### 9月4日(水)

上映なし

### 9月5日(木)

10:30 開会挨拶 土木技術映像委員会

10:35 「佐久間ダム総集編」(95分)

12:10 「橋は生きている～児島・坂出ルート架橋技術～」(35分)

12:45 「昭和34年 伊勢湾台風」(22分)

13:07 「東日本大震災、現場の戦い～すべては被災地のために～」(50分)

13:57 第3日目 終了

## (9)パネル展示

9月3日(火)～5日(木) JR高松駅・高松空港

【主催】土木学会四国支部全国大会実行委員会

【日時】9月3日(火)、4日(水) 8:40～18:00 5日(木) 8:40～17:40

【会場】JR高松駅(コンコース イベント広場)、高松空港(2F出発ロビー、1F到着ロビー)

【入場料】無料(一般参加可能)

## (10)アンサンブルシヴィル演奏

9月4日(水) 13:25～13:50 レクザムホール(香川県県民ホール)

【日時】9月4日(水) 13:25～13:50

【会場】レクザムホール(香川県県民ホール)大ホール

【入場料】無料(一般参加可能)

---

## ■ 一時保育のご紹介

---

大会参加登録者の同伴する未就学児を対象に、近隣施設における一時保育サービスをご紹介します。  
詳細、申し込みは、大会情報ホームページをご覧ください。

---

## ■ 香川大学幸町キャンパス会場でのインターネット接続

---

学会期間中、香川大学の一部エリアで利用できるゲスト用アカウントを総合受付にてご案内します。  
ただし、接続できるエリアは限定されていますので、資料のダウンロード等は、事前に準備されることを推奨します。  
また、特別講演会・全体討論会および交流会の会場では、提供の無線LANは使用できません。

---

## ■ 第74回年次学術講演会 DVD-ROM版概要集一般申込方法

---

DVD ROM 版概要集のお申し込みは、土木学会刊行物販売のホームページからご注文下さい。  
<http://www.jsce.or.jp/publication/>

# 年次学術講演会講演要領

## ■ 講演会発表の進め方

- 1)各セッションの運営は、座長に一任されています。
- 2)座長と講演者の打合せをセッション開始直前にその会場で行います。その際、座長より、講演順番、講演時間、討論時間などについて指示がありますので、それを遵守してください。
- 3)発表時間は原則として、入退場も含めて7分です。7分以内に発表が完了できるように、準備をお願いします。
- 4)パソコン・液晶プロジェクターは各発表会場に用意されますので、それらを使用して発表を行ってください。なお、パソコンの操作は講演者自身で行ってください(会場担当係では対応しかねますのでご了承ください)。
- 5)発表用ファイルは、USBメモリもしくはCD-ROMに保存して発表会場へご持参ください。セッション開始前に各会場に準備されたパソコンにコピーしていただきます。
- 6)発表では、会場設置のパソコンを使用していただきます。次の「演題発表に関わる注意事項」を必ず確認・遵守してください。

## General Instructions for Presenters

- 1)The responsibility for organizing the sessions lies with the session chair of that session.
- 2)A short briefing will be held before each session begins. The session chair will provide information about the order of presentations, the time allotment for presentation and discussion, etc.
- 3)Each presentation has been allotted 7 minutes, including the time required for changeover. Be sure that you finish your presentation within 7 minutes.
- 4)The laptop computer and LCD projector provided in each session room are to be used for all presentations. Each speaker is responsible for operating the computer during their presentation; this is not the responsibility of the technical staff in the session rooms.
- 5)Before your session begins, copy your presentation file onto the provided computer in the session room.
- 6)All speakers are required to use the provided computer for their presentation. Follow the further instructions in “Guide for Slide Presentation” .

## 演題発表に関わる注意事項(重要)

### 1. 発表スライドの準備

- 1)発表者は、パワーポイントなどの発表用ファイルを5)で指定したOSで読み取れるフォーマットのUSBメモリもしくはCD-ROM(ファイナライズされたもの)に保存してご持参ください。他のメディアは利用できません。
- 2)メディア・ファイルのウイルスチェックを必ず事前に実施してください。
- 3)ファイルサイズは20MB以下を目安とし、これを超える場合も100MB以下を厳守してください。
- 4)発表用ファイルの名前は、演題番号としてください。(例えば、II部門の演題番号138の場合は、“II 138.pptx” などとなります。)
- 5)パソコンと液晶プロジェクターは講演会場設置のものを必ずご利用いただきます。会場のパソコンのOSはWindows10です。インストールされているソフトは、MS Office2013、MS Power Point 2010/2013/2016、DVDマルチ、QuickTime

Player、Windows Media Player、GOM Player（コーデックは K-Lite Codec Pack）、Adobe Reader DCです。なお、フォント種については講演者の環境とは異なる可能性もありますのでご注意ください。

※前項のソフトウェア以外の特別なものを講演で必要とする等のため、講演者ご持参のパソコンを使わざるを得ない場合は、当日、座長の許可を得たうえでそのセッションの最後の順番で発表していただきます。時間が限られているため、ケーブルの盛り替えは当該発表者自身が発表時間内に行っていただきます。討議は発表直後に行っていただき、討議が終了したら速やかに会場設置のパソコンと盛り替えてください。ケーブル端子はミニ D-sub 15pin (HD15pin) です。

## 2. 発表の際の留意事項

- 1) 発表セッションの10分前までにご自身の発表される会場に入室してください。遅れると発表できない場合があります。
- 2) 必ずセッション開始前に、持参した発表用ファイルを会場設置のコンピューターにコピーしてください。
- 3) 発表者の方は、発表セッションでは会場前方の席にて待機してください。
- 4) トラブル等により発表順が変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 5) 各会場には、レーザーポインタが用意されていますので、ご使用ください。
- 6) 発表終了後、会場担当係が責任を持ってファイルを削除します。

## Guide for Slide Presentation

### 1. Preparing Slides

- 1) Bring your presentation file on a USB memory stick or CD-R to your session. Do not use any other form of digital media. Make sure that your digital media and presentation file are readable by the computer system indicated in the following section, 5).
- 2) Please scan your digital media and presentation file with antivirus software prior to the session, and make sure that they have no virus infection.
- 3) Preferably, the size of your presentation file should not exceed 20 MB, and must not exceed 100 MB.
- 4) Name your presentation file with the number assigned to your presentation. For example, the file name would be "II138.pptx", if your presentation number is 138 of Division II.
- 5) All speakers are required to use the laptop computer and LCD projector provided in the session room. The operation system of the provided computers is Windows 7. The following software are available: MS Office2013, MS Power Point2010/2013/2016, DVD Multi, QuickTime Player, Windows Media Player, GOM Player (K-Lite Codec Pack) and Adobe Reader DC. Note that font options available on the provided computer might differ from those used when you created your presentation file.

※ If it is absolutely necessary that you use your own computer in order to use software and/or computer specifications besides those listed above, ask the chairperson for permission before the session starts. If this is permitted, your presentation may be rescheduled to the last slot of the session. Please promptly switch computers within the allotted presentation time, and restore the connection of the provided computer immediately after the end of your presentation and discussion. The provided computer is connected to the LCD projector via a cable terminal with mini D-sub 15pin (HD15pin).

### 2. In Session

- 1) Please arrive at your session room at least 10 minutes before the session starts. Failure to do so may result in the cancellation of your presentation.
- 2) Copy your presentation file to the computer provided in the session room before the beginning of the session.
- 3) Please seat yourself close to the front of the session room before your presentation.
- 4) The order of presentations in the session may be changed in the event of unexpected technical trouble.

- 5) A laser pointer is provided in all the session rooms.
- 6) After the session, your presentation file will be deleted by technical staff in the session room.

## ■ ウィルス対策について

会場内に設置した全てのPCにウィルス対策ソフトをインストールしていますが、発表の際に使用したメディアは、お持ち帰りの後、ご自身のPCに接続する前に再度ウィルスチェックをしていただくようお願い致します。ウィルス感染に関する責任は学会として負いかねますので、各自の責任で会場内のパソコンをご利用ください。

### Preventive Measures against Computer Virus

Antivirus software is installed in all computers provided in the session rooms. However, we strongly request all session speakers to rescan their digital media with an antivirus software after their session presentation prior to connecting the media to their computer. JSCE disclaims any responsibility for any damage to computer systems due to the use of computers provided in the session rooms and consequential virus infection.

## ■ 土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰制度について

全国大会委員会

全国大会年次学術講演会の発表者を対象に「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」を実施しております。

この「表彰規定」は、将来の土木界を担っていく若手の研究者および技術者の論文内容や講演技術が向上し、さらに全国大会が活性化することを目的とし定めたものです。

今回講演される若手研究者、技術者の方々のご健闘を期待いたします。

### 土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰規定

この規定は土木学会全国大会における研究発表の表彰に関する取り扱いについて定めたものである。

#### 1. 表彰の目的

土木学会全国大会で優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰し、

- ① 論文内容、講演技術の向上に寄与する。
- ② 若手研究者、技術者の参加意欲の向上を図る。
- ③ 全国大会全体の活性化に貢献する。

などを目的とする。

#### 2. 名称

この表彰の名称は「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」とする。

#### 3. 対象者

- 全国大会で実際に講演を行う個人会員の中で、40歳以下の研究者、技術者を対象に、論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れたものに与える。
- 講演予定者と講演者が一致しない場合は、審査の対象外とする。
- ポスターセッションは対象外とする。



#### 4. 選出方法

- 各セッションの座長(司会者)は、対象者の講演を「土木学会年次学術講演会優秀講演者採点表記入上の留意事項」に基づき採点し、合計得点最上位者1名を推薦する。
- 本部事務局(全国大会実行委員会事務局)にて、部門ごとに各セッションからの被推薦者の合計得点を集計する。その中から、各部門セッション数の2分の1の人数となる合計得点の上位者を、優秀講演者として選出する。なお、ボーダーラインにある合計得点数が同じ被推薦者を全て含めた場合に、各部門セッション数の2分の1の人数を超えるときには、合計得点数が同じ被推薦者の中から年齢の若い順番に選出し、2分の1を超えない人数に調整する。

#### 5. 表彰

- 土木学会全国大会報告号において氏名を発表する。
- 後日、個人あてに表彰状を送付する。
- 表彰は全国大会実行委員会講演部会長と全国大会委員会委員長の連名で行う。

#### 6. その他

- この規定は、1995年度全国大会から施行する。
- 本規定は必要に応じて全国大会委員会において見直す。

附則(平成7年3月24日理事会了承)

(平成8年6月18日一部改正)

## 令和元年度土木学会全国大会

## 研究討論会一覧(香川大学 幸町キャンパス)

日時:令和元年9月3日(火) 12:40~14:40

日時/会場	題目	座長および話題提供者
【研01】 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北4号館 415講義室	「22世紀の国づくり」  22世紀の国づくり」プロジェクト委員会 <a href="http://committees.jsce.or.jp/design_competition/">http://committees.jsce.or.jp/design_competition/</a>	座長 小松利光 九州大学名誉教授、「22世紀の国づくり」プロジェクト委員会委員 話題提供者 小林潔司 京都大学・第106代土木学会会長 那須清吾 高知工科大学 佐々木葉 早稲田大学・「22世紀の国づくり」プロジェクト委員会委員 中村晋一郎 名古屋大学・「22世紀の国づくり」プロジェクト委員会幹事 沼田淳紀 飛鳥建設株式会社・「22世紀の国づくり」プロジェクト委員会委員 沖 大幹 東京大学・国連大学・「22世紀の国づくり」プロジェクト委員会委員長
人や文明と自然環境の共進化の結果として形作られてきた国土は、人類の生存、文化、社会経済活動の基本舞台である。22世紀初頭に向けて、気候変動などの環境変動、情報通信網や人工知能といった技術革新、社会構造の変化、我々の価値観や暮らし方などに大きな変化が見込まれ、そうした変化にあわせてふさわしい国土のあり方も変化すると想定される。本研究討論会では、高橋裕氏(東京大学名誉教授)の寄付により設置された土木学会「22世紀の国づくり」プロジェクト委員会から、2019年春に公表される「提言『22世紀の国づくり』」をもとに、22世紀の国づくりの在り方について横断的視点から討論を行う。		
【研02】 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町総合教育棟 第11大講義室	「建設現場における生産性向上に向けての取組み～担い手のワークライフバランス実現のために～」  建設技術研究委員会 <a href="http://committees.jsce.or.jp/sekou/">http://committees.jsce.or.jp/sekou/</a>	座長 杉原克郎 株式会社エスシー・マシーナリ 話題提供者 森下博之 国土交通省 安藤 陽 清水建設株式会社 林 健二 鹿島建設株式会社 西 彰一 株式会社大林組 鈴木雅行 株式会社安藤・間
これまで建設業を支えていた作業員の高齢化が進む中、新規入職者の参入意欲を高めるため、建設業をより魅力ある産業へと進化させていく努力が必要である。その方策の一つとして、3Kに代表される作業環境を改善し、作業員を含めた建設業の担い手全員のワークライフバランスを図っていくことは大変重要である。そのためには、建設現場における生産性の向上は必須であり、現在建設産業全体として生産性向上に向けて鋭意その取組みを進めているところである。本討論会においては、特に建設現場に焦点を当て、具体的な取り組み事例を紹介し生産性向上に向けての今後の方向性について討論を行う。		
【研03】 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北3号館 323講義室	「持続可能な社会と舗装の役割」  舗装工学委員会 <a href="http://www.jsce.or.jp/committee/pavement/index.htm">http://www.jsce.or.jp/committee/pavement/index.htm</a>	座長 七五三野茂 東日本高速道路株式会社 建設・技術本部 話題提供者 藤野 毅 埼玉大学 理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 鍋島美奈子 大阪市立大学 工学研究科都市系専攻(都市学) 岩間将彦 株式会社NIPPO 総合技術部 技術研究所 橋本喜正 東京都 土木技術支援・人材育成センター 新田弘之 国立研究開発法人 土木研究所 先端材料資源研究センター
地球温暖化と気候変動を背景に、環境問題への対応は全産業で喫緊の課題となっている。舗装の分野でも、CO <sub>2</sub> 発生量の削減、都市の熱環境問題、舗装養生材の再生利用、他産業再生資材の利用など、環境に関わる課題解決は社会的要請となっている。特に近年では、持続可能な社会環境の構築が急務となっており、組織活動においても環境問題との共存に向けた説明責任が求められている。そこで本討論会では、産・学・官の立場でこれら課題に向き合っている有識者を招き、持続可能な社会と舗装の役割について議論し、今後の方向性を示していく。		
【研04】 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北3号館 322講義室	「近年の災害から見る分野・部門間協働(Transdisciplinary Approach)の重要性」  ACECC TC21国内支援委員会 <a href="http://committees.jsce.or.jp/acecc02/">http://committees.jsce.or.jp/acecc02/</a>	座長 石渡幹夫 アジア土木学会連合協議会TC21メンバー、土木学会ACECC TC21国内支援委員会委員、東京大学新領域創成科学研究科客員教授、国際協力機構(JICA)国際協力専門員 話題提供者 検討中
科学技術の進歩にもかかわらず国内外で災害が増加しており、減災・防災は世界に共通した喫緊の課題となっている。その背景の課題として、防災に関する意思決定過程において、産官学民連携が防災力を最大限発揮できていないこと、また意思決定過程において科学技術情報が適切に活用されていないこと、学術分野や部門間の意思疎通、知識・知見の伝達が不十分であることなどが挙げられる。アジア土木学会連合協議会(ACECC)の21番目の技術委員会であるTC21は、分野・部門間協働(Transdisciplinary Approach: TDA)により、災害に強い社会づくりに貢献することを目的として設立された。本研究討論会では、TC21の取組みを紹介するとともに、近年発生した災害(九州北部豪雨や、西日本豪雨、熊本地震、インドネシア・スラウェシ地震など)における事例を基に、TDAの重要性と今後の適用について議論する。		

日時/会場	題目	座長および話題提供者
<b>【研05】</b> 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北3号館 331講義室	<b>「福島第一原発廃炉および原子力発電所等廃止措置に向けての放射性廃棄物処理処分等の技術方策について(仮題)」</b>  エネルギー委員会(低レベル放射性廃棄物・汚染廃棄物対策に関する研究小委員会) <a href="http://committees.jsce.or.jp/enedobo/">http://committees.jsce.or.jp/enedobo/</a>	座長 大西有三 京都大学 名誉教授 話題提供者 増田良一 東京電力ホールディングス廃炉推進カンパニープロジェクト計画部廃棄物対策C課長 加藤和之 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 執行役員 坂井章浩 日本原子力研究開発機構バックエンド研究開発部門埋設事業センター埋設事業推進室長 菊込 敏 日本原子力発電廃止措置プロジェクト推進室調査役 河西 基 電力中央研究所・(株)アサノ大成基礎エンジニアリング
<p>東京電力福島第一原子力発電所(以下、1F)事故から8年以上が経過し、原子力発電所の再稼働が進みつつある一方、廃止措置中および廃止措置が決定している原発は2019年2月に九州電力玄海2号の廃止が決定され、1Fの1～6号基を含め、20基に達した。また、研究開発段階炉の「ふげん」や「もんじゅ」の廃止措置も決定されている。これらの廃止措置に伴い発生する放射性廃棄物の処分施設に対しても、1F事故後に原子力規制基準がより厳しいものに見直されているため、それらの状況も十分に踏まえて、1Fの廃炉に向けての取組みとともに、運転を終了した原子力発電所等の原子力施設の廃止措置に伴う放射性廃棄物処理処分を円滑に進める必要がある。そこで、これらの最近の技術動向等に関して関連分野の専門家の方々よりの話題提供とフロアも交えての意見交換を行う。</p>		
<b>【研06】</b> 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北6号館 611講義室	<b>「これからの時代の土木技術者の「学び」を考える」</b>  継続教育実施委員会 <a href="http://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd">http://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd</a>	座長 竹村次朗 東京工業大学 話題提供者 検討中
<p>技術者には、自らの力量の維持向上を図るため継続的な研鑽が必要であり、業種や年齢、役職等でその種類や方法は変わっても「学び」が必要であることは論を俟たない。土木学会の目的の一つには「土木技術者の資質の向上」があり、そのための事業のひとつに「継続教育(CPD)制度」が存在する。これまでCPDの理解促進と制度の普及促進に務めた結果、土木・建設分野ではCPDは一定の認知を得て活用されている一方、CPDが単なる「ポイント集め」になっているという指摘もある。また土木技術者に求められる知識・技術が拡大している反面、働き方改革など労働環境が大きく変化する中で、「学び」の時間や機会は必ずしも十分とは言えない。このような背景を踏まえ、継続教育実施委員会・技術推進機構では、これからの時代の「土木技術者の『学び』」を考え、CPD制度の見直しを行うこととした。本研究討論会では、教育・人材育成分野の専門家、各組織の人材育成担当者、CPDに取り組む土木技術者というそれぞれの立場から、今の時代の「学び」の実情や、これからの時代の「学び」の姿、「学び」への取り組み方など討論いただき、これからの時代に土木技術者にはどのような「学び」が必要になるか、そのためにCPD制度はどのようにあるべきなのかを議論する。(共催:企画委員会 若手パワーアップ小委員会)</p>		
<b>【研07】</b> 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北4号館 412講義室	<b>「i-Construction: 社会基盤システムの新たなマネジメント手法として」</b>  建設マネジメント委員会 <a href="http://committees.jsce.or.jp/cmc/">http://committees.jsce.or.jp/cmc/</a>	座長 小澤一雅 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授 話題提供者 廣瀬健二郎 国土交通省 大臣官房技術調査課建設生産性向上推進官 井川甲作 株式会社ランドログ 代表取締役社長 山西公彦 株式会社大竹組 常務取締役
<p>建設マネジメント委員会では2018年度よりi-Construction小委員会を設置し、建設産業の生産性革命プロジェクトi-Constructionを新たなマネジメント手法として捉えることによって、今後あるべき建設生産・管理システムの確立を目指している。本研究討論会では、建設産業と他産業がICTを始めとする先端技術を活用している事例を踏まえ、未来像の実現のために関係主体が協調して実施すべき領域、または各主体が個々に技術革新を進めていくべき領域のそれぞれについて現状と課題を明らかにする。</p>		
<b>【研08】</b> 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北4号館 422講義室	<b>「超スマート社会における市民合意形成の課題と展望」</b>  土木学会コンサルタント委員会市民合意形成小委員会 <a href="http://committees.jsce.or.jp/kenc03/">http://committees.jsce.or.jp/kenc03/</a>	座長 上野俊司 株式会社オリエンタルコンサルタンツ執行役員地方創生事業部長 話題提供者 森本章倫 早稲田大学理工学術院社会環境工学科教授 鶴見英次 株式会社システム二十一代表取締役 伊藤将司 株式会社福山コンサルタント執行役員新規事業推進室長 その他検討中
<p>人口減少、超高齢化、環境問題、地方衰退等の様々な社会・地域課題への対応として、IoT・ビッグデータ・AI等の最新のICTを活用して、新たな社会価値を創造する超スマート社会への取り組みが進められており、その社会実装のために、行政、事業者、市民等の関係者との合意形成が重要視されている。また、そこで用いられるコミュニケーション手法はSNSやAIの活用等、最新のICTが活用される状況にある。本研究討論会では、このような状況を踏まえ、ICTを活用した市民合意形成の枠組みを整理し、その活用事例を紹介するとともに、ICTを活用する場合の高度なコミュニケーション(ソーシャルインテリジェンス)のあり方や課題について、議論を深めてみたい。</p>		

日時/会場	題目	座長および話題提供者
<b>【研09】</b> 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町総合教育棟 第31大講義室	<b>「鋼道路橋のRC 床版更新～現状と今後の展望～」</b>  鋼構造委員会 <a href="http://committees.jsce.or.jp/steel/">http://committees.jsce.or.jp/steel/</a>	座長 並川賢治 首都高速道路株式会社 話題提供者 平野勝彦 東日本高速道路(株) 松井隆行 西日本高速道路(株) 後藤俊吾 (株)高速道路総合技術研究所 則竹義辰 (株)エイト日本技術開発 白水晃生 (株)横河ブリッジ 平塚慶達 ショーボンド建設(株)
古い基準で建設された鋼道路橋のRC 床版は、これまで予防保全として縦桁の増設、床版の増厚や炭素繊維シートの接着などによる対策が行われてきました。しかし、近年、損傷の激しいRC床版への対応として床版本体を取り替える事例が増えています。また、床版取替と同時に、死荷重の増加などへの対応や床版と主桁との合成構造に由来する課題への対応として、主桁を補強することが少なくありません。さらに、施工時の交通対策など、種々の条件を設計に反映する必要があり設計実務を複雑にしています。 床版取替を含むこれらの一連の工事をここでは便宜的にRC床版更新と称し、討論のテーマに取り上げます。本討論会は、RC 床版更新の現状、設計施工上の課題や問題点、高耐久化の取り組み、新技術や今後の展望などについて議論します。		
<b>【研10】</b> 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町総合教育棟 第21大講義室	<b>「地震・津波に対する重要インフラのリスク評価への高性能計算の活用」</b>  原子力土木委員会 <a href="http://committees.jsce.or.jp/ceofnp/">http://committees.jsce.or.jp/ceofnp/</a>	座長 大鳥靖樹 東京都市大学 話題提供者 堀宗朗 海洋研究開発機構 澤田昌孝 電力中央研究所 西田明美 日本原子力研究開発機構 浅井光輝 九州大学 阿比留哲生 中国電力
原子力発電所の新規制基準適合や安全性向上のため、原子炉建屋および基礎地盤・周辺斜面・地中構造物の地震・津波などの自然外部事象に対する安定性評価、フラジリティ評価を進めている。これらは二次元解析など簡略化した解析モデルを用いた数値解析を実施して評価される場合が多い。一方、計算機やソルバーの進歩により、超大規模モデルを桁違いの速度・精度で解析する高性能計算の研究開発が進められている。その技術を利用して三次元解析モデルによる原子力構造物の解析を実務レベルで行う研究開発も進められている。このような高性能計算の原子力の設計・安全評価への活用、課題について議論する。		
<b>【研11】</b> 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北4号館 411講義室	<b>「地方自治体を対象にした「復旧復興・レジリエンス」」</b>  安全問題研究委員会 <a href="http://committees.jsce.or.jp/csp/">http://committees.jsce.or.jp/csp/</a>	座長 白木 渡 香川大学 話題提供者 原 孝史 前倉敷市建設局長・高梁川東西用水組合 松永正明 高槻市総務部危機管理室 室長 河合則夫 岡崎市防災課 長谷川潤 安全問題研究委員会
平成30年に発生した大阪府北部地震や平成30年7月豪雨災害(西日本豪雨災害)における被災地では、復興活動が本格化している。被災自治体では、震災直後から通常業務と異なる膨大な業務量に對峙し、日々早期復旧にむけた取り組みに尽力している。 近年、基礎自治体における技術職員不足が課題となっている折、当該自治体における復興施策に必要な知識やノウハウの共有が必要であり、学会がそのプラットフォームになり得ると考えている。 本討論会では、復旧復興に取組む自治体職員を登壇者に迎え、自治体の復旧復興・レジリエンスについて議論する。		
<b>【研12】</b> 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北6号館 621講義室	<b>「2018年台風21号・大阪湾高潮から学ぶ」</b>  海岸工学委員会 <a href="http://www.coastal.jp/ja/index.php">http://www.coastal.jp/ja/index.php</a>	座長 武若 聡 筑波大学 話題提供者 青木伸一 大阪大学 森 信人 京都大学 安田誠宏 関西大学 中山恵介 神戸大学 平井洋次 国土交通省 中谷行男 関西エアポート
海岸工学委員会(沿岸域の気候変動影響評価・適応検討に関する小委員会)と水工学委員会(グローバル適応小委員会)が連携して行う研究討論会である。2018年台風21号とこれに伴う大阪湾高潮では、観測史上最大となる観測項目が複数あり、浸水被害が各所であった。一方、幸いなことに、浸水による人的被害は発生しておらず、防災システムは機能を果たしていたとも評価できる。討論会では、先ず、台風・高潮とこれに伴う浸水被害等を振り返り、次に、教訓とすべき点、今後の沿岸防災等について議論する。討論会を通じて、気候変動に伴い台風・高潮の影響がより強く現れることが懸念される中、これに対処する術を探る。		
<b>【研13】</b> 9月3日(火) 12:40-14:40 幸町北3号館 314講義室	<b>「岩盤力学に基づく事例研究と将来に求められる知見とは」</b>  岩盤力学委員会 岩盤力学関連事例研究小委員会 <a href="http://www.rock-jsce.org/">http://www.rock-jsce.org/</a>	座長 砂金伸治 首都大学東京 話題提供者 寺戸秀和 施工技術総合研究所 小川浩司 応用地質(株) 日下 敦 土木研究所 藤岡大輔 (株)大林組 法橋 亮 戸田建設(株)
昨今、岩盤力学による考え方を用いて技術の総力をあげて取り組むプロジェクトが少なくなったと言われている。一方で岩盤力学をベースとした高度な技術の適用が不可欠な事例の検討も進みつつあり、供用中の岩盤構造物に対して事故や災害等の社会的に影響を及ぼす事象が発生している場合もあるなど、岩盤力学に対する社会のニーズは現在も十分に高い。 本研究討論会では、初級から中級への橋渡しとなる岩盤力学の知見をとりまとめる目的で実施している小委員会活動から、実務やプロジェクト遂行で生じる疑問等を念頭に様々な観点からの分析した題材の報告を通じて討論を行い、将来にわたって岩盤力学に求められる知見とは何かを探る。		

# 第74回年次学術講演会会場および座長(予定者)一覧表

月 日		9月3日(火)			
部門	会場	8:40~10:10	10:25~11:55	14:55~16:25	16:40~18:10
I	I-1 幸町北3号館311講義室	波動・振動 I-01~I-06 本和志	計算力学(構造) I-07~I-12ⅡⅠ 紅霧一寛	数値解析・弾塑性 I-13~I-19 佐藤太裕	座席・耐荷力(柱) I-20~I-28 高橋実
	I-2 幸町北3号館312講義室	港湾・盛土の耐震 I-29~I-37 一井康二	橋梁・鉄塔の耐震 I-38~I-46 宇野野彦	振動 I-47~I-53 宮森保紀	橋梁測定 I-54~I-60 沼沼久忠
	I-3 幸町北3号館314講義室	橋梁の耐震(1) I-61~I-69 北原武嗣	橋梁の耐震(2) I-70~I-78 梶田幸秀	橋梁の耐震(3) I-79~I-87 田中賢太郎	橋梁の耐震・危橋耐性 I-88~I-96 武田篤史
	I-4 幸町北3号館321講義室	維持・管理(一般) I-97~I-105 長坂康史	維持・管理(耐荷性能) I-106~I-114 石川敏之	維持・管理(点検モニタリング) I-115~I-123 新田恭士	維持・管理(測定) I-124~I-130 大島義信
	I-5 幸町北3号館322講義室	診断・補修・補強(1) I-131~I-139 奥山雄介	診断・補修・補強(2) I-140~I-148 増井隆	診断・補修・補強(3) I-149~I-156 北根英雄	診断・補修・補強(4) I-157~I-165 小西拓洋
II	II-1 幸町北3号館323講義室	水圏の生態系 II-01~II-07	魚道 II-08~II-14 村岡敬子	水環境(1) II-15~II-21 林田寿文	水環境(2) II-22~II-27 赤松良久
	II-2 幸町北3号館331講義室	大気水象(1) II-28~II-34 山口弘誠	大気水象(2) II-35~II-41 鈴木善晴	気候変動と水循環 II-42~II-48	地下水・雷水 II-49~II-55 田渡竜乃介
	II-3 幸町北3号館332講義室	津波・高潮(1) II-56~II-62 奥村与志弘	津波・高潮(2) II-63~II-69 平山克也	海岸地形 II-70~II-76 鶴崎賢一	波浪 II-77~II-81 安田誠宏
III	III-1 幸町北4号館411講義室	杭基礎(1) III-01~III-07 川村志麻	杭基礎(2) III-08~III-15 北勝利	杭基礎(3) III-16~III-22 松村聡	シールドトンネル(1) III-23~III-29 松井宏樹
	III-2 幸町北4号館412講義室	試験法・調査法 III-30~III-37 中澤博志	地盤の動的挙動(1) III-38~III-44 井澤淳	地盤の動的挙動(2) III-45~III-50 仙頭紀明	地盤の動的挙動(3) III-51~III-56 中井健太郎
	III-3 幸町北4号館413講義室	透水・浸透(1) III-57~III-64 佐藤真理	透水・浸透(2) III-65~III-71 清水隆文	透水・浸透(3) III-72~III-78 竹下祐二	透水・浸透(4) III-79~III-85 神谷浩二
	III-4 幸町北4号館415講義室	地盤防災・斜面(1) III-86~III-92 日外朗仁	地盤防災・斜面(2) III-93~III-100 窪島光志	地盤防災・斜面(3) III-101~III-108 岩佐直人	斜面(4) III-109~III-116 北爪貴史
	III-5 幸町北4号館422講義室	地盤材料・一般・土質安定処理・地盤改良(1) III-117~III-124 足立雅樹	地盤材料・一般・土質安定処理・地盤改良(2) III-125~III-131 石井裕泰	地盤材料・一般・土質安定処理・地盤改良(3) III-132~III-139 末政直晃	地盤材料・一般・土質安定処理・地盤改良(4) III-140~III-146 立間清伸
	III-6 幸町北4号館423講義室	締固め・支持力(1) III-147~III-153 石原雅規	締固め・支持力(2) III-154~III-160 野並賢	補強土(1) III-161~III-168 橋本聖	補強土(2) III-169~III-176 宮武裕昭
IV	IV-1 幸町北4号館428講義室	公共交通 IV-01~IV-07 宮崎耕輔	地域計画 IV-08~IV-15 氏原岳人	物流 IV-16~IV-21 大門創	航空・港湾・鉄道 IV-22~IV-29 荒谷太郎
	IV-2 幸町北4号館432講義室	観光 IV-30~IV-37 栗原剛	景観 IV-38~IV-44 尾野薫	地区交通・駐車場 IV-45~IV-52 松本浩和	パブリック・インボルブメント IV-53~IV-59 田中皓介
V	V-1 幸町北4号館433講義室	骨材 V-01~V-07 麓隆行	混和材(1) V-08~V-16 鈴木雅博	混和材(2) / 物性(1) V-17~V-25 伊代田岳史	物性(2) V-26~V-33 東洋輔
	V-2 幸町北5号館522講義室	疲労・衝撃 V-34~V-41 岡本大	耐震補強 V-42~V-50 岡本大	短繊維補強コンクリート(構造)(1) V-51~V-58 田上尚史	短繊維補強コンクリート(構造)(2) / 耐震 V-59~V-66 滝本和志
	V-3 幸町北5号館523講義室	舗装一般 V-67~V-74 河村隆	セメント系舗装 V-75~V-83 坪川将文	アスファルト系舗装 V-84~V-92 白井悠	リサイクル(舗装) V-93~V-100 川名太
	V-4 幸町北5号館524講義室	新材料・新工法(1) V-101~V-108 大野元寛	新材料・新工法(2) V-109~V-117 吉武勇	短繊維補強コンクリート(材料)(1) V-118~V-126 佐々木巨	短繊維補強コンクリート(材料)(2) / 軽量コンクリート V-127~V-134 川口哲生
	V-5 幸町北5号館第4会議室	補修・補強(材料)(1) V-135~V-142 野島昭二	補修・補強(材料)(2) V-143~V-151 久保善司	補修・補強(材料)(3) V-152~V-158 榎原弘貴	補修・補強(材料)(4) V-159~V-165 山本貴士
	V-6 幸町北6号館611講義室	塩害(1) V-166~V-174 佐伯竜彦	塩害(2) V-175~V-183 直町聡子	鋼材腐食 V-184~V-191 堀口賢一	防食(1) V-192~V-199 西田孝弘
	V-7 幸町北6号館621講義室	プレストレストコンクリート V-200~V-208 本間淳史	構造物調査・診断(1) V-209~V-217 松本浩嗣	構造物調査・診断(2) V-218~V-226 田中泰司	構造物調査・診断(3) V-227~V-235 上原子晶久
VI	VI-1 幸町北8号館811講義室	設計概念 VI-01~VI-08 渡邊洋介	設計技術(1) VI-09~VI-16 齋藤隆	設計技術(2) / 耐震・免震 VI-17~VI-24 松井俊二	設計技術(3) / 特殊構造物 VI-25~VI-32 浦野和彦
	VI-2 幸町北8号館812講義室	シールドトンネル(1) VI-156~VI-163 小坂塚郎	シールドトンネル(2) VI-164~VI-171 井上隆広	シールドトンネル(3) VI-172~VI-178 木村晃	シールドトンネル(4) VI-179~VI-186 谷口潤
	VI-3 幸町北8号館821講義室	鉄道(1) VI-187~VI-194 川崎祐征	鉄道(2) VI-195~VI-201 林宏延	鉄道(3) VI-202~VI-209 大川真佐雄	鉄道(4) VI-210~VI-217 松本浩一
	VI-4 幸町北8号館822講義室	軌道保守(1) VI-218~VI-225 泉英二	軌道保守(2) VI-226~VI-233 咲村隆人	軌道保守(3) VI-234~VI-241 神津大輔	軌道保守(4) VI-242~VI-249 安藤洋介
	VI-5 幸町総合教育棟第11大講義室	山岳トンネル(1) VI-250~VI-257 畠田篤志	山岳トンネル(2) VI-258~VI-265 服部明彦	山岳トンネル(3) VI-266~VI-273 安井成豊	山岳トンネル(4) VI-274~VI-281 斎藤有佐
	VI-6 幸町総合教育棟多目的室1	建設マネジメント(1) VI-282~VI-288 今石尚	建設マネジメント(2) VI-289~VI-296 永田尚人	建設マネジメント(3) VI-297~VI-303 松本江基	建設マネジメント(4) VI-304~VI-311 川上季伸
	VI-7 幸町総合教育棟第21大講義室	リニューアル(1) VI-312~VI-319 熊坂徹也	リニューアル(2) VI-320~VI-327 田辺重男	リニューアル(3) VI-328~VI-335 青木峻二	リニューアル(4) VI-336~VI-343 久保雅敬
	VI-8 幸町総合教育棟第22講義室	建設ロボット VI-344~VI-351 神崎恵三	自動化システム VI-352~VI-360 竹本久高	橋梁(1) VI-361~VI-368 利波宗典	橋梁(2) VI-369~VI-376 南浩郎
	VI-9 幸町総合教育棟多目的室2	情報化施工(1) VI-377~VI-384 中村泰広	情報化施工(2) VI-385~VI-392	情報化施工(3) VI-393~VI-400 武石学	測量・計測(1) VI-401~VI-408 近藤高弘
	VI-10 幸町総合教育棟多目的室3	施工技術(1) VI-33~VI-40 大木基裕	施工技術(2) VI-41~VI-48 西田与志雄	施工技術(3) VI-49~VI-55 杉山律	施工技術(4) VI-56~VI-62 三浦国春
	VI-11 幸町総合教育棟多目的室4	安全管理(1) VI-63~VI-70 榎原直樹	安全管理(2) / 工程管理 VI-71~VI-79 松井雅紀	品質管理(1) VI-80~VI-88 八朝秀晃	品質管理(2) VI-89~VI-96 上原郷
	VI-12 幸町総合教育棟第31大講義室	山岳トンネル(8) VI-97~VI-104 多賀徹	山岳トンネル(9) VI-105~VI-111 高市一馬	山岳トンネル(10) VI-112~VI-119 海瀬忍	山岳トンネル(11) VI-120~VI-127 手塚仁
	VI-13 幸町総合教育棟第32講義室	維持・管理 / 検査技術・診断(1) VI-128~VI-134 新井崇裕	維持・管理 / 検査技術・診断(2) VI-135~VI-141 内田慎哉	維持・管理 / 検査技術・診断(3) VI-142~VI-148 歌川紀之	維持・管理 / 検査技術・診断(4) VI-149~VI-155 松田敏
VII	VI-1 幸町総合教育棟多目的室6	水環境(1) VII-01~VII-08 山崎慎一	水環境(2) VII-09~VII-16 大島義徳	バイオレメディエーション(1) VII-17~VII-24 緒方浩基	バイオレメディエーション(2) VII-25~VII-31 高畑隆
	VI-2 幸町南6号館第1講義室	上下水道管理 VII-32~VII-39 平井悠河	下水排水処理 VII-40~VII-47 小野寺崇	嫌気性処理 VII-48~VII-54 多川正	下水汚泥利用 / リン回収 VII-55~VII-62 渡利高夫
CS	IV-1 幸町北4号館428講義室				
	CS-1 幸町南6号館第2講義室	InternationalSession国際セッション(1) CS2-01~CS2-06 菅塚	InternationalSession国際セッション(2) CS2-07~CS2-12 GollChandraShekar	地下空間の多角的利用 CS15-01~CS15-09 馬場康之	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(1) CS9-01~CS9-09 五十嵐善一
	CS-2 幸町南6号館第3講義室	InternationalSession国際セッション(5) CS2-13~CS2-17 横山隆明	InternationalSession国際セッション(6) CS2-18~CS2-25 鎌田知久	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(2) CS9-10~CS9-18 福士直子	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(3) CS9-19~CS9-27
	CS-3 幸町南6号館第4講義室	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(4) CS9-28~CS9-35 城古雅典	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(5) CS9-36~CS9-44 澤田純之	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(6) CS9-45~CS9-53 宇野昌利	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(7) CS9-54~CS9-61 杉浦伸哉
	CS-4 幸町研究交流棟5F会議室	新設および大規模改修時における橋梁計画(1) CS3-01~CS3-09 石井博典	新設および大規模改修時における橋梁計画(2) CS3-10~CS3-18 畑山義人	新設および大規模改修時における橋梁計画(3) CS3-19~CS3-27 野澤伸一郎	ダイヤリティ & インクルージョン CS4-01~CS4-07 須田久美子
CS-5 幸町研究交流棟6F第一講義室	原子力施設に係る土木技術(1) 断層変位・斜面 CS14-01~CS14-09 岡田哲実	原子力施設に係る土木技術(2) 構造物・トンネル CS14-10~CS14-18 渡辺和明	原子力施設に係る土木技術(3) 液状化・福島第一 CS14-19~CS14-25 河井正	我が国における BIM/CIM の将来展望(1) CS11-01~CS11-07 加藤雅彦	

部門	会場	9月4日(水)		9月5日(木)		
		8:40~10:10	10:25~11:55	8:40~10:10	10:25~11:55	12:40~14:10
I	I-1	座屈・耐荷力(桁) I-166~I-174 小林裕介	座屈・耐荷力(板・その他) I-175~I-183 前田和裕	衝撃(実験)(1) I-251~I-259 市野宏嘉	衝撃(実験)(2) I-260~I-268 岡田慎哉	衝撃(解析) I-269~I-277
	I-2	構造同定 I-184~I-190 竹谷晃一	非破壊評価 I-191~I-198	橋梁一般(設計)(1)・安全性・信頼性 I-291~I-298 北原武嗣	橋梁一般(設計)(2)・構造計画 I-299~I-306 蘇迪	橋梁一般(設計・施工) I-307~I-315 佐清純一
	I-3	疲労(1) I-199~I-207 内田大介	疲労(2) I-208~I-216 判治剛	疲労(3) I-334~I-342 平山繁幸	橋梁床版(1) I-343~I-350 久保圭吾	橋梁床版(2) I-351~I-358 田中泰司
	I-4	基礎の耐震(1) I-217~I-224 黒田武大	基礎の耐震(2) I-225~I-232 宮川義範	維持・管理(環境) I-367~I-375 永田和寿	維持・管理(腐食) I-376~I-384 今井篤実	維持・管理(耐候性鋼) I-385~I-393 橋本野
	I-5	免震構造・デバイス(1) I-233~I-241 豊岡亮洋	免震構造・デバイス(2) I-242~I-250 永田聖二	継手(1) I-410~I-417 青木康素	継手(2) I-418~I-425 佐藤歩	継手(3) I-426~I-433 上仙晴
II	II-1	河川情報 II-82~II-87 市川建	河川水理・水理計画 II-88~II-94 安田陽一	ダム堆砂・排砂 II-121~II-127	土砂移動・流木 II-128~II-134 潮崎智之	河川・水理構造物(1) II-135~II-141 笠岡信吾
	II-2	都市の水災害(1) II-95~II-101 武田誠	都市の水災害(2) II-102~II-108 中津川誠	流出・洪水(1) II-149~II-155 藤村和正	流出・洪水(2) II-156~II-162 山本隆広	水災害・防災(1) II-163~II-169
	II-3	港湾施設(1) II-109~II-114 宮田正史	港湾施設(2) II-115~II-120 久保田真一	耐波 II-184~II-190 鈴木高二朗	沿岸環境 II-191~II-197	土砂移動・河床変動(1) II-198~II-203 福田朝生
III	III-1	シールドトンネル(2) III-177~III-183 早川淳一	トンネル(1) III-184~III-190 森田篤	トンネル(2) III-265~III-271 芥川真一	トンネル(3) III-272~III-278 鍋島康之	トンネル(4) III-279~III-286 瀬谷正巳
	III-2	地盤の挙動・地盤の動的挙動(4) III-191~III-198 重村智	地盤の挙動・地盤の安定性評価 III-199~III-205 海野寿康	土の動的性質 III-301~III-306 宮本順司	砂の変形・強度 III-307~III-313 橋本隆雄	岩の工学的性質 III-314~III-321 小盤登
	III-3	洗掘・浸食 III-206~III-213 近藤明彦	土壌地下水汚染 III-214~III-220 小峯秀雄	廃棄物・リサイクル(1) III-436~III-441 平川大貴	廃棄物・リサイクル(2) III-442~III-448 伊藤圭二郎	地下空洞と地下構造物 III-449~III-455 塚田哲史
	III-4	地盤防災・斜面(5) III-221~III-228 小田和広	地盤防災・斜面(6) III-229~III-235 伊藤和也	地盤防災・斜面(7) III-470~III-476 蔭影彰	地盤防災・リスクマネジメント III-477~III-483 山中光一	地盤防災・安全性・信頼性 III-484~III-490 大塚健
	III-5	地盤材料一般・土質安定処理・地盤改良(5) III-236~III-243 村上恵洋	地盤材料一般・土質安定処理・地盤改良(6) III-244~III-250 尾尾浩一	地盤材料一般・土質安定処理・地盤改良(7) III-498~III-505 安井利彰	地盤材料一般・土質安定処理・地盤改良(8) III-506~III-513 末次大輔	地盤の性能評価 III-514~III-520 石塚良平
	III-6	土留め III-251~III-258 篠田昌弘	杭・支保力 III-259~III-264 藤本達貴	不飽和土 III-537~III-543 金兼洙	圧縮・圧密 III-544~III-551 梅崎建夫	数値解析 III-552~III-558 高山裕介
IV	IV-1			交通ネットワーク IV-72~IV-78 奥嶋政嗣	交通事故 IV-79~IV-85 宇野伸宏	交通流 IV-86~IV-92 吉井雄雄
	IV-2	土木計画学とダイバーシティ IV-60~IV-65 佐々木葉	土木計画学と災害 IV-66~IV-71 奥村誠	歩行者・自転車・交通弱者 IV-109~IV-115 宮崎耕輔	交通調査 IV-116~IV-122 日下部貴彦	避難行動・計画(1) IV-123~IV-130 五重哲也
V	V-1	アルカリシリカ反応 V-236~V-243 三方康弘	凍害 V-244~V-252 小山田哲也	複合劣化/劣化予測 V-348~V-355 須田裕哉	維持・管理(1) V-356~V-363 小池賢太郎	維持・管理(2) / エコ・緑化コンクリート V-364~V-372 高橋賢人
	V-2	プレキャスト製品(1) V-253~V-261 廣井幸夫	プレキャストコンクリート(2) / コンクリート製品 V-262~V-269 二井谷教治	補修・補強(1) V-382~V-390 小林薫	補修・補強(2) V-391~V-399 高橋良輔	補修・補強(3) V-400~V-407 栗橋祐介
	V-3	舗装材料 V-270~V-277 神下竜三	特殊舗装 V-278~V-286 藪雅行	維持・修繕(舗装)(1) V-417~V-424 久利良夫	維持・修繕(舗装)(2) V-425~V-432 大脇真也	路面評価(舗装)(1) V-433~V-440 森石一志
	V-4	木材工学・木材(耐久性) V-287~V-292 沼田厚紀	木材工学・木材利用 V-293~V-297 加藤英雄	耐久性一般(1) V-457~V-465 三浦泰人	耐久性一般(2) V-466~V-474 中村文則	耐久性一般(3) / 耐火性 V-475~V-483 高谷哲
	V-5	混和剤 V-298~V-306 吉田克弥	高流動コンクリート V-307~V-314 浦野真次	フレッシュコンクリート / ポンプ圧送 V-502~V-509 中村敏之	締固め V-510~V-516 橋本紳一郎	特殊コンクリート V-517~V-524 宇野洋志城
	V-6	防食(2) V-315~V-323 小林浩之	防食(3) V-324~V-330 羽羽貴士	非破壊試験法(1) V-540~V-548 大野健太郎	非破壊試験法(2) V-549~V-557 村上祐貴	非破壊試験法(3) V-558~V-566 内田慎哉
	V-7	新材料・新工法(構造)(1) V-331~V-339 田所敏弥	新材料・新工法(構造)(2) V-340~V-347 藤山知加子	せん断・ねじり(1) V-585~V-593 三木朋広	せん断・ねじり(2) / 曲げ V-594~V-602 村田裕志	付着・定着・継手(1) V-603~V-611 吉武謙二
VI	VI-1	開削トンネル VI-409~VI-415 緒方明彦	地下構造物(1) VI-416~VI-422 高橋敬樹	地下構造物(2) VI-616~VI-622 服部佳文	地下構造物(3) VI-623~VI-629 井上隆広	地下構造物(4) VI-630~VI-637 中出剛
	VI-2	シールドトンネル(5) VI-486~VI-493 服部鋭啓	シールドトンネル(6) VI-494~VI-502 増澤伸司	シールドトンネル(7) VI-804~VI-810 青山哲也	シールドトンネル(8) VI-811~VI-817 高浜進矢	アセットマネジメント(1) VI-818~VI-825 新田耕司
	VI-3	鉄道(5) VI-503~VI-510 竹谷勉	鉄道(6) VI-511~VI-518 今西立彦	鉄道(7) VI-843~VI-850 神谷弘志	鉄道(8) VI-851~VI-858 伊藤孝記	鉄道(9) VI-859~VI-865 福岡寛記
	VI-4	軌道保守(5) VI-519~VI-526 片山雄一朗	軌道保守(6) VI-527~VI-534 玉川新悟	軌道保守(7) VI-880~VI-887 數中嘉彦	軌道保守(8) VI-888~VI-895 堀尾健	軌道保守(9) VI-896~VI-903 堀雄一郎
	VI-5	山岳トンネル(5) VI-535~VI-542 淡路勲太	山岳トンネル(6) VI-543~VI-550 砂金伸治	山岳トンネル(7) VI-920~VI-927 橋直毅	CIM (1) VI-928~VI-935 北原剛	CIM (2) VI-936~VI-942 片山政弘
	VI-6	建設マネジメント(5) VI-551~VI-558 宮田和	建設マネジメント(6) VI-559~VI-566 高直人	建設環境(1) VI-958~VI-965 伊藤達也	建設環境(2) / 港湾・海洋構造物 VI-966~VI-973 伊藤一教	港湾・海洋・河川 VI-974~VI-981 野田和久
	VI-7	リニューアル(5) VI-567~VI-574 森崎勝一	リニューアル(6) VI-575~VI-582 友利方彦	リニューアル(7) VI-1000~VI-999 内藤英樹	リニューアル(8) VI-1004~VI-1011 松田大地	リニューアル(9) VI-1012~VI-1019 吉田善紀
	VI-8	橋梁(3) / 各種基礎(1) VI-583~VI-590 稲積一訓	各種基礎(2) VI-591~VI-598 伊藤弘之	各種基礎(3) / 施工計画(1) VI-1036~VI-1043 原田雅弘	施工計画(2) VI-1044~VI-1051 盛岡義郎	施工計画(3) VI-1052~VI-1059 木村聡
	VI-9	測量・計測(2) VI-599~VI-606 石黒真聖	測量・計測(3) VI-607~VI-615 黒台昌弘	技術開発(1) VI-1068~VI-1075 坂本守	技術開発(2) VI-1076~VI-1083 岡本俊彦	技術開発(3) VI-1084~VI-1091 池松建治
	VI-10	施工技術(5) VI-423~VI-430 増原康布	施工技術(6) VI-431~VI-438 加藤康生	施工技術(7) VI-655~VI-661 谷口裕史	施工技術(8) VI-662~VI-669 山田淳夫	施工技術(9) VI-670~VI-676 名合俊人
	VI-11	品質管理(3) VI-439~VI-446 大友健	品質管理(4) VI-447~VI-454 齋藤淳	ダム(1) VI-695~VI-701 黒木博	ダム(2) VI-702~VI-708 冨森淳	ダム(3) VI-709~VI-715 徳永篤
	VI-12	山岳トンネル(12) VI-455~VI-462 嶋本敬介	山岳トンネル(13) VI-463~VI-469 石田滋樹	山岳トンネル(14) VI-730~VI-736 吉川直孝	山岳トンネル(15) VI-737~VI-744 田川謙一	リニューアル(12) VI-745~VI-752
	VI-13	維持・管理 / 検査技術・診断(5) VI-470~VI-477 江里口玲	維持・管理 / 検査技術・診断(6) VI-478~VI-485 渡邊晋也	維持・管理 / 検査技術・診断(7) VI-768~VI-774 西村毅	維持・管理 / 検査技術・診断(8) VI-775~VI-781 全邦釘	維持・管理 / 検査技術・診断(9) VI-782~VI-789 藤生慎
VII	VII-1	石炭灰・焼却灰利用 VII-63~VII-70 福武健一	吸着層・重金属 VII-71~VII-78 河合達司	環境計画(1) VII-91~VII-98 高山晴夫	環境計画(2) VII-99~VII-105 大城温	環境計画(3) VII-106~VII-113 佐藤温子
	VII-2	循環資源・CCS (1) VII-79~VII-84 山田祐樹	循環資源・CCS (2) VII-85~VII-90 田島孝敏	放射性廃棄物(1) VII-124~VII-131 西村友良	放射性廃棄物(2) VII-132~VII-140 渡邊保貴	放射性廃棄物(3) VII-141~VII-149 白瀬光泰
CS	IV-1	計算力学(1) CS5-01~CS5-09 斎藤隆泰	計算力学(2) CS5-10~CS5-18 森口周三			
	CS-1	InternationalSession国際セッション(3) CS2-26~CS2-32 木元小百合	InternationalSession国際セッション(4) CS2-33~CS2-37 覚紀	地震ハザード評価 CS12-01~CS12-09 田中浩平	地震震動 CS12-10~CS12-18 盛川仁	地震動・断面変位 CS12-19~CS12-27 吉川愛子
	CS-2	InternationalSession国際セッション(7) CS2-38~CS2-45 YaoLuan	我が国におけるBIM/CIMの将来展望(2) CS11-08~CS11-14 杉浦伸哉	地盤の非線形応答 CS12-37~CS12-45 小野祐輔	地震応答解析 CS12-46~CS12-54 藤原聖二	橋梁等の地震時挙動 CS12-55~CS12-63 庄司学
	CS-3	土木教育一般(1) CS1-01~CS1-07 鈴木啓悟	土木教育一般(2) CS1-08~CS1-15 白旗弘実	都市ネットワーク防災シミュレーション CS12-73~CS12-80 丸山喜久	リモートセンシングとネットワーク防災 CS12-81~CS12-89 劉ウエン	土木教育一般(3) CS1-16~CS1-23 兵動太一
	CS-4	橋と社会(1) CS7-01~CS7-07 長谷俊彦	橋と社会(2) CS7-08~CS7-16 阿部雅人	複合構造物(1) CS6-01~CS6-07 平福兵	複合構造物(2) CS6-08~CS6-15 瀧江慶久	複合構造物(3) CS6-16~CS6-23 石川敏之
CS-5	土木分野におけるIoT/AIのあり方(1) CS10-01~CS10-08 河村吉	土木分野におけるIoT/AIのあり方(2) CS10-09~CS10-17 折見剛彦	土木分野におけるIoT/AIのあり方(3) CS10-18~CS10-25 崎田耕司	土木分野におけるIoT/AIのあり方(4) CS10-26~CS10-34 湯田雄基	道路橋床版の点検診断と長寿命化技術(1) CS8-01~CS8-08 東山浩士	

		9月5日(木)	
部門	会場	14:25~15:55	16:10~17:40
I	I-1	耐風・風工学(1) I-278~I-284 北川徹哉	耐風・風工学(2) I-285~I-290 伊藤靖晃
	I-2	ダム・耐震 I-316~I-324 佐藤信光	ダム・タンクの耐震 I-325~I-333 仲村成貴
	I-3	地中構造物・トンネルの耐震 I-359~I-366 梅林福太郎	
	I-4	維持・管理(鋼索地調整) I-394~I-401 塚本成昭	維持・管理(防食) I-402~I-409 鈴木啓悟
	I-5	継手(4) I-434~I-442 南邦明	溶接・接合 I-443~I-451 一宮充
II	II-1	河川・水理構造物(2) II-142~II-148 重枝未玲	
	II-2	水災害・防災(2) II-170~II-176 片岡智哉	国際複合災害・環境 II-177~II-183 谷口健司
	II-3	土砂移動・河床変動(2) II-204~II-210 長田健吾	土砂移動・河床変動(3) II-211~II-218 岩崎理樹
III	III-1	トンネル(5) III-287~III-293 崔瑛	トンネル(6) III-294~III-300 吉川直孝
	III-2	凍結・凍土 III-322~III-328 西村聡	特殊土・その他 III-429~III-435 酒匂一成
	III-3	フィルダム III-456~III-461 原忠	地盤の応力と変形 III-462~III-469 荒木裕行
	III-4	地盤防災/都市地盤情報 III-491~III-497 山口恵美	
	III-5	現場計測(1) III-521~III-528 杉本知史	現場計測(2) III-529~III-536 美馬健二
	III-6	維持・補修 III-559~III-565 西岡英俊	
IV	IV-1	リモートセンシング(1) IV-93~IV-100 佐田達典	リモートセンシング(2) IV-101~IV-108 須崎純一
	IV-2	避難行動・計画(2) IV-131~IV-137 中居楓子	防災計画 IV-138~IV-145 二神透
V	V-1	製造・施工/温度応力 V-373~V-381 桑俊	
	V-2	構造設計 V-408~V-416 塩畑英俊	
	V-3	路面評価(舗装)(2) V-441~V-448 田中俊輔	路面評価(舗装)(3) V-449~V-456 富山和也
	V-4	ひび割れ V-484~V-492 古賀裕久	クリープ・収縮 V-493~V-501 藤井隆史
	V-5	副産物利用/再生材料 V-525~V-531 小川由布子	リサイクル/サステナビリティ V-532~V-539 佐藤良一
	V-6	品質管理・検査/評価・試験方法(1) V-567~V-575 鎌田知久	評価・試験方法(2) V-576~V-584 竹田宣典
	V-7	付着・定着・継手(2) V-612~V-620 平陽兵	
VI	VI-1	土留め(1) VI-638~VI-645 坂梨利男	土留め(2) VI-646~VI-654 山口哲司
	VI-2	アセットマネジメント(2) VI-826~VI-833 馬越正純	アセットマネジメント(3) VI-834~VI-842 堀倫裕
	VI-3	鉄道(10) VI-866~VI-872 森泰樹	鉄道(11) VI-873~VI-879 中村貴久
	VI-4	軌道保守(10) VI-904~VI-911 森本勝	軌道保守(11) VI-912~VI-919 川崎恭平
	VI-5	CIM(3) VI-943~VI-950 佐藤靖彦	CIM(4) VI-951~VI-95 後関淳司
	VI-6	海外工事 VI-982~VI-988 西嶋岳郎	GPS・リモートセンシング VI-989~VI-995 黒台昌弘
	VI-7	リニューアル(10) VI-1020~VI-1027 大塚康範	リニューアル(11) VI-1028~VI-1035 森瀬喬士
	VI-8	施工計画(4) VI-1060~VI-1067 安藤陽	
	VI-9	技術開発(4) VI-1092~VI-1099 小島英郷	技術開発(5) VI-1100~VI-1107 西内美宣
	VI-10	地盤改良(1) VI-677~VI-685	地盤改良(2) VI-686~VI-694 土屋光弘
	VI-11	ダム(4) VI-716~VI-722 佐藤英明	維持・管理/検査技術・診断(11) VI-723~VI-729 森康雄
	VI-12	リニューアル(13) VI-753~VI-760 倉田雅人	維持・管理/検査技術・診断(12) VI-761~VI-767 宇野洋志城
	VI-13	維持・管理/検査技術・診断(10) VI-790~VI-796 岡本修一	維持・管理/検査技術・診断(13) VI-797~VI-803 大窪和明
VII	VII-1	騒音 VII-114~VII-118 横山秀史	振動 VII-119~VII-123 佐野雄紀
	VII-2	放射性廃棄物(4) VII-150~VII-158 松井裕哉	放射性廃棄物(5) VII-159~VII-167 後藤考裕
CS	CS-1	地中構造物・管路の地震応答と液化化 CS12-28~CS12-36 一井康二	
	CS-2	地震・津波防災 CS12-64~CS12-72 山中亮一	
	CS-3	土木教育一般(4) CS1-24~CS1-31 寺部慎太郎	土木教育一般(5) CS1-32~CS1-39 菊雅美
	CS-4	土木分野におけるデジタルアーカイブと利活用(1) CS13-01~CS13-07 原口征人	土木分野におけるデジタルアーカイブと利活用(2) CS13-08~CS13-14 横山隆明
	CS-5	道路橋床版の点検診断と長寿命化技術(2) CS8-09~CS8-17 佐藤貴一	道路橋床版の点検診断と長寿命化技術(3) CS8-18~CS8-25 小松伸史

# 第74回 年次学術講演会プログラム

## 第I部門 応用力学、構造工学、鋼構造、耐震工学、地震工学、風工学など

I-1 (幸町北3号館 311講義室) / 9月3日(火)

### ■波動・振動 / 8:40~10:10 / 木本 和志(岡山大学)

- I-001 非線形境界条件を有する界面での平面波の反射・透過問題の調和バランス法による解析 / 東京理科大学[学] 米永 佳祐・丸山 泰蔵・東平 光生
- I-002 有限要素法を用いたCFRP平板に対する分散曲線の導出 / 群馬大学[学] 石黒 明日海・金子 龍之介・斎藤 隆泰
- I-003 乾燥砂路面上のそろばん道路の発生過程に関する基礎的研究 / 北海道大学[学] 遠藤 利紗・橋本 風惟・池田 愛子
- I-004 NUMERICAL ANALYSIS ON NATURAL VIBRATION CHARACTERISTICS OF 5-SPAN CONTINUOUS PC RIGID-FRAME BOX GIRDER BRIDGE / Muroran Institute of Technology [学] Vu Thanh・Komuro Masato・Kishi Norimitsu
- I-005 固有振動数を利用したダンパーを有するケーブルの張力推定手法の開発 / 京都大学[学] 廣瀬 克也・古川 愛子・小林 亮介
- I-006 生育木の振動特性に関する実験的研究 / 北海学園大学[正] 小幡 卓司・佐藤 太裕・中垣 俊之

### ■計算力学(構造) / 10:25~11:55 / 紅露 一寛(新潟大学)

- I-007 内圧及び周面拘束を受けるPE管の耐衝撃性能に関する解析的検討 / 九州大学[学] 神川 創太・玉井 宏樹・園田 佳巨
- I-008 鋼製透過型砂防堰堤の補強法に関する解析的検討 / 防衛大学校[学] 小松 喜治・堀口 俊行・香月 智
- I-009 超大規模有限要素モデルによる鋼斜張橋の車両荷重応答解析と実測による比較検証 / 東芝研究開発センター [正] 久國 陽介・釘宮 哲也・清水 暁央
- I-010 連成効果を考慮した腐食山形鋼の残存強度評価に関する解析的研究 / 広島大学[学] 高見 文也・藤井 堅
- I-011 周期性構造橋梁のトポロジー最適化解析 / 東北学院大学[正] 中沢 正利・有尾 一郎・近広 雄希
- I-012 FEM要素によるシザーズ構造の座屈解析 / 広島大学[学] 山下 達也・横谷 祐樹・有尾 一郎

### ■数値解析・弾塑性 / 14:55~16:25 / 佐藤 太裕(北海道大学)

- I-013 粒子法を用いた橋桁端部付近の流水挙動の解析 / 京都市大学[学] 渡辺 悠人・白旗 弘実・三上 健斗
- I-014 洪水時における流木除去による効果に関する一考察 / 立命館大学[学] 野中 紀宏・野阪 克義
- I-015 介在物形状の空間的ばらつきを考慮した均質化拡散係数を用いたスペクトル確率有限要素解析法 / 新潟大学[正] 紅露 一寛・阿部 和久・浅井 洸太郎
- I-016 浮きまくらぎの検出方法に関する基礎的考察 / 九州大学[学] 張 順智・園田 佳巨・楠田 将之
- I-017 兵庫県南部地震で倒壊した地下鉄大開駅に関する一数值解析的検討 / 室蘭工業大学[正] 岸 徳光・櫻井 春輔・園田 恵一郎
- I-018 ゴム材料の弾塑性挙動における降伏曲面の歪みの影響 / 名古屋工業大学[学] 森井 伸一・小畑 誠・後藤 芳顕
- I-019 Cr-Ni系ステンレス鋼への2区間としたRemberg-Osgood曲線の適応性の検証 / 長岡工業高等専門学校[学] 井崎 茜・宮崎 靖夫・小野 潔

### ■座屈・耐荷力(柱) / 16:40~18:10 / 高橋 実(土木研究所)

- I-020 SBHS400を用いた溶接箱形断面鋼長柱の耐荷力に関する解析的研究 / 早稲田大学[学] 松 大輔・竹沢 洋輝・小野 潔
- I-021 Comparison of calculation method of coupled buckling strength for steel compression members among major design codes / [学] XIANG CHEN・Shozo NAKAMURA・Toshihiro OKUMATU
- I-022 簡易な鋼管突込接合の軸力構造適用に関する基礎的試験 / 日本製鉄[正] 富永 知徳・佐野 将基
- I-023 SBHS500を用いた無補剛箱形断面部材の座屈強度実験による一検討 / 首都大学東京[正] 岸 祐介・野上 邦栄・村越 潤
- I-024 Experimental Study on Coupled Buckling Strength of FRP Repaired Truss Lower Chord with Corrosion Damage / Nagaoka University of Technology [学] Jacome Pecero Fernando・Medina Contreras Daniel・Miyashita Takeshi

- I-025 腐食損傷のあるトラス橋下弦材のFRPによる圧縮強度補修に関する実験研究 / ものつくり大学[正] 大垣 賀津雄・奥山 雄介・宮下 剛
- I-026 中心軸圧縮力を受ける腐食減肉した形鋼部材の座屈耐力評価 / 日本製鉄[学] 久積 和正・菅野 良一・富永 知徳
- I-027 端補剛材下端に隙が生じたリベット桁端部の耐荷性状評価 / 鉄道総合技術研究所[正] 井上 太郎・蒲原 浩平・中田 裕喜
- I-028 Residual stresses in T section and angle section made from stainless steel / Waseda University [学] Sthapit Shranay・Matsuo Atsushi・Ono Kiyoshi

I-1 (幸町北3号館 311講義室) / 9月4日(水)

### ■座屈・耐荷力(桁) / 8:40~10:10 / 小林 裕介(鉄道総合技術研究所)

- I-166 曲線桁橋の水平補剛材省略構造に関する解析的研究 / 大阪市立大学[学] 足立 淳一・舟山 耕平・山口 隆司
- I-167 火災加熱を模擬した加熱冷却過程を受けた鋼桁のせん断耐荷力実験 / 名古屋大学[正] 北根 英雄・小野 健太・廣畑 幹人
- I-168 鋼桁の曲げ耐荷力性状に関する実験的検討 / 立命館大学[学] 文字 夏月・渡邊 一貫・野阪 克義
- I-169 限界状態設計法に向けた合成桁の曲げ・せん断耐荷力 / 長岡技術科学大学[学] 中村 洋介・松澤 和憲・宮下 剛
- I-170 床版ディテールが合成桁の曲げ耐荷力に与える影響 / 長岡技術科学大学[学] 高橋 誠汰・宮下 剛・小野 潔
- I-171 RC床版と鋼桁上フランジの付着が合成桁の弾塑性に与える影響 / 早稲田大学[学] 方 超越・小野 潔・Lam Heang
- I-172 曲げとせん断を受けるプレートガーダーのCFRPシートによる補強効果に関する実験研究 / ものつくり大学[学] 下前 照・大垣 賀津雄・菊地 新平
- I-173 CFRPシートによる腹板の補強方法をパラメータとしたせん断耐荷力に関する実験的研究 / ものつくり大学[学] 菊地 新平・大垣 賀津雄・宮下 剛
- I-174 腐食劣化の生じた鋼 I 桁橋の主桁数が耐荷性能に与える影響に関する検討 / オリエンタルコンサルタンツ[正] 有村 健太郎・久富 圭悟・舟山 耕平

### ■座屈・耐荷力(板・その他) / 10:25~11:55 / 前田 和裕

(オリエンタルコンサルタンツ)

- I-175 SBHS400製自由突出板の座屈挙動と限界状態 / 早稲田大学[学] 米田 萌・傍島 広太郎・Nie Jing
- I-176 スレッドローリングねじで接合した補剛材を有する補剛板の圧縮力耐荷試験 / 本州四国連絡高速道路[正] 金田 崇男・香川 耀平・村上 博基
- I-177 腐食した鋼板の圧縮耐荷力評価方法に関する研究 / 日立造船[正] 大庭 拓也・藤井 雄介・原田 拓也
- I-178 弦材とボルトの離れに着目した鋼トラス格点部の耐荷力実験 / 土木研究所[正] 高橋 実・上仙 靖・濂谷 敦
- I-179 腐食した鋼板の引張耐荷力評価方法に関する研究 / 東日本旅客鉄道[正] 小林 亮司・藤井 雄介・原田 拓也
- I-180 端横桁等の損傷が支点部の耐荷性能に与える影響に関する解析的検討 / 構研エンジニアリング[正] 岩淵 直・宮森 保紀・大島 俊之
- I-181 過大な偏心荷重が作用する鋼アーチ橋における安全性の検討 / 福岡大学[学] 松隈 優太・下妻 達也・大隣 昭作
- I-182 サドルサポート上の水圧鉄管に生じる周方向曲げモーメントと応力評価法について / 東電設計[正] 中村 秀治・日比野 悦久
- I-183 SBHS400を用いた十字継手の残留応力に関する実験的研究 / 早稲田大学[学] 稲森 大樹・石河 佑太・小野 潔

I-1 (幸町北3号館 311講義室) / 9月5日(木)

### ■衝撃(実験) (1) / 8:40~10:10 / 市野 宏嘉(防衛大学校)

- I-251 落体衝突時におけるラメ定数に関する実験的検討 / 構研エンジニアリング[正] 山内 翼・鈴木 健太郎・前田 健一
- I-252 法面勾配を変化させた落石防護土堤の耐衝撃挙動 / 構研エンジニアリング[正] 鈴木 健太郎・牛渡 裕二・保木 和弘



- I-253 落石防護擁壁等に設置される支柱の衝撃挙動に関する基礎実験/砂子組[正]近藤 里史・山元 康弘・田尻 太郎
- I-254 落石防護擁壁等に設置される支柱の根入れ深さに関する基礎実験/砂子組[正]山元 康弘・近藤 里史・田尻 太郎
- I-255 補強土工法表面材の耐衝撃性に関する実験的検討(その3)/矢作建設工業[正]長沼 明彦・武藤 裕久・神谷 隆
- I-256 重錘衝突による無筋コンクリート製落石防護擁壁の衝撃実験/寒地土木研究所[正]山澤 文雄・今野 久志・寺澤 貴裕
- I-257 腐食したワイヤロープの静的引張試験結果について/寒地土木研究所[正]今野 久志・中村 拓郎・西 弘明
- I-258 異なる樹脂材料から成るガス管の耐衝撃性能に関する基礎検討/西部ガス[正]中山 歩・玉井 宏樹・園田 佳巨
- I-259 力学特性の異なる発泡材を用いた三層緩衝構造の重錘落下実験/室蘭工業大学[正]栗橋 祐介・佐藤 臣司・小暮 直親

■衝撃(実験)(2) / 10:25~11:55 / 岡田 慎哉(国土交通省北海道開発局)

- I-260 重錘落下実験による積層繊維補強ゴムの衝撃力緩和性能/明石工業高等専門学校[学]松本 拓実・水鳥 皓平・西本 安志
- I-261 ゴムチップ混入モルタルの衝撃緩衝特性に関する研究/防衛大学校[学]佐藤 匡浩・藤掛 一典
- I-262 繊維補強セメント複合材料の動的曲げ特性に関する研究/防衛大学校[学]清田 翔吾・別府 万寿博・市野 宏嘉
- I-263 張力作用時における塑性変形を考慮した緩衝機構の実験的研究/シバタ工業[正]西本 安志・浮島 徹・廣岡 宗一朗
- I-264 補強量を変化させたAFRPシート下面接着曲げ補強RC梁の重錘落下衝撃実験/室蘭工業大学[学]田野 順也・小室 雅人・岸 徳光
- I-265 CONSECUTIVE IMPACT LOADING TEST OF RC BEAMS STRENGTHENED WITH AFRP SHEET/Muroran Institute of Technology [学] Le Huy Sinh・Komuro Masato・Kishi Norimitsu
- I-266 Experimental Study on Impact Resistance of RC beam Reinforced by CF Panel and Polyurea Resin/九州大学[学]曾 健恒・玉井 宏樹・園田 佳巨
- I-267 再生PET繊維シートで曲げ補強したPFCはりの耐衝撃性/室蘭工業大学[学]木内 洋介・栗橋 祐介・河野 克哉
- I-268 ポリウレア塗布によるRC版の耐衝撃性向上効果に関する検討/大成建設[正]島崎 利孝・武者 浩透・別府 万寿博

■衝撃(解析) / 12:40~14:10

- I-269 堰堤の前面傾斜角が土石流衝突荷重に与える影響に関する個別要素法解析/防衛大学校[正]嶋川 理・小松 善治・堀口 俊行
- I-270 模型実験及び数値解析を用いた落石防護土堤の落石捕捉性能の把握/名古屋工業大学[学]峯 祐貴・前田 健一・松尾和茂
- I-271 従来型落石防護柵の耐衝撃挙動に及ぼす落石質量の影響/室蘭工業大学[学]服部 桃加・小室 雅人・中村 拓郎
- I-272 無筋コンクリート製落石防護擁壁の耐衝撃挙動に関する数値解析的検討/室蘭工業大学[正]小室 雅人・山澤 文雄・岸 徳光
- I-273 重錘落下を受ける鋼製防護柵支柱の3次元弾塑性衝撃応答解析/室蘭工業[学]沼田 あずさ・小室 雅人・近藤 里史
- I-274 半球型飛来物の衝突を受ける鋼板の貫通破壊に関する基礎的研究/防衛大学校[学]濱田 匠李・別府 万寿博・市野 宏嘉
- I-275 鉄筋コンクリート板と剛飛翔体の衝突実験の再現解析/パシフィックコンサルタンツ[正]高橋 千明・蔡 飛
- I-276 飛来物衝突を受けるRC版の破壊メカニズムに関する数値解析的考察/防衛大学校[学]片岡 新之介・別府 万寿博・市野 宏嘉
- I-277 AFRP シート接着曲げ補強RC梁の衝撃応答解析における構成則に関する一検討/室蘭工業大学[学]瓦井 智貴・小室 雅人・岸 徳光

■耐風・風工学(1) / 14:25~15:55 / 北川 徹哉(法政大学)

- I-278 中央径間長3000mを有する二箱桁形式超長大径間吊橋の耐風安定性に関する研究/首都大学東京[学]岩下 慎吾・中村 一史・野上 邦栄
- I-279 側面に開口部を有する矩形柱の空力特性と流れ場に関する研究/京都大学[学]市川 英和・山本 宗一郎・八木 知己
- I-280 矩形断面の大振幅空力自励振動に対する相対迎角速度に基づいた考察/京都大学[学]奥西 智也・八木 知己・小松 尚弘
- I-281 非定常空気力の変化に着目した並列ケーブルのウェイク振動発現機構に関する研究/京都大学[学]福島 温樹・八木 知己・下田 拓也
- I-282 空力振動時斜円柱模型に作用する圧力特性の検討/東京理科大学[学]馬場 久昌
- I-283 配電線の空中分岐工法を対象とした風応答解析と疲労評価

- I-284 /電力中央研究所[正]早田 直広・清水 幹夫・石川 智己  
翼素運動量理論によるHydro-VENUSブレードの性能評価  
/岡山大学[正]比江島 慎二・森谷 尚史

■耐風・風工学(2) / 16:10~17:40 / 伊藤 靖晃(清水建設)

- I-285 LESを用いた強制加振法による橋梁の渦励振応答振幅評価におけるスパン方向解析領域およびレイノルズ数の影響の検討/清水建設[正]伊藤 靖晃・野口 恭平・八木 知己
- I-286 斜風下での明石海峡大橋の応答/本州四国連絡高速道路[正]花井 拓・竹口 昌弘・本郷 誠人
- I-287 東京湾アクアライン橋梁部における車両の強風時安定性に関する数値シミュレーション/横浜国立大学[学]武藤 秀人・金 恵英・藤野 陽三
- I-288 東京湾アクアライン橋梁部の通行規制のための風速の統計的短期予測/横浜国立大学[学]徳江 良
- I-289 関東甲信越地方のいくつかの都市における日最大風速のBox-Cox変換特性/法政大学[正]北川 徹哉
- I-290 フラジリティ曲線による航空機着陸時の風速基準値の検討/中央大学[学]竹本 純平・佐藤 尚次

I-2 (幸町北3号館 312講義室) / 9月3日(火)

■港湾・盛土の耐震 / 8:40~10:10 / 一井 康二(関西大学)

- I-029 加振実験による岸壁控え組杭の杭間固化工法効果確認/東亜建設工業[正]夏坂 亮太・小濱 英司・伊藤 広高
- I-030 径厚比が異なる杭の耐力特性を適用した保留施設の供用可否判定基準に関する考察/ニュージェック[正]高岡 慶人・杉 栄一郎・村上 裕幸
- I-031 控え直杭式矢板式岸壁の地震時土圧に着目した設計震度についての基礎的研究/パシフィックコンサルタンツ[正]宮下 健一朗・長尾 毅
- I-032 座屈拘束ブレースを用いた直杭式栈橋の耐震補強・復旧工法に関する検討/港湾空港技術研究所[正]近藤 明彦・小濱 英司・渡辺 健二
- I-033 矢板式係船岸を既設前面に新設する場合の設計方法に関する考察/鋼管杭・鋼矢板技術協会[正]及川 森・辰見 ター・相和 明男
- I-034 増深改良した矢板式係船岸における既設構造物の取扱いに関する地震応答解析/ニュージェック[正]堤 杏紗・小濱 英司・塩崎 禎郎
- I-035 栈橋鋼管杭のレベル2地震動対応断面の探索方法について/鋼管杭・鋼矢板技術協会[正]塩崎 禎郎・永尾 直也・相和 明男
- I-036 盛土堤防へ空気注入不飽和工法を適用した場合の解析事例/ニュージェック[正]岡部 登・渡邊 英・石田 充
- I-037 地震観測記録に基づくNIOM解析によるロックフィルダム堤体の速度構造の推定/水資源機構[正]佐野 貴之・佐藤 信光・曾田 英揮

■橋梁・鉄塔の耐震 / 10:25~11:55 / 宇野 州彦(五洋建設)

- I-038 水平2方向地震動を受ける曲線橋の落橋に関する漸増動的解析/埼玉大学[学]新井 大輔・党 紀
- I-039 駅部高架橋と市道交差部における特殊鋼板巻き耐震補強/東鉄工業[正]工藤 篤・山口 恭平・和田 直也
- I-040 首都直下地震に対する耐震性の検討/首都高速道路[正]松原 拓朗・久保田 成是・鍋島 信幸
- I-041 遠心実験による橋台の地震時挙動の分析/土木研究所[正]有馬 俊・澤田 守・大住 道生
- I-042 道路鉄道併用トラス橋のノックオフ機構を有する支承交換による免震化工事/本州四国連絡高速道路[正]香川 耀平・金田 崇男・村上 博基
- I-043 生口橋(複合箱桁斜張橋)の耐震補強設計について/本州四国連絡高速道路[正]平山 靖之・山口 和範・溝上 善昭
- I-044 既設橋に予備せん断システムを適用した橋台背面土の地震時効果/オイレス工業[正]五十嵐 隆之・宇野 裕恵・内藤 伸幸
- I-045 ボルト接合部滑りを考慮した部分鉄塔模型の振動台実験と再現解析/電力中央研究所[正]高島 大輔
- I-046 自由振動試験に基づく送電用鉄塔の減衰特性に関する考察/電力中央研究所[正]佐藤 雄亮

■振動 / 14:55~16:25 / 宮森 保紀(北見工業大学)

- I-047 車両振動に対するWavelet適用の実験的検証/筑波大学[学]井上 潤・山本 亨輔
- I-048 破壊載荷実験をした5径間PC橋の固有振動特性の変化/愛媛大学[学]小林 巧・森 伸一郎
- I-049 環境外乱が橋梁の減衰特性に与える影響の統計的評価/山

- I-050 梨大学[学]太田 小春・竹谷 晃一・吉田 純司  
背面空洞の有無によるトンネルの固有振動モードに関する一考察／東京都大学[学]増田 啓太・関屋 英彦・丸山 収
- I-051 高弾性型炭素繊維シートを接着貼付けした鋼板の振動特性／長岡技術科学大学[学]岩田 龍也・宮下 剛・秀熊 佑哉
- I-052 床版取替工事を実施する橋梁(淀川大橋)の振動計測／舞鶴工業高等専門学校[正]玉田 和也・伊藤 安男
- I-053 鉄道高架橋の境界部の地震時相対変位の簡易推定手法／鉄道総合技術研究所[正]成田 顕次・徳永 宗正・曾我部 正道

#### ■橋梁測定／16:40～18:10／菅沼 久忠 (TTES)

- I-054 PC下路桁橋の振動計測データを利用した健全度診断結果に対する考察／日本構造橋梁研究所[正]小松 正貴・山田 達哉・谷口 賢斗
- I-055 画像解析技術を用いた斜張橋ケーブルの振動数測定／長大[正]有井 賢次・天羽 千佳・渡邊 学歩
- I-056 光てこを用いた橋梁の変形計測のための基礎的検討／東北工業大学[正]山田 真幸・大森 健広
- I-057 パイ型変位計を用いた鋼材ひずみ簡易計測手法の基礎的研究／日本橋梁[正]佐藤 寛幸・小西 日出幸・古市 亨
- I-058 加速度応答を利用した機械学習によるB-WIMの提案／山梨大学[学]森 淳輝・竹谷 晃一・高木 詩歩
- I-059 MEMS加速度センサを用いたBridge-Weigh-In-Motionの計測精度に関する検討／長大[正]虻川 高宏・三枝 賢斗・窪田 光作
- I-060 長期モニタリングによる鋼桁橋の動的応答特性に交通車両が与える影響／北見工業大学[学]吉中 正滋・小川 大智・宮森 保紀

#### I-2 (幸町北3号館 312講義室) / 9月4日(水)

#### ■構造同定／8:40～10:10／竹谷 晃一(山梨大学)

- I-184 構造同定と最適化計算による構造解析モデルの精緻化手法に関する検討／長崎大学[学]清水 誠人・西川 貴文・中村 聖三
- I-185 センシングデータを活用した斜張橋FEMモデルの構築と固有モードの検証／TTES [正]勝山 真規・菅沼 久忠・梅川 雄太郎
- I-186 灰色関連係数を用いた損傷検知手法に関する解析的検討／金沢大学[学]小野 凌平・深田 幸史・Ha Minh Tuan
- I-187 粒子群最適化に基づく複数車両の振動データを用いた車両・橋梁・路面パラメータ同定／筑波大学[学]村上 翔・山本 亨輔
- I-188 道路標識の振動応答解析モデルのパラメータ推定／東京理科大学[学]金子 丈一郎
- I-189 損傷にともなう振動特性変化の検知手法の検討／東京理科大学[学]灰原 尚正・佐伯 昌之
- I-190 実PC橋の載荷実験に基づく耐荷性能と振動特性の推移に関する研究／京都大学[学]近藤 洋佑・林 巖・大島 義信

#### ■非破壊評価／10:25～11:55

- I-191 深層学習とレーザー超音波可視化試験による欠陥の自動判定法／群馬大学[学]裏輪 里歩・波多野 雅彦・伊藤 司
- I-192 実橋鋼桁の疲労き裂検査への表面弾性波可視化技術の適用性の検討／京都大学[正]服部 篤史・山名 晋平・畠堀 貴秀
- I-193 センターステイロッドの合理的点検手法の検討／本州四国連絡高速道路[正]山本 大道・日高 裕司・角野 充
- I-194 フェーズドレイ超音波探傷を用いた閉口処理された疲労き裂の開閉口挙動の把握／岐阜大学[学]小原 健司・木下 幸治・納土 武久
- I-195 熱弾性応力計測に基づく溶接構造物の疲労き裂補修効果の検証／神戸大学[正]塩澤 大輝・有馬 敬育・溝上 善昭
- I-196 温度ギャップ検出赤外線サーモグラフィ法による非貫通亀裂の検出に及ぼす亀裂開口幅の影響／滋賀県立大学[正]和泉 遊以・土西 広幹・阪上 隆英
- I-197 温度ギャップ検出赤外線サーモグラフィ法による非貫通ビード亀裂の形状評価／滋賀県立大学[学]吉川 知秀・和泉 遊以・阪上 隆英
- I-198 構造部材破壊音判定におけるNNとSVMの比較／東京理科大学[学]和泉田 健夫・佐伯 昌之

#### I-2 (幸町北3号館 312講義室) / 9月5日(木)

#### ■橋梁一般(設計)(1)・安全性・信頼性／8:40～10:10／北原 武嗣(関東学院大学)

- I-291 比較的幅厚比の大きいSBHS400を用いた自由突出板の耐荷力に関する解析的研究／早稲田大学[学]傍島 広太郎・小野 潔・岡田 誠司

- I-292 橋梁用高降伏点鋼板(SBHS)を用いた鋼道橋設計の合理化／日本鉄鋼連盟[正]高木 優一・加藤 真志・松下 政弘
- I-293 Charpy Absorbed Energy of Cold Press-Bent Steel Plates Made of SBHS400／Waseda University [学] Nie Jing・Kitazume Daiki・Ono Kiyoshi
- I-294 位相最適化を利用した軽量鋼桁の設計と効果的な設計条件の検討／東京大学[学]石原 優一・長山 智則・蘇 迪
- I-295 FEAを用いた鋼桁橋の応答照査法に関する検討／阪神高速道路技術センター [正]赤松 伸祐・青木 康素
- I-296 道路橋における地震と劣化要因ごとによる複合被害発生の検討／中央大学[学]松尾 翔太・佐藤 尚次
- I-297 南海トラフ地震による強震動と津波を受ける道路ネットワークの信頼性・リスク・レジリエンス評価／早稲田大学[学]石橋 寛樹・秋山 充良・小島 貴之
- I-298 津波と地震の重畳現象の発生確率の検討／中央大学[学]志賀 典親・佐藤 尚次

#### ■橋梁一般(設計)(2)・構造計画／10:25～11:55／蘇 迪(東京大学)

- I-299 送り出し架設が可能な鋼道橋の一体化構造の検討／鉄道建設・運輸施設整備支援機構[正]中野 雄哉・横山 秀喜・南 邦明
- I-300 常磐自動車道(いわき中央IC～広野IC)4車線化事業における取組み報告／東日本高速道路[正]古谷 嘉康・中村 和己・鈴木 一輝
- I-301 Numerical Study on Mechanical Behavior of Intact Composite Twin I-Girder Bridges / WASEDA University [学] ZHANG YUXIANG
- I-302 箱断面における二軸応力状態の照査に関する解析的検討／JR九州コンサルタンツ[正]山下 健二・村上 昌彦・藤原 良憲
- I-303 ダブルデッキアーチ橋の構造検討／日本大学[学]高松 寛子・長澤 大次郎・鎌尾 彰司
- I-304 ダブルデッキアーチ橋の都市河川への適用検討／日本大学[正]長澤 大次郎・高松 寛子・鎌尾 彰司
- I-305 カンボジアにおける中国施工橋梁の特徴と設計上参考となる点の考察／国際建設技術協会[正]布施 光啓・保田 敬一・岩切 誠一郎
- I-306 合理的な載荷状態を考慮した活荷重による4径間長大吊橋の試設計／首都大学東京[正]野上 邦栄・岩下 慎吾・中村 一史

#### ■橋梁一般(設計・施工)／12:40～14:10／佐溝 純一(西日本高速道路)

- I-307 鋼桁で補強した鋼桁の載荷実験／日本橋梁建設協会[正]川東 龍則・春日井 俊博・前田 諭志
- I-308 水平補剛材を追加した鋼桁のせん断載荷実験／日本橋梁建設協会[正]前田 諭志・春日井 俊博・川東 龍則
- I-309 床版更新におけるFEM解析を用いた鋼桁橋の主桁設計に関する一検討／長大[正]青柳 竜二・中野 一也・古里 駿
- I-310 新設鋼ローゼ橋における耐震設計—上信越自動車道 太田切川橋—／東日本高速道路[正]松本 綾佳・西川 孝一・塩野 智也
- I-311 四車線化事業における新設鋼ローゼ橋の施工計画—上信越自動車道 太田切川橋—／東日本高速道路[正]西川 孝一・松本 綾佳・塩野 智也
- I-312 サンドイッチ工法により改築したダブルラケット型橋脚の構造詳細／横河ブリッジ[正]石部 智之・渡邊 秀貴・澤田 寛幸
- I-313 既設鋼製橋脚アンカー部のフーチング上面増厚による補強効果／JFEエンジニアリング[正]嘉指 敦・門田 徹・齋藤 隆
- I-314 都市部における2線3主桁の部分撤去時の構造検討／東日本旅客鉄道[正]高橋 真美・山口 慎・長谷川 信幸
- I-315 第1ボスボラス橋主ケーブル補強工事／IHIインフラシステム[正]杉村 誠・井谷 達哉

#### ■ダムの耐震／14:25～15:55／佐藤 信光(水資源機構)

- I-316 ダムゲートの時刻歴応答解析におけるモデルの簡易化に伴う応答の変化／電力中央研究所[正]府川 和樹・塩竈 裕三
- I-317 ローラゲート主桁変断面部のせん断耐力に関する実験的検討／電力中央研究所[正]塩竈 裕三
- I-318 鉄筋とポリマーセメントモルタルによって補強されたダムピアの耐震性能に関する解析的研究／九州大学[学]山崎 航希・玉井 宏樹・園田 佳巨
- I-319 静的地震力を用いた重力ダム堤頂洪水吐ビアの左右岸方向の耐震性能照査法／電力中央研究所[正]西内 達雄
- I-320 実測地震記録および解析による重力式ダムクレストゲート部動水圧の発生要因分析／水資源機構[正]藤田 将司・佐藤 信光・佐野 貴之
- I-321 ダム洪水吐ゲートに作用する地震時動水圧の算定方法に関する考察／東電設計[正]松本 陽介・相沢 成樹・鈴木 翔

- I-322 ダム洪水吐ゲートに作用する動水圧の算定方法の違いがゲートの発生応力に及ぼす影響の検討／センチュリテクノ [正]鈴木 翔・松本 陽介・相沢 成樹
- I-323 ダム洪水吐ゲートの動水圧の算定方法に関する比較検討／中部電力 [正]森下 和輝・亀谷 泰久・櫻井 友彰
- I-324 動水圧の算定方法がダム洪水吐ゲートの応答に与える影響の比較検討／構造計画研究所 [正]秦 逸平・櫻井 友彰・亀谷 泰久

■ダムの耐震(16:10~17:40) / 仲村 成貴 (日本大学)

- I-325 コンクリート表面遮水壁型ロックフィルダムの耐震性評価に関する基礎的研究(その1) / エイト日本技術開発 [正]藤田 亮一・大越 靖広・佐藤 英明
- I-326 コンクリート表面遮水壁型ロックフィルダムの耐震性評価に関する基礎的研究(その2) - 載荷試験の再現解析 - / エイト日本技術開発 [正]平松 大周・藤田 亮一・野谷 正明
- I-327 コンクリート表面遮水壁型ロックフィルダムの耐震性評価に関する基礎的研究(その3) - 二次元FEMモデルによる地震時挙動の予測に関する一考察 - / 大阪工業大学 [正]藤本 哲生・白川 拓哉・西澤 和也
- I-328 空虚時アーチダムの堤体・基礎岩盤に発生する地震時応力に対する堆砂の影響 / 弘前大学 [正]有賀 義明・松本 陽介・鈴木 翔
- I-329 システム同定を用いたダム堤体の振動特性の推定 / 国土技術政策総合研究所 [正]尾茂 淳平・佐藤 弘行・金銅 将史
- I-330 ステンレス鋼製パネルタンク内部の動水圧分布に着目した破損メカニズムの検討 / 愛知工業大学 [学]佐久間 真輝・鈴木 森晶・青木 大祐
- I-331 既存貯水槽における耐震性能向上のための制振装置の検討 / 中央大学 [正]小野 泰介・井田 剛史・平野 廣和
- I-332 スロッシング現象によるステンレスパネルタンクの損傷被害に関して / 宮城県庁 [正]遠田 豊・平野 廣和・佐藤 尚次
- I-333 熊本地震におけるステンレスパネルタンクの被害調査に関して / 中央大学 [正]平野 廣和・遠田 豊・竹本 純平

I-3 (幸町北3号館 314講義室) / 9月3日(火)

■橋梁の耐震(1) / 8:40~10:10 / 北原 武嗣 (関東学院大学)

- I-061 橋台背面地盤の変形を考慮した橋梁全体系の地震応答解析 / 大林組 [正]武田 篤史・西谷 朋晃・村西 信哉
- I-062 既設鋼単弦ローゼ橋の耐震性能評価に関する一考察 / 西日本高速道路 [正]崔 準ホ・成 炫禹・田崎 賢治
- I-063 2016年熊本地震における阿蘇大橋の破壊メカニズムの推定 / 東北大学 [学]細川 聡一・運上 茂樹
- I-064 2軸方向加振下での落橋防止ケーブルの効果について / 熊本高等専門学校 [正]岩坪 要・佐々木 睦・梶田 幸秀
- I-065 石積擁壁の有限要素法による耐震安定性の検討 / 新紀元総合コンサルタンツ [正]尹 元彪・小西 徹
- I-066 大阪府北部地震で被災したロッカー橋脚の損傷原因推定と復旧対策 / NEXCO西日本コンサルタンツ [正]李 首一・中谷 隆生・伊川 嘉昭
- I-067 曲げ耐力制御式鋼板巻立て工法におけるアンカー筋定着に関する検討 / 寒地土木研究所 [正]寺澤 貴裕・秋本 光雄・西 弘明
- I-068 巻立て補強した鉄筋コンクリート橋脚の限界状態評価に関する一考察 / 土木研究所 [正]宮田 秀太・澤田 守・中尾 尚史
- I-069 橋梁の制震化に用いるダイヤ・ロード式摩擦ダンパーの水没実験 / 青木あすなる建設 [学]波田 雅也・牛島 栄・蔵治 賢太郎

■橋梁の耐震(2) / 10:25~11:55 / 梶田 幸秀 (九州大学)

- I-070 シェル要素を用いた耐震解析の高度化に向けたプログラム開発 / 九州産業大学 [正]奥村 徹・野中 哲也・馬越 一也
- I-071 Pushover解析に基づく高精度な構造全体の安全性照査 / 地震工学研究開発センター [正]馬越 一也・奥村 徹・吉野 廣一
- I-072 シェル要素を用いた超大規模トラス橋モデルのPushover解析 / 名古屋工業大学 [学]森本 優美・野中 哲也・奥村 徹
- I-073 大型マルチ振動台を用いたレベル2地震動入力下のCFT化した鋼管集成橋脚による連続高架橋の挙動特性の検討 / 阪神高速道路 [正]小坂 崇・岡上 政史・関川 洋介
- I-074 マルチ振動台によるレベル2を超える地震動入力下のCFT化した鋼管集成橋脚による連続高架橋の耐震安全性の検討 / 名古屋工業大学 [学]初鹿 雄斗・後藤 芳顕・海老澤 健正
- I-075 静的繰り返し載荷実験によるコンクリート充填鋼管集成橋脚の地震時力学特性に関する研究 / 名古屋工業大学 [学]柴田 涼平・野中 哲也・後藤 芳顕

- I-076 碓氷第三橋梁の振動性状に関する研究(常時微動測定) / 前橋工科大学 [学]猪狩 千香子・杉山 友美・関 崇夫
- I-077 碓氷第三橋梁の振動性状に関する研究(振動モード) / 前橋工科大学 [学]杉山 友美・猪狩 千香子・関 崇夫
- I-078 橋軸直角方向へのずれ変形を考慮したベローズ型ダンパーの解析的検討 / 摂南大学 [正]田中 賢太郎・頭井 洋・松村 政秀

■橋梁の耐震(3) / 14:55~16:25 / 田中 賢太郎 (摂南大学)

- I-079 ランダム振動論に基づく不整形性地盤箇所非線形応答スペクトルの補正 / 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正]石川 太郎・坂井 公俊・室野 剛隆
- I-080 断面コア部にCFTを有するSRC柱の耐震性に関する実験的研究 / 宇都宮大学 [学]山口 敬也・野口 大智・藤倉 修一
- I-081 SM570鋼によるY型橋脚の耐震安全性の3次元照査 / JFEエンジニアリング [正]水野 雅之・後藤 芳顕・海老澤 健正
- I-082 情報の多寡に応じた効率的な橋りょう・高架橋のモデル推定手法 / 鉄道総合技術研究所 [正]小野寺 周・和田 一範・室野 剛隆
- I-083 動的解析による大阪モノレール車両の地震被災検証 / 大阪高速鉄道 [正]鳥牧 昭夫・新井 弘和
- I-084 3径間連続鋼斜張橋における各部材の限界状態に関する一考察 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正]石橋 健作・和崎 宏一・加藤 義則
- I-085 サイト増幅特性に基づく新幹線建設地点の標準L2地震動の適用性の判定 / 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正]朝長 光・青柳 広樹・坂井 公俊
- I-086 鋼製補剛箱形断面橋脚の延性き裂発生における簡易耐震照査法の精度向上に関する研究 / 名城大学 [学]田口 実季・藤江 渉・葛 漢彬
- I-087 シングル球面すべり支承を有する橋梁の活荷重時挙動に関する検討 / 宇都宮大学 [正]大藪 宏文・藤倉 修一・前嶋 菜摘

■橋梁の耐震・危機耐性 / 16:40~18:10 / 武田 篤史 (大林組)

- I-088 断層近傍における地震時の地盤変状が隣接構造間の衝突等の橋梁構造物の地震時挙動に及ぼす影響 / 山口大学 [正]渡邊 学歩・毛利 洵子・竹内 諒
- I-089 断層近傍における地震時の地盤変状が連続曲線高架橋の地震時応答に及ぼす影響 / 山口大学 [学]竹内 諒・渡邊 学歩・馬越 一也
- I-090 損傷箇所の制御を考慮して設計した積層ゴム支承のせん断試験 / 国土技術政策総合研究所 [正]西田 秀明・鈴木 慎也・星 隈 順一
- I-091 損傷制御型支承に用いるアンカーボルトのせん断載荷実験 / 土木研究所 [正]中尾 尚史・大住 道生
- I-092 支承部材の地震時落下防止対策に関する実験的検討 / 首都高速道路技術センター [正]張 広鋒・深山 大介・松原 拓朗
- I-093 高架橋の崩壊防止により危機耐性向上を図る自重補償構造の振動台試験 / 鉄道総合技術研究所 [正]豊岡 亮洋・布川 博一・室野 剛隆
- I-094 倒壊方向制御構造により危機耐性を向上させた鉄道ラーメン高架橋の振動台実験 / 鉄道総合技術研究所 [正]布川 博一・豊岡 亮洋・室野 剛隆
- I-095 既設鉄道ラーメン高架橋に対する自重補償機構の試設計 / 鉄道総合技術研究所 [正]伊藤 公二・土井 達也・豊岡 亮洋
- I-096 道路橋の震災損傷部材の実態調査 / 寒地土木研究所 [正]佐藤 京・西 弘明・秋本 光雄

I-3 (幸町北3号館 314講義室) / 9月4日(水)

■疲労(1) / 8:40~10:10 / 内田 大介 (法政大学)

- I-199 過積載車両の再配分シナリオが構造物の疲労損傷度と与える影響 / 名城大学 [学]峯重 瑞紀・小塩 達也
- I-200 疲労照査用活荷重に対する既設鋼桁橋の応力推定に関する検討 / 首都大学東京 [学]石川 諒太郎・村越 潤・岸 祐介
- I-201 交通荷重下での疲労損傷評価における周波数領域法のための基礎的検討 / 東京大学 [学]国吉 竜太・蘇 迪・長山 智則
- I-202 斜角を有する鋼鉄道橋箱桁の応力調査 / 西日本旅客鉄道 [正]幸田 真也・坂田 鷹起
- I-203 鋼桁橋面外ガセット溶接継手の疲労損傷位置の解析的検討 / 首都高速道路技術センター [正]大住 圭太・大川原 千明・岡本 亮
- I-204 詳細調査結果を用いた鋼床版ビード貫通型き裂の進展性分析 / 首都高速道路技術センター [正]平山 繁幸・菊地 俊明・入江 健夫
- I-205 専用断線ゲージを用いた疲労き裂進展の遠隔監視手法の検討 / 首都高速道路技術センター [正]齋藤 豪・安川 和利
- I-206 架設用溶接治具に起因する疲労き裂の対策および疲労寿命

の予測について／名古屋高速道路公社[正]林田 慈大・鷺見 高典・杉浦 裕幸  
I-207 鋼桁橋ウェブギャップ板に発生する疲労き裂対策方針の検討／首都高速道路技術センター [正]増井 隆・小林 明史・上坂 健一郎

■疲労(2) / 10:25~11:55 / 判治 剛(名古屋大学)

I-208 き裂部ボルト締めによるストップホールの疲労強度向上効果／関西大学[正]石川 敏之・清川 昇悟・中辻 亘  
I-209 下横構ガセットプレート溶接部に発生したき裂に対する疲労対策／首都高速道路技術センター [正]上坂 健一郎・森猛・時田 英夫  
I-210 情報板支柱の実物疲労試験システム構築と疲労耐久性向上に関する検討／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]小塚 正博・木下 幸治・村瀬 紘貴  
I-211 スタッドボルトと当て板接着併用継手の板曲げ疲労強度／関西大学[学]上田 宗・石川 敏之・ハツ元 仁  
I-212 支圧接合ボルトを用いた垂直補剛材補強と直近トラフリブへの影響／川田工業[正]金田 和樹・竹淵 敏郎・長坂 康史  
I-213 鋼床版垂直補剛材上端部当て板補強によるデッキートラフリブ溶接部への影響／芝浦工業大学[正]穴見 健吾・佐々木 沙織・竹淵 敏郎  
I-214 鋼床版垂直補剛材における上端カットによる疲労強度の向上効果／首都大学東京[学]松永 涼馬・内田 大介・村越 潤  
I-215 上端カットした鋼床版垂直補剛材の引張応力下における疲労強度／法政大学[正]内田 大介・村越 潤・松永 涼馬  
I-216 車両荷重を受けた補強用コンクリートの鋼床版疲労に対する効果の確認／中日本高速道路[正]喜多 雄士・牧田 通・小野 秀一

I-3 (幸町北3号館 314講義室) / 9月5日(木)

■疲労(3) / 8:40~10:10 / 平山 繁幸(首都高速道路)

I-334 鋼床版桁橋のブラケット控え材溶接部に生じた疲労き裂の発生と進展に及ぼすねじり影響／名城大学[学]早川 伯彦・葛 漢彬・王 益遜  
I-335 長寿命域における変動振幅荷重下の面外ガセット溶接継手の疲労強度／岐阜大学[正]木下 幸治・阪野 裕樹  
I-336 撤去された余部橋梁主桁溶接部の疲労挙動／関西大学[学]中出 裕也・坂野 昌弘・松本 健太郎  
I-337 繰返し塑性ひずみに伴う鋼材表面の微視的形狀変化と亀裂形成／東京工業大学[学]木村 優里・田村 洋・佐々木 栄一  
I-338 疲労き裂の進展に伴う溶接継手の残留応力再配分に関する実験的研究／名古屋大学[学]益田 裕太・判治 剛・館石 和雄  
I-339 溶接止端疲労特性を改善した応力非伝達型十字継手のルート疲労亀裂発生条件の検討／日本製鐵[正]島貫 広志・米澤 隆行・森 猛  
I-340 ソールプレート前面溶接部のルートき裂の再現／関西大学[正]平井 隆嗣・坂野 昌弘・Ichinose Hiroko  
I-341 樹脂充填による溶接ルート部の疲労強度向上効果／関西大学[学]玉利 仁・石川 敏之・廣畑 幹人  
I-342 低変態温度溶接材料を用いた片面すみ肉溶接継手の板曲げ疲労強度／名古屋大学[学]加納 俊・判治 剛・館石 和雄

■橋梁床版(1) / 10:25~11:55 / 久保 圭吾(宮地エンジニアリング)

I-343 コッター床版工法の試験施工報告(その1) ~試験施工による施工性の確認~／熊谷組[正]山本 忠典・岩本 陵平・櫻井 正之  
I-344 コッター床版工法の試験施工報告(その2) ~供用開始後のモニタリング結果~／熊谷組[正]巖谷 亮太・早矢仕 正尚・山田 義人  
I-345 角形鋼管を用いた軽量プレキャスト鋼コンクリート合成床版の輪荷重走行試験／清水建設[正]滝本 和志・田中 博一・大久保 宣人  
I-346 角形鋼管を用いた軽量鋼コンクリート合成床版の型枠剛性試験／日本ファブテック[正]大久保 宣人・山本 将士・滝本 和志  
I-347 被覆鉄筋を用いたプレキャストPC床版とUFC接合構造の輪荷重走行試験による疲労性能の検討／大林組[正]佐々木 一成・大場 誠通・岩城 孝之  
I-348 鋼トラス橋における床版取替の施工計画／西日本高速道路[正]有働 昌史・和田 吉憲・木下 幸典  
I-349 取替鋼床版と既設主桁の接合部の高力ボルト本数に関する検討／日本橋梁建設協会[正]林 暢彦・井口 進・小笠原 照夫  
I-350 高強度ねじ付きスタッドのずれ止め挙動に関する実験的研究／大阪市立大学[学]奥原 大貴・山口 隆司・吉田 賢二

■橋梁床版(2) / 12:40~14:10 / 田中 泰司(金沢工業大学)

I-351 プレキャストPC床版の輪荷重走行試験による押抜きせん断破壊状況／高速道路総合技術研究所[正]後藤 俊吾・長谷 俊彦・原田 拓也  
I-352 プレキャストPC床版の輪荷重走行試験に関する再現解析(1)／高速道路総合技術研究所[正]柴崎 晃・後藤 俊吾・楠川 菜津子  
I-353 プレキャストPC床版の輪荷重走行試験に関する再現解析(2)／法政大学[学]楠川 菜津子・藤山 知加子・柴崎 晃  
I-354 横梁を有する長支間現場打ちPC床版におけるプレストレスの検討／中日本高速道路[正]山口 岳思・廣門 公二・山田 貴男  
I-355 RC床版における水平ひび割れのメカニズム分析と鋼板接着の補強効果／法政大学[正]南波 謙太・藤山 知加子・青木 康素  
I-356 高強度高靱性緻密モルタルの床版上面不陸調整層への適用性能に関する実験研究／ものづくり大学[学]関 貴悠・大垣 賀津雄・中島 裕  
I-357 鋼床版SFRC舗装における接着剤接合部のせん断疲労強度特性／首都大学東京[学]松本 稔将・村越 潤・小野 秀一  
I-358 老朽化した鋼製排水溝改良工法の開発と実験報告／川田建設[正]鈴木 裕二・片島 大志・松下 昌司

■地中構造物・トンネルの耐震 / 14:25~15:55 / 梅林 福太郎

(オリエンタルコンサルタンツ)

I-359 地下構造物に適用する免震構造であるSaS免震の設計法の提案／大成建設[正]穴倉 佳浩・鈴木 猛康  
I-360 ボックスカルバート載荷実験の変形・損傷に対するFEM解析の追従性／東北電力[正]肥田 幸賢・山口 和英・伊藤 悟郎  
I-361 ボックスカルバート載荷実験の損傷に対するFEM損傷指標の適用性／大林組[正]永井 秀樹・山口 和英・伊藤 悟郎  
I-362 耐震性能の向上が必要な照明柱の抽出方法／横浜国立大学[学]長崎 亜弥美・藤野 陽三  
I-363 変位による損傷を受けた地中カルバートの地震作用に対する評価手法に関する一考察／大林組[正]原 朗・山口 和英・佐藤 達也  
I-364 ソリッド要素を用いた非線形有限要素解析によるRC壁のせん断耐力の検討／ナレッジフュージョン[正]福江 清久  
I-365 土粒子の慣性に起因するせん断抵抗の速度依存性に関する微視的考察／中電技術コンサルタント[正]竹本 幸士郎・澤田 純男・後藤 浩之  
I-366 動的水平載荷を受けて損傷した鉄筋コンクリート部材の崩壊挙動／電力中央研究所[正]宮川 義範

I-4 (幸町北3号館321講義室) / 9月3日(火)

■維持・管理(一般) / 8:40~10:10 / 長坂 康史(川田工業)

I-097 中央アジアの道路・橋梁維持管理に関する調査／苫小牧工業高等専門学校[正]松尾 優子・和田 隆宏・小幡 卓司  
I-098 橋梁床版水切り部材の密着性評価／IHI [正]岩本 達志・秋山 好広・佐藤 浩幸  
I-099 気象データを用いた多主桁板桁橋の結露評価／山口大学[学]今井 亮太・宮宗 哲也・田島 啓司  
I-100 AASHTO Load Ratingを活用した鋼板桁橋システムの安全性評価に関する2,3の考察／大阪市立大学[学]舟山 耕平・山口 隆司・有村 健太郎  
I-101 鋼床版上面の付着塩分除去による効果検証について／中日本高速道路[正]岡田 和弘・奥村 駿・橋本 結生  
I-102 落橋事故から見た鋼上部工の維持管理手法に関する一考察／川田テクノシステム[正]田巻 嘉彦・石井 喜代志・齋藤 道生  
I-103 送電鉄塔の劣化事象と振動特性の関係について／東電設計[正]栗原 幸也・辻 徳生・中村 秀治  
I-104 応力発光技術を用いたコンクリート橋のひび割れ進展挙動の定量評価に関する試験施工／西日本高速道路[正]福田 雅人・徐 超男・貝沼 重信  
I-105 鉄筋腐食率により劣化した部材のかぶりコンクリート剥落に関する基礎的研究／九州大学[学]島中 玲

■維持・管理(耐荷性能) / 10:25~11:55 / 石川 敏之(関西大学)

I-106 リープ硬さ試験による熱履歴付与鋼材の機械的性質推定に関する検討／大阪大学[学]伊藤 隼・廣畑 幹人  
I-107 劣化したゴムダンパーの挙動に関する基礎的検討／名古屋工業大学[学]澤田 慎太郎・永田 和寿  
I-108 衝突による残留水平変位が鋼桁の力学的挙動に及ぼす影響／九州工業大学[学]天本 拓也・ロテ ギリシェン・山口 栄輝  
I-109 リベット継手に生じる残留応力の特徴／大阪大学[学]末廣 大地・廣畑 幹人・中山 太士

- I-110 著しく腐食した鋼リベット道路橋桁端部の圧縮耐力に関する検討／首都大学東京[学]石川 貴人・村越 潤・野上 邦栄
- I-111 両端にガセットプレート有するステンレス長柱の耐力に関する実験的研究／早稲田大学[学]松尾 淳史・スタビット シラナー・澁谷 敦
- I-112 既設鋼橋の耐力評価のための荷重に関する一考察／中日本高速道路[正]池端 信哉・趙 清・仙田 寛隆
- I-113 当て板高力ボルト補修された断面欠損鋼板の分担軸力の推定／関西大学[学]八重垣 諒太・石川 敏之
- I-114 腐食損傷部が当て板補修部の荷重伝達に関する検討／名古屋工業大学[学]飯田 将成・永田 和寿・小川 和花

■維持・管理(点検モニタリング) / 14:55~16:25 / 新田 恭士 (土木研究所)

- I-115 汎用品を活用した橋梁点検方法の開発／南伸[正]久米 仁司
- I-116 点検ロボットの活用を考慮した横構のない鋼桁構造及び添架物配置の提案／橋梁調査会[正]吉田 好孝・石井 豊・新田 恭士
- I-117 多視点画像解析を用いた橋梁の3Dモデル化の精度検証に関する研究／宮崎大学[学]小川 裕祺・森田 千尋・山根 誠一
- I-118 赤外線サーモグラフィによるコンクリート剥落危険予知／東京都市大学[正]小西 拓洋・クレリ ムゲ・平野 秀一
- I-119 繰り返し実験による速度-SSMAのMahalanobis距離を用いた橋梁点検手法の検討／筑波大学[学]高橋 悠太・井上 潤・山本 亨輔
- I-120 腐食した鋼材表面における形状計測間隔の設定に関する研究／山口大学[学]川島 将太・田島 啓司・麻生 稔彦
- I-121 明石海峡大橋の動態観測による20年間の形状管理／本州四国連絡高速道路[正]永瀬 繁幸・杉町 直明
- I-122 常時微動モニタリングによる鉄道橋の洗掘評価に関する検討／京都大学[学]吉留 一博・金 哲佑・五井 良直
- I-123 舗装路面のスクリーニング画像計測装置の開発とその分析手法の構築／山梨大学[学]有賀 和貴・望月 野亜・吉田 純司

■維持・管理(測定) / 16:40~18:10 / 大島 義信(土木研究所)

- I-124 橋梁たわみの簡易照査方法に関する一考察／TTES [正]比山 義郎・木下 幸治・石塚 敬之
- I-125 加速度計測に基づく橋梁たわみ推定の高精度化と実橋梁における検証／東京大学[学]李 相健・長山 智則・西尾 真由子
- I-126 加速度センサ1台のみを用いた簡易な橋梁の変位応答の算出／東京都市大学[学]森近 翔伍・関屋 英彦・丸山 收
- I-127 動画解析を利用した簡易型キャリブレーションによるB-WIMの実験的検討／山梨大学[正]竹谷 晃一・吉田 純司
- I-128 吊橋主ケーブル断面温度の推定法と補剛桁標高への影響／アサノ大成基礎エンジニアリング[正]梅本 幸男
- I-129 K値ゲージを用いた疲労き裂深さの同定／東京都市大学[学]曾場 知世・関屋 英彦・森近 翔伍
- I-130 鋼製フィンガージョイント榫下面ひずみによる活荷重実態の把握／西日本高速道路エンジニアリング関西[正]石原 佳典・上田 憲寿・和田 宏之

I-4 (幸町北3号館 321講義室) / 9月4日(水)

■基礎の耐震(1) / 8:40~10:10 / 黒田 武大(鹿島建設)

- I-217 ケーソン基礎に対する入力損失効果の簡易評価法の適用性／鉄道総合技術研究所[正]土井 達也・押田 直之・山田 聖治
- I-218 杭基礎における有効入力係数の増幅条件に関する検討／鉄道総合技術研究所[正]押田 直之・土井 達也・山田 聖治
- I-219 液状化地盤における橋台杭基礎に作用する土圧のモデル化と検証解析(その1 模型地盤の液状化強度曲線の同定) / 土木研究所[正]谷本 俊輔・楊 勇・河口 大輔
- I-220 液状化地盤における橋台杭基礎に作用する土圧のモデル化と検証解析(その2 杭の作用土圧のモデル化) / 土木研究所[正]楊 勇・谷本 俊輔・河口 大輔
- I-221 液状化地盤における橋台杭基礎に作用する土圧のモデル化と検証解析(その3 検証解析) / 土木研究所[正]河口 大輔・谷本 俊輔・楊 勇
- I-222 杭基礎を有する球形貯槽の3次元有効応力解析による耐震性検討／高圧ガス保安協会[正]木全 宏之・小山田 賢治・大野 卓志
- I-223 3次元FEM解析による断層上における基礎構造物の損傷評価／西日本技術開発[正]青井 克志・藤川 祥
- I-224 斜π橋の地震応答に及ぼす斜材背面地盤条件の影響に関する遠心模型実験／大林組[正]樋口 俊一・武田 篤史・西谷 朋晃

■基礎の耐震(2) / 10:25~11:55 / 宮川 義範(電力中央研究所)

- I-225 損傷抑制型結合方式を用いた杭基礎構造の地震時挙動その

- 1 静的非線形解析／JR東海[正]岩田 秀治・鈴木 亨・高橋 佑斗
- I-226 損傷抑制型結合方式を用いた杭基礎構造の地震時挙動その2 模型RC杭を用いた静的載荷実験／鉄道総合技術研究所[正]村田 和哉・佐名川 太亮・岩田 秀治
- I-227 損傷抑制型結合方式を用いた杭基礎構造の地震時挙動その3 模型振動実験の再現解析／鉄道総合技術研究所[正]佐名川 太亮・村田 和哉・岩田 秀治
- I-228 杭頭部被災復旧時の補修法の検討／東海旅客鉄道[正]高橋 佑斗・岩田 秀治・鈴木 亨
- I-229 熊本地震により損傷したフーチングの破壊メカニズム推定に関する実験的検討／高速道路総合技術研究所[正]西谷 朋晃・長谷 俊彦・李 首一
- I-230 延性破壊解析における損傷進展エネルギーの簡易算出法の一般性に関する一検討／名城大学[学]吉田 聡一郎・葛 漢彬・藤江 渉
- I-231 既設杭基礎の合理的な補強工法に関する解析的検討／土木研究所[正]吉田 英二・増田 隆宏・楊 勇
- I-232 弾塑性FEM解析による既設ケーソン基礎のレベル2地震時損傷度評価／大日本コンサルタント[正]武田 龍國・吉岡 勉・伊藤 裕章

I-4 (幸町北3号館 321講義室) / 9月5日(木)

■維持・管理(環境) / 8:40~10:10 / 永田 和寿(名古屋工業大学)

- I-367 INVESTIGATION OF DEW CONDENSATION ENVIRONMENT OF A BRIDGE IN MOUNTAINOUS AREA / 名古屋工業大学[学] Rasoli Zabihullah・Nagata Kazutoshi・Matsuoka Yuka
- I-368 気象データを用いた飛来塩分量の空間分布予測／松江工業高等専門学校[正]大屋 誠・武邊 勝道・広瀬 望
- I-369 数値モデルによる大気中の海塩粒子濃度の広域予測とその精度検証／松江工業高等専門学校[正]広瀬 望・武邊 勝道・大屋 誠
- I-370 ワッペン式曝露試験から見た松江高専屋上の腐食環境／松江工業高等専門学校[正]武邊 勝道・安食 正太・大屋 誠
- I-371 海塩粒子と凍結防止剤の鋼桁部への飛来特性に関する検討／長岡技術科学大学[学]金田 祐樹・岩崎 英治・中嶋 龍一朗
- I-372 大気環境における普通鋼板と耐候性鋼板の腐食表面性状の空間統計数値シミュレーション／九州大学[学]宮崎 泰樹・貝沼 重信・竹田 智紀
- I-373 単独橋に設置した付加部材による凍結防止剤飛散特性の変化／京都大学[学]小池 宏之進・野口 恭平・徳増 秀俊
- I-374 一様流中でのLESを用いた正方形角柱まわりの塩分粒子飛散解析／京都大学[学]津田 悠希・野口 恭平・坪倉 佑太
- I-375 数値流体解析によるドライガゼ法の塩分捕集効率の検討／京都大学[学]坪倉 佑太・野口 恭平・八木 知己

■維持・管理(腐食) / 10:25~11:55 / 今井 篤実(日鉄防食)

- I-376 近接した塗膜傷間の乾湿繰り返し環境における鋼材腐食の電気化学機構に関する基礎的研究／九州大学[学]長谷川 昂志・貝沼 重信・樋口 亮
- I-377 滞水環境における4つの塗膜傷間の鋼材腐食の電気化学機構に関する基礎的研究／九州大学[学]樋口 亮・貝沼 重信・長谷川 昂志
- I-378 地際腐食センサの露出部と浸漬部の面積比が気液界面近傍のマクロセル腐食に及ぼす影響／九州大学[学]孫 曉彤・楊 沐野・貝沼 重信
- I-379 電気抵抗法を用いたコンクリート埋設アンカーボルトの腐食減肉計測技術／琉球大学[正]淵脇 秀晃・下里 哲弘・田井 政行
- I-380 日本海岸地域における夏期の気象外乱と腐食応答の関係／福井県工業技術センター [正]前田 健児・鈴木 啓悟
- I-381 球状黒鉛鑄鉄の大気暴露試験とさびの評価／日之出水道機器[正]土手 一朗・桑原 裕樹・椎本 圭一
- I-382 Sn添加耐食鋼の沖縄海岸部における5年間の曝露試験結果／日本製鉄[正]菅江 清信・加藤 祐介・上村 隆之
- I-383 3年間大気暴露したステンレス鋼と炭素鋼の接合部における腐食表面性状／長岡工業高等専門学校[学]佐藤 龍輝・西脇 天太・宮崎 靖大
- I-384 残存塩分量に着目したシリコンの防食効果に関する研究／名古屋工業大学[学]長谷川 陽平・永田 和寿・杉浦 邦征

■維持・管理(耐候性鋼) / 12:40~14:10 / 楊 沐野(九州大学大学院)

- I-385 さび安定化補助処理された耐候性鋼橋梁についての一考察／土木研究センター [正]三浦 正純
- I-386 無塗装耐候性鋼継続使用処理法に関する基礎試験3年目結果／日鉄防食[正]石田 和生・落部 圭史・今井 篤実

- I-387 凍結防止剤の影響を受けた耐候性鋼橋梁の事前調査を踏まえた補修計画の検討/日鉄防食[正]松本 洋明・落部 圭史・今井 篤実
- I-388 島根県内耐候性鋼橋梁における水洗レス工法試験施工3年経過調査/日鉄防食[正]落部 圭史・松本 洋明・今井 篤実
- I-389 無塗装耐候性鋼橋梁における部分補修塗装後の約9年経年調査結果/日鉄防食[正]今井 篤実・佐野 大樹・落部 圭史
- I-390 耐候性鋼橋梁のはく落さびに関する考察/加納橋梁技術事務所[正]加納 勇・森田 千尋・中島 和俊
- I-391 セロテープ試験による耐候性鋼材上のさび評価の高度化に関する検討/山口大学[学]時枝 祐仁・田島 啓司・麻生 稔彦
- I-392 3Dスキャナーを用いた腐食した耐候性鋼材の板厚測定について/日本橋梁建設協会[正]川村 弘昌・鈴木 克弥・新村 稔
- I-393 3次元計測装置を用いた耐候性鋼橋梁のさび外観評価手法の一提案/横河ブリッジホールディングス[正]荒川 淳平・新村 稔・橋本 国太郎

■維持・管理(鋼索地調整) /14:25~15:55/塚本 成昭(阪神高速技術)

- I-394 塗膜剥離の支配的要因について/大日本塗料[正]山内 健一郎・堀 誠・秋田 昌紀
- I-395 タールエポキシ樹脂塗装への塗膜剥離剤の適用性検討/中部電力[正]森田 堅次・奥田 康三・上松 泰介
- I-396 加熱による鋼橋高力ボルト継手部の防食塗膜剥離施工法の提案/大阪大学[正]廣畑 幹人・豊嶋 大輝・北根 安雄
- I-397 塗膜剥離用高周波誘導加熱のシミュレーションモデルの構築/大阪大学[学]桐畑 光生・廣畑 幹人・小西 日出幸
- I-398 熔融アルミナの使用繰返し回数が鋼索地の表面性状と研削材残留に及ぼす影響/九州大学[学]キム アラン・貝沼 重信・池田 龍哉
- I-399 腐食環境に架設された鋼鉄道橋のプラスト施工試験/西日本旅客鉄道[正]坂田 鷹起・長沼 洋一・坂本 達朗
- I-400 高温加熱による腐食生成物除去方法の検討/鉄道総合技術研究所[正]坂本 達朗・鈴木 隼人
- I-401 鋼鉄道橋に対するプラストの施工性評価/鉄道総合技術研究所[正]鈴木 慧・坂本 達朗・鈴木 隼人

■維持・管理(防食) /16:10~17:40/鈴木 啓悟(福井大学)

- I-402 大気犠牲陽極防食で使用した架橋型アクリレート繊維シートの吸水・保水性がその防食電流に及ぼす影響評価/九州大学[学]竹田 智紀・貝沼 重信・山下 和也
- I-403 腐食環境の相違が鋼材の大気犠牲陽極防食の効果に及ぼす影響/九州大学[学]飯尾 翔磨・貝沼 重信・竹田 智紀
- I-404 人工海水を用いた大気暴露試験によるZn-Al溶射鋼の腐食劣化に関する研究/宮崎大学[学]白井 敬大・中野 敦・森田 千尋
- I-405 東南アジアの大気環境下におけるAl-Mg溶射皮膜の防食性能に関する検討/川金コアテック[正]姫野 岳彦・Hoang Long・松村 政秀
- I-406 寒冷・飛来塩環境におけるAl-5%Mg合金溶射と重防食塗装の重ね部の耐食・防食性に関する基礎的研究/九州大学[学]劉 少博・貝沼 重信・楊 沐野
- I-407 熔融アルミニウムめっきのコンクリート接触部における腐食挙動に関する基礎的検討/九州大学[学]山下 和也・貝沼 重信・石原 修二
- I-408 複数の金属溶射工法で防食された橋梁群の経年変化調査/福岡北九州高速道路公社[正]二村 大輔・香川 祥大・三浦 正純
- I-409 新規開発しためっき塗料の適用性評価/大日本塗料 [正]尾田 光・畑野 剛志・桑原 幹雄

I-5 (幸町北3号館 322講義室) /9月3日(火)

■診断・補修・補強(1) /8:40~10:10/奥山 雄介

- (長野工業高等専門学校)
- I-131 CFRP板接着工法における接着剤厚さが断面欠損した鋼圧縮部材の耐荷力に及ぼす影響/首都高速道路技術センター[正]小林 明史・増井 隆・上條 崇
- I-132 一面せん断接着継手試験による低弾性接着剤の破壊形式と接着強度の評価/首都大学東京[学]今井 貴也・タイ ウィサル・中村 一史
- I-133 CFRP板接着工法の設計及び施工試験の概要/首都高速道路[正]細井 雄介・増井 隆・中村 一史
- I-134 鋼製橋脚支点直下ダイヤフラムに対する接着剤を用いた当板補強効果の検証/日本エンジニアリング[正]稲葉 圭亮・政門 哲夫・磯部 龍太郎
- I-135 鋼製橋脚支点直下ダイヤフラムに対する接着剤を用いた当

- 板補強工法の施工概要/首都高速道路[正]星名 浩人・磯部 龍太郎・政門 哲夫
- I-136 マトリックス樹脂の影響を考慮したCFRP接着鋼部材のエネルギー解放率/関西大学[学]水谷 壮志・石川 敏之・北根 安雄
- I-137 炭素繊維シート接着により補強された鋼製円管の耐荷力に関する実験的研究/日鉄ケミカル&マテリアル[正]秀熊 佑哉・垣尾 道夫・奥山 雄介
- I-138 孔食を有する鋼製円管の炭素繊維シート補修に関する検討/日鉄ケミカル&マテリアル[正]西野 晶弘・秀熊 佑哉・垣尾 道夫
- I-139 トラス橋下弦材格点ガセットプレート腐食部のCFRPによる補修工法に関する実験研究/高速道路総合技術研究所 [正]原田 拓也・長谷 俊彦・大垣 賀津雄

■診断・補修・補強(2) /10:25~11:55/増井 隆(首都高速道路)

- I-140 一軸引張を受けるCFRPシートが接着された鋼板の非線形解析に関する研究/長岡技術科学大学[学] PHAM NGOCVINH・DANIEL RODRIGUEZ AMATON・宮下 剛
- I-141 断面欠損した鋼桁端部のCFRP接着による補強効果の解析的検討/三井住友建設[正]トゥワン ニャムパヤル・タイ ウィサル・中村 一史
- I-142 断面欠損した鋼板にCFRPが接着された部材の圧縮特性に関する検討/首都大学東京[正]中村 一史・松山 晃大・坪川 毅彦
- I-143 セパレータが積層された炭素繊維シートによる鋼桁の補強効果の確認実験/浅沼組[正]森山 保彦・松島 太司・青木 康素
- I-144 補剛材の溶接継手近傍に断面欠損を有する鋼部材のCFRP接着による曲げ耐力の回復/首都大学東京[学]西岡 裕次郎・中村 一史・坪川 毅彦
- I-145 炭素繊維シートの真空含浸による非荷重伝達型十字溶接継手の補強について/首都大学東京[学]小沢 拓弥・タイ ウィサル・中村 一史
- I-146 CFRP補剛材を用いた鋼桁端部の補強効果に関する実験的検討/東レ[正]松井 孝洋・古田 大介・中村 一史
- I-147 変形を有した鋼部材に対する炭素繊維シート接着工法の適用に関する検討/長野工業高等専門学校[正]奥山 雄介・宮下 剛・秀熊 佑哉
- I-148 橋梁用壁高欄における通信・電気設備配管用FRP製ハンドホルルの開発/高田機工[正]山田 貴男・川尻 克利・山口 岳思

■診断・補修・補強(3) /14:55~16:25/北根 安雄(京都大学)

- I-149 長崎県瀬戸中央橋における10年間のワッペン式暴露試験(その1)/土木研究センター [正]安波 博道・中島 和俊・酒井 公大
- I-150 長崎県瀬戸中央橋における10年間のワッペン式暴露試験(その2)/土木研究センター [正]中島 和俊・安波 博道・三浦 正純
- I-151 耐候性鋼橋梁のさびサンプルを用いた点検手法と対処法の一提案/横河ブリッジ[正]鈴木 克弥・石本 圭一・石原 一伸
- I-152 耐久性の高い塗替え塗装における素地調整について/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]山田 健太郎・山田 翔平
- I-153 腐食した実吊橋ケーブルの腐食評価基準の検討/岐阜大学[正]宮地 一裕・木下 幸治・畑佐 陽祐
- I-154 水中部における鋼製橋脚の腐食損傷実態調査/日本エンジニアリング[正]青木 智弘・政門 哲夫・平野 秀一
- I-155 水中部における鋼製橋脚の腐食損傷度に応じた対策方針の検討/首都高速道路[正]中溝 翔・平野 秀一・政門 哲夫
- I-156 水中における鋼製橋脚の修景補修検討/首都高速道路 [正]青木 貴之・磯部 龍太郎・政門 哲夫

■診断・補修・補強(4) /16:40~18:10/小西 拓洋(東京都市大学)

- I-157 鋼トラス橋の端横桁での仮支持による支承取替え復旧作業1/北武コンサルタント[正]細川 真利・坂本 智明・阿部 淳一
- I-158 鋼トラス橋の端横桁での仮支持による支承取替え復旧作業2/北武コンサルタント[正]阿部 淳一・坂本 智明・細川 真利
- I-159 腐食切れの生じたトラス橋斜材の健全性評価に関する数値解析的検討/長岡技術科学大学[学]山本 寧音・岩崎 英治
- I-160 長大トラス橋のリダンダンシー向上に関する研究/山口大学[学]石黒 博和・田島 啓司・麻生 稔彦
- I-161 諸元推定の不確実性を考慮した支点追加補強効果の評価/大阪大学[学]篠崎 秀太・松岡 弘大・貝戸 清之
- I-162 強制変形を受ける部材の補強設計に関する一考察/建設ブ

- I-163 ロジェクトセンター [正]筒井 光男・水田 洋司  
Uリブ横リブ交差部の疲労き裂に対する下面補強工法に関する解析的検討/大阪市立大学[学]本多 克行・山口 隆司
- I-164 桁端部が腐食した鋼桁橋の耐力に関する解析/首都高速道路技術センター [正]上條 崇・小林 明史・平野 秀一
- I-165 UFCによる鋼鉄道橋のバックルプレート上面補修について/西日本旅客鉄道[正]福本 守・橋本 雅行・三田村 浩

I-5 (幸町北3号館 322講義室) / 9月4日(水)

■免震構造・デバイス(1) / 8:40~10:10 / 豊岡 亮洋(鉄道総合技術研究所)

- I-233 直列ダンパーの実時間ハイブリッド実験の開発/埼玉大学[学]秋池 佑香・党 紀・山崎 信宏
- I-234 実時間ハイブリッド実験による直列ダンパーの性能検証/日本鋼造[正]山崎 信宏・柴谷 優太・党 紀
- I-235 損傷制御を目的とした橋軸直角方向に設置する摩擦ダンパーの開発/首都高速道路[正]山本 一貴・蔵治 賢太郎・松原 拓朗
- I-236 損傷制御を目的とした摩擦ダンパーの地震応答特性/首都高速道路技術センター [正]右高 裕二・松原 拓朗・久保田 成是
- I-237 橋梁上部構造の挙動に追従する横変位摩擦ダンパーの静的載荷実験/青木あすなる建設[正]木村 浩之・蔵治 賢太郎・右高 裕二
- I-238 制震化したラーメン橋脚のハイブリッド実験による損傷推定の検証/名城大学[学]川上 峻幸・渡辺 孝一
- I-239 ダブル球面すべり支承を用いた免震橋の地震時挙動に関する解析的研究/宇都宮大学[学]高橋 健太郎・藤倉 修一・中島 章典
- I-240 履歴型制震ダンパーの累積塑性変形CIDと累積疲労損傷度D—相互比較と載荷プログラム規定>Loading protocol) / 名城大学総合研究所[正]宇佐美 勉
- I-241 反重力すべり支承の応答に対する橋梁上部工の離散化および支間構成比率の影響/阪神高速技術[正]佐藤 知明・二本 太郎・宮崎 貞義

■免震構造・デバイス(2) / 10:25~11:55 / 永田 聖二(電力中央研究所)

- I-242 ゴム支承の材料・構造特性に関する実験及び解析的研究/長崎大学[学]東 哲平・松田 浩・山口 浩平
- I-243 橋梁用免震ゴムの多軸力学特性の把握/山梨大学[学]成田 廣道・吉田 純司・竹谷 晃一
- I-244 FEMによる橋梁用ゴム支承内部の応力分布解析/ブリヂストン[正]丸山 健司・稲荷 優太郎・神田 智之
- I-245 高減衰ゴム支承のひずみ量と面圧の違いによる温度依存性の実験的検討/北見工業大学[正]齊藤 剛彦・中村 保之・山崎 信宏
- I-246 極低温下における超高減衰ゴム支承の性能評価試験/高速道路総合技術研究所[正]稲荷 優太郎・今井 隆
- I-247 ゴム支承のオゾン劣化による耐久性に関する研究/土木研究所[正]余野 智哉・横山 朋弘・大住 道生
- I-248 積層ゴム支承の接着層の耐久性に関する事例研究/構造物メンテナンス研究センター [正]大住 道生・余野 智哉
- I-249 地震時における免震建物の衝撃緩衝装置の力学特性に関する解析的検討/山梨大学[学]清水 裕介・吉田 純司・山田 健也
- I-250 鉄道橋用積層ゴム支承の鉛直荷重支持性能に関する設計・品質管理手法の現状整理/オイレス工業[正]小南 雄一郎・南 邦明・横山 秀喜

I-5 (幸町北3号館 322講義室) / 9月5日(木)

■継手(1) / 8:40~10:10 / 青木 康素(阪神高速道路)

- I-410 一次締め24時間後の本締め施工における継手形式および板厚の影響/瀧上工業[正]天野 貴文・横山 秀喜・南 邦明
- I-411 高力六角ボルトF10T (W)(M22)のトルク係数値/横河ブリッジ[正]宮井 大輔・南 邦明・遠藤 輝好
- I-412 高力六角ボルトF10T (W)の機械的性質/川田工業[正]藤野 大地・南 邦明・小峰 翔一
- I-413 ナット回転法における一次締めによるボルト導入軸力について/東京都市大学[正]白旗 弘実・南 邦明・宮井 大輔
- I-414 鋼橋架設現場における高力ボルトS10TとF10Tの作業性の比較/巴コーポレーション[正]遠藤 輝好・南 邦明・小峰 翔一
- I-415 溶融亜鉛めっき高力ボルトF8Tの特性/日本ファブテック[正]小峰 翔一・南 邦明・遠藤 輝好
- I-416 溶射を施したフィラープレートに有するボルト継手の導入軸力試験/鉄道総合技術研究所[正]齊藤 雅充・南 邦明・横山 秀喜

- I-417 溶射を施したフィラープレートに有するボルト継手のすべり耐力試験/鉄道建設・運輸施設整備支援機構[正]横山 秀喜・南 邦明・齊藤 雅充

■継手(2) / 10:25~11:55 / 佐藤 歩(首都高速道路)

- I-418 錆促進剤を塗布した高力ボルト摩擦接合継手における長期屋外曝露後のすべり試験/駒井ハルテック[正]吉岡 夏樹・本多 克行・山口 隆司
- I-419 摩擦処理面に応じた変位量によるすべり判定値の提案/鉄道・運輸機構[正]南 邦明・田村 洋・白旗 弘実
- I-420 高力ボルト摩擦接合継手のすべり後の荷重低下を再現する簡易的なFEM解析手法の一提案/九州工業大学[正]高井 俊和・森山 仁志・山口 隆司
- I-421 高力ボルト摩擦接合継手の圧縮荷重下の耐荷性能に与える鋼材強度の影響/東京工業大学[学]平尾 賢生・佐々木 栄一・田村 洋
- I-422 母板表裏面で接触面仕様が異なる高力ボルト継手の適用性/横浜国立大学[正]田村 洋・南 邦明・内田 大介
- I-423 母板と連結板で接触面仕様が異なる高力ボルト継手の適用性/長大[正]茂呂 充・田村 洋・南 邦明
- I-424 拡大孔・長孔を有する高力ボルト摩擦接合継手の板厚と材質がすべり係数に及ぼす影響/三井E&S鉄構エンジニアリング[正]濱 達矢・石井 一騎・内田 大介
- I-425 拡大孔・長孔を有する高力ボルト摩擦接合継手の拡大座金によるすべり係数の改善/三井E&S鉄構エンジニアリング[正]石井 一騎・濱 達矢・内田 大介

■継手(3) / 12:40~14:10 / 上仙 靖(土木研究所)

- I-426 間接連結を適用したフィラーを有する高力ボルト摩擦接合継手のすべりおよびすべり後挙動に関する実験的研究/大阪市立大学[学]古財 千寿・山口 隆司・高井 俊和
- I-427 鋳鉄床版モジュール接合部に適用した高力ボルト引張接合継手の実験的検討/大阪市立大学[学]廣澤 直人・山口 隆司・飛永 浩伸
- I-428 接合面にテーバーを有する高力ボルト摩擦接合継手の力学的挙動に関する実験的研究/大阪市立大学[学]山本 佑大・森山 仁志・山口 隆司
- I-429 鋳鉄床版モジュール-主桁間接合におけるテーバーつき高力ボルト摩擦接合継手の力学的挙動および合成効果の検討/大阪市立大学[学]白井 悠吾・山口 隆司・飛永 浩伸
- I-430 既設耐候性鋼橋におけるさびの介在する高力ボルト摩擦接合継手の耐久性/復建エンジニアリング[正]秋山 慎一郎・平野 雄大・小林 裕介
- I-431 高力ボルト摩擦接合継手の連結板減肉とすべり耐力評価に関する解析的検討/川田工業[学]大城 泰樹・田井 政行・下里 哲弘
- I-432 減肉したトルシア形高力ボルトの残存軸力特性に関する解析的検討/琉球大学[正]田井 政行・川添 優人・長嶺 由智
- I-433 接着剤と高力ボルト摩擦接合を併用した継手の力学的挙動に関する実験的研究/大阪市立大学[学]藤本 高志・山口 隆司・青木 康素

■継手(4) / 14:25~15:55 / 南 邦明(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- I-434 片面施工された高力ボルト摩擦接合当て板の力学的挙動に関する基礎的研究/大阪市立大学[学]神野 巧矢・山口 隆司・小笠原 照夫
- I-435 高力片面施工ボルトの開発/ポップリベット・ファスナー[正]武田 淳・鏑溝 国男・青木 康素
- I-436 高力片面施工ボルトを用いたUリブ鋼床版の下面補修・補強に関する実験的研究/阪神高速道路[正]青木 康素・郎宇・山口 隆司
- I-437 高力片面施工ボルトを用いた一面摩擦接合継手のすべり試験/大阪市立大学[学]郎宇・山口 隆司・青木 康素
- I-438 高力スタッドボルトを用いた一面当て板補強の応力性状に関する解析的検討/日本ファブテック[正]彭 雪・奥村 学・山本 佑大
- I-439 溶接ルートを起点とする疲労き裂に対するストップホールの影響/瀧上工業[正]櫻井 勇太・木下 幸治・穴見 健吾
- I-440 当て板補修された疲労き裂ストップホールにおけるボルト締め効果/横河ブリッジ[正]清川 昇悟・判治 剛・清水 優
- I-441 建設後26年経過した実橋から採取した現場継手部の高力ボルトのX線による応力測定/瀧上工業[正]松村 寿男・櫻井 勇太・内山 宗久
- I-442 主桁および連結板の断面構成が桁接合部のモーメント分担率に及ぼす影響/大阪市立大学[学]佐倉 亮・山口 隆司・青木 康素

■溶接・接合 / 16:10~17:40 / 一宮 充(ワイ・シー・イー)

- I-443 高湿度環境下の溶接施行における予熱温度が拡散性水素量および溶接金属硬さに及ぼす影響/エム・エムブリッジ

- I-444 [正]鈴木 俊光・工藤 祐琢・廣畑 幹人  
L型形状(L継手)とした現場溶接の施工試験/川田工業
- I-445 [正]大野 克紀・森井 茂幸・南 邦明  
改良補強板により縦継ぎをした鋼矢板の曲げ性能検証/日本製鉄[正] 柳山 嵩・中山 裕章・北濱 雅司
- I-446 鋼道路橋に対する高機能鋼材の適用性検討/土木研究所  
[正]村井 啓太・澁谷 敦・大谷 康史
- I-447 ステンレス鋼と炭素鋼の異材摩擦接合継手に関する実験的研究/土木研究所[正]澁谷 敦・村井 啓太・志村 保美
- I-448 エンドプレート継手を用いた仮橋の現場計測/駒井ハル

- I-449 テック[正]岑山 友紀・杉本 悠真・杉田 圭哉  
鋼板腹板に設置された水平補剛リブの荷重分担に関する解析的研究/大阪市立大学[学]杉本 悠真・岑山 友紀・山口 隆司
- I-450 支取取替における既設アンカーボルト接合方法への一提案/JFEエンジニアリング[正]奥野 貴文・阿部 能和・石田 和久
- I-451 研磨材を配合した新規接着剤の開発/IIIインフラシステム  
[正]井合 雄一・中村 善彦・西出 靖

## 第II部門 水理学、水文学、河川工学、水資源工学、港湾工学、海岸工学、海洋工学、環境水理など

### II-1 (幸町北3号館 323講義室) / 9月3日(火)

#### ■水圏の生態系/8:40~10:10

- II-001 実河川における環境DNAを用いた底生動物の生物量評価方法の検討/山口大学[学]山口 皓平・赤松 良久・乾 隆帝
- II-002 採水量・採水位置の違いによる小出川における魚類相の検出精度について(環境DNAメタバーコーディング法)/パシフィックコンサルタンツ[正]真木 伸隆・渡部 健・岡田 泰明
- II-003 河川水辺の国勢調査における捕獲と環境DNAメタバーコーディング分析による魚類相の比較/パシフィックコンサルタンツ[正]上月 佐葉子・三塚 多佳志・池田 幸資
- II-004 流域の魚類相調査における環境DNAメタバーコーディング分析法の有効性について(神奈川県・小出川の事例報告)/パシフィックコンサルタンツ[正]加藤 敦子・岡田 泰明・渡部 健
- II-005 高津川における河川生物の生態的特性を考慮した河川生態系モデルの開発と河床掘削が河川生態系に及ぼす影響の検討/山口大学[学]河野 誉仁・赤松 良久・乾 隆帝
- II-006 淀川城北ワンドにおける外来魚駆除対策の効果/世紀東急工業[正]田中 理久・田中 耕司・綾 史郎
- II-007 天然遡上の北限地におけるニホンウナギの生息環境/復建技術コンサルタント[正]山本 和司・藤原 悠太

#### ■魚道/10:25~11:55/村岡 敬子(土木研究所)

- II-008 空積みによる石組み魚道における自然石形状による流況の違い/日本大学[学]金野 滉太
- II-009 平水時および洪水時における練り積み石組魚道の特性/日本大学[学]栢崎 慎太郎・安田 陽一
- II-010 1/10勾配の水路式魚道における粗石配列の組み合わせとウグイの遊泳行動について/東洋大学[学]船越 智瑛・青木 宗之・加藤 汐里
- II-011 流速の違いによるウグイの円柱群利用状況について/東洋大学[学]明間 大輝・青木 宗之
- II-012 河床材料に対するウグイの選好特性と遊泳行動について/東洋大学[学]横田 星二・青木 宗之・齋藤 圭汰
- II-013 農業水路用可搬魚道における水生動物の遡上に適した魚道内流況の創出/香川高等専門学校[学]木下 兼人・高橋 風花・高橋 直己
- II-014 一般座標系での密度関数法による階段式魚道流れの数値解析/京都大学[学]栗田 祥太郎・音田 慎一郎・細田 尚

#### ■水環境(1)/14:55~16:25/林田 寿文(土木研究所)

- II-015 江戸城外濠における水質シミュレーションモデルの改良と水質改善策の検討/法政大学[学]岩田 峻・鈴木 善治
- II-016 名取川水系における水生昆虫と付着藻類の関係分析/東北大学[学]森田 陽・内田 典子・会田 俊介
- II-017 微細藻類の屋外培養試験とその性能評価/大林組[正]山本 縁・大島 義徳・千野 裕之
- II-018 全国47都道府県の河川を対象とした電気伝導率の傾向把握に関する検討/大同大学[学]吉川 慎平・鷺見 哲也
- II-019 AIによる有明海流域の一級河川における河川水温評価モデル構築の試み/九州大学[学]原口 菜奈子
- II-020 音波探査に基づく感潮河道における有機物の浸食・堆積現象に関する研究/首都大学東京[学]稲川 翔太・横山 勝英・カシーラ ジョアン
- II-021 小河川での流速と粗度係数の推定方法に関する研究/鹿児島大学[学]李 佳洲・上岡 充男・長尾 昌朋

#### ■水環境(2)/16:40~18:10/赤松 良久(山口大学)

- II-022 新しい河道計画プロセスを念頭に置いた多自然川づくり支援ツールの開発/自然共生研究センター [正]林田 寿文・大槻 順朗・中村 圭吾

- II-023 ヤナギ科植物の栄養繁殖による樹林化の効率的な抑制手法について/ドーコン[正]住友 慶三・斎藤 新一郎・天羽 淳
- II-024 水害防備林による洪水エネルギー減衰効率のスケージング/京都大学[正]山上 路生・岡本 隆明
- II-025 現地実用条件における気泡循環対策のシミュレーションによる効果評価手法の開発/修正二重ブルームモデルのJWAモデルへの導入/鹿児島大学[正]古里 栄一・今本 博臣・村井 大介
- II-026 早明浦ダムにおける選択取水設備の運用/水資源機構 [正]津田 守正・守谷 将史
- II-027 ジェットポンプ式流動装置の装置形状が混合管内の流動特性に及ぼす影響/呉工業高等専門学校[学]本多 康平

### II-1 (幸町北3号館 323講義室) / 9月4日(水)

#### ■河川情報/8:40~10:10/市川 建(復建技術コンサルタント)

- II-082 中小河川を対象としたUAV写真測量による地形把握に関する一考察/復建技術コンサルタント[正]市川 健・那須野 新・天谷 香織
- II-083 中小河川の地形把握のためのUAV写真測量時における撮影方法の比較検討及び樹高推定に関する一考察/復建技術コンサルタント[正]那須野 新・市川 健・天谷 香織
- II-084 UAV写真測量による中小河川の流下能力評価に関する一考察/復建技術コンサルタント[正]佐藤 慶治・市川 健・天谷 香織
- II-085 3次元データを活用した堤防の変状検出に向けた検討/国土技術政策総合研究所[正]下津 隆介・笹岡 信吾・福島 雅紀
- II-086 UAV測量データを用いた曇み込みニューラルネットワークによる河床表層の粒度推定/土木研究所[正]竹内 大輝・中西 哲
- II-087 UAV画像のあいまい部分を区別した機械・深層学習による河川土地被覆分類手法の精度検討/芝浦工業大学[学]百瀬 文人・近藤 大樹・佐藤 拓也

#### ■河川水理・水理計測/10:25~11:55/安田 陽一(日本大学)

- II-088 最大エントロピー法に基づく流量観測の高度化/神戸大学[学]濱田 拓也・藤田 一郎・谷 昂二郎
- II-089 多重露光画像を用いた平面二次元流れにおける表面流速の測定方法の開発/新潟大学[学]茂木 大知・五十嵐 拓実・安田 浩保
- II-090 粗配置の粗度流れで生じる大規模定在波の乱流特性/神戸大学[学]八木 潤平・藤田 一郎・谷 昂二郎
- II-091 APPROXIMATE SOLUTIONS ON FREE SURFACE PROFILE OF HYDRAULIC JUMP BY MEANS OF SIMPLIFIED DEPTH AVERAGED FLOW MODEL/京都大学[学]ティントエトエ・細田 尚・Langhi M. Namdeo
- II-092 射流中の突起を越える流れにおける実験的検討/日本大学[学]宮川 拓也・安田 陽一
- II-093 ゲートからの流出の縮流係数のレイノルズ数依存性について/松江工業高等専門学校[正]荒尾 慎司・羽田野 袈裟義・亀井 悠喜信
- II-094 不等流における非水没円柱群の流体力特性とその評価法/北海道庁[学]阿戸 理樹・内田 龍彦・河原 能久

### II-1 (幸町北3号館 323講義室) / 9月5日(木)

#### ■ダム堆砂・排砂/8:40~10:10

- II-121 潜行吸引式排砂管の排砂パフォーマンスと今後の展開/土木研究所[正]宮川 仁・宮脇 千晴・石神 孝之
- II-122 ダム湖の堆砂処理で障害となる沈木等の探査技術に関する実験的検討/大成建設[正]新井 博之・佐野 和幸・藤巻 三樹雄



- II-123 堆砂の影響を受けるダムの常用洪水吐きゲート周辺流れ場の数値計算/京都大学[学]高田 翔也・角 哲也
- II-124 出し平ダム,宇奈月ダム洪水時連携排砂における土砂動態に関する研究/中央大学[学]鈴木 航平・福岡 捷二・内堀 伸吾
- II-125 那賀川の土砂還元による河川環境の改善効果について(中間報告)/国土交通省四国地方整備局[正]青木 朋也
- II-126 ダム堆砂状況調査の新しい手法“魚群探知機によるダム貯水池3Dマッピング”/中央開発[正]長田 実也
- II-127 航空レーザ測深(ALB)のダム貯水池の地形計測への適用性/関西電力[正]有光 剛・神谷 知幸

■土砂移動・流木/10:25~11:55/瀬崎 智之(国土技術政策総合研究所)

- II-128 堆積状態の違いによる軽石で構成された土石流特性について/日本大学[正]小田 晃・鈴木 隆之
- II-129 扇状地に入流する土石流溪流の実態把握と防災対策の検討/京都大学[正]中谷 加奈・長谷川 祐治・里深 好文
- II-130 透過型砂防堰堤の巨礫捕捉効果に関する不確実性/中央大学[学]合田 明弘・小石 一字・柿沼 太貴
- II-131 流木対策における砂防構造物の提案と捕捉効果の検証/防衛大学校[正]堀口 俊行・ギオーム ピトン・ムハンマドバーター ムニ・パンサン マノ
- II-132 流木集積による橋梁閉塞と家屋被害に関する実験的研究/京都大学[正]岡本 隆明・染谷 智紘・樫原 義信
- II-133 ロジスティック回帰分析による平成29年7月九州北部豪雨における流木発生傾向のモデル化/九州大学[学]正垣 貴大・矢野 真一郎・笠間 清伸
- II-134 豪雨時の山地斜面での雨水浸透機構と斜面崩壊の発生確率に関する研究/中電技術コンサルタント[正]小橋 力也・北 真人・内田 龍彦

■河川・水理構造物(1)/12:40~14:10/笹岡 信吾

(国土技術政策総合研究所)

- II-135 粘土・砂・礫からなる模擬堤防の越流決壊プロセス/早稲田大学[学]松浦 泰地・関根 正人・菅 俊貴
- II-136 粘着性を有する堤防の侵食挙動に関する実験的研究/京都大学[学]清水 皓一・音田 慎一郎・肥後 陽介
- II-137 千代田実験水路を用いた堤体材料の一部を粘性土とした越水破堤実験/寒地土木研究所[正]島田 友典・横山 洋・米元 光明
- II-138 様々なジオグリッド敷設条件における薄層ドレーン強化(LDR)堤防の耐越水性の実験的検討/東京理科大学[学]井上 隆・二瓶 泰雄・佐藤 佑太
- II-139 ブロックマット工法による越流減勢および洗掘防止効果に関する実験的研究/岐阜工業高等専門学校[学]中神 陽介・和田 清・関下 啓誠
- II-140 堤防脆弱性指標<sup>®</sup>を用いた堤防決壊箇所の推定と流域氾濫特性に関する研究/中央大学[正]田端 幸輔・福岡 捷二
- II-141 透気防水シートの中性能確認実験/太陽工業[正]石田 正利・横山 美憲・川岸 靖

■河川・水理構造物(2)/14:25~15:55/重枝 未玲(九州工業大学)

- II-142 粗礫斜路下流側における流速特性に関する実験的検討/日本大学[学]増井 啓登・安田 陽一
- II-143 低落差下流部に形成される潜り込み流れの流速特性/日本大学[学]篠崎 遼太・安田 陽一
- II-144 広頂堰の直上流水位の評価に関する研究/建設技術研究所[正]多田羅 謙治・羽田野 袈裟義・永野 博之
- II-145 急流段落ち部背後の跳水形態の移行限界の考察/広島県庁[正]八幡 拓馬・内田 龍彦・河原 能久
- II-146 急変流による護床ブロック群の破壊条件についての考察/新潟大学[学]梅木 康太郎・安田 浩保・五十嵐 拓実
- II-147 ハイブリッド水制の水理の機能に関する研究/名古屋工業大学[学]香村 拓希・富永 晃宏
- II-148 帯工袖部の侵食対策としての袋詰玉石工の構造・配置検討/中央大学[正]福田 朝生・澁谷 慎一・福岡 捷二

II-2 (幸町北3号館 331講義室) / 9月3日(火)

■大気水象(1)/8:40~10:10/山口 弘誠(京都大学)

- II-028 深層学習を用いた1~3時間後の時間降雨量の予測/愛媛大学[学]伊藤 寛幸・今村 実・全 邦釘
- II-029 西日本豪雨における数時間先雨量予測の影響と対策—ダム洪水時操作及び氾濫—/[正]土門 良悦
- II-030 自己相関性と相互相関性を用いた降雨の短時間予測手法の提案/山梨大学[学]伊藤 巧・鈴木 猛康
- II-031 VIIナウキャストへのインプットデータの違いが予測結果に与える影響/中央大学[学]青木 啓祐・清水 啓太・山田 正
- II-032 アンサンブル気象計算に基づく平成29年7月九州北部豪雨

- II-033 科および計算領域設定および海面水温の影響評価/東京理科大学[正]仲吉 信人・長壽 真・金子 凌
- II-034 気流シーディングによる降水抑制・降水促進の感度分析とそのメカニズムの解析/法政大学[学]中村 嶺太・鈴木 善晴
- 世界28メガシティを対象とした都市構造や地理・気候条件がヒートアイランド現象に及ぼす影響評価/東京理科大学[学]浅見 真由・仲吉 信人・Varquez Alvin

■大気水象(2)/10:25~11:55/鈴木 善晴(法政大学)

- II-035 クラウド型車載雨量計ネットワーク構築に向けた光学式雨量計の実用性の検証/山口大学[正]赤松 良久・齋藤 和興・齋藤 大騎
- II-036 高時間空間分解能フェーズドアレイドレーダーを用いたゲリラ豪雨の三次元立体解析/京都大学[正]高尾 充政・中北 英一・新保 友啓
- II-037 ステレオビジョンに基づくCloud Image Velocimetryの検討/東京理科大学[学]高瀬 裕介・仲吉 信人・高野 真一
- II-038 鉛直浸透機構を考慮した降雨流出モデルによる短期流出解析—平成30年7月豪雨を例として—/中央大学[学]町田 果歩・諸岡 良優・山田 正
- II-039 地上・レーダ・衛星雨量の降雨タイプ別相互比較/東京理科大学[正]小野村 史穂・仲吉 信人
- II-040 XRAINと大気場指標に基づいたSOMによる局地的豪雨の発達可能性に関する研究/法政大学[学]青木 光一・鈴木 善晴
- II-041 線状降水帯豪雨予測に向けた水蒸気のアンサンブル予測情報更新履歴解析/京都大学[学]黒田 奈那・山口 弘誠・中北 英一

■気候変動と水循環/14:55~16:25

- II-042 大量アンサンブル気候予測実験データを用いた分布型流出モデルによるピーク流出量の算出について/ドーコン [正]植村 郁彦・舂屋 繁和・吉田 隆年
- II-043 将来豪雨を対象とした嘉瀬川流域におけるダムによる治水適応策の検討/佐賀大学[学]阪本 こなん・押川 英夫・田井 明
- II-044 自己組織化マップを用いた近未来気候における降水量・気圧分布の変化特性に関する検討/九州大学[学]柴田 大輝・児玉 充由・井手 喜彦
- II-045 大規模アンサンブル気候予測データベースによる温暖化後の九州地方における豪雨の変化/九州大学[学]於久 達哉・田井 明・杉原 裕司
- II-046 気候変化下における最大クラス洪水推定結果に基づく氾濫解析モデルを用いた浸水被害リスク評価/金沢大学[学]吉田 季生・谷口 健司・洪尾 欣弘
- II-047 気候変動に伴う河川流量の長期変動による河川工事期間への影響評価/大成建設[正]永野 雄一・伊藤 一教
- II-048 国土スケールの水循環モデリングによる国土水情報の可視化/地圏環境テクノロジー [正]田原 康博・松浦 太一・多田 和広

■地下水・雪氷/16:40~18:10/田渡 電乃介

(バシフィックコンサルタンツ)

- II-049 2011年の津波で被災した岩手県大槌町町方地区の自噴井群の経過と観測/大同大学[正]鷺見 哲也
- II-050 浅層地下水の影響下にある谷地の開発における最適な地下水排水工法選択に資する事前的調査の有効性/自由学園[学]柏木 流音・吉川 慎平・小田 幸子
- II-051 台地上の水路の通水による地下水水位への影響に関する研究—玉川上水を例として—/中央大学[学]新澤 まゆ子・柿沼 太貴・山田 正
- II-052 富山県檜原における融雪量推定手法の検証に関する研究/金沢工業大学[学]松島 智也・有田 守
- II-053 実務利用を想定した河氷厚予測プログラム作成と現地適用について/寒地土木研究所[正]横山 洋・吉川 泰弘・矢部 浩規
- II-054 洪水時の堤防基盤からの噴砂に関する研究/中央大学[学]栗原 克幸・福岡 捷二・田端 幸輔
- II-055 X線CT装置による土壌の体積含水率測定手法の検討/近畿大学[正]高野 保英・麓 隆行

II-2 (幸町北3号館 331講義室) / 9月4日(水)

■都市の水災害(1)/8:40~10:10/武田 誠(中部大学)

- II-095 模型実験とiRIC Nays2Dfloodによる二線堤の被害軽減効果の可視化/室蘭工業大学[学]清水 皓太・中津川 誠・柳谷 友輝
- II-096 落差マンホールの排水機能に関する実験的検討/日本大学[正]安田 陽一・上野 真由・手嶋 良祐

- II-097 圧力管渠システムにおけるマンホール内の3次元局所流に関する研究／高知大学[正]張 浩・佐々 浩司・松田 亮  
 II-098 横引き管の排水機能に関するマンホール形状の影響／日本大学[学]石塚 公隆  
 II-099 フラップによる横越流の流量制御に関する実験的検討／日本大学[学]福沢 一輝・安田 陽一  
 II-100 流水型漏刻システムに関する簡易水理モデルの近似解／京都大学[正]細田 尚・宗 暘・小森 直人  
 II-101 取付管を組み入れたスロット・モデルの流れの基礎式／愛媛県建設技術支援センター [正]渡邊 政広・堀江 展弘・田中 祐大

■都市の水災害(2) / 10:25~11:55 / 中津川 誠(室蘭工業大学)

- II-102 高度に都市化された川崎南部を対象とした浸水リスクの評価／早稲田大学[学]吉野 萌・関根 正人  
 II-103 鶴見川流域を含む横浜市東部エリアにおける浸水リスク評価／早稲田大学[学]馬場 航・関根 正人・竹村 尚樹  
 II-104 春日井市における下水道内水位計測とその浸水予測への適用／中部大学[学]村瀬 将隆・大矢 航平・武田 誠  
 II-105 排水施設と貯水槽を考慮した春日井市の都市浸水解析／中部大学[正]松尾 直規・山内 林太郎・村瀬 将隆  
 II-106 建物への流入・流出を考慮した氾濫解析の試み／中日本建設コンサルタント[学]阿部 将也・武田 誠・中島 勇介  
 II-107 都市部流域における線路への流入を考慮した流出・氾濫解析に関する基礎検討／鉄道総合技術研究所[正]馬目 凌・渡邊 諭・湯浅 友輝  
 II-108 都市型水害被害予測のための高詳細非構造格子を用いた排水シミュレーション／九州大学[学]植木 裕人・浅井 光輝・川崎 重紀

II-2 (幸町北3号館 331講義室) / 9月5日(木)

■流出・洪水(1) / 8:40~10:10 / 藤村 和正(明星大学)

- II-149 鉛直積算雨量による予測雨量を用いた河川水位の予測可能性／中央大学[学]干場 希乃・清水 啓太・山田 正  
 II-150 刈谷田川遊水地における超過洪水の調節効果に関する研究／山梨大学[学]相澤 風雅・末次 忠司  
 II-151 既存調整池を有効活用した治水対策の検討について／埼玉県[正]南里 康久・長谷部 進一・松本 和也  
 II-152 低平な市街地で生じる内水氾濫過程を追検証するために効果的な情報収集体制の設計／名古屋大学[正]田代 喬・Aung Khaing Min  
 II-153 大場川上流排水機場の増強による内水浸水対策について／埼玉県庁[正]岡田 雅洋・鈴木 勝浩・菊池 裕太  
 II-154 緩流感潮域における排水機場の停止水位設定検証／セントラルコンサルタント[正]兼松 祐志・川添 昌紀  
 II-155 水害区域図を用いた洪水危険度指標のしきい値の決定方法の基礎的検討／長岡工業高等専門学校[正]山本 隆広・中村 拓真

■流出・洪水(2) / 10:25~11:55 / 山本 隆広(長岡工業高等専門学校)

- II-156 雨雲画像を用いたニューラルネットワークによる河川の出水判断モデル／大成建設[正]大野 剛・伊藤 一教  
 II-157 機械学習法によるダム貯水位予測の研究～北海道・金山ダムの事例～／室蘭工業大学[学]坂本 莉子・中津川 誠・小林 洋介  
 II-158 時系列データを対象とした深層学習であるLSTMによる降雨流出予測の検討／開発電子技術[正]西本 吉伸  
 II-159 CCTV画像による河岸侵食の検知とアラート配信システムの開発／寒地土木研究所[正]大石 哲也・横山 洋・島田 友典  
 II-160 貯留関数式の減水定数に影響する要因についての考察／明星大学[正]藤村 和正・井芹 慶彦・村上 雅博  
 II-161 河道管理・河道安定性評価のためのCommonMP機能拡張ツールの開発／国土技術政策総合研究所[正]小沢 嘉奈子・山田 浩次・川崎 将生  
 II-162 洪水予測手法(DIEX-Flood)の改良と鬼怒川水位縦断分布解析への適用／東京理科大学[学]伊藤 毅彦・柏田 仁・二瓶 泰雄

■水災害・防災(1) / 12:40~14:10

- II-163 平成30年7月豪雨における京都府福知山市での浸水被害調査／京都大学[学]妹尾 淳史・中野 晋  
 II-164 平成30年7月西日本豪雨における山口県島田川水系東川の河川氾濫の実態解明／山口大学[学]大中 臨・河野 蒼仁・山口 皓平  
 II-165 平成30年7月豪雨における宇和島市内の保育園の被災と災害対応／徳島大学[正]中野 晋・高橋 真里・中内 正和

- II-166 力学系理論に基づくリアルタイム河川水位予測—平成30年実証事例—／構造計画研究所[正]熊井 暖陽・奥野 峻也・戸井 隆  
 II-167 線状降水帯の形成位置が河川水位に与える影響—平成27年9月関東・東北豪雨を例にして—／中央大学[学]及川 雄真・青木 啓祐・諸岡 良優  
 II-168 市川市真間川における洪水対策の検討／千葉工業大学[学]田賀 利輝・矢内 栄二  
 II-169 2015年9月鬼怒川氾濫事例を対象とした簡便な水位予測手法の提案／苫小牧工業高等専門学校[学]渡邊 育・八田 茂実・谷口 陽子

■水災害・防災(2) / 14:25~15:55 / 片岡 智哉(東京理科大学)

- II-170 自治体による避難情報提供システムの開発に関する研究／山梨大学[学]長井 俊樹  
 II-171 福知山市街地における内水氾濫時の安全避難に関する検討／関西大学[学]若山 侑未・川中 龍児・石垣 泰輔  
 II-172 地区の事前防災計画を軸とした生活防災タイムラインに関する研究／大阪工業大学[学]伊香 優志・竹之内 健介・田中 耕司  
 II-173 円滑な広域避難を実現するためのマイタイムライン作成の検証と考察／山梨大学[学]奥山 眞一郎・鈴木 猛康  
 II-174 流出解析を行わない洪水時水位予測システムの吉野川への適用について／国土交通省四国地方整備局[正]宮藤 秀之・熊井 暖陽  
 II-175 防災気象情報の利用実態の調査とそのあり方の提案／岐阜大学[学]神谷 颯太・吉野 純・小林 智尚  
 II-176 子供の側溝転落時の水難事故危険性に関する実験的研究／京都大学[学]岡 宗佑・岡本 隆明・戸田 圭一

■国際複合災害・環境 / 16:10~17:40 / 谷口 健司(金沢大学)

- II-177 ミャンマー国インレー湖のトマト水耕栽培による汚濁負荷量の推定／東洋大学[正]湯浅 岳史・眞子 学・柴田 京子  
 II-178 太陽熱淡水化装置のフレームカバー形状が造水性能に及ぼす影響／前田工織[正]大野 晃裕・寺崎 寛章・加藤 隼也  
 II-179 南海トラフ巨大地震・津波の長期浸水に対する排水計画について／日本工営[正]宮川 健・山崎 祐一・田川 隆康  
 II-180 地震・洪水複合災害発生状況の事例解析／東京理科大学[学]本間 升一朗・二瓶 泰雄・片岡 智哉  
 II-181 圧電素子を用いた小型振り子によるマイクロ水力発電／秋田大学[正]齋藤 憲寿・高橋 圭太・渡辺 一也  
 II-182 開発行為に伴い設置された調整池に係る諸元情報の管理実態に関する研究／日本大学[学]鷹島 充寿・桜井 慎一・松田 真一  
 II-183 人の移動等円滑化のために改築される歩道と車道との段差の大きさの妥当性について／日本大学[正]後藤 浩・石川 眞・竹澤 三雄

II-3 (幸町北3号館 332講義室) / 9月3日(火)

■津波・高潮(1) / 8:40~10:10 / 奥村 与志弘(関西大学)

- II-056 津波解析コードの高速化とそれに伴う誤差に対する実務への影響評価／水域ネットワーク[正]吉岡 征志・大森 政則・荒川 洋  
 II-057 地すべり起因の津波に対する三次元津波漂流物解析手法の適用性検証／京都大学[学]浦上 佳太・米山 望  
 II-058 浜岡原子力発電所海洋レーダの観測性能評価に関する検討／中部電力[正]横洲 弘武・田中 良仁・渡邊 紗代  
 II-059 津波回流水槽を用いた津波海中防波装置模型の実験・研究／自宅[正]田中 厚成  
 II-060 石油タンクの津波による漂流対策工の検討／東電設計 [正]藤井 直樹・保延 宏行・西畑 剛  
 II-061 引波時におけるコンテナの流出に関する基礎実験／東亜建設工業[正]倉原 義之介・武田 将英・高川 智博  
 II-062 3次元数値流体解析と構造解析による防潮水門施設の耐津波性に関する研究／名古屋工業大学[学]吉次 佑介・野中 哲也・坂本 佳子

■津波・高潮(2) / 10:25~11:55 / 平山 克也(港湾空港技術研究所)

- II-063 ドライ条件下における河川津波によるシェル構造ゲートの浮き上がりに関する実験的検討／土木研究所[正]横山 慎・中西 哲・石神 孝之  
 II-064 津波防災教育に対する3次元CG動画の活用と効果測定／パシフィックコンサルタンツ[正]田渡 竜乃介・馬淵 幸雄・鈴木 健太郎  
 II-065 「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」に対する高齢者施設の受け止め方に関するアンケート調査／徳島大学[正]金井 純子・中野 晋・直江 和幸

- II-066 東京湾を対象とした簡易高潮解析手法について／五洋建設  
[正]熊谷 隆宏・太田 秀樹
- II-067 高潮位時における岸壁上の越波遡上実験とその再現計算／  
港湾空港技術研究所[正]濱野 有貴・平山 克也・長沼 淳也
- II-068 下田港とその周辺海域における潮位の長期変動特性／エ  
コー [正]仲井 圭二・櫻井 日出伸・後藤 修一
- II-069 直接ダウンステアリングによる伊勢湾における可能最大高潮  
の将来変化／岐阜大学[学]山本 康平・吉野 純・村田 昭彦

■海岸地形／14:55～16:25／鶴崎 賢一(群馬大学)

- II-070 波浪場のXバンドレーダ観測による海岸地形の推定／筑波  
大学[学]増田 隆宏・武若 聡
- II-071 UAVに搭載したグリーンレーザーによる港内堆砂域の地  
形計測の試み／東京電力ホールディングス[正]石井 敏雅・  
古川園 健朗・小林 仁
- II-072 二次元断面造波水路を用いた平衡海浜地形の形成に関する  
実験的検討／神戸市立工業高等専門学校[正]柿木 哲哉・  
松崎 矩大・辻本 剛三
- II-073 高知海岸直轄海岸保全施設整備事業の全体計画見直しにつ  
いて／国土交通省四国地方整備局[正]久保 宜之・富永 剛史・  
岡林 福好
- II-074 海岸侵食による被害を受けた鉄道橋りょうの健全度評価／  
JR東日本[正]高山 充直・南館 克哉・藤田 直輝
- II-075 OpenFOAMを用いた飛砂の再現性の検討／福島工業高等  
専門学校[正]菊地 卓郎・尾崎 貴英・衛藤 俊彦
- II-076 護岸背面土流出に対する排水パイプの抑制効果把握のため  
の室内模型実験／鉄道総合技術研究所[正]藤原 将真・高  
柳 剛・馬目 凌

■波浪／16:40～18:10／安田 誠宏(関西大学)

- II-077 日本周辺の極端波浪の長期解析と気象・地形要因／大成建  
設[正]千綿 蒔・志村 智也・二宮 順一
- II-078 台風起因する波浪の予測へのニューラルネットワークの  
適用性の検討／大成建設[正]羽角 華奈子・伊藤 一教
- II-079 長期波浪推算に基づく確率沖波及び荷役稼働率の推移に関  
する考察／港湾空港技術研究所[正]平山 克也・濱野 有貴・  
森谷 拓実
- II-080 ドライベッド上を遡上する段波の乱流構造／大阪産業大学  
[学]荒木 広周・中村 彩乃・水谷 夏樹
- II-081 直立堤背後の越波飛沫量の空間分布に関する実験的研究／  
九州大学[学]古賀 健太郎・山城 賢・児玉 充由

II-3 (幸町北3号館332講義室)／9月4日(水)

■港湾施設(1)／8:40～10:10／宮田 正史(国土技術政策総合研究所)

- II-109 岸壁裏埋材として適用したカルシア改質土の施工後モニタ  
リング調査と耐震性評価／国土交通省四国地方整備局[正]  
西岡 周平・伊藤 春樹・稲田 勉
- II-110 防潮堤への帯状ジオシンセティックス補強土壁の適用事例  
／ヒロセ補強土[正]岡崎 貴斎・執行 重人・内匠屋 誠
- II-111 防波堤に設置した防波柵による伝達波低減効果とケーソン  
作用波力／不動テトラ[正]久保田 真一・三井 順・松本 朗
- II-112 エアバックによる衝撃揚圧力の低減効果に関する研究／大  
成建設[正]小俣 哲平・伊藤 一教・橋本 敦史
- II-113 海の森水上競技場 締切・護岸取付部の遮水工の設計／大  
成建設[正]大西 悠太・神出 壮一・津田 剛男
- II-114 重りを分散配置した垂下式膜の一樣流れにおける変形に関  
する水理実験／東亜建設工業[正]原 知聡・重松 孝昌・武  
田 将英

■港湾施設(2)／10:25～11:55／久保田 真一(不動テトラ)

- II-115 繋離船作業の作業効率向上に配慮した大型係船曲柱の形状  
寸法の検討／国土技術政策総合研究所[正]中村 健・宮田  
正史・中村 俊之
- II-116 簡易越波対策工の係留索に作用する張力に関する基礎的研  
究／九州大学[学]中谷 和博・山城 賢・児玉 充由
- II-117 船舶の係留施設への接触事故の発生状況の基礎的分析／国  
土技術政策総合研究所[正]藤井 敦・松田 茂・宮田 正史
- II-118 杭構造物における波の打ち上げ高に関する三次元数値解析  
／大成建設[正]本田 隆英・伊藤 一教・織田 幸伸
- II-119 動水圧を考慮した壁構造物の動的応答解析／大成建設 [正]  
織田 幸伸・本田 隆英・小俣 哲平
- II-120 60度強の急角度入射波に対する低天端消波ブロック被覆堤  
の波力特性に関する実験的研究／玉野総合コンサルタント  
[正]森川 高徳・杉 栄一郎・吉村 藤謙

II-3 (幸町北3号館 332講義室)／9月5日(木)

■耐波／8:40～10:10／鈴木 高二朗(港湾空港技術研究所)

- II-184 津波越流に対する防波堤マウンド被覆ブロックの安定性に  
及ぼす津波波形の影響／不動テトラ[正]三井 順・久保田  
真一・松本 朗
- II-185 港内側に延伸した防波堤付属構造物の被覆ブロックの安定  
性への効果／長岡技術科学大学[学]鈴木 樹・細山田 徳三
- II-186 津波引き波時の岸壁の安定性に関する検討／国土交通省四  
国地方整備局[正]岡田 克寛・鈴木 高二朗・鶴田 修己
- II-187 直立および傾斜型の津波防潮堤模型を越流する水塊の流速  
特性／香川高等専門学校[学]花田 篤也・柳川 竜一
- II-188 地震・津波複合災害実験に基づくアーマレビー型海岸堤防  
の耐災害性に関する基礎的検討／東京理科大学[学]上野  
瑞樹・二瓶 泰雄
- II-189 捨石堤実験における断面形状画像計測手法の構築と実験の  
効率化／東洋建設[正]酒井 大樹・金澤 剛・辻本 剛三
- II-190 RTK-GNSSシステム型UAVを用いた防波堤の3次元計測  
手法の検討／港湾空港技術研究所[正]鈴木 高二朗・朝比  
翔太・川口 真吾

■沿岸環境／10:25～11:55

- II-191 成層の影響を踏まえた八代海におけるブルーカーボン動態  
に関する現地調査／九州大学[学]齋藤 直輝・熊 柄・矢野  
真一郎
- II-192 海草場の環境DNAを対象とした粒子計算のための基礎的  
検討／大成建設[正]高山 百合子・赤塚 真依子・伊藤 一教
- II-193 愛媛県沿岸を対象とした南海トラフ巨大地震津波によるア  
マモ場被害の予測について／復建調査設計[正]木村 裕行・  
阿部 洋士・サッパシー アナワット
- II-194 側岸凹部を利用した浮遊ゴミ捕捉法について／名古屋工業  
大学[学]大柿 貴利・Zhou Ting・富永 晃宏
- II-195 河川のマイクロプラスチック(MP)濃度鉛直分布の詳細観  
測とMP上昇・沈降試験／東京理科大学[学]小林 俊介・二  
瓶 泰雄・片岡 智哉
- II-196 荒川におけるマイクロプラスチック濃度の縦断分布計測に  
基づく発生源の推定／東京理科大学[正]片岡 智哉・宮本  
颯太・二瓶 泰雄
- II-197 熱水流動-地球化学連成解析による海底熱水鉱床の形成シ  
ミュレーション／大成建設[正] 藤田 クラウディア・山本  
肇・石橋 純一郎

■土砂移動・河床変動(1)／12:40～14:10／福田 朝生(中央大学)

- II-198 分級作用に伴う混合粒径土砂の空隙率と体積変化／広島大  
学[学]林 勇輔・内田 龍彦・河原 能久
- II-199 直線水路実験における分級現象の円筒実験との比較／防衛  
大学校[学]松村 健太郎・香月 智・堀口 俊行
- II-200 掃流砂が粘土河床の変動プロセスに及ぼす影響／早稲田大  
学[学]吉川 文崇・関根 正人・石原 駿
- II-201 粒度幅の大きな材料からなる河床近傍で生じる土砂粒子間  
の遮蔽効果／早稲田大学[学]本合 弘樹・平松 裕基・関根  
正人
- II-202 浸透性粗面上の主流部の流れ構造に及ぼす浸透層の影響／  
中央大学[学]高嶽 裕也・福岡 捷二
- II-203 転波列性サージ流の水深と流速に関する検討／名城大学  
[正]新井 宗之

■土砂移動・河床変動(2)／14:25～15:55／長田 健吾

(阿南工業高等専門学校)

- II-204 観測水面形を用いた洪水流・河床変動解析による洪水時の  
河床断面推定の試み／国土交通省四国地方整備局[正]岡安  
光太郎・中村 伸輔・梶取 真一
- II-205 土砂供給手法における下流河道の土砂動態／土木研究所  
[正]宮脇 千晴・中西 哲・石神 孝之
- II-206 大量の土砂が流入した釜無川洪水時の流入土砂量ハイドロ  
グラフの推定／中央大学[学]岡山 士朗・福岡 捷二・内藤  
ゆう子
- II-207 河道内土砂流出による災害とその原因である二極化の要因  
と対策についての一考察／ドークン[正] 堀岡 和晃
- II-208 支川合流部における水制による河床変動制御に関する研究  
／明石工業高等専門学校[学]西尾 潤太・神田 佳一・道與  
康治
- II-209 干潟の再生を目指した水制群間の土砂堆積について／名古  
屋工業大学[学]山田 義樹・富永 晃宏
- II-210 整備中の河川における河道維持管理費の簡易算定手法の検  
討／パシフィックコンサルタンツ[正]加瀬 瑛斗・浅野 寿  
雄・尾ノ井 龍仁

- 土砂移動・河床変動(3) / 16:10~17:40 / 岩崎 理樹(北海道大学)
- II-211 H28. 8音更川出水による護岸被災形態と数値解析による被災過程の推察 / 北開水工コンサルタント[正]油川 曜佑・近江 裕之・長谷川 和義
- II-212 豊平川下流部における中小規模出水時の河床形状観測 / 寒地土木研究所[正]伊波 友生・山口 里実
- II-213 河床波と橋脚周りの局所洗掘の相互作用に関する研究 Study on interaction between sand waves and a bridge scour / 香川県[学]河村 省吾・中島 奈桜・内田 龍彦
- II-214 平成26年8月洪水による物部川河口砂州フラッシュの解析

- と開口機構 / 建設技術研究所[正]立山 政樹・久保 宜之・バック シー ハイ
- II-215 側壁の侵食性の有無が河道内の流況・河床形状に与える影響 / 新潟大学[学]石塚 芳・安田 浩保・五十嵐 拓実
- II-216 反砂堆形成に関する3次元数値シミュレーション / 京都大学[学]稲葉 良也・音田 慎一郎・細田 尚
- II-217 高速流による高水敷侵食に関する水理実験 / 寒地土木研究所[正]岩崎 理樹
- II-218 ジオシンセティックセメント複合マットによる大型土のう被覆補強 / 太陽工業[正]山本 浩二・石田 正利・笠原 政揮

## 第Ⅲ部門 土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤環境工学など

Ⅲ-1 (幸町北4号館 411講義室) / 9月3日(火)

### ■杭基礎(1) / 8:40~10:10 / 川村 志麻(室蘭工大)

- III-001 杭基礎擁壁の地震時残留変位算定法検証のための実被害事例逆解析 / 鉄道総合技術研究所[正]藤本 達貴・中島 進・佐名川 太亮
- III-002 杭基礎擁壁の地震時残留変位量算定に関する試解析 / JR東日本コンサルタント[正]工藤 敦弘・成田 浩明・中島 進
- III-003 軟岩を支持層とした中掘り杭工法(コンクリート打設方式)の支持力特性(その1: 載荷試験計画) / ヨシマス[正]阿部 久義・松尾 幹元
- III-004 軟岩を支持層とした中掘り杭工法(コンクリート打設方式)の支持力特性(その2: 載荷試験結果) / ヨシマス[正]松尾 幹元・阿部 久義
- III-005 二重管削孔を用いた高性能小口径杭工法の水平交番載荷試験 / 大林組[正]粕谷 悠紀・高橋 真一
- III-006 側方流動による地盤変位と杭の作用土圧に関する水平載荷実験 / 日本港湾コンサルタント[正]柴田 大介・長尾 毅
- III-007 微小変位レベルの応答観測に基づく地盤反力係数の解釈 / 新潟大学[学]大原 健太郎・大竹 雄・佐名川 太亮

### ■杭基礎(2) / 10:25~11:55 / 北 勝利(東海大学)

- III-008 摩擦接合による増し杭補強を用いた新幹線高架橋の応答加速度抑制に関する解析的検討 / 東日本旅客鉄道[正]野本 将太・阿部 慶太・高崎 秀明
- III-009 斜杭により増し杭された群杭基礎の水平力学挙動に関する数値解析的検討 / 摂南大学[正]寺本 俊太郎・木村 亮
- III-010 既存杭引抜き工におけるケーシング削孔のMPS-CAEシミュレーション / 明石工業高等専門学校[学]岩本 遼生・桑原 秀一・島田 義勝
- III-011 地盤内の空洞が杭基礎の支持力特性に及ぼす影響 / 室蘭工業大学[学]宮永 圭吾・川村 志麻・Thi Thao Van Nguyen
- III-012 ASTMによるW併用圧入鋼管矢板の載荷試験 / 大林組[正]稲積 一訓・川崎 隆
- III-013 テーパーを有するモノパイルの基礎的研究(その1 鉛直載荷, 水平載荷実験) / りんかい日産建設[正]新谷 聡・末政 直見・伊藤 和也
- III-014 テーパーを有するモノパイルの基礎的研究(その2 コーン貫入試験によるテーパー部の周面摩擦力の推定) / りんかい日産建設[正]山田 浩司・新谷 聡・末政 直見
- III-015 塩酸溶解熱法を利用したソイルセメント杭における早期強度判定方法の適用事例 / 大林組[正]鈴木 剛・幸山 大己・荒川 真

### ■杭基礎(3) / 14:55~16:25 / 松村 聡(港湾空港技術研究所)

- III-016 鋼管杭・鋼管矢板用の少回転型機械式継手(その1: 構造的な性能評価) / JFEスチール[正]大場 雄登・市川 和臣・佐藤 遼一
- III-017 鋼管杭・鋼管矢板用の少回転型機械式継手(その2: 施工性能評価) / JFEスチール[正]寺尾 名央・辰見 ター・市川 和臣
- III-018 鋼管矢板基礎の継手および鋼管省略に着目した水平載荷試験 その1 実験条件 / 京都大学[正]草場 翔馬・宮崎 祐輔・澤村 康生
- III-019 鋼管矢板基礎の継手および鋼管省略に着目した水平載荷試験 その2 実験結果 / 阪神高速道路[正]西海 能史・小坂 崇・草場 翔馬
- III-020 先端翼付鋼管杭の簡易設計法 / ドーコン[正]三浦 和馬・宮下 剛・早川 忠彦
- III-021 鋼管杭の圧入完了直後の荷重沈下関係から第二限界抵抗を推定する方法に関する一考察 / 技研製作所[正]鈴木 直樹・石原 行博

- III-022 孔内傾斜計による地すべり抑止鋼管杭の挙動観測 / 西日本高速道路エンジニアリング中国[正]多田 周平・柳田 慎吾・秦 二郎

### ■シールドトンネル(1) / 16:40~18:10 / 松井 宏樹(パシフィックコンサルタンツ)

- III-023 立坑に接続するシールドトンネルの縦断方向耐震検討 / 鉄道総合技術研究所[正]船越 宏治・津野 究・藤田 輝一
- III-024 供用開始後30年以上経過した鉄道用シールドトンネルにおけるセグメント測定 / 東日本旅客鉄道[正]本田 諭・小泉 秀之・堤 直之
- III-025 矩形シールドトンネルを対象とした構造解析に関する検討 / 鉄道総合技術研究所[正]藤田 輝一・津野 究・船越 宏治
- III-026 セグメント覆工を対象とした数値解析手法に関する検討 / 鉄道総合技術研究所[正]木下 果穂・津野 究・牛田 貴士
- III-027 鉄道複円形シールドトンネルの地盤ばねの設定手法に関する一考察 / 中央復建コンサルタント[正]張 洋・坂田 智基・室谷 耕輔
- III-028 鉄道シールドトンネルの耐震検討における継手モデル化手法に関する一考察 / 中央復建コンサルタント[正]中里 大樹・坂田 智基・室谷 耕輔
- III-029 シールドトンネルにおける二次覆工の長期挙動に関する一考察 / 土木研究所[正]森本 智・日下 敦・坂本 昇

Ⅲ-1 (幸町北4号館 411講義室) / 9月4日(水)

### ■シールドトンネル(2) / 8:40~10:10 / 早川 淳一(佐藤工業)

- III-177 岩盤を対象とした密閉型シールドにおける地質評価事例 / 鴻池組[正]高馬 崇・樋口 伸朗・加藤 卓男
- III-178 作用荷重の異なる平均剛性一様リング解析に関する一考察 / パシフィックコンサルタンツ[正]松井 宏樹・屋代 瑞希
- III-179 断面規模の異なる平均剛性一様リング解析に適用する $\eta$ 、 $\zeta$ に関する一考察 / パシフィックコンサルタンツ[正]山本 健太・屋代 瑞希・松井 宏樹
- III-180 高地下水流速下における凍結工法によるシールドトンネルの接続事例 / 前田建設工業[正]及川 照靖・松尾 琢夫
- III-181 左右の盛土高さが異なる3ヒンジ式アーチカルバートの動的遠心模型実験に対する再現解析 / 京都大学[学]塩梅 恭平・宮崎 祐輔・澤村 康生
- III-182 トンネル掘削解析において地山を粒状体としてモデル化する試み / 地層科学研究所[正]中川 光雄
- III-183 めがねトンネルにおける周辺地山および覆工挙動の解析的検討 / 山口大学[学]大野 智貴・林 久資・進士 正人

### ■トンネル(1) / 10:25~11:55 / 森田 篤(前田建設工業)

- III-184 小土盛りトンネル掘削における地下水の影響の数値解析的検討 / 京都大学[学]越山 峻資・賀島 諒太・岸田 潔
- III-185 トンネルの膨潤挙動に対する熱力学的解析モデル / 東北大学[学]山本 颯人・京谷 孝史・松原 成志朗
- III-186 トンネル掘削解析における吹付けコンクリートの等価弾性係数の適用限界に関する一考察 / 松江工業高等専門学校[正]岡崎 泰幸・林 久資・森本 真吾
- III-187 切羽観察記録からの将来的なインバート部地山の変位箇所抽出に関する考察 / 鉄道総合技術研究所[正]川越 健・今地 洋佑・今林 泰史
- III-188 既設トンネルの断面を拡大する掘削における周辺地山の挙動に関する実験的検討 / 土木研究所[正]小出 孝明・日下 敦・巽 義知
- III-189 弾塑性解を利用した地下浅所トンネルの安定性評価 / 鳥取大学[学]小川 金時・西村 強・河野 勝宣
- III-190 近接トンネル掘削時における周辺地山挙動に関する報告 / 東日本高速道路[正]横田 光一郎・佐藤 直輝・長尾 和之

Ⅲ-1 (幸町北4号館 411講義室) / 9月5日(木)

- トンネル(2) / 8:40~10:10 / 芥川 真一(神戸大学)
- Ⅲ-265 トンネル施工中における省力型三次元電気探査の試行 / 飛鳥建設[正]土田 隆史・兼松 亮・小塩 崇之
  - Ⅲ-266 機械学習の適用による切羽前方不良地山の施工方法の考察 / 大林組[正]渡辺 淳・萩野 知・木梨 秀雄
  - Ⅲ-267 変位追従型長尺鏡ボルトのいなし効果に関する解析的検討 / ケー・エフ・シー [正]岡部 正・松尾 勉
  - Ⅲ-268 数値解析における変形制御型ロックボルトのモデル化検討 / 鹿島建設[正]小泉 悠・岡田 侑子・黒川 紗季
  - Ⅲ-269 簡易軸力計測システムの開発 / ケー・エフ・シー [正]井本 厚・外川 雄大・芥川 真一
  - Ⅲ-270 中国自動車道 冠山トンネル(上り線)路面隆起対策工に関する報告 / 西日本高速道路[正]鈴木 健太郎・村上 豊和
  - Ⅲ-271 新幹線長大トンネルにおける仮設備および斜坑の計画変更について / 佐藤工業[正]清宮 数羽

- トンネル(3) / 10:25~11:55 / 鍋島 康之(明石工業高等専門学校)
- Ⅲ-272 背面空洞を有するトンネルの変形メカニズムに関する実験的考察 / 首都大学東京[学]柳下 丈偉
  - Ⅲ-273 ボーリング孔内変位計を用いたクリープ係数の設定 / 大林組[正]中岡 健一・畑 浩二
  - Ⅲ-274 石灰石鉱山における高精度秒時電子雷管を使用した制御発破の実績 / 鹿島建設[正]松原 功明・土門 明・村上 和哉
  - Ⅲ-275 PS-SR工法の適用地山および長尺コアボーリングへの適応性に関する検討 / 鉄建建設[正]小山 俊晃・舟橋 孝仁・植村 義幸
  - Ⅲ-276 地山安定性評価のための二軸先行変位計の開発 / 大林組[正]鈴木 拓也・木梨 秀雄・渡辺 淳
  - Ⅲ-277 重要構造物直下における坑口小土被り部の計測管理手法 / 大成建設[正]近藤 正隆・亀田 徹也・古市 圭典
  - Ⅲ-278 山岳トンネルにおける先進ボーリングによる地山評価の課題について / 深田地質研究所[正]亀村 勝美・岡崎 健治・倉橋 稔幸

- トンネル(4) / 12:40~14:10 / 瀬谷 正巳(佐藤工業)
- Ⅲ-279 トンネルの2次元解析におけるパラメータ設定に関する一考察 / 大成建設[正]藤山 凌・大塚 勇・板垣 賢
  - Ⅲ-280 超高強度吹付けコンクリートの土被りトンネルへの適用性検討 / 大成建設[正]横畑 友幹・大塚 勇・板垣 賢
  - Ⅲ-281 若材齢時における吹付けコンクリートの静弾性係数に関する研究 / 松江工業高等専門学校[学]持田 新太郎・岡崎 泰幸
  - Ⅲ-282 蛇紋岩地山におけるトンネル掘削時の変状発生原因の検討 / 大林組[正]奥澤 康一・鈴木 健一郎・中岡 健一
  - Ⅲ-283 変状原因究明のための結晶片岩、蛇紋岩の力学特性評価 / 大林組[正]古家 義信・坂井 克巳・藤田 賢
  - Ⅲ-284 泥岩の含水比変化が強度劣化に与える影響 / 鉄道総合技術研究所[正]嶋本 敬介・川越 健・今林 泰史
  - Ⅲ-285 ドローンを利用した空中電磁探査によるトンネルの地質調査 / 熊谷組[正]金井 拓弥・成富 裕樹・有持 フェルナンド
  - Ⅲ-286 先進ボーリング孔沿いの連続的なひずみ量によるトンネル変位量の試算と実変位量の比較例 / 寒地土木研究所[正]岡崎 健治・倉橋 稔幸・亀村 勝美

- トンネル(5) / 14:25~15:55 / 崔 瑛(横浜国立大学)
- Ⅲ-287 拘束圧を考慮した吸水膨張試験による盤ぶくれの予測方法 / 応用地質[正]奥井 裕三・國村 省吾・西村 和夫
  - Ⅲ-288 供用中トンネルの盤膨れ地質状況の把握 / 応用地質[正]國村 省吾・加藤 真一・櫻井 孝
  - Ⅲ-289 膨潤性地山を貫く鉄道トンネルで発生した盤膨れについて / 東日本旅客鉄道[正] 畠中 優
  - Ⅲ-290 鋼繊維補強コンクリートを用いたトンネル覆工における長期計測結果に関する一考察 / 土木研究所[正]坂本 昇・日下 敦・森本 智
  - Ⅲ-291 360度パノラマ画像を用いた小断面レンガ積みトンネルの点検手法について / 明石工業高等専門学校[正]鍋島 康之・多嶋 花帆
  - Ⅲ-292 現場状況に応じた路盤部ロックボルトの仕様変更に関する解析的検討 / 東日本旅客鉄道[正]水野 光一郎・浅田 章一・木村 博憲
  - Ⅲ-293 地すべり地に位置する山岳トンネルの長期的な調査・計測の評価 / 東日本旅客鉄道[正]浅田 章一・友利 方彦・水野 光一郎

- トンネル(6) / 16:10~17:40 / 吉川 直孝(労働安全衛生総合研究所)
- Ⅲ-294 動的遠心模型実験による3ヒンジ式プレキャストアーチカルバートの補強方法の提案 / 土木研究所[正]山崎 旬也・野田 翼・石田 雅博

- Ⅲ-295 既設プレキャストアーチカルバートの縦断方向挙動対策に用いる炭素繊維シート補強効果 / エイト日本技術開発[正]佐伯 宗大・眞野 基大・呂 佩哲
- Ⅲ-296 既設プレキャストアーチカルバートの炭素繊維シート補強の付着力評価 / 高速道路総合技術研究所[正]中澤 正典・中村 洋丈・佐伯 宗大
- Ⅲ-297 高地庄トンネルにおけるフレキシブル支保部材の変形特性評価および解析による適用性検討 / 鹿島建設[正]黒川 紗季・升元 一彦・小泉 悠
- Ⅲ-298 地山特性曲線法による可縮支保構造の検討 / 大成建設株[正]坂井 一雄
- Ⅲ-299 山岳トンネル用可縮支保部材の室内圧縮試験 / 大成建設[正]水野 史隆・坂井 一雄・谷 卓也
- Ⅲ-300 覆工とインバートの打継ぎ目の力学特性に関する要素実験 / 首都大学東京[学]宮石 雅子・砂金 伸治・西村 和夫

Ⅲ-2 (幸町北4号館 412講義室) / 9月3日(火)

- 試験法・調査法 / 8:40~10:10 / 中澤 博志(防災科学技術研究所)
- Ⅲ-030 フィルダム堤体改修における堤体の強度パラメータのN値による推定 / フジタ[正]福島 伸二
  - Ⅲ-031 サンプリング・サウンディング試験の貫入抵抗と非排水せん断強さとの相関 / 大阪市立大学[学]安田 賢吾・大島 昭彦・天満 脩平
  - Ⅲ-032 火山灰質土の液状化判定に資する簡易な液状化調査法に関する検討 / 寒地土木研究所[正]橋本 聖・林 宏親・畠山 乃実物大試験土層におけるN値と相対密度についての一考察 / 不動テトラ[正]伊藤 竹史・原田 健二・矢部 浩史
  - Ⅲ-034 海上調査における採取方法の違いが土質試験結果へ与える影響に関する基礎的検討(その1) / 基礎地盤コンサルタンツ[正]井上 玄己・野村 英雄・鳥居 周
  - Ⅲ-035 海上調査における採取方法の違いが土質試験結果へ与える影響に関する基礎的検討(その2) / 基礎地盤コンサルタンツ[正]赤坂 幸洋・友清 悟・鳥居 周
  - Ⅲ-036 簡易的な地盤調査の実用化に向けたサンプリング試験の実施 / 京都市大学[学]岩井 勝哉・末政 直晃・伊藤 和也
  - Ⅲ-037 簡易型スラリー試料採取装置の考案と試行適用 / 大成建設[正]石井 裕泰・松井 秀岳

- 地盤の動的挙動(1) / 10:25~11:55 / 井澤 淳(鉄道総合技術研究所)
- Ⅲ-038 波による液状化と埋設パイプの沈込みに関するドラム遠心実験 / 東洋建設[正]角田 紘子・宮本 順司・佐々 真志
  - Ⅲ-039 波による地盤液状化過程とパイプ沈込み挙動との関わり / 東洋建設[正]宮本 順司・佐々 真志・鶴ヶ崎 和博
  - Ⅲ-040 中間土の液状化を模擬した遠心模型実験のシミュレーション / 大成建設[正]居上 靖弘・宇野 浩樹・船原 英樹
  - Ⅲ-041 表層地盤の排水条件が長継続時間地震動における液状化に及ぼす影響 / 防災科学技術研究所[正]河又 洋介・鶴ヶ崎 和博・宮本 順司
  - Ⅲ-042 埋設管に作用する過剰間隙水圧を考慮した浮き上がり安全率 / 日本大学[正]仙頭 紀明・宮崎 友輔
  - Ⅲ-043 液状化地盤へのパイルドラフト基礎の適用性に関する一考察 / 西松建設[正]今村 真一郎・平野 孝行・八木 高志
  - Ⅲ-044 Experimental study in soil reliquefaction under embankment due to aftershocks / 京都大学[学]村井 佑次・権代 知輝・ビバットボンサ ティラボン

- 地盤の動的挙動(2) / 14:55~16:25 / 仙頭 紀明(日本大学)
- Ⅲ-045 正規化累積損失エネルギーと過剰間隙水圧の関係に及ぼす入力波の影響 / 鉄道総合技術研究所[正]山本 昌徳・井澤 淳・神澤 拓
  - Ⅲ-046 過圧密履歴を受けた浦安砂の累積損失エネルギーの特徴 / 東京電機大学[正]石川 敬祐・安田 進・金井 勇介
  - Ⅲ-047 既設小規模構造物を対象とした排水性格子状改良の液状化対策効果 / 名古屋工業大学[学]中谷 一貴・森河 由紀弘・前田 健一
  - Ⅲ-048 地中構造物の格子状固結工法による液状化対策の耐震補強効果 / 大林組[正]伊藤 浩二・樋口 俊一
  - Ⅲ-049 リターン型推進による液状化対策地下水水位低下工法の開発及び試験施工 / 国土館大学[正]橋本 隆雄・橋ヶ谷 直之・金子 恵太
  - Ⅲ-050 L2地震下で顕著なる河川堤防直下の軟弱粘性土の揺すりこみ沈下挙動 / 名古屋大学[正]中井 健太郎・野田 利弘・黒口 拳四郎

- 地盤の動的挙動(3) / 16:40~18:10 / 中井 健太郎(名古屋大学)
- Ⅲ-051 降雨連水が盛土の耐震性能に及ぼす影響評価を目的とした模型振動台実験 / 鉄道総合技術研究所[正]中島 卓哉・松丸 貴樹・渥美 知宏

- III-052 防災対策を考慮した既存盛土の耐震性能向上に関する検討／JR西日本[正]渥美 知宏・細岡 生也・濱田 吉貞
- III-053 おもりの用いた環境振動の伝播経路対策に関する模型実験—おもりの質量と低減効果の関係—／埼玉大学[学]千葉 泰河・岩根 康之・小林 真人
- III-054 おもりの用いた環境振動の伝播経路対策に関する模型実験—おもりの幅および設置位置と低減効果の関係—／飛鳥建設[正]岩根 康之・小林 真人・千葉 泰河
- III-055 水平・鉛直同時加振によるL型擁壁の動的挙動／防衛大学校[正]篠田 昌弘・宮田 喜壽
- III-056 様々な水理外力の作用に伴う空洞形成・陥没の進行過程および吸い出し抑止法の研究／港湾空港技術研究所[正]工代 健太・佐々 真志・梁 順普

III-2 (幸町北4号館 412講義室) / 9月4日(水)

■地盤の挙動／地盤の動的挙動(4) / 8:40~10:10 / 重村 智(日本大学)

- III-191 押え盛土工法が盛土の地震時安定性に及ぼす効果に関する数値解析的検討／中日本高速道路[正]稲垣 太浩・中野 正樹・酒井 崇之
- III-192 NMM-DDAによる鉦山捨土たい積場の地震応答解析検討事例／サンコーコンサルタント[正]堀川 滋雄・小原 義之・福嶋 繁
- III-193 粘性土の地震時変状を関連付ける損傷パラメータ／茨城大学[正]安原 一哉
- III-194 平成30年北海道胆振東部地震における札幌市清田区里塚での谷埋盛土の流動化に関する振動台実験／京都大学[学]小林 凌・上田 恭平・渦岡 良介
- III-195 鋼製格子枠を用いたのり面の耐震補強・耐降雨対策工の開発(その1)／岡部[正]荒木 信博・松丸 貴樹・天野 友貴
- III-196 鋼製格子枠を用いたのり面の耐震補強・耐降雨対策工の開発(その2)／複合技術研究所[正]天野 友貴・松丸 貴樹・荒木 信博
- III-197 切土石積み土留め壁箇所の耐震補強におけるグラウト材の漏洩防止方法／東鉄工業[正]土田 大輔・小池 典征・石橋 誠司
- III-198 大規模崩壊の予兆である「歪な凸状斜面」の形成機構／第一復建[正]吉村 辰朗

■地盤の挙動／地盤の安定性評価 / 10:25~11:55 / 海野 寿康

(宇都宮大学)

- III-199 模型実験を援用した河川堤防の浸透破壊モード推定に向けた基礎研究／新潟大学[学]星野 漢太・大竹 雄・小高 猛司
- III-200 地盤と対策工に生じた隙間が堤内基盤排水対策に及ぼす影響に関する研究／土木研究所[正]佐々木 亨・石原 雅規・佐々木 哲也
- III-201 土のせん断が植生の生体電位に与える影響／九州大学 [学]田代 直樹・古川 全太郎・笠間 清伸
- III-202 模型斜面の安定に及ぼすアーチ作用と破壊機構の影響／日本大学[正]重村 智・近藤 綾太
- III-203 盛土斜面の降雨に対する安定性照査法に関する一考察／中電技術コンサルタント[正]笹井 友司・西垣 誠・西山 哲
- III-204 熊本地震により滑动崩落被害を受けた造成宅地の被害要因の検討(その2)／パシフィックコンサルタンツ[正]佐藤 成・門田 浩一・金子 俊一郎
- III-205 熊本地震により滑动崩落被害が発生した造成宅地の被災要因の検討(その1)／パシフィックコンサルタンツ[正]門田 浩一・佐藤 成・金子 俊一郎

III-2 (幸町北4号館 412講義室) / 9月5日(木)

■土の動的性質 / 8:40~10:10 / 宮本 順司(東洋建設)

- III-301 全方向ディスクトランスデューサーを搭載した立方体土槽の開発／東京大学[正]川口 勇一郎・大坪 正英・Dutta Tanu Troyee
- III-302 個別要素法解析による粒状体地盤材料の弾性波速度異方性に関する基礎的研究／東京大学[正]大坪 正英・川口 勇一郎・Dutta Tanu Troyee
- III-303 画像の多重解像度解析に基づく平面ひずみ圧縮試験の微視的観察／新潟大学[学]八重樫 啓生・大竹 雄・福元 豊
- III-304 粘性土の繰返しせん断挙動の解釈と工学的な扱いに関する考察／土木研究所[正]石村 陽介・谷本 俊輔・佐々木 哲也
- III-305 圧密降伏応力超過条件下での自然堆積粘性土の繰返しせん断による圧縮特性／中部土質試験協同組合[正]久保 裕一・小高 猛司・李 圭太
- III-306 阿蘇カルデラの湖成粘性土の動的変形特性／東京電機大学[学]野村 勇斗・石川 敬祐・安田 進

■砂の変形・強度 / 10:25~11:55 / 橋本 隆雄(国士舘大学)

- III-307 定圧一面せん断試験によるマイカ混合砂の定常状態の評価／首都大学東京[学]横倉 恵美・吉嶺 充俊
- III-308 粒子破碎によって生じる細粒分が砂の非排水せん断挙動に与える影響／首都大学東京[学]水野 光輝・吉嶺 充俊
- III-309 砂の形状が定常状態特性に及ぼす影響／首都大学東京 [学]汪 清夢・吉嶺 充俊
- III-310 小型締固め機械で転圧した試験盛土から採取した土の三軸等方圧密特性／小型締固め機械で転圧した試験盛土から採取した土の三軸等方圧密特性／東京大学[正]富田 佑一・古関 潤一
- III-311 高知高専型一面せん断試験の実用化における繰返し三軸試験との比較／高知工業高等専門学校[学]谷本 和香奈・岡林 宏二郎・向谷 光彦
- III-312 砂の種類や供試体作製方法の違いが動的変形特性に与える影響／応用地質[正]川原 孝洋・大矢 陽介・持田 文弘
- III-313 粒子構造と粒子形状がひずみの発達過程と損失エネルギーに及ぼす影響／不動テトラ[正]出野 智之・原田 健二・矢部 浩史

■岩の工学的性質 / 12:40~14:10 / 小熊 登(前田建設工業)

- III-314 レーザー照射による岩石中の弾性波速度の評価／大林組[正]鈴木 健一郎・奥澤 康一・新村 亮
- III-315 鉱物分布・組成を考慮した岩石のき裂発生・進展解析手法の提案／京都大学[学]伊澤 正悟・緒方 奨・安原 英明
- III-316 粘土鉱物を混合した人工軟岩のモードI破壊に関する研究／鳥取大学[学]吉田 智彦・河野 勝彦・西村 強
- III-317 損傷理論を実装した連成数値シミュレータによる岩盤の長期透水特性評価／京都大学[学]緒方 奨・安原 英明・岸田 潔
- III-318 新第三紀火山岩類中に見られる固結した破碎部の強度特性・変形特性／北陸電力[正]松村 和雄・西本 真也・尾松 圭太
- III-319 トンネル路盤下の地山評価／東日本旅客鉄道[正]小瀬 喜巳・水野 光一朗・山村 啓一
- III-320 地質時代の異なる島尻層群の評価／基礎地盤コンサルタント[正]田中 淳・遠藤 正悟・柄尾 健
- III-321 岩石材料評価へのコンクリートスターの適用／大成建設[正]山上 順民・水野 史隆・新井 博之

■凍結・凍土 / 14:25~15:55 / 西村 聡(北海道大学)

- III-322 凍土造成および維持管理を対象とした三次元熱水連成解析／鹿島建設[正]並川 正・田部井 和人・江崎 太一
- III-323 パルサの形成過程に関する実験的研究／北海道大学[学]石原 寛也・白鳥 良子・蟹江 俊仁
- III-324 凍土の凍結と融解に及ぼすベンチレーションパイプの性能評価について／北海道大学[学]岩崎 千明・蟹江 俊仁・本間 翔太
- III-325 凍結試験から飽和細粒土の工学的性質を検討する基礎的研究／摂南大学[学]塚本 光祐・伊藤 譲
- III-326 細粒土の凍上性が凍結中の未凍土部分における透水係数に与える影響／奥村組土木興業[正] 廣瀬 剛・伊藤 譲・石川 達也
- III-327 凍土の一軸圧縮降伏強度と細粒分含有率および乾燥密度との関係／鹿島建設[正]田口 翔大・吉田 輝・辻 良祐
- III-328 凍土の破壊規準線とせん断強度の評価—凍土設計データベースの整備(その5)—／鹿島建設[正]辻 良祐・吉田 輝・田口 翔大

■特殊土・その他 / 16:10~17:40 / 酒匂 一成(鹿児島大学)

- III-429 特殊な性質を有する腐食土層に対して実施した注入試験／JR東日本[正]丸子 文之・小笠原 桃子・竹谷 勉
- III-430 鉛直荷重一定下での乾燥繰返し履歴を考慮した泥岩粒集合体のせん断挙動の構成式による再現／名古屋大学[正]酒井 崇之・中野 正樹・中村 洋丈
- III-431 一次しらすの強度および摩擦特性／中央開発[正]荒井 靖仁・永谷 英基・北村 良介
- III-432 締固め特性に基づくバライト碎石混合土の放射線遮蔽性能の推察／早稲田大学[学]関本 貴斗・吉川 絵麻・那須 郁香
- III-433 北海道胆振東部地震による厚真町の斜面災害現場から採取した火山性土の不飽和力学特性／東京大学[学]佐藤 樹・桑野 玲子・大坪 正英
- III-434 ベントナイトの保水性およびモンモリロナイト底面距離に及ぼす温度履歴の影響／早稲田大学[学]白河部 匠・小峯 秀雄・後藤 茂
- III-435 ベントナイトの膨潤性を低減させる地盤条件の影響度および対策効果を判定するための簡易的評価手法の検討／ライト工業[正]村田 晋一・荒木 豪・飯尾 正俊

■透水・浸透 (1) / 8:40~10:10 / 佐藤 真理(鳥根大学)

- Ⅲ-057 簡易動的コーン貫入試験による宮崎県北川の被災メカニズム解明 / 名古屋工業大学[学]高辻 理人・前田 健一・西村 柁哉
- Ⅲ-058 FEM浸透流解析による砂地盤のボイリングの検討 / 大林組 [正]杉江 茂彦・中道 洋平・鈴木 和明
- Ⅲ-059 浸透-変形連成解析法による木津川堤防のバイピング現象の数値解析 / 京都大学[学]田中 健造・木元 小百合
- Ⅲ-060 将来気候データと地盤情報を用いた河川堤防基礎地盤の危険度評価に関する解析的検討 / 九州大学[正]石蔵 良平・長濱 康太・安福 規之
- Ⅲ-061 堤体基礎の平均動水勾配と鉛直方向の局所動水勾配の関係 / 中部大学[学]森 聖智・杉井 俊夫・余川 弘至
- Ⅲ-062 堤体の局所浸透流を考慮したバイピング発生条件に関する研究 / 葵エンジニアリング[学]寺西 剣悟・杉井 俊夫・余川 弘至
- Ⅲ-063 潮汐による圧力変動の数値解析手法の開発—二酸化炭素地中貯留におけるCO<sub>2</sub>モニタリングへの取組み— / 大成建設 [正]赤木 俊文・山本 肇・佐藤 光三
- Ⅲ-064 CO<sub>2</sub>貯留層における数値解析を用いた貯留性能評価 / JP ビジネスサービス[正]西山 治希・重岡 優希・木野 戸広

■透水・浸透 (2) / 10:25~11:55 / 清木 隆文(宇都宮大学)

- Ⅲ-065 ベレア砂岩を対象とした空隙スケールでの水-空気多相流解析の試み / 大成建設 [正]増岡 健太郎・山本 肇
- Ⅲ-066 地山の不均質性が岩盤空洞の湧水量の予測に与える影響について / 清水建設 [正]郷家 光男・戸栗 智仁
- Ⅲ-067 岩盤割れ目を対象とした透水試験における交差割れ目の影響解析 / 電力中央研究所 [正]田中 靖治・岡本 駿一
- Ⅲ-068 岩盤の変動状況からひび割れ位置を推定するための基礎的研究 I : 模型実験による検討 / 群馬大学[学]北爪 敦司・江口 和暉・若井 明彦
- Ⅲ-069 岩盤の変動状況からひび割れ位置を推定するための基礎的研究 (その2) : トポロジ-最適化による推定 / 群馬大学 [学]山本 優介・若井 明彦
- Ⅲ-070 熱・流体・応力連成解析によるHE-E試験の再現解析 / 大林組 [正]佐藤 伸・山本 修一・深谷 正明
- Ⅲ-071 熱-流体連成モデルによるHE-E原位置ヒーター試験の二相流パラメータの検討 / 地圏環境テクノロジー [正]田中 啓・田原 康博・佐藤 伸

■透水・浸透 (3) / 14:55~16:25 / 竹下 祐二(岡山大学)

- Ⅲ-072 濃尾平野における扇状地河川からの地下水涵養量の地域性 / 岐阜大学[学]桑山 浩幸・神谷 浩二・井上 やおき
- Ⅲ-073 熊本地下水浅井戸の地下水位季節変動 / 大成ジオテック [正]福田 光治・栗木 徳明
- Ⅲ-074 重力探査による越前大野盆地の地下水賦存量の推定に関する研究 / 関西大学[学]新田 真也・楠見 晴重
- Ⅲ-075 有限要素法に基づく斜面浅部の地下水位上昇量の簡易予測モデル / 群馬大学[学]渡邊 暁乃・若井 明彦・蔡 飛
- Ⅲ-076 間欠揚水法における土留め壁背面の地下水位低下量に及ぼす透水係数の影響 / 茨城大学[学]原 悠馬・小林 薫・本多 顕治郎
- Ⅲ-077 石混じり礫盛土による物部川堤防盛土の特性に関する一考察 / 名城大学 [正]李 圭太・小高 猛司・石原 雅規
- Ⅲ-078 河川堤防の浸透時のすべり耐性を適切に評価する試験法の提案 / 名城大学[学]中山 雄人・小高 猛司・李 圭太

■透水・浸透 (4) / 16:40~18:10 / 神谷 浩二(岐阜大学)

- Ⅲ-079 変水位透水試験により測定したベントナイト系材料の透水係数の比較 / 早稲田大学[学]貞松 暁大・伊藤 大知・市川 雄太
- Ⅲ-080 動水勾配の変化に対するカオリンクレ-注入地盤の透水性評価 / 岡山大学 [正]高橋 啓介・小松 満・瀧本 弘治
- Ⅲ-081 Ca型ベントナイト混合土の透水係数に関する評価 (その1) —ベントナイト混合率, 試料混合方法の影響— / 早稲田大学 [学]崎田 知紀・小峯 秀雄・篠崎 由梨
- Ⅲ-082 泥水試料を用いた透水試験方法および遮水性発現メカニズムに関する一考察 / 早稲田大学 [学]吉川 絵麻・小峯 秀雄・後藤 茂
- Ⅲ-083 トンネル掘削ずり盛土における不飽和浸透流の検証 / 奥村組 [正]清水 祐也・岩本 容昭・大河原 正文
- Ⅲ-084 堤防の浸透破壊に対する排水パイプの補強効果に関する実験的研究 / 日本製鉄 [正]石濱 吉郎・持田 祐輔・Singh Jenisha
- Ⅲ-085 土粒子の移動に着目した繰返し浸透実験 / 土本研究所 [正]富澤 彰仁・佐々木 亨・石原 雅規

■洗掘・浸食 / 8:40~10:10 / 近藤 明彦(港湾空港技術研究所)

- Ⅲ-206 常時微動を用いた新たな固有振動数同定手法の実橋りょうへの適用性に関する検証 / 鉄道総合技術研究所 [正]渡邊 論・内藤 直人・湯浅 友輝
- Ⅲ-207 橋脚側面および底面地盤の局所洗掘が直接基礎橋脚模型の振動性状に及ぼす影響 / 鉄道総合技術研究所 [正]内藤 直人・渡邊 論・布川 修
- Ⅲ-208 鉄道の要注意橋りょうの維持管理に対する判定方法の検討 / 九州旅客鉄道 [正]高橋 拓大・大仲 修
- Ⅲ-209 河川洪水で消失する橋台背面盛土の保全対策技術の河床変動解析による研究 / 寒地土木研究所 [正]青木 卓也・井上 卓也・畠山 乃
- Ⅲ-210 細粒含有率と乾湿繰り返し土砂流出と空洞形成に及ぼす影響に関する考察 / 鳥根大学 [正]佐藤 真理・宇野 嘉伯・伊藤 亮太
- Ⅲ-211 外水位変動を考慮した河川堤防の応力解析 / 福島工業高等専門学校 [正]小野 里花子・金澤 伸一
- Ⅲ-212 SPH法による土構造物の侵食解析プログラムの開発 / 法政大学 [学]田川 幹晃
- Ⅲ-213 簡易的に流水状態を考慮した浸透流解析による防波堤マウンドの安定性評価 / 名古屋工業大学 [学]安江 絵翔・前田 健一・鈴木 悠真

■土壌地下水汚染 / 10:25~11:55 / 小峯 秀雄(早稲田大学)

- Ⅲ-214 気泡混合土に含まれる界面活性剤の溶出特性における基礎的検討 / 大成建設 [正]近藤 俊介・高畑 陽・西田 与志雄
- Ⅲ-215 シアンを対象とした透過性地下水浄化壁の材料選定及び効果確認 / 大林組 [正]日野 良太・大西 健二・緒方 浩基
- Ⅲ-216 アルカリ土類金属型(Ca型)ベントナイトを用いたソイルベントナイト鉛直遮水壁の基礎的検討 / ライト工業 [正]三中 淳平・荒木 豪・飯尾 正俊
- Ⅲ-217 六価クロム模擬汚染土におけるヒマワリの浄化効果に関する実験的検討 / 九州大学 [学]古賀 泰史・古川 全太郎・笠間 清伸
- Ⅲ-218 炭酸カルシウムを使用した酸性地下水の浄化技術に関する検討 / 大成建設 [正]根岸 昌範・小松 寛
- Ⅲ-219 エコクレイウォールⅡ工法の現場透水試験と動的水変形に関する基礎的検討 / ライト工業 [正]荒木 豪・乾 徹・高井 敦史
- Ⅲ-220 Numerical simulation on arching effect of circular vertical shaft during excavation process / Kyoto university graduate school [学]Tangjarusritaratorn Tanawat・Miyazaki Yusuke・Sawamura Yasuo

■廃棄物・リサイクル (1) / 8:40~10:10 / 平川 大貴(中央大学)

- Ⅲ-436 マイクロ波を用いた建設残土の再利用促進に関する研究 / 中部大学 [学]樋口 翔太郎・余川 弘至・榎村 京一郎
- Ⅲ-437 不飽和ベントナイト砕石のサクシオンおよび力学的特性と締固め密度の妥当性 / NB研究所 [正]成島 誠一・新井 靖典・佐古田 又規
- Ⅲ-438 自然由来ヒ素含有泥水を弱酸性領域で還流する泥水管理手法に関する基礎的検討 (その2) / 鴻池組 [正]大山 将・小山 孝・阪部 久敬
- Ⅲ-439 一般廃棄物からのカルシウム溶出を抑制する技術の検討 / 鹿島建設 [正]篠原 智志・田中 真弓
- Ⅲ-440 復興資材と粘土・シルト系土質材料の放射線遮蔽性能の比較 / 早稲田大学 [学]神田 皓城・那須 郁香・吉川 絵麻
- Ⅲ-441 水溶性物質含有盛土の降雨浸透シミュレーション / 近畿大学 [学]有西 海飛・河井 克之・片岡 沙都紀

■廃棄物・リサイクル (2) / 10:25~11:55 / 伊藤 圭二郎(鹿島建設)

- Ⅲ-442 微粒フェロニッケルスラグの土工材料としての有効利用に関する研究 (その1) 室内非水浸CBR特性に関する検討 / 立命館大学 [学]蜂谷 興起・安田 智弘・石黒 健
- Ⅲ-443 微粒フェロニッケルスラグの土工材料としての有効利用に関する研究 (その2) 汎用土工機械による現場転圧特性に関する検討 / 日本冶金工業 [正]安田 智弘・館農 昇・石黒 健
- Ⅲ-444 微粒フェロニッケルスラグの土工材料としての有効利用に関する研究 (その3) 現地造成地盤の諸物性に関する検討 / 前田建設工業 [正]石黒 健・館農 昇・安田 智弘
- Ⅲ-445 光ファイバセンサを用いた高濃度フライアッシュスラリー投入管の高さ管理手法 / 東洋建設 [正]伊藤 輝・鶴ヶ崎 和博
- Ⅲ-446 Geotechnical Properties of Recovered Soil mixed with Concrete Debris. / [正]Minoru Tokita・Shin-ichi Noguchi・Yoshio Nakamura

- III-447 固化材/不溶化材の混合による破碎コンクリートの工学的特性の改善/中央大学[正]平川 大貴・荒木 裕行・大橋 貴志  
 III-448 破碎瓦の裏込め材としての適用性/名古屋工業大学[正]森河 由紀弘・佐藤 智範・前田 健一

■地下空洞と地下構造物/12:40~14:10/塚田 哲史(構造計画研究所)

- III-449 アーバンウォール®工法の開発/加藤建設[正]高橋 達也・橋本 崇俊・松岡 馨  
 III-450 カルバートのひびわれに与える偏土圧の影響に関する一検討/土木研究所[正]稲垣 由紀子・佐々木 哲也  
 III-451 圧力ディスクを用いたアンカー荷重計測における温度影響について/三重大学[正]酒井 俊典・秋山 康之・奥田 康三  
 III-452 泥水ライニング構造に適用する泥水の反重力方向に対する自己閉塞機能試験/電源開発[正]久野 彰大・高島 正治・湖上 安信  
 III-453 埋設管のスラスト力防護工に用いる蛇籠型受圧体の地震時における排水挙動/中央大学[学]川崎 佑斗・荒木 裕行・平川 大貴  
 III-454 路盤陥没の発生メカニズムに関する基礎的研究/東日本旅客鉄道[正]安田 祐輔・桑野 玲子・大原 勇  
 III-455 水ガラスを添加した空洞充填材の追跡調査/飛鳥建設 [正]勝又 諒・杉浦 乾郎・坂本 昭夫

■フィルダム/14:25~15:55/原 忠(高知大学)

- III-456 ロックフィルダムフィルター材の粒度検討と盛立試験による品質確認事例/大林組[正]梅原 由貴・久保 貴士・鎌田 知仁  
 III-457 フィルダム堤体改修用固化改良土(碎・転圧盛土工法)の締固め密度比による遮水性確認法の適用性/フジタ[正]北島 明・福島 伸二・谷 茂  
 III-458 フィルダム堤体改修における固化改良土(碎・転圧盛土工法)の現場・室内試験による透水係数/フジタ[正]堀田 崇由・福島 伸二・北島 明  
 III-459 小石原川ダムを対象とした土水連成弾塑性FEM解析(その1)一情報化施工への適用一/鹿島建設[正]宇津野 衛・澤田 叔宏・大野 進太郎  
 III-460 小石原川ダムを対象とした土水連成弾塑性FEM 解析(その2)一動態観測結果に基づく精度向上一/リテックエンジニアリング[正]澤田 叔宏・大野 進太郎・宇津野 衛  
 III-461 GPSによるフィルダム堤体変位計測の対流圏遅延補正に用いる気象データについて/山口大学[正]中島 伸一郎・清水 則一・常峰 紫乃

■地盤の応力と変形/16:10~17:40/荒木 裕行(香川大学)

- III-462 粘性土に打設された基礎体周辺土の強度・変形特性/防衛大学校[正]正垣 孝晴・斑目 育幹  
 III-463 粘性を考慮した解析モデルによる変状地層形成の要因分析/東北大学[学]金澤 秀太・京谷 孝史・松原 成志朗  
 III-464 室内ベンゼン断試験において発生する過剰間隙水圧の測定/東亜建設工業[正]平林 弘・川口 貴之・川尻 俊三  
 III-465 PIVを用いた基礎荷重地盤における粒子の大変位挙動解析/早稲田大学[学]佐藤 慶太・赤木 寛一・桐山 貴俊  
 III-466 球体粒子を用いた三次元個別要素法による再液状化解析/東京大学[学]森本 時生・大坪 正英・古閑 潤一  
 III-467 地盤材料の違いが胴締めまたはジャーミングに及ぼす影響/鹿島建設[正]久保田 光太郎・永谷 英基・北村 良介  
 III-468 締固めた粉体状ペントナイトの吸水に伴う鉛直方向および側方の発生応力/早稲田大学[学]市川 雄太・小峯 秀雄・後藤 茂  
 III-469 側方流動圧が作用する道路橋基礎の遠心模型実験/土木研究所[正]飯島 翔一・藤村 彰・桐山 孝晴

III-4 (幸町北4号館 415講義室) /9月3日(火)

■地盤防災/斜面(1) /8:40~10:10/日外 勝仁(寒地土木研究所)

- III-086 海底地すべりの発生メカニズムとその規模に関する基礎的研究/名古屋工業大学[学]安井 俊平・岩井 裕正・木村 真郷  
 III-087 斜面形状を考慮した盛土の応力解析/応用地質[正]五十嵐 日菜・金澤 伸一  
 III-088 自然斜面発生源崩壊対策に関する実験的検討/日鉄建材[正]岩佐 直人・堀 謙吾・副田 尚輝  
 III-089 再滑動地すべり箇所における3段配置した地すべり鋼管杭の挙動/西日本高速道路エンジニアリング中国[正]金子 雅博・田原 和貴・前田 智作  
 III-090 緩慢に変位する斜面の安定性評価/電力中央研究所[正]小早川 博亮・久野 春彦  
 III-091 飽和一不飽和浸透流解析による火山灰堆積斜面の降雨浸透特性の評価/鉄道総合技術研究所[正]倉上 由貴・松久 貴樹

- III-092 SfM解析を用いた集水井工維持管理手法の開発/国土防災技術[正]齊藤 雅志・森田 昇吾・土佐 信一

■地盤防災/斜面(2) /10:25~11:55/窪島 光志(川崎地盤)

- III-093 弾性波探査に基づく風化した泥岩切土のり面の強度評価一東名高速道路吉田地区一/中日本高速道路[正]永田 政司・菊本 統・藤原 優  
 III-094  $\gamma$ 線調査によりモデル化した地質構造の道路設計への適用/新日本技術コンサルタント[正]上野 竜哉・西内 浩二・小倉 直之  
 III-095 車両走行振動および微小地震による岩盤斜面の脆弱性評価/愛媛大学[学]佐古 昇大・森 伸一郎  
 III-096 RTK-GNSS測位による常時の法面変位の計測値の評価/高速道路総合技術研究所[正]藤原 優・横田 聖哉・久田 裕文  
 III-097 異なるUAVで撮影した岩盤斜面写真における変状把握手法について/寒地土木研究所[正]日外 勝仁・山崎 秀策・倉橋 稔幸  
 III-098 鉄道沿線小規模渓流における渓床堆積厚さの数値地形データからの推定/西日本旅客鉄道[正]森 泰樹・細岡 生也・岡野 和行  
 III-099 粘土質の切土のり面崩壊部の地盤伸縮計における異常挙動に関する一考察一平成30年7月豪雨のり面災害に起因した動態観測一/西日本高速道路エンジニアリング中国[正]有本 行秀・佐々木 薫・佐々木 啓之  
 III-100 簡易動的コーン貫入試験の小打撃時の挙動把握を目的とした室内実験/鉄道総合技術研究所[正]児島 達也・高柳 剛・進藤 義勝

■地盤防災/斜面(3) /14:55~16:25/岩佐 直人(日鉄建材)

- III-101 遠心模型実験による掘削斜面の地下水排水工の検討/労働安全衛生総合研究所[正]平岡 伸隆・吉川 直孝・小暮 一輝  
 III-102 水抜きボーリング工を実施した盛土の実効雨量法による排水効果検証/ネクスコ東日本エンジニアリング[正]浜田 健介・阿部 将也・野田 徹児  
 III-103 地下水低下の評価手法~実効雨量との比較による一例~/西日本高速道路エンジニアリング中国[正]木田 昌良・川波 敏博・秦 二郎  
 III-104 豪雨時の盛土への雨水浸透現象と効果的な排水機能に関する研究/東京都市大学[学]友岡 亮太郎・伊藤 和也・田中 剛  
 III-105 集中豪雨時における雨量,土壌雨量指数と体積含水率の関係/大阪産業大学[正]小田 和広・鳥居 宣之・小山 倫史  
 III-106 道路に近接した斜面地におけるサクシオン計測と解析的評価の事例/ダイヤコンサルタント[正]鏡原 聖史・坂東 聡・鳥居 宣之  
 III-107 不飽和土質定数と一面せん断試験による残留強度を用いた切土耐震補強設計/東日本旅客鉄道[正]中村 宏・油谷 彬博・荒井 靖仁  
 III-108 高切土耐震補強におけるサクシオン計測と浸透流解析を併用した地山安定度の検討/東日本旅客鉄道[正]油谷 彬博・中村 宏・神原 隆則

■斜面(4) /16:40~18:10/北爪 貴史(東電設計)

- III-109 平成30年(2018年)7月豪雨による高知自動車道立川橋の被災及び復旧状況について/西日本高速道路[正]竹縄 謙作  
 III-110 平成30年7月豪雨災害に伴う高知自動車道の対面交通運用について/西日本高速道路[正]平田 恭介・安松谷 隆之  
 III-111 平成30年7月豪雨災害に伴う高知自動車道下り線供用中の常時モニタリング計画と暫定通行規制基準値/西日本高速道路[正]藤田 尚・福原 力  
 III-112 平成30年7月豪雨による高知自動車道立川地区土砂崩落の要因・誘因およびメカニズム/西日本高速道路エンジニアリング四国[正]伊藤 博信・平山 浩司・内田 純二  
 III-113 平成30年7月豪雨による高知自動車道立川橋の橋梁流出メカニズムの推定/NEXCO西日本コンサルタンツ[正]難波 正幸・中原 浩昭  
 III-114 立川橋の健全性の評価及び復旧方法/西日本高速道路[正]山本 泰造・難波 正幸  
 III-115 平成30年7月豪雨による高知自動車道立川地区崩落箇所周辺の地質調査結果及び恒久対策工法/西日本高速道路 [正]平山 浩司・久保井 泰博・廣瀬 光太郎  
 III-116 平成30年度7月豪雨による高知自動車道立川地区災害復旧工事の実施に向けた仮設計画と工事中の安全対策/西日本高速道路[正]渡邊 理智・井田 和輝・山本 雅和

III-4 (幸町北4号館 415講義室) /9月4日(水)

■地盤防災/斜面(5) /8:40~10:10/小田 和広(大阪産業大学)

- III-221 神戸層群における長大切土法面の強度低下と残留強度の評



- 価について(その1:現状の弱層の強度と残留強度の評価) / 西日本高速道路エンジニアリング関西[正]三好 忠和・田久 勉・坂本 英明
- III-222 神戸層群における長大切土法面の強度低下と残留強度の評価について(その2:鉱物・化学的特性の評価) / 国土防災技術[正]戎 剛史・田久 勉・坂本 英明
- III-223 アンカーが被災したのり面の変状対策事例 / 土木研究所[正]近藤 益央・宮武 裕昭・鎌田 裕介
- III-224 中央構造線に近接した切土のり面の変状とその対策について / 鴻池組[正]山口 充・澤田 日出夫・佐野 慶成
- III-225 近年の集中豪雨におけるロックボルト・ロープネット斜面安定工法の適用性 / 関西大学[学]河野 遼登・楠見 晴重・下村 康太郎
- III-226 施工時の詳細記録のない旧タイプアンカーのり面の健全性評価事例 / 中部電力[正]秋山 康之・酒井 俊典・佐藤 正俊
- III-227 グラウンドアンカー工および地山補強土工に作用する凍上力のフィールド実験 / 日特建設[正]池田 淳・佐藤 厚子・畠山 乃
- III-228 グラウンドアンカー残存引張り力の非破壊評価方法に関する実物大模型実験 / 応用地質[正]斎藤 秀樹・山崎 充・八嶋 厚

■地盤防災 / 斜面(6) / 10:25~11:55 / 伊藤 和也(東京都市大学)

- III-229 施工段階で発生した切土のり面の変状に伴う地盤調査・動態観測結果について / 大林組[正]宮本 和也・伊藤 智治・佐々木 徹
- III-230 RTK-GNSS測位データを用いた斜面の異常検知手法の提案 / 西日本高速道路[正]村上 豊和・堤 浩志・田山 聡
- III-231 大規模崩壊リスクのある斜面の維持管理方法の検討 / 東日本旅客鉄道[正]熊谷 翔
- III-232 平成30年7月豪雨時における京都府綾部市安国寺裏斜面の地下水位の挙動 / 大阪産業大学[学]近藤 慎太郎・小田 和広・矢野 晴彦
- III-233 高速道路のり面における平成30年7月豪雨時の変位計測と土中水分計測結果の考察 / 西日本高速道路[正]堤 浩志・田山 聡・小泉 圭吾
- III-234 常時モニタリングによる外的要因が浮石部振動特性に与える影響分析 / 高速道路総合技術研究所[正]久田 裕史・藤原 優・三塚 隆
- III-235 施工段階で発生した切土のり面変状対策工について / 大林組[正]常峰 寛之・伊藤 智治・佐々木 徹

III-4 (幸町北4号館 415講義室) / 9月5日(木)

■地盤防災 / 斜面(7) / 8:40~10:10 / 蔣 景彩(徳島大学)

- III-470 MA/CA法による土石流シミュレーション・ツールの拡張(その1) / ユニック[正]阿部 峻大・西村 聡・北爪 貴史
- III-471 MA/CA法による土石流シミュレーション・ツールの拡張(その2) - 土砂流動模型実験の再現解析 / 東電設計[正]遠藤 秀祐・北爪 貴史・佐藤 恭兵
- III-472 リアルタイム雨量センサーを用いた短時間大雨による土砂災害発生予測 / 山梨大学[学]佐藤 和卓・鈴木 猛康
- III-473 軟弱な表層を有する斜面の降雨時の安定性に関する研究 / 京都大学[正]澤田 茉伊・中野 雄太・三村 衛
- III-474 融雪量解析値を用いた融雪災害危険度評価手法の開発 / 鉄道総合技術研究所[正]高柳 剛・進藤 義勝・佐藤 亮太
- III-475 粘性項に地盤強度を導入したMPSによる流動解析 / 竹中工務店[正]金田 一広・澤田 朋樹
- III-476 データ同化によって推定された浸透解析モデルを用いた地下水発生確率の算出 / 鹿児島大学[正]伊藤 真一・小田 和広・小泉 圭吾

■地盤防災 / リスクマネジメント / 10:25~11:55 / 山中 光一(日本大学)

- III-477 合理的路面下空洞対策に向けた空洞探査精度の現状と課題: 深度測定精度 / ジオ・サーチ[正]大野 敦弘・徳永 珠未・濱也 幸樹
- III-478 軟弱地盤地帯での道路整備における地質・地盤リスクマネジメントの取り組み / 国土交通省九州地方整備局[正]梶尾 辰史
- III-479 確率過程に基づく各種挿入の実務上の汎化性の考察 / 新潟大学[学]居城 英孝・大竹 雄・小出 央人
- III-480 超過外力を考慮した河川堤防の設計体系の構築へ向けた基礎研究 / 新潟大学[学]矢沢 大夢・大竹 雄
- III-481 地震動及び常時微動の振幅に関する非ガウス性の基礎的検討 / 東京都市大学[学]檀ノ原 宗・吉田 郁政
- III-482 電子地盤モデルを用いた北千住地区の液状化予測時の深度低減係数と微地形の関係 / 東京電機大学[学]小宮 聖子・石川 敬祐・安田 進

- III-483 土粒子密度の大きな鉱さい地盤の液状化検討 / JR東日本コンサルタンツ[正]笠井 悟・中村 宏・油谷 彬博

■地盤防災 / 安全性・信頼性 / 12:40~14:10 / 大竹 雄(新潟大学)

- III-484 実大トンネルにおける足元灯の設置効果に関する検討 / 高速道路総合技術研究所[正]村田 輝輝・伊藤 哲男・海瀬 忍
- III-485 空気圧連通試験と高密度電気探査の組合せによる不飽和の高透水域の抽出方法の検討 / パシフィックコンサルタンツ[正]館川 逸朗・新村 卓也・藤吉 秀彰
- III-486 数値解析のデータ駆動型検証方法 - 動的有効応力解析への適用 / 新潟大学[学]茂野 恭平・大竹 雄・肥後 陽介
- III-487 蛇籠金網の引張強度特性に関する基礎的検討 / 防災科学技術研究所[正]中澤 博志・栗原 裕之・中村 有志
- III-488 地震動を受ける斜面の安全率 - 残留変位関係のばらつきに関する信頼性解析 / 東急建設[正]佐竹 亮一郎・山本 優介・若井 明彦
- III-489 情報の価値を用いた逐次型調査地点最適化と空間分布推定法の基礎的検討 / 東京都市大学[正]田崎 陽介・吉田 郁政・小西 駿二郎
- III-490 道路の事前通行規制におけるレーダーアメダス解析雨量の適用性検討 / 土木研究所[正]加藤 俊二・酒井 章光・佐々木 哲也

■地盤防災 / 都市地盤情報 / 14:25~15:55 / 山口 恵美(関東学院大学)

- III-491 非線形地震応答解析による地震動を用いた大阪地域の液状化危険度の予測 / 大阪市立大学[学]末吉 拳一・大島 昭彦・糟谷 裕多
- III-492 戸建て住宅の液状化被害を表せるハザードマップの指標に関して / 東京電機大学[正]安田 進
- III-493 熊本地震の液状化被害から考える液状化ハザードマップの課題 / 名古屋大学[正]利藤 房男
- III-494 平成28年熊本地震により生じた宅地擁壁被害箇所における支持地盤の土質構成について / 福岡大学[学]野見山 陽・村上 哲
- III-495 ニューラルネットワークを用いた地層区分推定法の学習データの考察と選定方法の検討 / 福岡大学[学]笠 爽平・村上 哲
- III-496 地盤モデルの違いによる神田川沿いの谷底低地の地震応答特性 / 東京電機大学[学]奥倉 大樹・安田 進・石川 敬祐
- III-497 ポーリングの孔内水位より推定した信濃川河口部の地下水面分布 / 新潟大学[正]保坂 吉則

III-5 (幸町北4号館 422講義室) / 9月3日(火)

■地盤材料・一般 / 土質安定処理・地盤改良(1) / 8:40~10:10 / 足立 雅樹(みらい建設工業)

- III-117 斜め壁を有する格子状地盤改良工法の遠心模型実験 / 竹中土木[正]小西 一生・津國 正一・金田 一広
- III-118 砕石パイル改良地盤の支持力特性に関する研究 / 東京都市大学[学]山崎 誓也・末政 直見・伊藤 和也
- III-119 高圧噴射攪拌工法による杭の補修・補強効果について / ケミカルグラウト[正]鎌田 敏幸・島村 淳・土屋 勉
- III-120 複合ポリマー型地盤改良剤のアルカリ地盤における耐久性 / 東亜合成[正]坪内 隆太郎・後藤 彰宏・中野 駿
- III-121 セメント系固着材を用いた改良体の長期安定性に関する研究 - 材齢10年結果報告 - / セメント協会[正]野田 潤一・二戸 信和・黒澤 功
- III-122 粒子破砕による粒子形状変化の二次元計測 / 筑波大学[学]佐久間 秋津・松島 亘志
- III-123 混入する生石灰量が細粒分土砂の粘着力と内部摩擦角に及ぼす影響 / 明星大学[学]市川 健斗・増田 陽向・矢島 寿一
- III-124 弾性波速度に着目した固化処理土の一軸圧縮強度特性 / 九州大学[学]上野 和敬・笠間 清伸・中川 康之

■地盤材料・一般 / 土質安定処理・地盤改良(2) / 10:25~11:55 / 石井 裕泰(大成建設)

- III-125 新たなCPG工法の施工過程における地盤挙動 - 概要および圧入について - / 復建調査設計[正]高田 圭太・佐々 真志・山崎 浩之
- III-126 新たなCPG工法の施工過程における地盤挙動 - 周辺地盤の挙動 - / みらい建設工業[正]足立 雅樹・佐々 真志・山崎 浩之
- III-127 新たなCPG工法の施工過程における地盤挙動 - 改良体の挙動 - / 三信建設工業[正]諸橋 弘樹・佐々 真志・山崎 浩之
- III-128 中層混合処理工法におけるICT活用による平面誘導精度の確認 / 新日本グラウト工業[正]市坪 天士・島野 嵐・中馬 忠司

- III-129 機械学習を用いた凍結融解作用を受けるセメント改良土の微視的内部構造劣化の定量化に関する基礎的検討／八戸工業大学[学]小笠原 亮介・堀合 紳弥・橋詰 豊
- III-130 混合攪拌精度がセメント安定処理土の強度特性に与える影響／土木研究所[正]宮下 千花・石黒 健・平田 昌史
- III-131 混合攪拌精度が添加率の異なるセメント安定処理土の強度のばらつきに与える影響／セメント協会[正]泉尾 英文・宮下 千花

■地盤材料・一般／土質安定処理・地盤改良(3)／14:55～16:25／末政 直見(東京都市大学)

- III-132 盛土載荷による浅層改良体の変形特性に関する遠心力模型実験／日本工管[正]藤澤 久子・宮武 裕昭・近藤 益央
- III-133 液状化対策の地中連続遮水壁として重曹を用いた適正配合についての研究／国土館大学[正]田中 正智
- III-134 Mg水溶液に曝露したセメント処理土の強度変化とその機構に関する考察／山口大学[正]原 弘行・吉本 憲正
- III-135 養生初期に繰返載荷を受けた固化処理土の強度特性／東京工業大学[学]高山 慎一郎・笠間 清伸・北詰 昌樹
- III-136 セメント固化処理土の強度発現における石粉細粒分の影響／広島大学防災・減災研究センター [正]土田 孝・Nakayenga Joyce・山下 恵梨香
- III-137 高強度置換材料(セメント改良土)の施工実績(1)―盛土施工結果―／日本原燃[正]今 建太朗・宮下 伊織・佐藤 泰
- III-138 高強度置換材料(セメント改良土)の施工実績(2)―品質管理内容―／日本国土開発[正]大西 利満・今 建太朗・宮下 伊織
- III-139 竹チップ混合試料の強度特性／基礎地盤コンサルタンツ[正]伊東 周作・伊藤 恵輔

■地盤材料・一般／土質安定処理・地盤改良(4)／16:40～18:10／笠間 清伸(東京工業大学)

- III-140 振動式および静的締め改良工法による大規模地盤改良工事(その1)／大成建設[正]広重 敬嗣・藤井 嵩大・吉田 龍平
- III-141 振動式および静的締め改良工法による大規模地盤改良工事(その2)／大成建設[正]吉田 龍平・藤井 嵩大・広重 敬嗣
- III-142 振動式および静的締め砂杭工法による大規模地盤改良工事(その3)～事後ボーリングによる地盤強化対策効果の確認結果について～／不動テトラ[正]尾形 太・藤井 嵩大・堀内 滋人
- III-143 PS灰系改質材を利用した発生土の養生にとまなう締め特性の変化と強度特性／横浜国立大学[学]渡邊 悠樹・早野 公敏・山内 裕元
- III-144 PS灰系改良材の添加が中性化速度に及ぼす影響に関する基礎的検討／横浜国立大学[学]今井 健太郎・早野 公敏・山内 裕元
- III-145 低水固材比スラリーの流動性および施工性に及ぼす混和剤の影響／太平洋セメント[正]小須田 和貴・野崎 隆人・肥後 康秀
- III-146 揺動式高圧噴射攪拌工法による既設下水管周辺の液状化対策／不動テトラ[正]村上 恵洋・尾形 太・井戸田 幹二

III-5 (幸町北4号館 422講義室)／9月4日(水)

■地盤材料・一般／土質安定処理・地盤改良(5)／8:40～10:10／村上 恵洋(不動テトラ)

- III-236 製鋼スラグを混合した浚渫土の水中投入後の勾配と強度の関係／日建設シビル[正]加藤 卓彦・根木 貴史・南 正治
- III-237 フライアッシュを用いた高圧噴射攪拌工法による護岸改良への適用性検討について／JERA [正]伊豫田 光・滝川 真太郎・森 涼香
- III-238 佐賀平野の軟弱粘土改良における促進養生法の適用／佐賀県建設技術支援機構[正]喜連川 聡容・碓井 博文・古賀 浩史
- III-239 セメント系スラリーのやわらかさ指標に関する研究／東京都市大学[学]中村 亮太・末政 直見・木下 文男
- III-240 複合ポリマー型地盤改良剤による改良強度推定のための分析手法の検討／東亜合成[正]中野 駿・後藤 彰宏・坪内 隆太郎
- III-241 アロフェン等の非晶質粘土鉱物の現場測定方法について／奥村組土木興業[正]吉田 宗久・北村 敏也・作原 陽一
- III-242 セメント改良土を対象とした原位置針貫入抵抗測定の試み／大成建設[正]小林 真貴子・石井 裕泰・藤原 齊郁
- III-243 セメント処理土に発生する耐海水性を付与する白色析出物の生成促進手法／山口大学[学]入口 宗一郎・原 弘行

■地盤材料・一般／土質安定処理・地盤改良(6)／10:25～11:55／永尾 浩一(佐藤工業)

- III-244 脈状地盤改良工法による北千住駅付近の液状化対策 事前検討および試験施工／鉄道総合技術研究所[正]井澤 淳・石橋 利倫・小島 謙一
- III-245 脈状地盤改良工法による北千住駅付近の液状化対策 施工および品質確認／ライト工業[正]石橋 利倫・井澤 淳・小島 謙一
- III-246 地盤可視化技術を用いたEPC工法の注入・抽出実験／東京都市大学[学]田代 怜・末政 直見・田中 剛
- III-247 砂杭打設時の載荷履歴が液状化強度特性に及ぼす影響／不動テトラ[正]武田 尚也・原田 健二・矢部 浩史
- III-248 短繊維混合補強土の三軸圧縮(CU-bar)強さ／西松建設[正]平野 孝行・加藤 俊二・土橋 聖賢
- III-249 短繊維混合補強土の一軸圧縮強さとコンクリートの関係／伊藤忠建機[正]堀 常男・加藤 俊二・土橋 聖賢
- III-250 締め固めエネルギーに着目した自然砂混合した高炉水砕スラグの液状化強度特性／九州大学[学]永田 真也・石蔵 良平・安福 規之

III-5 (幸町北4号館422講義室)／9月5日(木)

■地盤材料・一般／土質安定処理・地盤改良(7)／8:40～10:10／安井 利彰(前田建設工業)

- III-498 微粒子系注入材の目詰まりに関する検討／日本工管[正]上村 健太郎・末政 直見・伊藤 和也
- III-499 可塑状ゲル圧送用ポンプシステムの開発(その1)―作動試験―／強化土エンジニアリング[正]島田 俊介・佐々木 隆光・田井 智大
- III-500 可塑状ゲル圧送用ポンプシステムの開発(その2)―圧入試験―／強化土エンジニアリング[正]佐々木 隆光・島田 俊介・田井 智大
- III-501 ポリウレタン系注入材の地盤への浸透性評価について／早稲田大学[学]山本 馨・赤木 寛一・中島 智
- III-502 地盤条件が懸濁型薬液注入に及ぼす影響について(その3)／不動テトラ[正]矢部 浩史・深田 久
- III-503 一次元模型地盤を用いた高吸水性ポリマーの地盤注入特性および遮水機能について／早稲田大学[学]北村 真歩・赤木 寛一・水原 祐哉
- III-504 細粒分含有率が異なる地盤における薬液浸透領域の可視化／ジオデザイン[正]竹花 和浩・高野 大樹・高橋 英紀
- III-505 浸透固化改良土の粒径と強度の関係／日本大学[学]石塚 幸太郎・齋藤 和寿・秋本 哲平

■地盤材料・一般／土質安定処理・地盤改良(8)／10:25～11:55／末次 大輔(宮崎大学)

- III-506 ペーパースラッジ灰の地盤改良材への適用検討／西松建設[正]岩谷 隆文・吉野 修・北辻 政文
- III-507 石炭灰粒状材料混合土の盛土への適用性に関する研究／高知工業高等専門学校[正]岡林 宏二郎・小松 拓矢・羽方 大介
- III-508 泥土の改良における中性改良材の有効性／九州産業大学[正]松尾 雄治・林 泰弘・藤 龍一
- III-509 建設発生泥土に用いる高性能ハンドリング材の開発／福岡大学[正]古賀 千佳嗣・佐藤 研一・藤川 拓朗
- III-510 現地発生土を用いる短繊維補強土の侵食実験／東洋建設[正]ヘム ラムラヴ・山崎 智弘
- III-511 Effect of Different Grain-sizes in Soft Soil Stabilization Using Basic Oxygen Furnace Slag / Hiroshima University [正] Cikmit Arlyn Aristo・Tsuchida Takashi・Hashimoto Ryota
- III-512 カルシア改質土で造成された土構造物の破壊メカニズム及び安定性評価に関する遠心模型実験／九州工業大学[学]副島 真一・田中 美帆・廣岡 明彦
- III-513 フライアッシュと埋め土からなる発生土を用いた流動化処理土の現場製造／大成建設[正]松井 秀岳・石井 裕泰・野上 卓

■地盤の性能評価／12:40～14:10／石蔵 良平(九州大学)

- III-514 礫材空隙への可塑状グラウト充填による改良体の強度特性―その1：改良体評価の課題と実験概要／東洋建設[正]合田 和哉・和田 真郷・伊藤 輝
- III-515 礫材空隙への可塑状グラウト充填による改良体の強度特性―その2：中型供試体による評価／五洋建設[正]小笠原 哲也・和田 真郷・合田 和哉
- III-516 礫材空隙への可塑状グラウト充填による改良体の強度特性―その3：大型供試体による評価／東亜建設工業[正]三枝 弘幸・府川 裕史・和田 真郷
- III-517 礫材空隙への可塑状グラウト充填による改良体の強度特性

- その4：拘束圧の影響調査／東洋建設[正]鶴ヶ崎 和博・和田 眞郷・合田 和哉
- III-518 礫材空隙への可塑状グラウト充填による改良体の強度特性
- その5：潮汐や地震時荷重に対する動的特性／東洋建設[正]和田 眞郷・合田 和哉・鶴ヶ崎 和博
- III-519 X線CT画像解析に基づく土のマクロスケール力学特性評価へ向けた基礎研究／新潟大学[学]小島 隆平・大竹 雄・遠藤 尚希
- III-520 X線CT画像解析に基づく土相認識の試み—超解像と力学的特徴量の抽出—／新潟大学[学]遠藤 尚希・大竹 雄・肥後 陽介

■現場計測(1) / 14:25~15:55 / 杉本 知史(長崎大学)

- III-521 鉄塔に近接する箇所における立坑掘削影響の検討／東日本旅客鉄道[正]見島 拓朗・瀬下 雄志
- III-522 地中空洞周りの波動伝播特性に関する個別要素法解析／東京大学[学]中田 祐輔・大坪 正英・Ali Umair
- III-523 鋼矢板施工時の圧入データを用いた地盤推定に関する考察(1)／技研製作所[正]尾川 七瀬・石原 行博
- III-524 不飽和化工法における現位置地盤の飽和度モニタリングについて／首都高速道路[学]太田 信之介・小林 薫・本多 顕治郎
- III-525 トンネル掘削ずり盛土における原位置不飽和透水試験／ハイドロ総合技術研究所[正]森田 修二・岩本 容昭・大河原 正文
- III-526 堤防内水位のモニタリングによる表法面被覆工法の効果の検証／土木研究所[正]杉山 詠一・石原 雅規・佐々木 哲也
- III-527 深層学習を用いた豪雪地域における斜面地の地下水位予測／基礎地盤コンサルタンツ[正]峯 啓一郎・柳浦 良行・三木 茂
- III-528 軟弱地盤上に建設された土木構造物の維持管理／東日本旅客鉄道[正]細井 学・矢内 崇史

■現場計測(2) / 16:10~17:40 / 美馬 健二(太田ジオリサーチ)

- III-529 EM探査法を用いた基礎岩盤評価事例／前田建設工業[正]上馬場 靖・滑川 和臣・小熊 登
- III-530 物理探査による溪流対策施設の支持層調査の評価／西日本高速道路エンジニアリング中国[正]田中 晋也・柳迫 新吾・秦 二郎
- III-531 表面波探査を用いた堤体のゆるみ把握に向けた検討と課題／九州大学[学]笠 修平・安福 規之・石蔵 良平
- III-532 大型動的コーン貫入試験の先端打撃効率に基づく打撃回数の補正例／大阪市立大学[学]野山 優一・大島 昭彦・田中 さち
- III-533 大阪市舞洲における地盤調査(その1：ボーリング調査結果)／大阪市立大学[正]大島 昭彦・安田 賢吾・前田 直也
- III-534 大阪市舞洲における地盤調査(その2：Ma13層とMa12層の土質特性)／大阪市立大学[学]糟谷 祐多・大島 昭彦・武野 航大
- III-535 大阪市舞洲における地盤調査(その3：Ma11層とMa10層の土質特性)／大阪市立大学[学]田中 さち・大島 昭彦・糟谷 祐多
- III-536 常時微動観測に基づくサイト増幅特性の推定精度の検証／オリエンタルコンサルタンツ[正]錦織 勇人・福永 勇介・宮田 正史

III-6 (幸町北4号館 423講義室) / 9月3日(火)

■締固め・支持力(1) / 8:40~10:10 / 石原 雅規(土木研究所)

- III-147 Nd値に与える含水比の影響およびNd値と密度特性の関係／神戸市立工業高等専門学校[正]野並 賢・鳥居 宣之・田嶋 一葵
- III-148 Nd値と粒度特性による最適含水比における締固め度の推定／ソイルアンドロックエンジニアリング[正]中谷 圭祐・野並 賢・鳥居 宣之
- III-149 重機による締固め効果の確認(その1. 現場試験概要)／安藤 間[正]西尾 竜文・永井 裕之・中島 聡
- III-150 重機による締固め効果の確認(その2. 現場試験結果)／安藤 間[正]永井 裕之・西尾 竜文・中島 聡
- III-151 振動ローラ加速度応答と密度測定及び小型FWD試験との相関／高速道路総合技術研究所[正]中村 洋丈・中澤 正典・石黒 健
- III-152 振動ローラ加速度応答と沈下量測定との相関／前田建設工業[正]平田 昌史・石黒 健・中村 洋丈
- III-153 簡易支持力測定器による盛土の品質管理手法の検討／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]平岩 修人・米倉 圭介・加藤 智巳

■締固め・支持力(2) / 10:25~11:55 / 野並 賢

(神戸市立工業高等専門学校)

- III-154 空気間隙率管理及び飽和度管理の違いが盛土品質評価に及ぼす影響／益村測量設計[正]水野 敏裕・益村 公人・三嶋 信雄
- III-155 細粒分の多い土の締固め条件と繰返し非排水強度比の関係に関する検討その2／土木研究所[正]石原 雅規・佐々木 亨・富澤 彰仁
- III-156 砂質土路床の強度・変形特性に及ぼす締固め条件の影響／日本大学[正]山中 光一・峯岸 邦夫
- III-157 地震時の支持地盤の異なる橋台の変位と要因に関する一考察／東日本旅客鉄道[正]佐々木 愛・阿部 慶太・野本 将太
- III-158 背面地盤の異なる橋台における地震時の作用力と変位に関する一考察／東日本旅客鉄道[正]石橋 誠司・阿部 慶太・野本 将太
- III-159 粘着力を有する背面地盤から擁壁に作用する地震時土圧の発現特性／鉄道総合技術研究所[正]中島 進・佐名川 太亮・中島 卓哉
- III-160 粘着力による地震時土圧低減効果に関する擁壁の動的遠心模型実験／鉄道総合技術研究所[正]尾崎 匠・中島 進・佐名川 太亮

■補強土(1) / 14:55~16:25 / 橋本 聖(寒地土木研究所)

- III-161 補強土壁の降雨作用およびこぼれだしが性能に与える影響／土木研究所[正]藤田 智弘・新田 武彦・佐藤 登
- III-162 盛土内水位の上昇がアンカー補強土壁の損傷確率に及ぼす影響／岡三リビック[正]林 豪人・小浪 岳治・村上 太基
- III-163 低強度地盤における地山補強土工の中空状異形鋼管の構造が引抜き抵抗力へ及ぼす効果／京都大学[正]阪東 聖人・杉山 友康・三上 登
- III-164 低強度地盤における地山補強土工のグラウト特性が引抜き抵抗力に及ぼす効果／日特建設[正]横山 一輝・石垣 幸整・窪塚 大輔
- III-165 加圧注入による注入体拡張に適したグラウト材の検討／日特建設[正]石垣 幸整・窪塚 大輔・横山 一輝
- III-166 海岸線から約130mに位置する多数アンカー式補強土壁の壁面材の塩化物イオン濃度調査／岡三リビック[正]西 徹・林 豪人・小浪 岳治
- III-167 道路土工構造物点検要領による補強土(テールアルメ)壁の点検時における留意点／JFE商事テールワン[正]青木 信哉・岡崎 貴章・廣井 和也
- III-168 盛土材がこぼれ出した補強土壁の修復手法に関する検討／日本テールアルメ協会[正]新田 武彦・佐藤 登・木村 隆志

■補強土(2) / 16:40~18:10 / 宮武 裕昭(土木研究所)

- III-169 ジオグリッドの耐衝撃性能について／前田工織[正]久保 哲也・鈴木 和成・中村 洋丈
- III-170 ため池堤体表層部のクラック抑制のためのジオグリッドの活用に関する検討／神戸大学[正]片岡 沙都紀・澁谷 啓・森口 裕矢
- III-171 ジオグリッドの横糸の長さ引抜き特性に及ぼす影響／苫小牧工業高等専門学校[正]中村 努・所 哲也・澁谷 啓
- III-172 異種材料で構成した石垣補強用ジオテキスタイルの引抜き特性／大林組[正]川本 卓人・西村 俊亮・森田 晃司
- III-173 ジオセル補強地盤の鉛直支持力特性／防衛大学校[正]宮本 慎太郎・宮田 喜壽
- III-174 凍上対策を施したジオセルとジオグリッドを連結した補強土壁の現地計測／北見工業大学[学]劉 爽・川口 貴之・中村 大
- III-175 短繊維混合補強土の凍上特性および強度特性／苫小牧工業高等専門学校[学]佐々木 遥人・伊與 和真・中村 努
- III-176 軟弱路床に用いた舗装用不織布の耐久性評価／日本大学[学]矢谷 卓巳・峯岸 邦夫・山中 光一

III-6 (幸町北4号館 423講義室) / 9月4日(水)

■土留め / 8:40~10:10 / 篠田 昌弘(防衛大学校)

- III-251 耐震性鉛直遮水壁の壁体性能に関する要素試験／松下鉦産[正]中村 宏彰・渡邊 康司・松下 眞矢
- III-252 孔内水平載荷試験結果による土留め掘削側地盤の水平地盤反力係数に関する一考察／JR西日本[正]吉川 登代子・吉田 晋・山田 孝弘
- III-253 鋼製壁体の本設壁適用に向けた構造性能評価／JFEスチール[正]恩田 邦彦・道野 正嗣・粟津 進吾
- III-254 高剛性鋼製壁体の床版接合部の構造性能評価／JFEスチール[正]道野 正嗣・恩田 邦彦・粟津 進吾
- III-255 高剛性鋼製土留め壁の軟弱地盤への適用実績／西松建設[正]吉田 吉孝・草野 孝三・豊島 徑

- III-256 空積み石積壁に関する新たな補強工法の提案／東日本旅客鉄道[正]前田 剛志・猿谷 賢三・小池 健司
  - III-257 NMM-DDAを用いた城郭石垣の構造条件に関するパラメータスタディ／三菱地所設計[正]神谷 圭祐・菊本 統・橋本 涼太
  - III-258 東北地方太平洋沖地震による盛土工乗降場の被災分析に関する一考察／東日本旅客鉄道[正]滝沢 聡・高崎 秀明・阿部 慶太
- 杭・支持力／10:25～11:55／藤本 達貴(鉄道総研)
- III-259 既設栈橋の増深・耐震補強に関する実験的研究／五洋建設[正]白 可・宇野 州彦・池野 勝哉
  - III-260 サクションアンカーの繰返し牽引挙動に関する遠心模型実験／東海大学[正]北 勝利
  - III-261 硬質発泡ウレタン樹脂を用いた杭状地盤改良工事の開発—硬質発泡ウレタン樹脂の力学的特性について—／アップコン[正]小菅 拓朗
  - III-262 高精度画像変位計測システムを用いたパイプロンハマ打込み時における挙動計測事例／オーク[正]榎本 裕輔・川西 敦士・坂藤 勇太
  - III-263 道路土工と舗装の一体型診断に基づいた長寿命化修繕への試み／岐阜大学[正]八嶋 厚・村田 芳信・苅谷 敬三
  - III-264 空洞を含む建築基礎岩盤の支持層確認における削孔検層の適用事例／安藤ハザマ[正]寶谷 周・井ノ口 拓郎・山本 浩之

III-6 (幸町北4号館 423講義室) / 9月5日(木)

- 不飽和土／8:40～10:10／金 兼洙(岡山大学)
- III-537 不飽和シルトの体積圧縮時の水分特性に関する実験的研究／名古屋大学[正]吉川 高広・野田 利弘・北折 陽一
  - III-538 盛土地盤における水浸時降伏応力の推定／日建設計シビル[正]本田 道識・ウェイ ニュンス
  - III-539 不飽和浸透解析を用いたキャピラリーバリア地盤の境界長の予測／飛鳥建設[正]松元 和伸・井上 光弘・森井 俊広
  - III-540 表層地盤の保水性評価に関する研究／メイホーエンジニアリング[学]石井 雅都・杉井 俊夫
  - III-541 連続加圧方式による土の保水性試験装置の改善とその適用／九州大学[学]山本 凌雅・ALOWAISY ADEL・安福 規之
  - III-542 不飽和化工法における均質な不飽和地盤構築に関する基礎的研究／東海旅客鉄道[正]牧野 祥太・本多 顕治郎・宮崎 航
  - III-543 微視的特性と巨視的応答の関係に基づく不飽和砂の三軸圧縮試験条件の分類／京都大学[正]木戸 隆之祐・肥後 陽介
- 圧縮・圧密／10:25～11:55／梅崎 建夫(信州大学)
- III-544 東京港粘土の低拘束圧下の圧密特性／日建設計シビル[正]片桐 雅明・南野 佑貴・中村 亮太
  - III-545 大規模埋立人工島における洪積粘土Ma12層の圧密特性の同定／大阪産業大学[学]仲上 航大・小田 和広・伊藤 真一
  - III-546 大阪粘土層の長期圧密沈下特性／石川工業高等専門学校[学]増田 玲央・重松 宏明

- III-547 大阪市舞洲の被圧帯水層の地下水位変動による洪積粘土層の繰返し圧密挙動／大阪市立大学[学]天満 脩平・大島 昭彦・武野 航大
- III-548 大阪市舞洲の被圧帯水層の地下水位変動による洪積粘土層の沈下量予測／大阪市立大学[学]武野 航大・大島 昭彦・天満 脩平
- III-549 地盤沈下観測井における地下水位変動の繰返しと地盤収縮・膨潤の関係性／日本車輛製造[学]黒田 葵・杉井 俊夫・佐藤 健
- III-550 緩衝材の長期圧密挙動に関する検討(その3)クニゲル®V1とカオリナイトの基本特性の比較／日本原子力研究開発機構[正]高山 裕介・菊池 広人・山本 陽一
- III-551 真空圧密工法で超軟弱地盤上に建設した高速道路盛土の周辺地盤変位と残留沈下／ネクスコ・エンジニアリング東北[正]澤野 幸輝・松崎 孝汰・小田 勇介

- 数値解析／12:40～14:10／高山 裕介(日本原子力研究開発機構)
- III-552 粒子法による土水連成解析の定式化と多次元圧密解析による検証／大林組[正]中道 洋平・杉江 茂彦・竹山 智英
  - III-553 基礎の支持力実験を対象としたDEMによる大変形解析／早稲田大学[学]江崎 晃一・赤木 寛一
  - III-554 間隙水の慣性の影響を考慮した高透水性土の動的即時沈下解析／名古屋大学[正]豊田 智大・野田 利弘
  - III-555 時間並列計算手法を用いた地下水流動シミュレーションの高速化／大成建設[正]宮城 充宏・山本 肇・高見 利也
  - III-556 定みずみ制御試験による液状化解析パラメータ決定の可能性について／日本大学[学]齋藤 和寿・松能 直登・仙頭 紀明
  - III-557 塑性ポテンシャルと静止土圧係数／東海大学[学]池谷 真希・赤石 勝・外崎 明
  - III-558 海底地すべりによる正断層群の形成過程に関する数値解析的検討／中部電力[正]山田 英司・河村 精一・野田 利弘

- 維持・補修／14:25～15:55／西岡 英俊(鉄道総合技術研究所)
- III-559 グラウンドアンカーの緊張力の低下と地質条件の関係に関する考察／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]山崎 充・中井 義政・酒井 俊典
  - III-560 データベースに基づく切土のり面の効率的な維持管理手法の検討／ネクスコ東日本エンジニアリング[正]田中 雄一郎・平栗 一哉・永井 宏
  - III-561 高速道路のり面崩壊における災害復旧対策工の検討／ネクスコ東日本エンジニアリング[正]山下 義史・見山 良一・奥村 欣司
  - III-562 上越線の上部斜面に存在する巨大岩塊の対策—その1：地盤・岩盤調査／東日本旅客鉄道[正]鴨志田 祥子・河西 龍治・湯浅啓司
  - III-563 上越線の上部斜面に存在する巨大岩塊の対策—その2：対策設計概要／東鉄工業[正]羽矢 洋・中村 大輔・湯浅 啓司
  - III-564 上越線の上部斜面に存在する巨大岩塊の対策—その3：対策工概要／東鉄工業[正]浅川 浩隆
  - III-565 災害復旧業務を支援する道具の活用／西日本高速道路エンジニアリング九州[正]小山 保郎・東 克徳・田中 克則

## 第IV部門 土木計画、地域都市計画、国土計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、景観・デザイン、土木史、測量など

IV-1 (幸町北4号館 428講義室) / 9月3日(火)

- 公共交通／8:40～10:10／宮崎 耕輔(香川高等専門学校)
- IV-001 待ち時間と乗換を考慮したバスアクセスの時間軸上での評価指標／名城大学[学]小林 佑也・松本 幸正
  - IV-002 高速バスストップの利便性向上を目的としたヒアリングから見た利用実態／高速道路調査会[正]松下 剛・坂本 香・西村 知夏
  - IV-003 高齢者の医療施設への移動と歩行可能距離に着目したバス停勢圏の推定／金沢大学[学]可見 星悟・高山 純一・藤生 慎
  - IV-004 ICカードデータを用いた割引施策に対する公共交通利用者の価格弾力性に関する基礎分析／高知工科大学[正]西内 裕晶・門田 英大
  - IV-005 インタビュー調査に基づく地域主要施設利用者の居住域と既存公共交通網の比較分析／高知工科大学[学]大和 傑・西内 裕晶・岡田 漢佑
  - IV-006 時間帯別運賃に対する大学生の意識に関する考察／流通経済大学[正]板谷 和也・熊谷 秀斗
  - IV-007 旅客通路を想定した仮想空間における吊り下げ型サインの視認性評価／日本大学[学]太田 耕介・江守 央・佐田 達典

- 地域計画／10:25～11:55／氏原 岳人(岡山大学)
- IV-008 空間的な分布状態を考慮した人口動態の分析の試み／摂南大学[学]亀田 祐希・熊谷 樹一郎
  - IV-009 将来人口分布の予測精度向上のための手法開発／八千代エンジニアリング[正]杉本 達哉・天方 匡純・神永 希
  - IV-010 世帯マイクロシミュレーションを用いた老朽住宅団地の世帯構造変化予測／名城大学[学]平沼 克・鈴木 温
  - IV-011 東京都大田区立「大森ふるさとの浜辺公園」の利用特性に関する研究—ピーチイベントに着目して—／日本大学[学]松岡 七海・岡田 智秀・寺尾 光優
  - IV-012 中心市街地における市民の夜間の行動特性分析—金沢市中心市街地を対象として—／金沢大学[学]出水 瑛・藤生 慎・高山 純一
  - IV-013 首都圏近郊都市における生産緑地の保全方策に関する研究—千葉県八千代市を対象とした首都圏近郊農業の可能性と課題点について—／日本大学[学]新橋 一士・岡田 智秀・落合 正行
  - IV-014 小さな拠点の実態把握に基づく散居型地域の持続可能性に関する研究／北見工業大学[学]大場 光希・大橋 一仁・高橋 清

IV-015 外出に対する意向と健康自己評価との関係性分析／関西大学[正]北詰 恵一

■物流 / 14:55~16:25 / 大門 創(福山市立大学)

- IV-016 確率モデルを用いたトラック隊列走行の効果推計手法／茨城大学[学]竹田 郁海・平田 輝満
- IV-017 高速道路における隊列走行シミュレーションの開発／茨城大学[学]鍛冶 竜馬・平田 輝満
- IV-018 隅田川駅鉄道貨物輸送力増強事業の事後評価／日本貨物鉄道[正]角田 仁・高橋 正夫
- IV-019 西日本豪雨による山陽線の不通に伴う貨物輸送の環境負荷に関する一考察／日本貨物鉄道[正]石川 尚承・角田 仁
- IV-020 国際コンテナ荷動量の統計データ分析～東南アジア発着貨物に着目して～／パシフィックコンサルタンツ[正]荒木 大志・岡田 万由子・北田 彰久
- IV-021 大規模ビルの貨物エレベーターに着目した建物内共同配送の効果分析／日本大学[学]森 智裕・小早川 悟

■航空・港湾・鉄道 / 16:40~18:10 / 荒谷 太郎

(海上・港湾・航空技術研究所)

- IV-022 運航中の区間別遅延に着目した国内航空ネットワークにおける到着遅延要因に関する分析／茨城大学[学]佐藤 輝明・平田 輝満
- IV-023 航空需要喚起のためのパッケージツアーの提案と効果検証に関する基礎的研究～航空選択率が低い福井県民を対象として～／金沢大学[学]早水 彦・藤生 慎・伊東 芳隆
- IV-024 ウォーターフロント開発の事後評価に関する研究－ポートネッサンス21とマリタウンプロジェクトに着目して－／日本大学[正]樋口 伊吹・岡田 智秀・三溝 裕之
- IV-025 横浜の開発と京浜港構想に関する研究－鶴見・川崎地区先の海面埋立申請の不受理の経緯－／浅野工学専門学校[正]森住 藍・浅野 一
- IV-026 路面電車の乗降空間における潜在的危険性に関する研究－朝倉電停(高知県)を事例として－／横浜国立大学[学]三宅 佑
- IV-027 東京圏における交通アクセシビリティと生産性との関連分析／日本大学[学]吉岡 知弘・金子 雄一郎・中川 拓朗
- IV-028 都市鉄道の運行間隔に基づく平均待ち時間の推定モデル－等間隔運行路線を対象に－／芝浦工業大学[学]渡部 翔平・小林 渉・岩倉 成志
- IV-029 首都圏における降雪の影響を低減させるためのタイムラインの提案／中央大学[学]堀井 裕太・佐藤 尚次

IV-1 (幸町北4号館 428講義室) / 9月5日(木)

■交通ネットワーク / 8:40~10:10 / 奥嶋 政嗣(徳島大学)

- IV-072 マイクロログを用いた道路交通状況の可視化に関する基礎的研究／中日本高速道路[正]熊沢 航志・今井 龍一・金井 翔哉
- IV-073 災害による道路閉塞を考慮した東京都低平地の道路ネットワーク評価／中央大学[学]安藤 颯一郎・佐藤 尚次
- IV-074 到達圏解析を用いた小松市におけるAED設置効果に関するシミュレーション分析／金沢大学[学]小島 雅貴・高山 純一・藤生 慎
- IV-075 高知自動車道 新宮IC～大豊IC暫定供用による交通開放検討／西日本高速道路エンジニアリング四国[正]平田 篤嗣・佐藤 志帆
- IV-076 高知自動車道 新宮IC～大豊IC暫定供用による交通状況(商用車プローブデータによる検証)／西日本高速道路エンジニアリング四国[正]佐藤 志帆・平田 篤嗣
- IV-077 再帰型経路選択モデルのリンク集合がパラメータ推定に与える影響／芝浦工業大学[学]加藤 西・岩倉 成志
- IV-078 ZDDを用いたバスネットワークの複数抽出手法／芝浦工業大学[学]高根 大毅・岩倉 成志・小山 真弘

■交通事故 / 10:25~11:55 / 宇野 伸宏(京都大学)

- IV-079 工事規制内進入車両検知システムの開発について／ケー・エフ・シー [正]道上 剛幸・岩谷 一郎・外川 雄大
- IV-080 Beaconを用いた車両飛び込まれ事故防止への取り組み／日本電信電話[正]水野 等・笠原 久稔・藤本 憲宏
- IV-081 ドライブシミュレータを用いた高速道路における車線変更挙動に関する基礎的分析／金沢大学[学]村 一翔・藤生 慎・高山 純一
- IV-082 オーダード プロビット モデルを用いた積雪寒冷地における交通事故深刻度リスク要因分析／日本大学[学]岡田 航平・兵頭 知・長谷川 兼太
- IV-083 都市内道路における自転車事故と利用者評価に関する分析／名古屋工業大学[学]刈谷 英祐・中川 裕貴・鈴木 弘司
- IV-084 二段階横断施設における歩行者の横断判断に関する一考察

／国土技術政策総合研究所[正]大橋 幸子・杉山 大祐・小林 寛

IV-085 仙台支社における獣害対策の取り組み／東日本旅客鉄道[正]松尾 善紀・伊藤 弘基・庄子 公崇

■交通流 / 12:40~14:10 / 吉井 稔雄(愛媛大学)

- IV-086 観測データに基づく飽和交通流率設定手法の比較検討／首都大学東京[正]小根山 裕之・遠藤 泰志・柳原 正実
- IV-087 交通規制時の路面点滅誘導灯の開発と一対比較法による客観的評価／大林道路[正]福井 真男・武田 有加里・保木本 壽之
- IV-088 ETC2.0プローブ情報を用いた交差点流入部の交通状況の可視化に関する考察／日本工管[正]金井 翔哉・今井 龍一・松島 敏和
- IV-089 複数交差点の実測に基づくAlternative Intersections/Interchangesの交通容量評価／横浜国立大学[学]宮西 開
- IV-090 国道32号はりまや橋周辺における車線運用見直しによる渋滞対策の検討／国土交通省四国地方整備局[正]高橋 亮丞・木下 賢祐・岡井 大郎
- IV-091 混合交通状態における車両間スペースと区間の平均速度の関係に関する研究／高知工科大学[学]井川 詩月・西内 裕晶
- IV-092 エスカレーター内のキャリアバック運搬方法に関する調査／岩手県立大学[正]元田 良孝・宇佐美 誠史

■リモートセンシング(1) / 14:25~15:55 / 佐田 達典(日本大学)

- IV-093 急峻な山岳地帯を対象とした干渉SAR技術の応用による斜面災害域抽出／茨城大学[学]田口 智大・鴻野 智崇・桑原 祐史
- IV-094 平成29年7月九州北部豪雨におけるLバンドSARデータを用いた土砂災害域の判読特性／日本大学[正]園部 雅史・羽柴 秀樹
- IV-095 SAR衛星観測による種々のカラー合成画像を用いた北海道胆振地震・土砂災害域の判読調査の比較検討／日本大学[学]小澤 智弘・羽柴 秀樹・園部 雅史
- IV-096 光学式高分解能衛星画像による土砂災害域抽出における閾値自動補正手法の検討／日本大学[学]堀江 陽介・羽柴 秀樹・園部 雅史
- IV-097 ひまわり8号データによる流出河川水の追跡／日本大学[学]石橋 勇志・杉村 俊郎・岩下 圭之
- IV-098 UAVおよびFSMを活用した雪面観測手法の研究／構研エンジニアリング [正] 高橋 浩司・長沼 芳樹・佐野 至徳
- IV-099 干渉SAR解析を用いた地盤変位分析と盛土分布の関係－胆振東部地震を例に－／ジャパンホームシールド[正]辻 浩平・渡邊 康志・菅野 安男
- IV-100 都市公園内における樹木の健全度評価に関する研究／日本大学[学]古田 尚輝・朝香 智仁・岩下 圭之

■リモートセンシング(2) / 16:10~17:40 / 須崎 純一(京都大学)

- IV-101 衛星データを活用した真珠母貝生育環境可視化システムの開発／広島工業大学[正]小西 智久・小黒 剛成・三浦 智恵美
- IV-102 UAV搭載型レーザスキャナの精度に関する基礎的な考察／朝日航洋[正]中野 一也・鈴木 英夫・田中 芳薫
- IV-103 Majuro環礁を対象としたUAVによる浅海域調査に関する基礎検討／茨城大学[学]阿部 美帆・桑原 祐史・榎本 忠夫
- IV-104 浪江町溪流を対象としたUAV空撮映像の利用による3D溪流地形と藻類付着面積の推定／茨城大学[学]竹高 慎祐・桑原 祐史・中里 亮治
- IV-105 UAVを活用した公園管理に関する研究／福岡大学[正]大隣 昭作・半田 悠希・渡辺 浩
- IV-106 UAVによる水域部を含むエリアでの3次元点群データ活用／新星コンサルタント[正]中島 英敬・林 良輔・和具 麻里子
- IV-107 静止気象衛星による都市の熱環境と統計情報の評価／日本大学[正]内田 裕貴・石橋 勇志・杉村 俊郎
- IV-108 ULSとMMSの併用測量における計測誤差の要因とその解消方法／大成建設[正]志野 祐介・新井 好実・清水 光晴

IV-2 (幸町北4号館 432講義室) / 9月3日(火)

■観光 / 8:40~10:10 / 栗原 剛(東洋大学)

- IV-030 東京湾第二海堡ツーリズムにおける渡航欠航率に関する考察／国土交通省関東地方整備局[正]野口 孝俊・土屋 かおる
- IV-031 Wi-Fiパケットセンシングによるクルーズ旅客の観光行動の調査と特性の分析／金沢大学[学]大澤 脩司・藤生 慎・高山 純一
- IV-032 寄港地におけるクルーズ船客の観光行動と観光の満足度に関する研究～金沢港に寄港したクルーズ船を対象として～／金沢大学[学]二羽 遼太郎・藤生 慎・高山 純一

- IV-033 テキストマイニングによる訪日外国人ドライバーの意識把握に関する研究／北見工業大学[学]小浦 瑞生・高橋 清・萩原 亨
- IV-034 日報記録を用いた温泉観光地における観光客のタクシーの利用特性／日本大学[学]西田 慎太郎・藤井 敬宏・伊東 英幸
- IV-035 旅行者の気質が情報利用と行動変更に与える影響に関する研究／横浜国立大学[学]藤田 和己・中村 文彦・田中 伸治
- IV-036 まちづくりに向けた近代化遺産イラスト画製作に関する一考察／足利大学[学]福地 晴香・福島 二郎
- IV-037 嘉南大圳組合管理者枝徳二の活動／木更津高専[正]武長 玄次郎

■景観／10:25～11:55／尾野 薫(徳島大学)

- IV-038 新名神高速道路(滋賀県)における橋梁の色彩検討について／西日本高速道路[正]松尾 祐子・川西 良宜・渡辺 美佐子
- IV-039 鉄道駅のイメージ構造に関する基礎的研究／日本大学[学]吉澤 瑞季・天野 光一・西山 孝樹
- IV-040 東京港における昼夜間の比較からみた海上景観特性に関する研究／日本大学[正]田島 洋輔・岡田 智秀・水石 知佳
- IV-041 デザイン蓋の耐スリップ性についての考察／奥村組[正]大槻 弥生
- IV-042 街路樹選定のための道路景観の評価／寒地土木研究所 [正]太田 広・松田 泰明・高橋 哲生
- IV-043 街路に存在する中間領域の構成要因が景観評価に与える影響／日本大学[学]渡辺 万紀子・天野 光一・西山 孝樹
- IV-044 歩道の境界空間デザインが歩行ニーズと行動意欲の評価に与える影響／名城大学[学]守田 賢司・中村 一樹

■地区交通・駐車場／14:55～16:25／松本 浩和(計量計画研究所)

- IV-045 ブロックチェーンを活用した駐車場管理と公共交通利用促進の一体的取組に関する実証実験／八千代エンジニアリング[正]石井 明・天方 匡純・菅原 宏明
- IV-046 パーキング・チケットの手数料支払い率と発給設備との距離について／北海学園大学[正]堂柿 栄輔・梶田 佳孝
- IV-047 パークアンドライドの乗換用駐車場の最適整備計画に関する一考察／京都大学[学]田 鼎華・山田 忠史・大谷 篤嗣
- IV-048 大規模小売店舗における駐車台数の実態に関する研究／立命館大学[正]小川 圭一
- IV-049 大学生の将来の子育て期の自動車保有意向に関する一考察／東北工業大学[学]高橋 凌太・泊 尚志
- IV-050 ゾーン30における路線別の速度抑制効果に関する研究／呉工業高等専門学校[学]村松 佑都・山岡 俊一・野田 宏治
- IV-051 地方部の自動運転の実装に向けた課題～「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を通じて～／国土技術政策総合研究所[正]井坪 慎二・岩里 泰幸・澤井 聡志
- IV-052 都区内タクシードロップデータを利用した交通機関選択モデルの構築／芝浦工業大学[学]樋野 匠海・岩倉 成志

■パブリック・インボルブメント／16:40～18:10／田中 皓介

(東京理科大学)

- IV-053 大河津分水の効果的な啓発／エコロジーサイエンス[正]樋口 勲・萩原 健介
- IV-054 地域交流型イベントへの住民参加プロセス～越前おおの小京都物産五番まつりを例に～／関西大学[学]瀧谷 大登・北詰 恵一
- IV-055 アンケート調査による「地域ニーズを反映した公共事業」の手法の開発／群馬県[正]中島 聡・剣持 康彦・宮下 邦彦
- IV-056 駅周辺施設の再整備が地域住民の意識変化や行動変化に与える影響に関する研究～南万騎が原駅を対象として～／横浜国立大学[学]樋口 智大
- IV-057 北海道・宗谷地域のサイクルツーリズム推進に係る計画策定及び合意形成手法について／パシフィックコンサルタンツ[正]泉水 良之・金子 誠・鎌倉 亮
- IV-058 地域主導による災害アーカイブの蓄積と活用に向けた試み／岐阜大学[正]小山 真紀・柴山 明寛・平岡 守
- IV-059 津波被災地の防災緑地に関する住民の評価と意向／福島大学[正]川崎 興太

IV-2 (幸町北4号館 432講義室) /9月4日(水)

■土木計画学とダイバーシティ／8:40～10:10／佐々木 葉(早稲田大学)

- IV-060 計画の仕事におけるダイバーシティとは～ニューヨークの状況をもとに考える～／早稲田大学[正]佐々木 葉
- IV-061 旅行時間価値とダイバーシティ／広島大学[正]藤原 章正
- IV-062 新たな時代に対応した土木計画学の役割～多様化する社会ニーズに対応したダイバーシティ・マネジメント～／計量計画研究所[正]毛利 雄一

- IV-063 ダイバーシティの反面教師／筑波大学[正]谷口 綾子
- IV-064 移動制約者の社会活躍を担保する道路デザインに向けた課題～生活道路における視覚障害者の歩行誘導の視点から～／日本大学[正]稲垣 具志
- IV-065 ESGの視点からみた建設・運輸業界におけるダイバーシティの現状と課題／九州大学[正]松永 千晶

■土木計画学と災害／10:25～11:55／奥村 誠(東北大学)

- IV-066 土木計画学における災害研究の役割に関する一考察／東北大学[正]奥村 誠
- IV-067 防災の三局面における土木計画の役割／早稲田大学[正]佐々木 邦明
- IV-068 土木計画学=土木政策学による防災・強靱化への貢献について／京都大学[正]藤井 聡
- IV-069 土木計画学における地球温暖化対策研究の方向に関する一考察／香川大学[正]紀伊 雅敦・梶谷 義雄・玉置 哲也
- IV-070 大規模自然災害後の交通サービス確保に関する一考察～平成30年7月豪雨の広島～呉間の交通マネジメントの実践から～／呉工業高等専門学校[正]神田 佑亮
- IV-071 地域における災害時の観光客対応の取り組みに関する考察／東洋大学[正]栗原 剛

IV-2 (幸町北4号館 432講義室) /9月5日(木)

■歩行者・自転車・交通弱者／8:40～10:10／宮崎 耕輔

(香川高等専門学校)

- IV-109 WalkabilityとQOLアウトカムを考慮した居住環境評価の基礎的分析／名城大学[学]大矢 周平・中村 一樹
- IV-110 スマートフォンを用いた冬期歩道における転倒危険箇所検出実験／寒地土木研究所[正]齊田 光・徳永 ロベルト・渡部 武朗
- IV-111 視覚障害者誘導のためのシェアリング型「盲導ロボット犬」仕様検討／中央復建コンサルタンツ[正]崎山 賢人・内田 敬
- IV-112 視覚障害者向け音声ARナビアプリのNFC活用と「ことばの地図」の拡充／大阪市立大学[学]寺前 智文・内田 敬・松本 浩子
- IV-113 過疎地域における後期高齢者の受診実態に関する基礎的分析～医療管理レセプトデータおよびKDBデータを用いた検討～／金沢大学[学]森崎 裕磨・藤生 慎・高山 純一
- IV-114 都市における自転車活用方策に関する考察(1)～シェアサイクルの活用について～／仙台市建設公社[正]岩崎 裕直
- IV-115 自転車振動モデルを用いた路面評価の適用性に関する研究／北見工業大学[学]岡部 光樹・高橋 清・富山 和也

■交通調査／10:25～11:55／日下部 貴彦(東京大学)

- IV-116 アイカメラを用いた走行中の情報提供施設視認性調査／首都高速道路[正]三村 啓子・小宮山 瑠介
- IV-117 丸め誤差発生確率モデルによるトリップ出発時刻の回答誤差の推定／熊本大学[学]佐藤 嘉洋・円山 琢也
- IV-118 交通ビッグデータを用いた駅勢圏の移動・滞在の実態把握に関する考察／東京都市大学[学]上原 涉豊・今井 龍一・日野 陽介
- IV-119 交通ビッグデータを用いた駅勢圏の短トリップの交通流動推計に関する基礎的研究／東京都市大学[学]日野 陽介・今井 龍一・上原 涉豊
- IV-120 都市内におけるETC2.0プローブ情報取得件数の偏りに対する影響分析／国土技術政策総合研究所[正]後藤 梓・牧 佑奈・小木曾 俊夫
- IV-121 商用車プローブデータを用いた交差点改良工事前後の渋滞状況に関する分析／富士通交通・道路データサービス[正]三浦 嘉子
- IV-122 豪雪地帯における除雪車ログデータを用いた除雪費用推計モデルの提案／東日本高速道路[正]三鼓 快・伊藤 史子・西尾 尚子

■避難行動・計画(1) /12:40～14:10／玉置 哲也(香川大学)

- IV-123 防潮堤が及ぼす住民の防災意識と避難行動への影響／八戸工業大学[学]堀合 紳弥・小笠原 亮介・武山 泰
- IV-124 避難施設への「世帯別備蓄箱」設置の取り組みによる避難環境の自発的形成的可能性／名古屋工業大学[正]中居 楓子
- IV-125 江東区北砂地区におけるソーシャル・キャピタルと避難行動意識の関連性について／芝浦工業大学[学]今野 杏梨・渡邊 敬士・浅岡 大貴
- IV-126 江東区北砂地区における首都直下地震発生時の避難行動の把握と分析／芝浦工業大学[学]渡邊 敬士・紺野 克昭
- IV-127 鹿児島市山下校区におけるDIGと3D防災マップの試行／新日本技術コンサルタント[正]福田 直三・富山 開正・緒方 善子

- IV-128 地震災害時の外国人観光客対策に関する課題の抽出と分析／山梨大学[正]鈴木 猛康
- IV-129 宇和島市の合同津波避難訓練に基づく避難シミュレーション／愛媛大学[学]田中 淳也・井上 咲・貝原 愛
- IV-130 高速道路における災害図上訓練の実践を通じた訓練手法についての考察／西日本高速道路エンジニアリング中国[正]楠橋 康広・高砂 圭司・大丸 浩志
- 避難行動・計画(2) / 14:25~15:55 / 中居 楓子(名古屋工業大学)
- IV-131 ICTを活用した大規模災害時における早期の概括的状況把握に向けた取組み／パシフィックコンサルタンツ[正]堀口 智也・小林 隆洋・伊藤 孝司
- IV-132 斜面災害発生確率の時系列変化に基づく通行規制基準値の設定／大阪大学[学]橋詰 遼太・二宮 陽平・堤 浩志
- IV-133 大規模地震災害時における避難行動要支援者の避難経路・避難時間に関する基礎的研究～KDBデータを用いて～／金沢大学[学]酒井 貴史・藤生 慎・森崎 裕磨
- IV-134 大規模水害の情報提供効果に関する分析～避難行動要支援者、時間経過を考慮して～／金沢大学[学]長木 雄大・森崎 裕磨・藤生 慎
- IV-135 高速道路トンネル火災事故時の避難安全評価に関する一考察／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京[正]横田 昌弘
- IV-136 大雪時における個人・企業からみた交通需要マネジメント／福井大学[正]川本 義海・梅林 翼
- IV-137 広域避難に関する地区防災計画策定支援ツールとしての避

難シミュレーションの提案と検証／山梨大学[正]渡辺 貴徳・鈴木 猛康・奥山 眞一郎

■防災計画 / 16:10~17:40 / 二神 透(愛媛大学)

- IV-138 自治体のホームページにおける防災・減災に関する情報提供の現状について／東洋大学[学]虫明 一郎・松丸 亮
- IV-139 地方都市の密集市街地における災害危険度判定に関する一考察～新潟県糸魚川市を例に～／国土開発センター [正]岡田 卓也・森川 大輔
- IV-140 津波ハザードマップの見直しと宅地開発・居住選択意識の比較分析～高知市を対象として～／高知大学[正]坂本 淳・土居 貴之
- IV-141 拡張版GNSを用いた東日本大震災前後の岩手・宮城・福島県の自然災害リスクの評価／関西大学[学]梶谷 泰和・向井 友亮・小山 倫史
- IV-142 鉄道沿線で発生した自然災害による被害の規制の有無に着目した統計分析／鉄道総合技術研究所[正]進藤 義勝・布川 修
- IV-143 復旧工実施時に迅速対応するための配慮事項の実例／仙建工業[正]大場 宏樹
- IV-144 切土道路における吹きだまりの発達過程に関する調査事例～切土法面の高さか吹きだまりの発達速度に及ぼす影響について～／寒地土木研究所[正]武知 洋太・大宮 哲・松澤 勝
- IV-145 中山間地における土砂災害発生予測手法に関する研究／中央大学[学]柳 照明・諸岡 良優・山田 正

第V部門 土木材料、舗装工学、コンクリート工学、コンクリート構造、木材工学など

V-1 (幸町北4号館 433講義室) / 9月3日(火)

■骨材 / 8:40~10:10 / 麓 隆行(近畿大学)

- V-001 高炉スラグ細骨材を用いたモルタルの再生によるひび割れ修復に関する研究／熊本大学[学]橋本 涼太・尾上 幸造
- V-002 高炉スラグ細骨材の置換率がモルタルのフレッシュ性状と硬化体物性に及ぼす影響／名古屋工業大学[学]阿部 航司・大島 美穂・吉田 亮
- V-003 酸浸漬および凍結融解による高炉スラグ細骨材の品質評価試験に関する実験的検討／電力中央研究所[正]川戸 陸也・蔵重 勲
- V-004 エコセメントクリンカーを細骨材に使用したモルタルの遮塩性に関する研究／太平洋セメント[正]林 建佑・細川 佳史・宮本 慎太郎
- V-005 火山性堆積物細骨材の吸水率がモルタルの圧縮強度と細孔構造に及ぼす影響／首都大学東京[正]上野 敦・水谷 巧・大野 健太郎
- V-006 砕石ズリを有効利用したコンクリートの性能評価に関する実験的検討／香川高等専門学校[学]串田 浩大・林 和彦・長谷川 雄基
- V-007 ASR反応性を有する再生骨材の再ASR挙動とその抑制技術の検討／芝浦工業大学[学]中村 絢也・Abdulkareem Abdulkadeer Abdullahi・松田 信広

■混和材(1) / 10:25~11:55 / 鈴木 雅博(ピーエス三菱)

- V-008 特性の異なるフライアッシュがコンクリートの諸性能に及ぼす影響／日本大学[学]富塚 翔太・岩城 一郎・子田 康弘
- V-009 フライアッシュコンクリートの養生条件が表層品質に与える影響／香川高等専門学校[学]宇佐美 太朗・林 和彦・岡崎 慎一郎
- V-010 蒸気養生・内部養生を施したフライアッシュモルタルの強度発現性能に対するセメント有効係数の検討／広島大学[学]陰迫 良・三吉 勇輝・Than Phat Huynh
- V-011 熱養生履歴がフライアッシュ由来の水和物生成に及ぼす影響／日本大学[学]奥田 直樹・佐藤 正己・梅村 靖弘
- V-012 フライアッシュのポゾラン反応性迅速判定法(API法)における温度と時間の影響／電力中央研究所[正]山本 武志・大塚 拓
- V-013 低熱セメント・フライアッシュ・石灰系膨張材を併用したセメント硬化体の相組成に与える温度の影響／東北大学[学]馬渡 大壮・武地 真一・宮本 慎太郎
- V-014 硝酸塩の添加による低炭素型コンクリートの中性化抑制効果について／大成建設[正]大脇 英司・荻野 正貴・岡本 礼子
- V-015 環境配慮コンクリートを用いた発色性に優れたコンクリートの検討／大成建設[正]岡本 礼子・大脇 英司・渡邊 悟士
- V-016 自然環境下に5年間暴露されたローカーボンハイパフォーマンスコンクリートの性能／安藤ハザマ[正]齋藤 淳・榎原 彩野・齋藤 尚

■混和材(2) / 物性(1) / 14:55~16:25 / 伊代田 岳史(芝浦工業大学)

- V-017 高炉スラグ微粉末を用いたモルタルの圧縮強度および収縮特性におよぶセッコウの種類の影響／デイ・シー[正]三石 歩・二戸 信和・藤原了
- V-018 高炉スラグ高含有コンクリートの断熱温度上昇特性に関する検討／西松建設[正]高木 雄介・椎名 貴快・我彦 聡志
- V-019 高炉スラグ超微粉末を用いた低水結合材比ペーストのダイラタンシー性改善に関する一考察／デイ・シー[正]藤原了・二戸 信和・久保田 賢
- V-020 シングルミクロン高炉スラグ微粉末を用いたモルタルの遮塩性および低温時の強度特性／デイ・シー[正]帖佐 智行・二戸 信和・藤原了
- V-021 高炉スラグ超微粉末およびフライアッシュ超微粉末を用いたモルタルの耐硫酸性／デイ・シー[正]小菅 太朗・藤原了・二戸 信和
- V-022 トラックアジテータにてシリカフェームスラリーを後添加したコンクリートの基礎的性状／福田組[正]井貝 武史・佐伯 竜彦・斎藤 豪
- V-023 練混ぜ水に高濃度水溶液を用いたモルタルの物性に関する実験的検討／木更津工業高等専門学校[正]原田 健二・北村 萌・椿 笑瑠
- V-024 ラテックスを微量添加したコンクリートのひび割れ部における腐食抑制効果の検証／金沢工業大学[学]片山 太貴・宮里 心一・東 洋輔
- V-025 乾燥したセメント硬化体に対する水分浸透の検討／埼玉大学[学]神田 真希・浅本 晋吾

■物性(2) / 16:40~18:10 / 東 洋輔(オリエンタル白石)

- V-026 練上り温度がモルタルの強度発現に及ぼす影響／九州工業大学[学]市川 翔太郎・日比野 誠・合田 寛基
- V-027 各種養生条件とコンクリート強度の関係性について／シートック[正]相澤 雅俊
- V-028 型枠存置期間と養生方法が鉛直コンクリート面での表面反発度と表層品質に与える影響／西松建設[正]椎名 貴快・岩井 章浩・不破 順清
- V-029 水和分析に基づくシート養生がコンクリートの表層品質に与える影響に関する一考察／鹿島建設[正]向 俊成・芦澤 良一・渡邊 賢三
- V-030 フラクタル次元と2点相関関数から求めた毛細管空隙空間構造の一致性／金沢大学[学]山下 総司・五十嵐 心一
- V-031 膨張により毛細管空隙構造を変化させたモルタルの温度応力試験／苫小牧工業高等専門学校[学]上田 大輔・渡辺 暁夫・土門 寛幸
- V-032 超音波縦波伝播速度を用いた超速硬モルタルの硬化過程における検討／日本建設機械施工協会[正]中村 浩章・羽生 賢一・渡邊 晋也

V-033 極低温環境下でのコンクリート強度試験／大林組[正]森麻里子・阿久津 富弘・樋口 俊一

V-1 (幸町北4号館 433講義室) / 9月4日(水)

■アルカリシリカ反応 / 8:40~10:10 / 三方 康弘(大阪工業大学)

- V-236 ASR模擬供試体内部の膨張計測へのX線CT画像を用いた画像相関法の適用性／近畿大学[正]麓 隆行・岩月 栄治・中井 慶成
- V-237 デジタル画像相関法によるASR膨張の面的ひずみ分布評価／太平洋セメント[正]落合 昂雄・早野 博幸・伊藤 幸広
- V-238 湿度環境を変えた反応性骨材コンクリートの力学性能に関する実験的研究／富山県立大学[学]山岸 祥希・伊藤 始
- V-239 アルカリシリカ反応によって膨張したコンクリートの力学特性の経時変化と その要因に関する微視的考察／東京大学[正]高橋 佑弥・岡野 佑亮
- V-240 ASR環境下における短繊維補強コンクリートの力学特性について／北海道大学[学]東河 竜平・横田 弘
- V-241 ASR劣化によるPRC部材の経過観察に関する研究／大阪工業大学[学]田中 宏幸・三方 康弘・井上 晋
- V-242 天端部ひび割れから基礎体の耐荷力評価手法の提案／香川大学[学]山本 翔大・松島 学
- V-243 ASRにより劣化したPC構造物の調査と対策／本州四国連絡高速道路[正]金田 泰明・矢野 賢晃

■凍害 / 10:25~11:55 / 小山田 哲也(岩手大学)

- V-244 CAモルタルに対する凍結融解試験による劣化範囲の圧縮強度に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所[正]高橋 貴蔵・小滝 康陽・桃谷 尚嗣
- V-245 凍結防止剤によるコンクリートのスケーリング劣化に及ぼすセメント種類の影響／太平洋セメント[正]七尾 舞・兵頭 彦次・梶尾 聡
- V-246 硬化促進剤と凍害抑制剤を用いた高炉セメントコンクリートの強度とスケーリング抵抗性／寒地土木研究所[正]吉田 行・遠藤 裕丈・西 祐宜
- V-247 ベースセメントの異なる道路橋床版コンクリートの耐スケーリング劣化に関する研究／日本大学[学]川元 崇寛・佐藤 正己・梅村 靖弘
- V-248 3年間暴露されたLPC-FA系コンクリートブロックの圧縮強度とスケーリング抵抗性に関する考察／八戸工業高等専門学校[学]川守田 祥吾・庭瀬 一仁
- V-249 施工による空気量の変化についての分析／東日本旅客鉄道[正]三浦 秀一朗・柴嶋 大輔
- V-250 混和材料によるコンクリートの凍結融解抵抗性向上に関する検討／福岡大学[学]市山 大輝・橋本 紳一郎・徳光 卓
- V-251 凍結融解作用によりRC床版内部に生じる水平ひび割れの再現実験／寒地土木研究所[正]林田 宏
- V-252 凍害を受けたコンクリート構造物の補修方法／東日本旅客鉄道[正]菅原 寛文

V-1 (幸町北4号館 433講義室) / 9月5日(木)

■複合劣化 / 劣化予測 / 8:40~10:10 / 須田 裕哉(琉球大学)

- V-348 再生粗骨材を用いたコンクリートの塩分環境下における凍結融解抵抗性に関する研究／土木研究所[正]片平 博・古賀 裕久
- V-349 凍・塩害の進行に及ぼす最低温度および水の塩分濃度の影響／寒地土木研究所[正]遠藤 裕丈・安中 新太郎
- V-350 凍結融解作用を受ける鉄筋コンクリートのスケーリングと鉄筋腐食に関する検討／徳島大学[学]大谷 一将・上田 隆雄・塚越 雅幸
- V-351 塩害と中性化の複合環境における亜硝酸リチウム混和モルタルの劣化抑制効果／福岡大学[学]深見 桜・佐藤 悠士朗・植原 弘貴
- V-352 通信用鉄筋コンクリートマンホールにおける中性化の進行挙動／日本電信電話[正]笠原 久稔・藤本 憲宏・岡村 陽介
- V-353 車道設置マンホール鉄蓋の劣化予測技術／日本電信電話[正]杉浦 貴志・永瀬 明・岡村 陽介
- V-354 コンクリート表層部の品質を考慮した塩害劣化の予測／香川大学[学]古曳 大哉・中川 裕之・山口 浩希
- V-355 相平衡物質移行モデルにより化学的作用の影響を予測する際の最適な固相の定義に関する検討／東北大学[正]宮本 慎太郎・皆川 浩・久田 真

■維持・管理(1) / 10:25~11:55 / 小池賢太郎(鹿児島大学)

- V-356 外部電源陽極方式に生じた外観変状の原因分析と防食効果

追跡調査／西日本旅客鉄道[正]梅原 琢也・三城 一晃・吉田 隆浩

- V-357 鋼橋の腐食要因別対策と維持管理の向上を目指した取り組み事例／国際航業[正]伊礼 貴幸・香川 紳一郎・土屋 亘平
- V-358 亜熱帯地域における飛来塩防護板を採用した鋼橋の腐食環境調査(その3)／日鉄エンジニアリング[正]立花 周作・藤川 敬人・麻生 稔彦
- V-359 非破壊試験の組合せ評価によるコンクリート構造物の予防保全型診断手法の研究／飛鳥建設[正]板野 光純・桃木 昌平・榎島 修
- V-360 塩害で劣化した既設RCT桁の耐荷性能に関する解析的検討／北武コンサルタント[正]関下 裕太・坂口 淳一・渡邊 忠朋
- V-361 局所的に発生した鉄筋腐食がRCはりの耐疲労性に与える影響／東京工業大学[学]高橋 実花・千々和 伸浩・岩波 光保
- V-362 鉄筋作用応力がコンクリート構造物の構造性能に及ぼす影響／東京工業大学[学]小田切 勝也・岩波 光保
- V-363 凍害環境下における鉄道高架橋の中性化深さの実態とコンクリートの変状との相関について／東日本旅客鉄道[正]山本 州大・岸 利治

■維持・管理(2) / エコ・緑化コンクリート / 12:40~14:10 /

高橋 駿人(北海道大学)

- V-364 山口県品質確保システム下で建設されたコンクリート構造物の耐久性／徳山工業高等専門学校[学]林 弘輝
- V-365 簡易な超音波速度計測によるコンクリートの強度推定に関する検討／芝浦工業大学[学]荒木 萌・北川 真也・伊代田 岳史
- V-366 コンクリート中の水分浸透速度係数試験結果と中性子イメージングの比較／理化学研究所[正]水田 真紀・吉村 雄一・須長 秀行
- V-367 コンクリート水路における骨材溶解・劣化穴形成の原因・機構に関する一考察／日本工営[正]中山 宣洋・佐藤 京介・松田 貞則
- V-368 CaCO<sub>3</sub>添加によるCaF<sub>2</sub>混合セメント硬化体の耐硫酸性向上に関する研究／日本大学 [正]保坂 成司・鶴澤 正美・佐藤 克己
- V-369 長期植栽試験における牡蠣殻ポーラスコンクリートの緑化性能／呉工業高等専門学校[学]鍋島 美咲・堀口 至・三村 陽一
- V-370 実環境下における牡蠣殻を用いたポーラスコンクリートの緑化性能／呉工業高等専門学校[学]松原 翔太
- V-371 スラッグの膨張性を利用した自然回帰型ポーラスコンクリートに関する研究／石川工業高等専門学校[学]河合 克仁・福留 和人・中出 康太
- V-372 産業廃棄物・副産物を用いた自己治癒形コンクリートの安定性評価／宮崎大学[正]李 春鶴・町浦 将太・中島 直輝

■製造・施工 / 温度応力 / 14:25~15:55 / 梁 俊(大成建設)

- V-373 温水循環式ヒーターにより給熱養生したコンクリートの強度発現特性／北見工業大学[学]小原 総基・井上 真澄・崔 希燮
- V-374 水と解析に基づく養生計画立案手法の低熱型セメントへの適用検討／石川工業高等専門学校[学]梶山 優・福留 和人・齋藤 淳
- V-375 コンクリート工の表層品質向上を目的とした養生方法の検討／長岡工業高等専門学校[学]南海渡 陽田 修・井林 康
- V-376 気泡シートと吸水発熱性不織布を組み合わせた養生材の性能確認／川上産業[正]森島 敏之
- V-377 再振動締固めの実施方法が塩害劣化に対する抵抗性への影響／福岡大学[学]佐藤 悠士朗・深見 桜・植原 弘貴
- V-378 コンクリートの打重ねおよび仕上げ時期に関する管理方法の提案／オリエンタル白石[正]中村 敏之・橋本 紳一郎・吉村 徹
- V-379 簡易装置と熱伝導解析の併用によるコンクリートの断熱温度上昇特性の推定手法に関する検討／富山県立大学[学]田治 愛里・伊藤 始
- V-380 各種パイプケーリングの管壁面の熱伝達率に関する検討／東洋建設[正]森田 浩史・竹中 寛・末岡 英二
- V-381 大規模水門の温度ひび割れ対策について／鴻池組[正]金本 和憲・為石 昌宏・牛嶋 浩一朗

V-2 (幸町北5号館 522講義室) / 9月3日(火)

■疲労・衝撃 / 8:40~10:10 / 岡本 大(鉄道総合技術研究所)

- V-034 継手によるプレキャストPC床版接合部の疲労耐久性の定量的評価／早稲田大学[学]竹田 京子・佐藤 靖彦



- V-035 不同沈下を考慮したCRC版の自重、温度差、輪荷重による応力履歴解析について／ニチレキ[正]亀田 昭一・佐藤 良一・小川 由布子
- V-036 CFCCスラブの繰返し曲げ疲労に関する実験的検討／オリエンタル白石[正]石井 智大・渡瀬 博・幸田 英司
- V-037 輪荷重走行試験による鋼板接着補強済RC床版の疲労耐久性評価／阪神高速道路[正]藤原 理絵・鈴木 英之・橋爪 大輔
- V-038 輪荷重走行試験による凍害がRC床版の耐疲労性に及ぼす影響に関する検討／日本大学[学]大川 健太郎・子田 康弘・岩城 一郎
- V-039 改良型ループ継手を適用したプレキャストPC床版の輪荷重走行試験／富士ピー・エス[正]畠山 繁忠・日野 伸一・濱田 秀則
- V-040 疑似粘弾塑性モデルを用いたRBSMによるRCはりの疲労挙動解析／関西大学[正]上田 尚史・小野 洋樹
- V-041 液状水による風車基礎アンカー周りのコンクリート損傷の解析／法政大学[学]関根 英人・藤山 知加子・千々和 伸浩

■耐震補強／10:25～11:55／岡本 大(鉄道総合技術研究所)

- V-042 鋼板巻き補強の実施困難箇所における無筋橋脚の新しい耐震補強工法の提案／東日本旅客鉄道[正]萩野 統也・川崎 宣弘・今泉 浩明
- V-043 水平力分担構造に対する水平力載荷実験—縁端距離に着目したケース—／阪神高速道路技術センター[正]前川 和彦・大八木 亮・服部 匡洋
- V-044 水平力分担構造に対する水平力載荷実験—本体鉄筋量と補強鉄筋量に着目したケース—／阪神高速道路技術センター[正]大八木 亮・服部 匡洋・前川 和彦
- V-045 躯体の一部を補強した壁式RC部材の交番載荷試験／東日本旅客鉄道[正]佐々木 尚美・山根 大・佐川 洋亮
- V-046 基部に無補強区間を設けた壁式RC巻き立て補強部材の交番載荷試験／JR東日本[正]山根 大・佐川 洋亮・佐々木 尚美
- V-047 池内に位置する二柱式RC橋脚の横梁構造による耐震補強に関する検討／西日本高速道路[正]宮田 弘和・具志 一也・田崎 賢治
- V-048 高強度繊維補強モルタルと帯状鋼材により補強したRC柱の変形性能に及ぼすモルタル厚さと断面寸法の影響／東急建設[正]黒岩 俊之・田所 敏弥・宇治 公隆
- V-049 目地部での水平ずれ抑制を目的とした鋼板の補強効果に関する確認実験／東日本旅客鉄道[正]高橋 紗希子・佐々木 尚美
- V-050 道路橋ロックンギ橋脚の耐震補強設計に関する取組み事例 A Seismic Strengthening Design of Rocking Piers of A Road Bridge／中日本高速道路[正]真田 修・高橋 泰斗・芝野 巨浩

■短繊維補強コンクリート(構造)(1)／14:55～16:25／上田 尚史(関西大学)

- V-051 遠心成形を利用した杭体内の鋼繊維分布と配向の改善に関する基礎的研究／早稲田大学[学]影山 卓己・秋山 充良・宇野 洋志城
- V-052 超高強度繊維補強RC梁部材内の繊維の配向と曲げ破壊挙動／岐阜大学[学]横井 晶有・吉見 拳人・田中 章
- V-053 高強度繊維補強モルタルを耐震補強に用いた場合の繊維配向に関する検討／東急建設[正]笠倉 亮太・鈴木 将充・田所 敏弥
- V-054 超高強度繊維補強コンクリートスラブの曲げ破壊挙動の解析的検討／岐阜大学[学]磯部 岳・田中 章・奥西 淳一
- V-055 リサイクルナイロン短繊維補強モルタルの力学性能評価／北海道大学[学]松浦 悠・横田 弘
- V-056 小断面部材における鋼繊維補強鉄筋コンクリートのせん断補強効果／JR東日本[正]高山 真揮・本田 諭・白崎 能生
- V-057 UHPFRCによる橋梁床版の補修・補強工法における界面の引張疲労付着試験／鹿島建設[正]松田 有加・渡邊 有寿・一宮 利通
- V-058 UHPFRCにより床版上面を打替えたRC中空床版橋のUHPFRCとコンクリートの界面の挙動／中日本高速道路[正]牧田 通・熊谷 紳一郎・立松 秀之

■短繊維補強コンクリート(構造)(2)／耐震／16:40～18:10／滝本 和志

- V-059 高強度繊維補強モルタルを問詰としたUFC床版と鋼桁の接合部に関する検討／鹿島建設[正]小嶋 進太郎・一宮 利通・永井 勇輔
- V-060 Uリブ鋼床版上に施工されたSFRC舗装の耐荷性に関する基礎的研究／阪神高速道路[正]ハツ元 仁・柿木 啓・薄井 王尚
- V-061 PVA-UFC製埋設型枠を用いたRC梁の曲げ耐荷性能に関する実験的検討／エスイー [正]小林 裕貴・中村 慶一・石塚 健一

- V-062 鋼繊維補強PFCを用いたRCはりのせん断特性に及ぼすせん断スパンの影響／東京工業大学[学]若山 大幹・柳田 龍平・大窪 一正
- V-063 T形柱梁接合部におけるRC柱部材の変形性能に関する実験的検討／鉄道総合技術研究所[正]草野 浩之・中田 裕喜・田所 敏弥
- V-064 正負交番載荷を受けるプレキャスト・プレストレストコンクリート柱の画像解析によるひび割れ挙動の把握／明石工業高等専門学校[正]生田 麻実・三木 朋広
- V-065 丸鋼鉄筋を用いたRC高架橋の耐震性能／JR東日本コンサルタンツ[正]桑木野 耕介
- V-066 データベースに基づく高強度材料を用いたRC柱の変形性能に関する一考察／鉄道総合技術研究所[正]佐藤 祐子・中田 裕喜・田所 敏弥

V-2 (幸町北5号館 522講義室)／9月4日(水)

■プレキャスト製品(1)／8:40～10:10／廣井 幸夫(IHIインフラシステム)

- V-253 埋設型枠工法における内部コンクリートの非破壊検査に関する実験的検討／鹿島建設[正]光山 恵生
- V-254 PCボックスカルパートの急勾配設置における一体性向上の検討／技研[正]祐川 真也・橋詰 豊・長谷川 明
- V-255 部材接合部に着目したプレキャストPC柱部材の力学挙動に関する解析的検討／名古屋工業大学[学]井戸 崇仁・川村 駿・武田 健太
- V-256 更新用プレキャストコンクリート壁高欄の実用化検討／首都高速道路[正]石原 陽介・睦好 宏史・牧 剛史
- V-257 異形鉄筋をすれ止めとして用いるハーフプレキャストはり部材のせん断載荷実験／秋田大学[正]高橋 良輔・松岡 智・島 弘
- V-258 栈橋上部工を対象としたループ継手を有するプレキャスト梁の曲げ特性について／東洋建設[正]白庄司 健之・竹中 寛・水谷 征司
- V-259 吉野川大橋(仮称)プレキャストセグメント工法への設計変更／西日本高速道路[正]山下 恭敬・橋本 啓・永久 直樹
- V-260 フード構造物への日射影響に関する研究／東海旅客鉄道[正]市川 嘉一・有田 貴司・石井 啓稔
- V-261 フード構造物への日射影響に関する研究(その2)／東海旅客鉄道[正]山本 和生・石井 啓稔・有田 貴司

■プレキャストコンクリート(2)／コンクリート製品／10:25～11:55／二井谷 教治(オリエンタル白石)

- V-262 コンクリート製品における表面明度の安定化に関する検討／住友大阪セメント[正]本田 和也・中上 明久・上原 伸郎
- V-263 フライアッシュの明度が蒸気養生モルタルの明度に及ぼす影響／住友大阪セメント[正]中上 明久・本田 和也・齋藤 尚
- V-264 新高炉スラグ粗骨材を用いたコンクリートの基礎的研究／東海大学[学]高野 厚志
- V-265 膨張材配合モルタルの基礎物性に及ぼす養生条件の影響／東海大学[学]大滝 朋・内藤 弘之・橋本 紳一郎
- V-266 プレキャストコンクリートの二次養生における散水養生の効果の検討／東海大学[学]山崎 竜治・宇野 洋志城・橋本 紳一郎
- V-267 内部養生効果を指向した吸水高分子ゲルのプレキャストコンクリートへの適用／東海大学[正]加茂 貴大・笠井 哲郎・竹中 寛
- V-268 シート養生が工場製品の品質に与える影響に関する一考察／鹿島建設[正]濱田 那津子・坂井 吾郎・渡邊 賢三
- V-269 高流動コンクリートを用いたコンクリート製品の表面気泡低減に関する一考察／BASFジャパン[正]亀島 健太・谷門 晃・伊瀬 知剛

V-2 (幸町北5号館 522講義室)／9月5日(木)

■補修・補強(1)／8:40～10:10／小林 薫(JR東日本コンサルタンツ)

- V-382 動的荷重作用下における断面修復部の剥落危険性に関する解析的検討／九州大学[学]原 紘一郎・玉井 宏樹・園田 佳巨
- V-383 既設表面被覆工の健全性評価ならびに上塗り補修による延命化の確認／東日本旅客鉄道[正]関 玲子・栗林 健一・齊藤 岳季
- V-384 吹付けコンクリートの急結作用の検討／大林組[正]石開 嘉一
- V-385 浸透性接着剤を用いたコンクリート床版下面の補修検討／西日本高速道路[正]和田 広之・水野 希典・河田 直樹
- V-386 RC構造物にひび割れ補修を施した場合の機器配管系基部アンカーの定着性能に関する一検討／電力中央研究所[正]永田 聖二・松尾 豊史・両角 浩典

- V-387 中空PCストランドによるプレストレス内部補強工法に用いる高強度グラウト材の実験的研究／山口大学[学]阿波亮祐・三原孝文・吉武勇
- V-388 プレストレス内部補強工法に用いる中空PCストランドの水平方向への適用性／極東興和[正]三原孝文・阿波亮祐・吉武勇
- V-389 小口径アンカーと柱体に支持された補強梁のせん断耐力に関する解析的検討／東電設計[正]金子想・玉置久也・高橋秀明
- V-390 展張筋を用いて接着剤塗布型増厚補強を施したひび割れ損傷を受けたRCはりの補強効果／日本大学[正]水口和彦・阿部忠・中島博敬

#### ■補修・補強(2) / 10:25~11:55 / 高橋良輔(秋田大学)

- V-391 断面分割施工におけるプレキャストPC床版の縦目地部の押抜きせん断耐荷性能確認試験／オリエンタル白石[正]大谷悟司・齋藤幸治・石沢彩夏
- V-392 ASRを生じた下部工PC梁への外ケーブル追加による影響の検討／阪神高速道路[正]伊佐政晃・新名勉・大八木亮
- V-393 既設RCスラブの開口による端部応力に関する一考察／JR東日本コンサルタンツ[正]西村純・九富理・山本忠
- V-394 PIC板による鉄筋定着部が損傷したRCはりのせん断補強効果／長崎大学[学]永松牧子・海部貴裕・中馬紗貴
- V-395 PC鋼棒を用いた橋脚掛け違い部の補強工法の耐荷機構／鉄道総合技術研究所[正]小林史・轟俊太郎・田所敏弥
- V-396 DFRCで補強したRCにおける正負交番荷荷時のせん断耐荷特性／大阪市立大学[学]米良日菜・公文裕之・角掛久雄
- V-397 応用要素法を用いたPC鋼棒の破断突出解析と舗装の突出抑制効果の基礎的検討／横浜国立大学[正]細田暁・福原冨基・Salem Hamed
- V-398 中詰材の固化がケーソン側壁の耐荷力に及ぼす影響に関する実験的検討／港湾空港技術研究所[正]田中豊・黒木賢一・川端雄一郎
- V-399 中詰材の固化によるケーソン側壁の耐衝撃性向上に関する実験的検討／港湾空港技術研究所[正]黒木賢一・田中豊・川端雄一郎

#### ■補修・補強(3) / 12:40~14:10 / 栗橋祐介(室蘭工業大学)

- V-400 PPCとCFRP格子筋によって補強したRC梁の負曲げ耐力／日鉄ケミカル&マテリアル[正]文屋遼太郎
- V-401 炭素繊維シートによる軽量RC床版に対する補強効果の検討／首都高速道路[正]濱野真彰・内海和仁・田中伸幸
- V-402 PCMの圧縮強度がCFG板を用いたせん断補強効果に及ぼす影響について／福山大学[正]宮内克之・下枝博之・小林朗
- V-403 炭素繊維複合パネルを用いたトンネル覆工コンクリートの表面保護工法における剥落防止効果／大成建設[正]河村圭亮・畑明仁・新藤竹文
- V-404 GFRPリブで付着性能を改善させたCFRPロッドで補強されたRCはりの曲げ疲労特性(その1)／山口大学[学]下瀬恒太・長谷川泰聡・吉武勇
- V-405 GFRPリブで付着性能を改善させたCFRPロッドで補強されたRCはりの曲げ疲労特性(その2)／三菱ケミカルインフラテック[正]長谷川泰聡・下瀬恒太・吉武勇
- V-406 超速硬高流動コンクリートを用いて接合したプレキャスト部材のせん断試験／日鉄ケミカル&マテリアル[正]林悠志・岡本恵理・吉澤弘之
- V-407 熱可塑性FRPを埋設したコンクリート梁の曲げ性状／金沢工業大学[正]保倉篤・宮里心一・後藤匠

#### ■構造設計 / 14:25~15:55 / 塩畑英俊(東日本高速道路)

- V-408 既設鉄道高架橋に新設ホーム高架橋を増設する場合の計画について／JR東日本コンサルタンツ[正]九富理・本埜薫・馮仲士
- V-409 SRC構造防音壁目地渡り部の支柱間隔拡大箇所に関する検討／鉄道建設・運輸施設整備支援機構[正]加藤積希・山本浩平・山脇奨平
- V-410 3径間連続桁の上下部工一体モデルの3次元動的解析に関する一考察／阪急設計コンサルタント[正]山口武志・守本絵美子
- V-411 トラス構造とPC構造を軸方向に接合した梁部材の断面力と変形に関する一考察／東日本旅客鉄道[正]大野又稔・大口亜希子・鈴木裕隆
- V-412 中層梁に高引張強度領域を有するRC2層ラーメン高架橋の多方向荷荷時の耐荷特性の検討／JR東日本コンサルタンツ[正]小林薫・鶴岡宏樹・佐藤孝祐
- V-413 FEMを用いたRCラーメン高架橋全体系の耐荷性能に関する検討／鉄道総合技術研究所[正]宮本祐輔・渡辺健・中田裕喜

- V-414 RCカルバート構造物の配筋設計合理化に関する一考察／大成建設[正]村田裕志・畑明仁
- V-415 スラブ開口を有する鉄道開削トンネルの応答性状に関する一考察／ジェイアール東海コンサルタンツ[正]永坂亮介・後藤幸司・加藤久也
- V-416 H形鋼を鉄筋として利用したスラブの設計と施工／清水建設[正]石崎裕大・平野英司・市花圭一朗

#### V-3 (幸町北5号館 523講義室) / 9月3日(火)

#### ■舗装一般 / 8:40~10:10 / 河村隆(信州大学)

- V-067 間隙水圧計を用いた降雨時の基層上面の水圧計測／国土技術政策総合研究所[正]河村直哉・坪川将丈
- V-068 電気抵抗を用いた舗装層間の水分検知技術に関する基礎的検討／寒地土木研究所[正]池田浩康・上野千草・大浦正樹
- V-069 繰り返しねじりせん断試験による異なる試験温度のアスファルト混合物の性状評価／鹿島道路[正]好見一馬・横田慎也・澁谷啓
- V-070 繰返しねじりせん断試験条件がアスファルト混合物の力学特性に与える影響に関する一検討／神戸大学[正]横田慎也・久利良夫・澁谷哲
- V-071 現位置における路床・路盤の弾性係数評価手法の検討／土木研究所[正]岩永真和・綾部孝之・近藤益央
- V-072 粒度分布・含水比が路盤の支持力に及ぼす影響の評価／土木研究所[正]藤田和志・川上篤史・藪雅行
- V-073 ベンダーエレメント併用繰返し三軸試験によるせん断剛性の応力依存性評価／千葉エンジニアリング[正]若月洋朗・玉山大助・木幡行宏
- V-074 明色バインダの色彩変化に関する一考察／日進化成[正]小柳智子・焼山明生

#### ■セメント系舗装 / 10:25~11:55 / 坪川将丈(国土交通省)

- V-075 漏洩磁束法によるダウエルバー破断検知に関する基礎的検討／土木研究所[正]内田雅隆・岩永真和・藪雅行
- V-076 電磁波レーダを用いた鉄筋コンクリート舗装構造物内部の鉄筋腐食状況に関する非破壊調査手法の検討／大成ロテック[正]澤口実・城本政一・岩永真和
- V-077 コンクリート舗装における目地材の抜け出しとひび割れに関する一検討／土木研究所[正]井谷雅司・上野千草・丸山記美雄
- V-078 コンクリート舗装のひび割れ補修材の曲げ強度および疲労破壊抵抗性について／東急建設[正]鈴木将充・中嶋毅・永淵克己
- V-079 コンクリート舗装したRC床版の耐疲労性および界面の付着強度／日本大学[学]小林稔・阿部忠・児玉孝喜
- V-080 SFRCにおける鋼繊維の分散性評価方法(非破壊検査)／大林道路[正]藤井秀夫
- V-081 コンテナターミナルにおけるILB舗装の経時変化／太平洋プレコン工業[正]住岡雅之・柳沼宏始・中越誠二
- V-082 普通インターロッキングブロックの曲げ疲労特性の評価／太平洋セメント[正]島影亮司・岸良竜・宮本昌周
- V-083 積雪寒冷地におけるコンクリート舗装の凍結深さに関する実態調査／寒地土木研究所[正]上野千草・丸山記美雄・木幡行宏

#### ■アスファルト系舗装 / 14:55~16:25 / 白井悠(NIPPO)

- V-084 接地圧と走行速度がアスファルト混合物の流動特性に与える影響度に関する一検討／東亜道路工業[正]田端勇人・石塚直人・高橋修
- V-085 アスファルト混合物における塑性変形と剥離との相互作用／昭和シェル石油[正]呉悦雄・野口健太郎・瀬尾彰
- V-086 多機能型排水性舗装の北海道での適用への検討について／ガイアート[正]齊藤一之・山内基彰
- V-087 積雪寒冷環境下における北海道型SMAの耐久性向上に関する一検討／寒地土木研究所[正]田中俊輔・亀山修一・丸山記美雄
- V-088 アスファルト混合物の空隙率がアスファルトの劣化に及ぼす影響について／日本大学[学]楊晨輝・加納陽輔・新田弘之
- V-089 表層舗設直後のアスファルト混合物層間のせん断強度／国土技術政策総合研究所[正]坪川将丈・河村直哉・伊豆太
- V-090 再生混合物の品質向上に向けた作業性評価方法に関する一検討／世紀東急工業[正]村井宏美・源藤勉・吉野敏弘
- V-091 アスファルト舗装工における出来形管理と品質管理の効率化の検討／フィールドテック[正]村山盛行・福森秀晃・清水哲也
- V-092 家畜等の飼育場周辺の舗装の変状とその原因について／大成ロテック[正]坂根理紗・城本政一・唐木健次

■リサイクル(舗装) /16:40~18:10/川名 太(東京農業大学)

- V-093 水熱分解法を応用した劣化アスファルトの性状回復技術に関する実験的検討/日本大学[学]飯山 和輝・秋葉 正一・加納 陽輔
- V-094 旧アスと再生用添加剤の混合に関する一検討/昭和シェル石油[正]佐野 昌洋・瀬尾 彰
- V-095 ポリマー改質アスファルト含有舗装発生材から分別回収した微粒分の利活用/日本大学[学]篠崎 魁志・秋葉 正一・加納 陽輔
- V-096 再生アスファルトの分散状態の違いが再生混合物の性状に与える影響の一考察/昭和シェル石油[正]瀬尾 彰・佐野 昌洋・野口 健太郎
- V-097 加熱サイロ貯蔵時の再生アスファルト混合物の劣化評価手法に関する一検討/大林道路[正]小林 靖明・上地 俊孝・東本 崇
- V-098 再生アスファルト混合物の防草機能の付加に関する一検討/関電工[正]茅ノ間 恵美・松本 吉記・源藤 勉
- V-099 積雪寒冷地における再生アスファルト混合物の設計圧裂係数に関する一検討/寒地土木研究所[正]金谷 元・上野 千草・丸山 記美雄
- V-100 アスファルト混合物から発生するアスファルトヒューム量における温度の影響/土木研究所[正]田湯 文将・新田 弘之・川島 陽子

V-3 (幸町北5号館 523講義室) /9月4日(水)

■舗装材料/8:40~10:10/神下 竜三(阪神高速道路技術センター)

- V-270 施工性改善型ポリマー改質アスファルトH型の開発事例/日進化成[正]浅井 和明・金澤 裕貴・焼山 明生
- V-271 硬化機構に着目した全天候型常温混合物の開発/大林道路[正]上地 俊孝・山原 詩織・東本 崇
- V-272 中温化材による夏季施工時の作業環境緩和について/ガイアート[正]佐澤 昌樹・小川 勉
- V-273 再生アスファルトと新規アスファルトの供用時におけるなじみの検討/日本大学[学]木下 雄太・新田 弘之・川島 陽子
- V-274 気象データに基づくCAモルタルの凍結融解回数の推定に関する基礎的検討/鉄道総合技術研究所[正]稲葉 紅子・高橋 貴蔵・桃谷 尚嗣
- V-275 機能性土系舗装の乾燥収縮および保水・吸水性に及ぼす細粒分含有率の影響/信州大学[正]河村 隆・梅崎 健夫・佐伯 俊輔
- V-276 機能性土系舗装の凍結融解特性に及ぼす細粒分含有率の影響/信州大学[正]梅崎 健夫・河村 隆・福田 祐己
- V-277 Burger'sモデルによるアスファルト混合物の引張応力の計算/JIPテクノサイエンス[正]戸田 圭彦・久利 良夫・鎌田 修

■特殊舗装/10:25~11:55/藪 雅行(土木研究所)

- V-278 遮熱性と融雪機能を合わせ持つアスファルト舗装のモニタリング結果に関する検討/NIPPO [正]与那覇 拓斗・白井 悠・前島 拓
- V-279 屋外における「おとり法」を用いた虫よけ舗装の蚊に対する虫よけ効果の評価/大成ロテック[正]嶋田 泰文・青木 政樹・平岡 浩佑
- V-280 遮熱性舗装上における人体への影響に関する各種検証結果/NIPPO [正]村上 浩・高崎 康弘・岩間 将彦
- V-281 遮熱性舗装実施路面における再塗布の実施/三井住建道路[正]酒井 宏和・南館 学
- V-282 太陽光発電舗装の試験施工と通年で発電特性検討/NIPPO [正]吉中 保・鍛冶 哲理・吉田 弘樹
- V-283 人体熱負荷量を指標とした車椅子利用者に対する保水性舗装の効果の検証/大成ロテック[正]唐木 健次・青木 政樹・島崎 康弘
- V-284 厚層施工用混合物の施工時間短縮を目指した配合検討/西日本高速道路[正]竹林 宏樹・小林 康範・高木 良久
- V-285 厚層施工用混合物の施工時間短縮を目指した適用性検討/西日本高速道路[正]高木 良久・計良 和久・竹林 宏樹
- V-286 接地圧に比べて輪荷重の大きい舗装への粒度調整コンクリートの適用に関する実験的研究/太平洋プレコン工業[正]門井 康太・舌間 孝一郎・辻 正哲

V-3 (幸町北5号館 523講義室) /9月5日(木)

■維持・修繕(舗装)(1) /8:40~10:10/久利 良夫(阪神高速技術)

- V-417 赤外線自動熱解析診断システム/テナーク[正]内間 満明・植村 英幸

- V-418 赤外線自動熱解析診断システムを活用した効率的な路面調査/ネクスコ東日本エンジニアリング[正]宮島 渚・岡田 健汰・大庭 健太郎
- V-419 赤外線熱画像を活用したポットホールの事前検知に向けた取り組み/ネクスコ東日本エンジニアリング[正]大庭 健太郎・岡田 健汰・仲谷 国雄
- V-420 実路における地中レーダによる埋設管土被りの測定精度の向上に関する実験/大阪産業大学[正]久保寺 貴彦・郭 慶煥・田中 宏司
- V-421 浸透型補修工法による舗装の延命効果の検証とLCCの算出/西日本高速道路[正]出雲 真仁・中村 和博・本松 資朗
- V-422 理論的設計法を用いた耐久性とLCCによる各種舗装設計基準の比較/国際建設技術協会[正]保田 敬一・渡部 健太郎・古木 守靖
- V-423 舗装版下で発生するポンピング現象における基礎的模型実験/山口大学[学]重廣 和輝・中島 伸一郎
- V-424 アスファルト舗装のコールドジョイント処理材の評価方法に関する検討/ニチレキ[正]内海 正徳・馬場 弘毅・米来 哲之

■維持・修繕(舗装)(2) /10:25~11:55/大脇 真也

(高速道路総合技術研究所)

- V-425 阪神高速道路の鋼床版上舗装に発生する損傷について/阪神高速道路技術センター [正]神下 竜三・青木 康素・松下 麗菜
- V-426 床版が損傷している橋面舗装の実態調査/土木研究所[正]寺田 剛・渡邊 真一・藪 雅行
- V-427 舗装打換工事によるRC床版長寿命化対策の実施状況/首都高メンテナンス西東京[正]大槻 敦夫
- V-428 コンクリート舗装のFEM解析による損傷評価/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]伏屋 和樹・倉戸 伸浩・鈴木 正幸
- V-429 開削調査によるコンクリート舗装目地の劣化状況/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]野呂 直史・中村 康広・高井 健志
- V-430 コンクリート舗装のひび割れつまり物の除去方法について/世紀東急工業[正]中嶋 毅・永瀧 克己・鈴木 将充
- V-431 供用に伴う舗装の路面性状および構造的健全性に関する追跡調査結果/土木研究所[正]渡邊 真一・寺田 剛・藪 雅行
- V-432 中央自動車道の舗装補修工事における渋滞緩和対策/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]古越 達也・平井 章一・日東 義仁

■路面評価(舗装)(1) /12:40~14:10/森石 一志(大林道路)

- V-433 ベトナム社会主義共和国・ハノイ市周辺の舗装の状態について/大成ロテック[正]岡島 穂高・城本 政一・ファム ホアン キエン
- V-434 パターン認識による高機能舗装の補修の意思決定で重視される項目の抽出/西日本高速道路[正]中村 和博・堤 浩志・小濱 健吾
- V-435 道路画像の深層学習に基づく路面ひび割れ状況の把握に向けた基礎的検討/千葉大学[学]古市 直也・丸山 喜久
- V-436 アスファルト舗装の表面研削形状に関する一検討/寒地土木研究所[正]佐藤 圭洋・上野 千草・田中 俊輔
- V-437 フォークリフト軌跡上の路面凹凸の推定に関する検討/日本貨物鉄道[正]長谷川 陽平・上浦 正樹・遠藤 浩隆
- V-438 路面データの三次元化による路面点検について/保全工学研究所[正]天野 勲・山本 実・兵庫 佑美
- V-439 MMSを用いた舗装の評価手法(その1)/首都高技術[正]川村 日成・永田 佳文・水谷 司
- V-440 MMSを用いた舗装の評価手法(その2)/首都高技術[正]得能 智昭・永田 佳文・川村 日成

■路面評価(舗装)(2) /14:25~15:55/田中 俊輔(土木研究所)

- V-441 ICT舗装工における地上型レーザーキャナとGNSSを用いた三次元計測の効率化/大林道路[正]佐藤 正憲・森石 一志・富山 和也
- V-442 点群データを活用した路面プロファイルの取得について/大林道路[正]森石 一志・富山 和也
- V-443 ハンドル型電動車いすの振動応答に基づく路面評価手法の検討/北見工業大学[正]富山 和也・森石 一志
- V-444 路面テクスチャとタイヤ接地圧分布およびトレッド変形量との関係に関する検討/NIPPO [正]白井 悠・川上 篤史・姫野 賢治
- V-445 舗装路面の転がり抵抗評価のための路面テクスチャ指標に関する検討/土木研究所[正]川上 篤史・藪 雅行・白井 悠
- V-446 簡易路面調査技術を活用した損傷形態分析と路面管理に関する検討/西日本高速道路エンジニアリング四国[正]川西 弘一・橋爪 謙治・橋本 和明

- V-447 遮熱性舗装の眩しさに関する被験者実験／オリエンタルコンサルタント[正]植田 知孝・田中 志和・鎌形 吉治  
 V-448 研磨したポーラスアスファルト舗装における色彩と光沢の測定について／大林道路[正]小嶋 匠・掛札 さくら

■路面評価(舗装) (3) /16:10~17:40/富山 和也(北見工業大学)

- V-449 カープロープデータを用いた道路舗装の経年劣化分析に関する研究／東京都市大学[学]伊藤 大悟・今井 龍一・櫻井 淳  
 V-450 舗装路面調査業務の効率化を図るタブレットの開発／西日本高速道路エンジニアリング九州[正]今井 栄蔵・今泉 安雄・木野 哲生  
 V-451 スマートフォン等汎用品を活用した動画を含む舗装目視点検の補助・効率化手法の開発／富士通交通・道路データサービス[正]佐々木 博  
 V-452 クラウド型簡易路面診断ツールの国道における活用事例／富士通交通・道路データサービス[正]島田 孝司・佐々木 博・河村 崇  
 V-453 車両応答計測を利用した路面プロファイル推定とカーモデル同定およびスマートフォン計測への適用／東京大学[正]長山 智則・薛 凱  
 V-454 自転車の振動応答と傾斜角測定に基づく路面プロファイル推定／東京大学[学]山口 貴浩・長山 智則・蘇 迪  
 V-455 貨物自動車から得られる加速度計データから路面平坦性を推定する技術に関する検討／寒地土木研究所 [正]大浦 正樹・丸山 記美雄  
 V-456 高速道路の走行性評価の原器に関する検討—トラックの衝撃・浮上り／アクト・ファクトリー [正]山本 武夫

V-4 (幸町北5号館 524講義室) /9月3日(火)

■新材料・新工法 (1) /8:40~10:10/大野 元寛(東京大学)

- V-101 3Dプリンティングで作製した繊維補強セメント複合材料の力学特性／清水建設[正]小倉 大季・阿部 寛之・田中 博一  
 V-102 3Dプリンティングに用いる繊維補強セメント複合材料の積層性評価／清水建設[正]阿部 寛之・小倉 大季・田中 博一  
 V-103 3D Printingに適したセメント系材料の基礎物性／太平洋セメント[正]宮本 昌周・前堀 伸平・小川 洋二  
 V-104 3D Printingに適したセメント系材料の自立安定性に関する検討／大成建設[正]木ノ村 幸士・村田 哲・坂本 淳  
 V-105 3D Printingに適したセメント系材料の簡易品質評価手法の提案／大成建設[正]村田 哲・木ノ村 幸士・坂本 淳  
 V-106 高C<sub>3</sub>Sフライアッシュコンクリートの配合選定と実機プラントにおける品質確認／太平洋セメント[正]前堀 伸平・小川 洋二・中村 文香  
 V-107 高C<sub>3</sub>Sフライアッシュコンクリートのマスコンクリートへの適用／富士ビー・エス[正]中村 文香・前堀 伸平・小川 洋二  
 V-108 給水型養生シートで養生したコンクリートの耐久性について／鴻池組[正]吉田 涼平・為石 昌宏・小山 孝

■新材料・新工法 (2) /10:25~11:55/吉武 勇(山口大学)

- V-109 左官用ナトリウム(Na)及びカリウム(K)型ジオポリマーモルタルの諸特性／鉄道総合技術研究所[正]上原 元樹・佐藤 隆恒・小坂 征雄  
 V-110 反応性骨材を用いたジオポリマーの材料特性／九州工業大学[学]新貝 勝信  
 V-111 ジオポリマーの部分吸水に伴う表面劣化に与える表面含浸材塗布後の加熱の影響／大分工業高等専門学校[正]一宮 一夫・原田 耕司・津郷 俊二  
 V-112 繰返し荷重に対するジオポリマーコンクリートのせん断挙動／法政大学[学]岡田 修哉・加藤 遼二郎・藤山 知加子  
 V-113 コンクリートの表面特性に及ぼす新型ハイブリッド被膜養生剤の影響に関する研究／愛知工業大学[学]馬淵 みちる・神頭 峰磯・関 智行  
 V-114 ラテックス改質速硬コンクリートの補修効果に関する基礎的研究／太平洋マテリアル[正]岡田 明也・長塩 靖祐・井野 椋太  
 V-115 水中における布製型枠を使用したコンクリートの施工性および硬化後の評価について／前田建設工業[正]菊地 見徳・秋田 剛・加藤 正人  
 V-116 摩擦増大用アスファルトマットと水中不分離性コンクリートとの摩擦係数／日本海上工事[正]星野 太・岸田 哲哉・久保 亮  
 V-117 橋梁レベリング層内部に設置したコンクリートパネルが舗装路面に与える影響に関する実験的検討／富士ビー・エス[正]杉江 匡紀・安里 俊則・福田 雅人

■短繊維補強コンクリート(材料) (1) /14:55~16:25/佐々木 亘(三井住友建設)

- V-118 鋼繊維を混入した超高強度コンクリートの力学特性／大成建設[正]川口 哲生・武田 均  
 V-119 膨張材・収縮低減剤の添加が超高強度繊維補強コンクリートの収縮・力学特性に及ぼす影響／大成建設[正]橋本 理・渡部 孝彦・武田 均  
 V-120 引抜き試験による鉄筋と鋼繊維補強コンクリートとの付着性状評価／福島工業高等専門学校[学]大和田 莉子・緑川 猛彦・徳光 卓  
 V-121 鋼繊維補強コンクリートを用いた新しい外殻構造に関する検討／鹿島建設[正]小林 聖・高木 智子・中村 真人  
 V-122 PET短繊維補強コンクリートの補強特性／金沢工業大学[学]古屋 力・林 承燦・寺田 智子  
 V-123 細径繊維を用いたFRCの余剰ベスト理論への適用性に関する研究／関西大学[学]中道 優太・上田 尚史  
 V-124 有機短繊維の特性とベスト中での分散に関する基礎的検討／首都大学東京[学]阿部 幹・上野 敦・宇治 公隆  
 V-125 無機系短繊維補強コンクリートの各種性状に関する基礎的検討／戸田建設[正]大橋 英紀・田中 徹・仁平 達也  
 V-126 特殊繊維を混合したモルタル吹付けコンクリートと一般的な吹付けコンクリートの押し抜き強度変形の比較／労働者健康安全機構[正]吉川 直孝・伊藤 慎也・酒井 喜久雄

■短繊維補強コンクリート(材料) (2) /軽量コンクリート/16:40~18:10/川口 哲生(太平洋セメント)

- V-127 PVA短繊維と粉末ポリマーを混入したSHCCの耐爆裂性評価／トーヨーマテラン[正]新家 一秀・寺田 智子・林 承燦  
 V-128 高温加熱を受けた圧縮強度300N/mm<sup>2</sup>を有するコンクリート中の合成繊維の熱変化／太平洋セメント[正]森 香奈子・安田 瑛紀・小亀 大佑  
 V-129 集束アラミド繊維を適用したPFC(無孔性コンクリート)の基礎性状／太平洋セメント[正]安田 瑛紀・河野 克哉・岡村 脩平  
 V-130 電気泳動による短繊維補強セメントベストの塩化物イオン浸透性評価／北海道大学[学]白井 礼陽・横田 弘・安田 瑛紀  
 V-131 プレキャストPC床版用軽量FAコンクリートの基礎的検討／高知工業高等専門学校[学]山本 大貴・横井 克則・近藤 拓也  
 V-132 軽量コンクリート1種の現場簡易製造方法に関する実験的検討／太平洋セメント[正]早川 隆之・肥後 康秀・当銘 葵  
 V-133 EPSビーズを混合した超軽量高流動コンクリートの各種劣化要因に対する抵抗性／鴻池組[正]為石 昌宏・永井 久徳・福田 尚弘  
 V-134 EPSビーズを混合した超軽量高流動コンクリートの力学的性質に対する加熱の影響／鴻池組[正]福田 尚弘・為石 昌宏・永井 久徳

V-4 (幸町北5号館 524講義室) /9月4日(水)

■木材工学/木材(耐久性) /8:40~10:10/沼田 淳紀(飛鳥建設)

- V-287 木橋の構造剛性に基づく劣化度の判定／金沢工業大学[学]篠原 聖人・豊田 淳・加藤 真吾  
 V-288 木橋と近代木橋に対する耐用年数の推定式試案／金沢工業大学[正]本田 秀行・豊田 淳・篠原 聖人  
 V-289 高知県内河川に施工された木製水制工使用丸太の縦圧縮強度／兼松サステック[正]三村 佳織  
 V-290 合板剥き芯材を活用した簡易な木柵工の施工例／福岡大学[正]渡辺 浩・大隣 昭作  
 V-291 非住宅分野での木材利用に関する意識調査(その1)／ジェイアール総研エンジニアリング[正]木村 礼夫・加藤 英雄  
 V-292 非住宅分野での木材利用に関する意識調査(その2)／森林研究・整備機構[正]加藤 英雄・木村 礼夫

■木材工学/木材利用/10:25~11:55/加藤 英雄(森林研究・整備機構)

- V-293 緊急架設橋の要求性能と橋梁形式及び架設工法について／函館工業高等専門学校[正]平沢 秀之・佐藤 史織・戸沼 淳  
 V-294 丸太を利用した道路交通振動の軽減対策に関する現場実験／福井工業高等専門学校[正]吉田 雅徳・油屋 敏行・油屋 昌宏  
 V-295 3D-FEMによる丸太打設軟弱地盤対策のすべり抵抗に関する基礎的研究／東北学院大学[正]千田 知弘・沼田 淳紀・三輪 滋  
 V-296 約60年経過した木杭の押込み試験概要／飛鳥建設[正]沼田 淳紀・村田 拓海・古垣内 靖  
 V-297 約60年経過した木杭の押込み試験／飛鳥建設[正]村田 拓海・沼田 淳紀・古垣内 靖

V-4 (幸町北5号館 524講義室) / 9月5日(木)

■耐久性一般(1) / 8:40~10:10 / 三浦 泰人(名古屋大学)

- V-457 石灰石骨材を使用した耐酸性セメント系材料の耐硫酸性評価 / 大林組[正]中家 康宏・新村 亮・今倉 和彦
- V-458 硫酸ナトリウムの作用を受けたセメント硬化体の空隙構造の評価および水和生成物の変質との関連についての検討 / 山梨大学[学]オオツカ サカタ エルリ ニコラス・佐藤 賢之介・齊藤 成彦
- V-459 C-S-Hによる硫酸イオンの収着に関する基礎的検討 / 山梨大学[正]佐藤 賢之介・齊藤 成彦
- V-460 硫酸浸漬初期におけるエーライト水和物の性状変化に関する検討 / トクヤマ[正]新見 龍男・内海 健太郎・加藤 弘義
- V-461 硫酸浸漬初期におけるC<sub>3</sub>A-gypsum水和物の性状変化に関する検討 / 広島大学[学]内海 健太郎・新見 龍男・小川 由布子
- V-462 硫酸塩を添加したコンクリートのDEF膨張と膨張後の力学特性に関する実験的研究 / 関西大学[学]岩本 広海・竹村 莒・上田 尚史
- V-463 エtringaitの遅延生成(DEF)に対する表面処理工法の効果 / 鉄道総合技術研究所[正]山崎 由紀・上原 元樹・鶴田 孝司
- V-464 短期的な水分浸透に及ぼす空隙構造の影響 / 東京大学 [正]鎌田 知久・岸 利治
- V-465 水セメント比及び湿度の違いがセメント微粉末中のC-S-H及びCa(OH)<sub>2</sub>の炭酸化に及ぼす影響 / 日本大学[学]青木 泰志・佐藤 正己・梅村 靖弘

■耐久性一般(2) / 10:25~11:55 / 中村 文則(長岡技術科学大学)

- V-466 長期間供用したコンクリート構造物の短期的水分浸透に関する検討 / 東急建設[正]前原 聡・鈴木 将充・早川 健司
- V-467 長期間供用された軍艦島護岸コンクリートの品質評価 / 長崎大学[学]中山 大誠・佐々木 謙二・原田 哲夫
- V-468 8年間の暴露試験によるRCコンクリートのひび割れ部への塩化物イオン浸透性 / 中部電力[正]佐藤 正俊・加藤 誠司・中村 光
- V-469 トンネル内コンクリート構造物における中性化進行に関する一考察 / 東海旅客鉄道[正]毛塚 貴洋・相場 俊希・久保 淳一郎
- V-470 珪砂を塗布した高性能被覆鉄筋を用いたRC部材の疲労性状 / 大林組[正]石田 知子・福永 和生・審良 善和
- V-471 コンクリート中におけるアルミニウム合金製残存型枠の異種金属接触腐食挙動 / 日本軽金属[正]長尾 隆史・兼子 彬・長澤 大介
- V-472 各種スラグ細骨材を用いた鉄筋コンクリートの塩害環境下での鉄筋腐食に関する検討 / 徳島大学[学]竹内 彩葉・上田 隆雄・塚越 雅幸
- V-473 薄板ベスト供試体を用いたコンクリート構造物の部位・部材毎の品質変化に基づく劣化環境評価手法に関する基礎的検討 / 琉球大学[正]須田 裕哉・富山 潤
- V-474 水酸化カリウム水溶液を用いた接着系あと施工アンカーの耐アルカリ性評価 / 土木研究所[正]富山 禎仁・新田 弘之

■耐久性一般(3) / 耐火性 / 12:40~14:10 / 高谷 哲(京都大学)

- V-475 吸着等温線モデルを利用した不飽和セメント硬化体中の水分移動則の表現 / 千葉工業大学[学]長尾 匠・内海 秀幸
- V-476 ひび割れに伴う塗膜割れがコンクリート試験体への水分浸透と鉄筋腐食に与える影響 / 鉄道総合技術研究所[正]鈴木 浩明・鶴田 孝司・飯島 亨
- V-477 養生条件がコンクリートの水分浸透性状に与える影響と評価方法の一検討 / 徳山工業高等専門学校[正]温品 達也・三原 優大・芦澤 良一
- V-478 蒸気養生コンクリートの水分浸透特性に関する基礎的検討 / 長崎大学[学]鈴木 隆雅・佐々木 謙二・原田 哲夫
- V-479 物質移動抵抗性の高いコンクリートに対する中性子イメージングによる水分浸透観察 / 理化学研究所[正]吉村 雄一・水田 真紀・須長 秀行
- V-480 火災を受けたプレテンションPC桁の残存耐荷特性 / 大阪工業大学[学]越野 まやか・井上 晋・三方 康弘
- V-481 火災を受けたコンクリート床版の疲労性状の評価 / 群馬大学[学]小澤 満津雄・子田 康弘・阿久津 裕亮
- V-482 高温加熱を受けた鋼繊維補強コンクリートの圧縮強度と弾性係数 / 福島工業高等専門学校[学]高橋 康太郎・緑川 猛彦・車田 研一
- V-483 リング拘束供試体を適用したアクリル系ポリマーセメントモルタルの爆裂性状の評価検討 / 太平洋マテリアル[正]常藤 光・杉野 雄亮・谷辺 徹

■ひび割れ / 14:25~15:55 / 古賀 裕久(土木研究所)

- V-484 骨材周辺の微細ひび割れの発生によるコンクリートのひずみ増加に関する一考察 / 摂南大学[学]田中 達大・田中 遼・熊野 知司
- V-485 異なる温度条件下におけるCa<sup>2+</sup>とCO<sub>2</sub>の供給によるセメント系材料の自己治癒に関する研究 / 北見工業大学[学]千石 理紗・崔 希燮・井上 真澄
- V-486 非貫通ひび割れを模擬したモルタルによるひび割れ表面の水分伝達特性に関する検討 / 長野工業高等専門学校[正]大原 涼平・宮澤 一平・下村 匠
- V-487 シールテープインジェクション工法の浸透状況観察 / ニチバン[正]勝野 晃宏・大場 春樹・市村 周二
- V-488 フライアッシュを混和したプレキャストPC製品のひび割れ抵抗性 / 愛媛大学[学]中野 魁・氏家 勲・河金 甲
- V-489 マスコンクリートの硬化過程における温度ひずみおよび熱膨張係数 / 法政大学[正]泉 宙希・新井 淳一・溝淵 利明
- V-490 温湿度変動下におけるコンクリートの収縮ひび割れに関する検討 / 太平洋セメント[正]市川 裕規・兵頭 彦次・梶尾 聡
- V-491 覆工コンクリート側壁部のインパートによる拘束の低減方法に関する実験的検討 / 鉄建建設[正]西脇 敬一・岩城 圭介・福岡 瑛莉奈
- V-492 覆工コンクリートの天端部を対象とした収縮試験と分布パネ解析によるひび割れ条件の検討 / 奥村組[正]東 邦和・齋藤 隆弘・小野 緑

■クリープ・収縮 / 16:10~17:40 / 藤井 隆史(岡山大学)

- V-493 収縮低減剤を用いたプレキャストコンクリート用高強度モルタルの配合検討 / 大林組[正]川西 貴士・平田 隆祥・高橋 敏樹
- V-494 尿素を主成分とした水溶液の塗布および散布による乾燥収縮低減効果の検討 / 宇都宮大学[学]劉 玲玲・藤原 浩已・丸岡 正知
- V-495 セメント種類がコンクリート内部の湿気移動速度に及ぼす影響 / 太平洋セメント[正]大野 拓也・小亀 大佑・三谷 裕二
- V-496 給水養生時のコンクリートの湿潤膨張特性に関する研究 / 石川工業高等専門学校[学]東 佑樹・福留 和人・齋藤 淳
- V-497 養生温度を考慮した若材齢時コンクリートのクリープ挙動推定に関する研究 / 法政大学[学]大橋 佳世・新井 淳一・溝淵 利明
- V-498 同一水セメント比でスランプの違いがコンクリートの自己収縮ひずみに及ぼす影響 / 太平洋セメント[正]面来 洋児・大野 拓也・三谷 裕二
- V-499 拘束を受けたUHPFRCのひび割れ抵抗性評価試験に関する基礎的検討 / 鹿島建設[正]渡邊 有寿・高木 智子・柳井 修司
- V-500 混合セメントを用いた実物大PC桁の物理的挙動に関する検討 / 東海旅客鉄道[正]鬼頭 直希・佐々木 敦司・土屋 正宏
- V-501 温度降下速度の違いによる外部拘束ひび割れへの影響に関する検討 / 飛鳥建設[正]小林 剛・槇島 修

V-5 (幸町北5号館 第4会議室) / 9月3日(火)

■補修・補強(材料)(1) / 8:40~10:10 / 野島 昭二

- (中日本高速技術マーケティング)
- V-135 省工程防水塗装材料の開発 / 首都高速道路[正]井田 達郎・佐藤 歩・作 周平
- V-136 シールドトンネルの新しい目地処理材の試験結果について / 東京地下鉄[正]佐藤 謙・沼田 敦・亀山 靖史
- V-137 超軽量コンクリートを用いた橋梁補修計画 / 長大[正]太田 晶一・藤木 剛・山田 康貴
- V-138 実橋RC床版下面に接着された連続繊維シート of 挙動 / 土木研究所[正]樋口 祐治・田中 良樹・上仙 靖
- V-139 PETフィルムを用いた剥落防止工法における持続荷重について / 鉄建建設[正]加古 昌之・安保 知紀・鈴木 雄太
- V-140 粘着材を用いた剥落防止工法の開発 / 鉄建建設[正]鈴木 雄太・安保 知紀・加古 昌之
- V-141 1日で施工できる繊維接着系透明はく落対策工法の性能評価 / ショーボンド建設[正]深田 達也・山崎 大輔・三村 典正
- V-142 現場での施工条件を考慮したバサルトネットを使用した剥落防止工法の性能検証 / 石川工業高等専門学校[正]津田 誠・上田 信二・青木 崇浩

■補修・補強(材料)(2) / 10:25~11:55 / 久保 善司(金沢大学)

- V-143 コンクリート構造物から採取したコアに対する修復領域の遮塩性能について / 電力中央研究所[正]松井 淳・五十畑 達夫・川俣 孝治
- V-144 高度浄水施設の生物活性炭吸着池に適用する補修用モルタ

- ルの性能評価方法に関する検討／首都大学東京[学]石垣飛翔・大野 健太郎・宇治 公隆
- V-145 フライアッシュと亜硝酸リチウムを用いた断面修復材によるASR劣化コンクリートの補修効果／徳島大学[正]上田隆雄・島村 悠梨乃・高木 祐介
- V-146 靱性を付与させたポリマーセメントモルタルに関する基礎的実験／太平洋マテリアル[正]赤江 信哉・石田 学
- V-147 床版上面における断面修復材の基本配合の検討および硬化特性／大林組[正]富井 孝喜・早川 智浩・古城 誠
- V-148 床版上面における断面修復材の凍結融解抵抗性の向上／トクヤマ[正]古川 祐介・富井 孝喜・末益 大祐
- V-149 W/Cの大きなセメントペーストを用いた表面含浸材の改質メカニズムに関する一考察／名古屋工業大学[正]吉田亮・菅沼 美紀
- V-150 劣化因子侵入阻止性指標に与えるけい酸塩系表面含浸材の使用量に関する検討／高知工業高等専門学校[学]高橋 由菜・近藤 拓也・横井 克則
- V-151 水掛り条件が表面含浸材の補修効果に与える影響の検討／土木研究所[正]櫻庭 浩樹・古賀 裕久

#### ■補修・補強(材料)(3) /14:55~16:25/榎原 弘貴(福岡大学)

- V-152 塩分を含んだRCへの表面処理施工による鉄筋防食効果の検討／高知工業高等専門学校[学]野村 裕太・近藤 拓也・横井 克則
- V-153 施工時表面含水率に着目したコンクリート補修用シラン系表面含浸材の性能に関する検討／神戸大学[学]河田 大樹・谷河 雅大・森川 典典
- V-154 シラン系表面含浸材によるプレキャストコンクリート製品の塩害対策に関する検討／BASJジャパン[正]花房 賢治・大島 正記・菅俣 匠
- V-155 コンクリート表面処理材による止水効果の検証／大旺新洋[正]橋村 茂雄・下村 昭司・横井 克則
- V-156 シラン・シロキサン系表面含浸材を適用した劣化コンクリートの内部鉄筋の腐食状態(43ヶ月後)／大日本塗料[正]吉田 新・田邊 康孝・関 智行
- V-157 シラン・シロキサン系表面含浸材を適用した劣化コンクリートの外観観察と電気化学的測定結果の経年変化(77ヶ月後)／大日本塗料[正]関 智行・田邊 康孝・吉田 新
- V-158 アミノ基を有するシラン系表面含浸材の併用によるコンクリートの劣化抑制効果／関西大学[正]鶴田 浩章・中村 直哉・上田 尚史

#### ■補修・補強(材料)(4) /16:40~18:10/山本 貴士(京都大学)

- V-159 亜硝酸リチウム溶液の適用方法の相違がコンクリートへの含浸性状に与える影響／金沢大学[正]前山 誠志・久保 善司・木虎 久人
- V-160 塩害劣化環境下での亜硝酸Li圧入による腐食抑制効果に関する基礎的検討／福岡大学[学]見島 あかり・大塚 柚人・榎原 弘貴
- V-161 洞道内セグメントコンクリート剥離空隙部への充填補修方法の検討／東京電設サービス[正]佐藤 亘・宗倉 正悟・鹿島 篤志
- V-162 樋門コンクリート構造物のひび割れ補修に関する基礎研究／東北学院大学[学]尾形 拓海・武田 三弘・新沼 佳苗
- V-163 ひび割れ注入材として用いた塩分吸着型エポキシ樹脂の塩分吸着及び鉄筋腐食抑制効果の検証／日本国土開発[正]千賀 年浩・山口 明伸・番良 善和
- V-164 AE法による中空粒子混和樹脂-モルタル複合材の引張破壊特性評価／福田組[正]須田 翼・鈴木 哲也・高橋 航
- V-165 振動・ひび割れ幅変動条件下でのシールテープ、補強テープ併用低圧注入工法の実施工／東海旅客鉄道[正]相場 俊希・毛塚 貴洋・鈴木 迪彦

#### V-5 (幸町北5号館 第4会議室) /9月4日(水)

#### ■混和剤 /8:40~10:10/吉田 克弥(日本シーカ)

- V-298 新規収縮低減剤を使用したコンクリートの性質／竹本油脂[正]岡田 和寿・齊藤 和秀・古田 章宏
- V-299 収縮低減タイプのAE減水剤が硬化コンクリート特性に与える影響／水資源機構[正]國居 史武・松枝 修治
- V-300 硬化促進形の混和材料がモルタルの凝結および硬化後の特性に及ぼす影響／首都大学東京[学]水谷 巧・上野 敦・宇治 公隆
- V-301 コンクリートの内部構造がC-S-H系硬化促進剤に与える影響の検討／芝浦工業大学[学]深澤 英将・杉山 知己・伊代田 岳史
- V-302 耐寒促進剤(Ca(NO<sub>2</sub>)<sub>2</sub>・Ca(NO<sub>3</sub>)<sub>2</sub>)の

- 添加量の違いによるセメント系複合材料の物理化学的考察／北見工業大学[学]米山 暁・崔 希燮・井上 真澄
- V-303 化学混和剤の併用による高耐久コンクリートの初期強度の改善に関する研究／八戸工業高等専門学校[学]須藤 大空・庭瀬 一仁
- V-304 プリーディング低減機能を有する新規AE減水剤(高機能タイプ)の開発／竹本油脂[正]玉木 伸二・古田 章宏・間瀬 敦之
- V-305 新規セルロースエーテルのコンクリートへの適用性に関する基礎的研究—その2 中性化抑制及び高吸水性樹脂との比較—／信越化学工業[正]小西 秀和・山川 勉・小山 明男
- V-306 モルタルのフレッシュ性状におよぼす化学混和剤への熱刺激の影響／東海大学[学]瀧川 瑞季・坊村 侑・橋本 紳一郎

#### ■高流動コンクリート /10:25~11:55/浦野 真次(清水建設)

- V-307 粉体系高流動モルタルフロー一定条件下での塑性粘度と単位SP剤使用量の関係について／徳島大学[学]山中 啓資・横山 卓哉・橋本 親典
- V-308 粗骨材の分離による高流動コンクリートのフレッシュ性状に関する研究／鉄建建設[正]岩城 圭介・福岡 瑛莉奈・西脇 敬一
- V-309 増粘剤添加によるフレッシュモルタルへの連行空気泡の安定化／高知工科大学[正]大内 雅博・北中 康太・Anuwat Attachaiyawuth
- V-310 低温度で新型増粘剤添加のフレッシュ時の自己充填コンクリート中のペーストの性状に及ぼす影響／高知工科大学[学]和田 晃宜・毛利 匡志・大内 雅博
- V-311 自己充填性向上のための粘着力に着目した増粘剤の評価／高知工科大学[学]佐藤 奨・毛利 匡志・大内 雅博
- V-312 増粘剤成分を含有した流動化剤を用いた高流動化コンクリートのトンネル覆工への適用検討／大林組[正]中西 努・五十嵐 昭生・西浦 秀明
- V-313 特殊増粘剤を含有した一液型混和剤を用いた低セメント量の高流動コンクリートの実用化検討／大林組[正]桜井 邦昭・西浦 秀明・黒川 尚義
- V-314 配合条件がフレッシュコンクリートの目視観察結果および充満性試験に及ぼす影響／フローリック[正]佐土原 志奈・西 祐宜・平野 修也

#### V-5 (幸町北5号館 第4会議室) /9月5日(木)

#### ■フレッシュコンクリート /ポンプ圧送 /8:40~10:10/中村 敏之(オリエンタル白石)

- V-502 細粗骨材の粒度分布を調整したコンクリートの骨材分散距離—流動性の関係性／大成建設[正]渡部 孝彦・武田 均・橋本 理
- V-503 分級フライアッシュを用いたコンクリートのコンシステンシーの変化に関する検証／石川工業高等専門学校[学]中田 有香・津田 誠
- V-504 ペンセン断試験によるフレッシュモルタルのこぼり評価に関する実験的検討／東海大学[学]坊村 侑・平野 修也・根本 浩史
- V-505 AI技術を用いたフレッシュコンクリートのスランプ予測／太平洋セメント[正]早野 博幸・工藤 正智・尾崎 奨
- V-506 ブーム圧送における振動加速度計を用いた簡易圧送性評価の検討／五洋建設[正]竹山 博之・橋本 紳一郎・西泊 雄太
- V-507 年間を通して圧送可能な軽量コンクリート2種の配合検討／首都高速道路[正]内海 和仁・岸田 政彦・田中 伸幸
- V-508 超高強度の繊維補強モルタルの圧送性に関する実験的検討／大林組[正]西澤 彩・川西 貴士・武田 篤史
- V-509 長距離水中流動充填材の圧送性に関する検討／カジマ・リノベイト[正]前山 篤史・小林 仁・柳井 修司

#### ■締固め /10:25~11:55/橋本 紳一郎(千葉工業大学)

- V-510 表層の締固めが初期ひび割れの発生に及ぼす影響に関する一実験／鹿島建設[正]高木 英知・芦澤 良一・柳井 修司
- V-511 低周波コンクリート型枠打撃装置の開発／フジタ[正]平野 勝識・小島 秋・高橋 直希
- V-512 コンクリートの締固めに伴うかぶり部の品質変動の評価／首都大学東京[学]斎藤 聖・宇治 公隆・上野 敦
- V-513 鉄筋間隙を通過するコンクリートにおける締固めエネルギーの評価方法／大成建設[正]梁 俊・坂本 淳・丸屋 剛
- V-514 表層品質に着目したコンクリートの締固め判断指標の検討／長岡工業高等専門学校[学]稲田 大地・陽田 修
- V-515 打込み面の輝度値の時間変化に基づくコンクリートの締固め程度に関する実験的研究／長岡工業高等専門学校[学]渡邊 隼平・村上 祐貴・上村 健二

V-516 コンクリートの締固め作業の自動化に関する一検討／安藤・間[正]林 俊斉・高木 亮一・長田 茂美

■特殊コンクリート／12:40～14:10／宇野 洋志城(佐藤工業)

V-517 使用材料と振動締固め時間の関係が即時脱型コンクリートの充填性及び硬化特性に与える影響／福岡大学[正]鹿江 史浩・橋本 紳一郎・田中 孝一

V-518 寒冷地沿岸域に5年間曝露した重量コンクリートの物性評価／太平洋セメント[正]当銘 葵・肥後 康秀・早川 隆之

V-519 最低成膜温度の異なるポリマーエマルションを添加したモルタルの強度向上効果に関する検討／鹿島建設[正]高木 智子・橋本 学・渡邊 有寿

V-520 再生碎石や廃棄バラストを用いたプレバックドコンクリートの適用性の検討／芝浦工業大学[学]瀧谷 亜香里・大塚 朝陽・伊代田 岳史

V-521 珊瑚由来の石灰岩骨材の形状の違いがコンクリートの耐摩耗性に及ぼす影響／東洋建設[正]竹中 寛・谷口 修・網野 貴彦

V-522 高いASR反応性を有する骨材を使用した海水練りコンクリートに関する検討／大林組[正]野島 省吾・新村 亮・鳥居 和之

V-523 高炉スラグ微粉末を用いた海砂・海水練りコンクリートの圧縮強度および静弾性係数に対する海水養生の影響／広島大学[学]岡田 青・ダン ヴィエット・小川 由布子

V-524 後添加方式により製造した水中不分離性コンクリートによる沈埋基礎の施工実績／日本海上工事[正]岸田 哲哉・山本 泰三・小沢 栄治

■副産物利用／再生材料／14:25～15:55／小川 由布子(広島大学)

V-525 加熱改質フライアッシュを用いたコンクリートの性状確認実験／鉄建建設[正]福岡 瑛莉奈・西脇 敬一・唐沢 智之

V-526 フライアッシュ原粉を用いたジオポリマーの放射性物質吸着特性に関する検討／東京電力ホールディングス[正]小林 保之・平野 義昭・梅田 陽子

V-527 フライアッシュ高含有セメント硬化体におけるフライアッシュの反応／電力中央研究所[正]大塚 拓・井野場 誠治・山本 武志

V-528 石炭ガス化スラグ細骨材を用いたコンクリートの体積変化特性／広野IGCCパワー [正]松本 宗浩・松田 裕光

V-529 高密度スラグ骨材を多量に用いたコンクリートの諸特性／港湾空港技術研究所[正]与那嶺 一秀・山路 徹・川瀬 洋

V-530 鉱物質微粉末によるごみ溶融スラグ細骨材を用いたコンクリートの性状改善／豊田工業高等専門学校[学]米川 尚希・河野 伊知郎・大畑 卓也

V-531 骨材にシリコマンガンスラグを用いたコンクリートの熱膨張係数の評価／香川高等専門学校[学]近藤 慎也・林 和彦・長谷川 雄基

■リサイクル／サステナビリティ／16:10～17:40／佐藤 良一(広島大学)

V-532 瓦チップエアモルタルの強度および透水性／名古屋工業大学[学]久住 晃平・中田 康平・上原 匠

V-533 戻りコンクリートから回収した乾燥スラッジ微粉末の六価クロム溶出量／三和石産[正]宮本 勇馬・大川 憲・笠井 哲郎

V-534 乾燥スラッジ微粉末の粉碎による品質向上に関する研究／三和石産[正]大川 憲・宮本 勇馬・青木 真一

V-535 無水リサイクル石膏を混和したモルタルの強度改善／名古屋工業大学[学]後藤 優

V-536 様々な形状を有するリサイクルナイロン繊維で補強したモルタルの力学性能／北海道大学[学]山口 駿・横田 弘

V-537 コンクリート用混和材としての太陽光モジュールガラス廃材の適用性に関する検討／東北大学[学]貝塚 勇介・宮本 慎太郎・皆川 浩

V-538 木灰を用いたバイオマスコンクリートの開発／高知工科大学[学]鈴木 麻由・大内 雅博・永野 正展

V-539 主灰とリドリング灰の粉碎による木灰コンクリートの施工性向上と強度増進／高知工科大学[学]山地 陽大・鈴木 麻由・大内 雅博

V-6 (幸町北6号館 611講義室) /9月3日(火)

■塩害(1) /8:40～10:10 /佐伯 竜彦(新潟大学)

V-166 海岸地域における飛来塩分濃度と風向・風速の関係性／大成建設[正]松元 淳一・堀口 賢一・中山 伊知郎

V-167 環境作用に応じたコンクリート構造物表面の塩分定量化に関する基礎的研究／長岡技術科学大学[正]中村 文則・山口 貴幸・井向 日向

V-168 塩化物イオン濃度分布に与える降雨の影響及び移流拡散方程式による評価／京都大学[学]久保 拓真・安 琳・白井 睦彦

V-169 海水とモルタルの極表層の反応を考慮したセメント硬化体のCl浸透モデル手法／大成建設[正]直町 聡子・加藤 佳孝

V-170 骨材空間分布が塩分浸透予測の信頼性に与える影響／新潟大学[学]栗林 和希・大竹 雄・本馬 幸治

V-171 セメントペーストの薄片供試体を対象とした小型電気泳動試験に関する基礎的検討／東北大学[学]高橋 広平・皆川 浩・宮本 慎太郎

V-172 非定常電気泳動法による各種コンクリートの塩化物イオン拡散係数の材齢依存性評価／東亜建設工業[正]小林 雄一・福手 勤・網野 貴彦

V-173 PRCはりにおける塩化物イオンの実効拡散係数に関するプレストレスの影響／日本大学[学]浅見 公一・齊藤 準平

V-174 地中送電用シールドトンネルにおける塩化物イオンの拡散係数の検討／東京電力ホールディングス[正]岡 滋晃・斉藤 仁・中川 貴之

■塩害(2) /10:25～11:55 /直町 聡子(大成建設)

V-175 小型模型を利用した鉄筋腐食の生じたT型RCはりにおける力学挙動の再現性／弘前大学[正]上原子 晶久・細川 大地

V-176 電食実験により腐食したRCスラブのひび割れモードの評価／香川大学[学]本田 健一郎・中川 裕之・山口 浩希

V-177 塩害劣化したRC梁の限界鉄筋腐食量に関する研究 その1：実物大試験体の限界鉄筋腐食量／香川大学[学]朽木 沙綾・中川 裕之・山口 浩希

V-178 塩害劣化したRC梁の限界鉄筋腐食量に関する研究 その2：小型試験体との比較／香川大学[学]坂本 伸久・中川 裕之・山口 浩希

V-179 鉄筋コンクリート製壁高欄の塩水吸い上げ抑制方法に関する研究／東北学院大学[学]岩館 佑樹・武田 三弘・皆川 翔平

V-180 鉄道橋に適用した塩分吸着剤を用いた断面修復工法の追跡調査／東日本旅客鉄道[正]堀澤 誠・阿部 雄太・渡邊 慶

V-181 「塩分吸着剤」配合防錆塗料の開発と性能試験(2) —塗装システムについて— /ジェイアール総研エンジニアリング[正]鈴木 昭仁・石井 壮一郎・立松 英信

V-182 転写型の被覆シートを用いた表面被覆工法の開発／大成建設[正]宮原 茂禎・荻野 正貴・大脇 英司

V-183 プライマー及び鉄筋防錆剤として用いた塩分吸着型エポキシ樹脂の鉄筋腐食抑制効果の検証／日本国土開発[正]古田 雅和・山内 匡・三浦 美千穂

■鋼材腐食 /14:55～16:25 /堀口 賢一(大成建設)

V-184 腐食ひび割れ発生時の鉄筋の腐食減量に関する実験的検討／東亜建設工業[正]福岡 繁・網野 貴彦

V-185 切欠きを有するPC鋼線の塩化物水溶液環境下での破断特性の評価／神戸大学[学]河原 康平・黒野 承太郎・美濃 智広

V-186 塩害環境におけるコンクリート中亜鉛めっき鉄筋の防食性能評価に関する検討／徳島大学[学]福本 信吾・上田 隆雄・塚越 雅幸

V-187 コンクリート模擬環境での腐食環境センサの性能評価／ナカポーテック[正]大谷 俊介・板屋 隼人・若林 徹

V-188 表面含浸工法の適用が電気化学的手法による腐食判定結果に与える影響／福岡大学[学]大塚 柚人・児島 あかり・植原 弘貴

V-189 海水練り鉄筋コンクリートの遠隔離島における暴露試験／大林組[正]新村 亮・野島 省吾・山路 徹

V-190 海水練り自己充填型コンクリート中の鋼材腐食と鋼材配置方向による影響／東亜建設工業[正]田中 亮一・与那嶺 一秀・谷口 修

V-191 遠隔離島における繊維補強セメント系材料被覆による鋼材防食効果／東亜建設工業[正]網野 貴彦・田中 亮一・羽瀧 貴士

■防食(1) /16:40～18:10 /西田 孝弘(港湾空港技術研究所)

V-192 腐食したRC部材への犠牲陽極工法適用による防食効果に与える環境条件の影響／高知工業高等専門学校[学]森岡 海星・野町 侑聖・近藤 拓也

V-193 鉄道トンネル中央通路側壁における流電陽極工法の腐食抑制効果に関する検証実験／西日本旅客鉄道[正]北里 龍馬・湯浅 康史・鴨谷 知繁

V-194 溶射型流電陽極方式電気防食法による橋台鉄筋の防食作用と防食効果／富士技建[正]武藤 和好・小島 裕貴・山本 誠

V-195 RC床版の打継目における犠牲陽極材の防食効果／名古屋高速道路[正]瀬谷 千恵・中山 裕昭・高石 佳宏

V-196 流電陽極材による腐食抑制効果に及ぼすかぶりの影響／金沢大学[学]亀田 浩昭・青山 敏幸・石井 浩司

V-197 半導電性モルタルを用いた電気防食工法の屋外暴露試験結果その2 /ケミカル工事[正]若杉 三紀夫・小椋 明仁・阿部 達夫

V-198 塩害とASRにより劣化した栈橋上部工の電気防食による

- V-199 長期の補修効果／東亜建設工業[正]羽瀨 貴士・宮沢 明良・中越 誠二  
 中性化による劣化程度の違いが再アルカリ化工法による補修効果に与える影響／徳島大学[学]高橋 博司・上田 隆雄・七澤 章

V-6 (幸町北6号館 611講義室) /9月4日(水)

- 防食(2) /8:40~10:10/小林 浩之(ナカポーテック)
- V-315 合金メッキ鋼板を使用した橋梁検査路の塩害環境での適用性／日本橋梁[正]小西 日出幸・佐藤 寛幸・楠 章生
- V-316 海岸近傍における高耐候性鋼材(LALAC®-HS)の適用性評価/JFEスチール[正]三浦 進一・塩谷 和彦・加藤 真志
- V-317 凍結防止剤散布環境におけるニッケル系高耐候性鋼製橋梁模擬構造体の長期腐食挙動調査/JFEスチール[正]鹿毛 勇・横山 秀喜・三浦 進一
- V-318 暴露試験と促進試験によるコンクリート内部のステンレス鉄筋の耐食性評価/土木研究所[正]中村 英佑・古賀 裕久・大島 義信
- V-319 鋼製角型橋脚を対象としたステンレスライニングの設計・製作/首都高速道路[正]大西 孝典・石川 誠・川原 桂史
- V-320 鋼構造物塗装保護フィルムの開発/デンカ[正]大石 真之・庄司 慎・神頭 峰磯
- V-321 鋼構造物塗装保護フィルムの施工性の検討/日本車輛製造[正]土井 一慶・神頭 峰磯・大石 真之
- V-322 犠牲防食作用を有する粘着テープを用いた防食工法の開発/積水化学工業[正]梶 章二・田邊 康孝・長尾 功弘
- V-323 犠牲防食作用を有する粘着テープを用いた防食工法の性能評価/大日本塗料[正]田邊 康孝・梶 章二・山内 健一郎

- 防食(3) /10:25~11:55/羽瀨 貴士(東亜建設工業)
- V-324 高炉スラグ混合セメント系塗料の鋼材角部防食下地材への適用に関する防食性評価/エス・エルテック[正]天野 佳絵・森山 実加子・井上 大地
- V-325 省工程型塗料の開発/本州四国連絡高速道路[正]本郷 誠人・竹口 昌弘・山根 彰
- V-326 水性有機ジンクリッチペイントの耐フラッシュラスト試験/首都高速道路[正]久保田 成是・蔵治 賢太郎・松原 拓朗
- V-327 ロングライフ塗装用鋼板(エコビュー)による15年暴露試験評価結果/神戸製鋼所[正]湯瀬 文雄・三浦 裕佑・松下 政弘
- V-328 タッチアップシール材の開発/ショーボンド建設[正]加藤 智丈・芦澤 常幸・片脇 清士
- V-329 金属溶射における溶射距離・溶射角度及び封孔処理剤が溶射皮膜の付着性状に及ぼす影響/デーロス・ジャパン[正]林 承燦・寺田 智子・谷本 竜也
- V-330 2種ケレンによるアルミニウム・マグネシウム合金溶射の耐久性評価/デーロス・ジャパン[正]谷本 竜也・杉浦 邦征・鈴木 康夫

V-6 (幸町北6号館 611講義室) /9月5日(木)

- 非破壊試験法(1) /8:40~10:10/大野 健太郎(首都大学東京)
- V-540 時系列応答波形を用いたコンクリート構造物の内部空洞の評価/日本大学[学]池端 宏太・小林 義和・小田 憲一
- V-541 対向対称測定点間の差分波形・位相に着目したコンクリート内部欠陥探査方法/東洋計測リサーチ[正]山下 健太郎・手塚 正道・渡瀬 博
- V-542 疲労損傷したコンクリートの弾性波速度と塩害劣化進行度の関係に関する基礎的研究/日本大学[正]齊藤 準平
- V-543 RC床版の水平ひび割れ部の状態が衝撃弾性波法によるひび割れ検出精度に与える影響/大阪大学[学]安井 和也・鈴木 真・寺澤 広基
- V-544 表面振動測定機構を搭載した打撃試験装置を用いた道路橋遊間部における劣化領域評価/首都大学東京[学]志田 爲御・高橋 知也・池田 富士雄
- V-545 打撃ハンマ・接触型振動センサユニットを搭載している壁面走行ロボットを活用した動画撮影および衝撃弾性波法に基づく既設コンクリート構造物の調査/富山県立大学 [正]内田 慎哉・兵動 太一・伊藤 始
- V-546 機械インピーダンス法による超高強度コンクリートの圧縮強度推定に関する実験的検討/日東建設[正]久保 元樹・市村 千佳・笠井 哲郎
- V-547 コンクリート内部の音速分布と接触時間、反発度、貫入抵抗値の関係/ものつくり大学[正]森濱 和正・澤本 武博
- V-548 異なる条件で加熱したコンクリートでの小型ハンマの打撃で得られる接触時間および反発速度比の比較/リック[正]岩野 聡史・内田 慎哉・春畑 仁一

- 非破壊試験法(2) /10:25~11:55/村上 祐貴(長岡工業高等専門学校)
- V-549 打音探査への機械学習の適用に関する検討/法政大学 [正]新保 弘・溝瀨 利明
- V-550 コンクリート中を伝搬する超音波横波速度と周波数の相関に関する検討/青木あすなろ建設[正] 新井 佑一郎・坂本 浩之・牛島 栄
- V-551 ASRを生じたコンクリート供試体の超音波トモグラフィ計測/大阪工業大学[学]大林 俊介・波多野 雄士・三方 康弘
- V-552 表面波速度とコンクリート応力との関係に与える圧縮強度とひずみの影響/三井住友建設[正]篠崎 裕生・野並 優二・大野 健太郎
- V-553 コンクリートの応力と超音波速度変化率の関係に及ぼす鉄筋の影響/首都大学東京[学]永田 昂大・大野 健太郎・上野 敦
- V-554 電磁的入力によるシースおよび鋼棒の電磁場応答を用いたPCグラウト充填評価/大阪大学[正]服部 晋一・木部 大紀・寺澤 広基
- V-555 上面増厚後に再劣化したRC床版の電磁パルス法による損傷評価に関する基礎的研究/大阪大学[学]中野 雄斗・鈴木 真・寺澤 広基
- V-556 接着系あと施工アンカー固着部の品質が電磁パルス法によるアンカーの振動挙動に与える影響/大阪大学[学]湯川 量平・鎌田 敏郎・寺澤 広基
- V-557 高周波電磁場応答を用いたコンクリート中鋼材腐食の検出に関する基礎的検討/大阪大学[学]谷 春葉・鎌田 敏郎・寺澤 広基

- 非破壊試験法(3) /12:40~14:10/内田 慎哉(富山県立大学)
- V-558 二電極法を用いた断面修復部近傍における未補修部の電気抵抗の測定に関する解析的検討/大阪大学[学]渡邊 雅大・眞下 裕也・寺澤 広基
- V-559 携帯型蛍光X線を用いたコンクリート表層部の塩化物イオン量の推定に関する研究/法政大学[学]中村 美咲・伊藤 均・溝瀨 利明
- V-560 各種鉄筋探査機による鉄道構造物のかぶり測定精度に関する検討/鉄道総合技術研究所[正]木全 伯光・幸良 淳志・仁平 達也
- V-561 深層学習およびFDTDシミュレーションを用いたレーダ画像からのコンクリート内部の欠陥識別に関する基礎的検討/名古屋大学[学]光谷 和剛・山本 佳士・園田 潤
- V-562 コンクリートの様々な角度に適用できる表面吸水試験の自動測定装置の開発/香川高等専門学校[学]三谷 聖・林 和彦・長谷川 雄基
- V-563 吸水させたコンクリート表面の輝度の時間変化に基づく表層品質評価に及ぼす風速の影響/長岡工業高等専門学校 [学]中澤 文香・村上 祐貴・上村 健二
- V-564 簡易透気試験による表面含浸材がコンクリートの表層透気性に及ぼす影響の評価/徳島大学[学]小谷 健太・関川 昌之・松田 秀和
- V-565 WAPP法による材齢22年のコンクリート構造物の中性化評価に関する考察/青木あすなろ建設[正]後藤 佳子・谷口 克彦・村田 康平
- V-566 WAPPを用いたコンクリート表層部の透水性に関する一考察/エフティーエス[正]峰村 富夫・藤原 貴央・田中 章夫

- 品質管理・検査/評価・試験方法(1) /14:25~15:55/鎌田 知久(東京大学)
- V-567 動画画像解析を活用したフレッシュコンクリートの性状判定手法の検討/鹿島建設[正]倉田 和英・松本 修治・柳井 修司
- V-568 ダムコンクリートの締固め可能限界および材料分離抵抗性の評価方法/大成建設[正]荻野 正貴・小林 雅幸・原山之克
- V-569 振動締固めを行うコンクリートの間隙通過性簡易評価試験方法の検討/フジタ[正]高橋 直希・井手 一雄
- V-570 各種センサーによる仕上げ時期の評価試験/三井住友建設 [正]臺 哲義・樋口 正典・梶 貴一
- V-571 モルタルによるコンクリート強度の早期予測手法に関する基礎的検討/太平洋セメント[正]目黒 貴史・扇 嘉史・前堀 伸平
- V-572 供試体の直径を75mmとした場合の圧縮強度に関する検討/広島工業大学[正]竹田 宣典・十河 茂幸
- V-573 ダムコンクリートにおける供試体寸法と圧縮強度の関係に関する一考察/鹿島建設[正]橋本 亮馬・室野井 俊之・福井 直之
- V-574 載荷方法の相違がモルタルのせん断付着強度および応力負担特性に及ぼす影響/首都大学東京[学]中村 泰貴・宇治 公隆・上野 敦
- V-575 円柱形コンクリート供試体を用いた直接引張試験から導いた引張軟化曲線/東北工業大学[正]小出 英夫・秋田 宏



- 評価・試験方法(2) /16:10~17:40/竹田 宣典(広島工業大学)
- V-576 ドリル径および削孔深さがコンクリートドリル粉の骨材比率に及ぼす解析的検討/中研コンサルタント[正]川俣 孝治・田中 章夫・木村 祥平
- V-577 散水試験によるコンクリート表層品質評価における測定値の季節変動に関する検討/鉄道総合技術研究所[正]西尾 壮平
- V-578 モルタル薄板の吸水-蒸発過程における明度と表面含水率の関係に及ぼす水セメント比の影響/日本大学[正]山田 雄太
- V-579 排水シールドトンネルにおけるインバートコンクリートの性状の検討開発/奥村組[正]加藤 清孝・中村 誠喜・東 邦和
- V-580 開削トンネルにおける止水工法選定の検討/東京地下鉄[正]新田 裕樹・伊藤 聡・田口 真澄
- V-581 衝撃弾性波法におけるコンクリートの弾性波伝搬速度の計算手法に関する検討/香川高等専門学校[学]上高 正寛・林 和彦・長谷川 雄基
- V-582 SEM-BSE画像解析による実構造物の毛細管空隙率と圧縮強度の関係/苫小牧工業高等専門学校[正]土門 寛幸・渡辺 暁央・高橋 正一
- V-583 中性子ラジオグラフィを用いたCT法による試験体内部水分の可視化に関する一考察/ジェイアール総研エンジニアリング[正]舟川 勲・沼尾 達弥・木村 亨
- V-584 紫外線吸収剤による景観舗装用可撓性エポキシの黄変抑制効果の評価結果/日進化成[正]櫻井 博章・焼山 明生

V-7 (幸町北6号館 621講義室) /9月3日(火)

- プレストレストコンクリート /8:40~10:10/本間 淳史(東日本高速道路)
- V-200 PRESS工法のプラント構造物への適用について/日揮 [正]袴田 薫
- V-201 プレキャストPC部材用コンクリートの微細ひび割れと耐久性に関する一検討/土木研究所[正]水戸 健介・中村 英佑・古賀 裕久
- V-202 施工時における多径間連続PC箱桁橋の支承変位計測とその検討/大林組[正]早川 智浩・橋場 幸彦・古賀 裕史
- V-203 ひび割れの生じたプレテンPC中空桁の耐荷性状に関する解析的研究/山梨大学[学]中村 宗一郎・斉藤 成彦
- V-204 順次緊張される緊張材の内部摩擦を考慮した解析手法に関する基礎的研究/日本ビーエス[学]松本 一志・石川 靖晃
- V-205 鋼材付着の有無の影響を考慮したPCはり部材の有限要素解析による耐力評価/名古屋工業大学[学]松原 左月・楠見 将司・武田 健太
- V-206 斜材が破断した場合のPC斜張橋の安全性について/埼玉大学[学]保科 佑太・睦好 宏史・本田 美樹
- V-207 PCグラウト充填不足の状況に応じた再注入工法の適用性検討/高速道路総合技術研究所[正]村西 信哉・長谷 俊彦・深川 直利
- V-208 シース内の水の量が軸方向ひび割れ幅に与える影響/高知工業高等専門学校[学]横飛 翔太・西 弘・近藤 拓也

- 構造物調査・診断(1) /10:25~11:55/松本 浩嗣(北海道大学)
- V-209 中規模陸上風車基礎の損傷調査/法政大学[正]藤山 知加子・阿部 亮磨
- V-210 光学的計測法によるたわみの影響線の変化率を用いた損傷検知/長崎大学[学]林 謙介
- V-211 光学的計測法を用いた撤去RC桁の検査,診断及び実橋への利活用に関する研究/長崎大学[学]宮濱 晃一・松田 浩・林 謙介
- V-212 漏洩磁束法によるポストテンションPCT桁橋のPC鋼材破断非破壊調査/INREM [正]廣瀬 誠・木村 美紀・宮川 豊章
- V-213 起振機を用いた防波堤の固有振動特性に関する研究/東海大学[学]齋藤 将貴・藤田 孝康・梅津 啓史
- V-214 磁気ストリーム法を活用した非破壊検査機器によるPC鋼材破断検知の有効性の検証/東海旅客鉄道[正]唐澤 恭平・吉田 幸司・丸山 一直
- V-215 既設ポストテンション橋のPC鋼材健全度調査に関する一考察/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]高野 真史・石橋 健作・和崎 宏一
- V-216 ジャカルタ都市高速鉄道事業 鉄道高架橋におけるたわみ・振動特性の計測結果/パシフィックコンサルタンツ[正]水野 要・Maulina Weni・南條 大助
- V-217 温度変化による支点拘束条件の違いがコンクリート桁の固有振動数に及ぼす影響/東海旅客鉄道[正]並松 沙樹・吉田 幸司・加藤 信二郎

- 構造物調査・診断(2) /14:55~16:25/田中 泰司(金沢工業大学)
- V-218 水撃音響法によるタイルの浮き検出の基礎実験/熊本大学[正]森 和也・徳臣 佐衣子

- V-219 コンクリート構造物の内部欠陥調査技術の開発 その1/原子燃料工業[正]松永 嵩・桑島 翔・藤吉 宏彰
- V-220 コンクリート構造物の内部欠陥調査技術の開発 その2/西日本高速道路エンジニアリング中国[正]戸田 一郎・前田 良文・松永 嵩
- V-221 コンクリートのひび割れ自動検出技術の開発/首都高技術[正]遠藤 重紀・早坂 洋平・永見 武司
- V-222 送電用トンネルにおけるAIによる画像点検の導入/東京電力ホールディングス[正]重岡 匠・斉藤 仁・藤原 孝明
- V-223 送電用トンネルにおけるアクティブサーモグラフィによる連続撮影手法の開発/東京電力ホールディングス[正]斉藤 仁・重岡 匠・作中 隆之
- V-224 トンネル覆工コンクリートの養生効果の評価法に関する検討/香川高等専門学校[学]高石 地晴・林 和彦・長谷川 雄基
- V-225 小口径コア型試験装置を用いたRC床版の微破壊検査による診断技術/日本大学[正]野口 博之・阿部 忠・高野 真希子
- V-226 既設コンクリート片剥落防止材の損傷実態/首都高速道路[正]深谷 卓央・蒲 和也・青木 聡

- 構造物調査・診断(3) /16:40~18:10/上原子 晶久(弘前大学)
- V-227 超音波探傷に基づくコンクリート内鉄筋の腐食判別手法の検討/福井大学[学]平田 颯・鈴木 啓悟
- V-228 鋼コンクリート複合橋の塗膜劣化の現状と評価/西日本高速道路エンジニアリング中国[正]俵 司・山内 健利・安井 健雄
- V-229 北陸地方における橋梁補修後の再劣化調査と補修時の提案/国土開発センター [正]濱田 康行・浦 修造・笹谷 輝彦
- V-230 PCケーブルが破断した妙高大橋の解析検討/大日本コンサルタント[正]大谷 拓矢・登石 清隆・樋口 徳男
- V-231 開削トンネルの断面修復工に対する性能照査試験の検討/東京地下鉄[正]三浦 丈典・新田 裕樹・岸 利治
- V-232 火害を受けた電力マンホールの補修効果に関する調査事例/東京電力パワーグリッド[正]佐藤 克晴・和田 好史・小林 保之
- V-233 電気試験と実構造物の鉄筋腐食量とひび割れ幅の関係/安藤ハザマ[正]峰沢 ジョージヴルベ・室山 拓生・三反畑 勇
- V-234 阪神高速道路のPC箱桁橋における損傷発生原因調査/内外構造[正]前川 敬彦・鈴木 英之・藤田 賢司
- V-235 鉄筋腐食検知センサの開発/東京電力ホールディングス[正]滝野 晶平・植村 隆文・福原 克郎

V-7 (幸町北6号館 621講義室) /9月4日(水)

- 新材料・新工法(構造)(1) /8:40~10:10/田所 敏弥(鉄道総合技術研究所)
- V-331 ストランド場所打ち杭と鋼管柱の接合構造のせん断力に対する構造性能確認試験/鹿島建設[正]岩本 拓也・黒岩 育子・山野辺 慎一
- V-332 杭軸方向鋼材に用いたストランドを鋼管柱基部に機械的に固定した接合構造の曲げ載荷試験/東日本旅客鉄道[正]鈴木 健一・岩本 拓也・山野辺 慎一
- V-333 鉄道構造物における機械式鉄筋定着工法のせん断補強鉄筋への適用について/鉄道・運輸機構[正]西 恭彦・朝長 光・石川 太郎
- V-334 産業副産物を大量に使用した超低収縮高強度繊維補強コンクリートの開発/三井住友建設[正]佐々木 亘・松田 拓・恩田 陽介
- V-335 産業副産物を大量に使用した超低収縮高強度繊維補強コンクリートの促進養生方法に関する検討/三井住友建設[正]恩田 陽介・佐々木 亘・松田 拓
- V-336 超低収縮超高強度繊維補強コンクリートを用いたPC梁の曲げ挙動およびアラミドFRPロッドの定着長に関する実験的検討/三井住友建設[正]三加 崇・竹山 忠臣・松田 拓
- V-337 超低収縮超高強度繊維補強コンクリートを用いた梁のせん断耐力に関する実験的検討/三井住友建設[正]野並 優二・三加 崇・松田 拓
- V-338 吹付け可能な鋼繊維補強コンクリートによる外殻を有するRC梁部材の曲げ実験/鹿島建設[正]横田 祐起・曾我部 直樹・松田 有加
- V-339 高強度RC柱主筋の座屈を考慮した保有耐力に関する研究/浅野工学専門学校[正]殿廣 泰史・加藤 直樹・加藤 清志

- 新材料・新工法(構造)(2) /10:25~11:55/藤山 知加子(法政大学)
- V-340 フライアッシュジオポリマーコンクリートの引張軟化特性/電力中央研究所[正]杉本 啓太・柴山 淳・菊地 道生
- V-341 繰返し高応力を受けるジオポリマーコンクリートの力学特性/電力中央研究所[正]柴山 淳・菊地 道生・山本 武志
- V-342 施工効率の向上を図る接着系あと施工アンカー工法の提案/青木あすなろ建設[正]山崎 彬・波田 雅也・木村 浩之

- V-343 損傷履歴を受けたボックスカルバートの補修・補強技術および耐荷力性能の検証／日本大学[学]新田 裕之・阿部 忠・水口 和彦
- V-344 ジオポリマーモルタルの硬化特性の基礎的研究／JFEスチール[正]田 恵太・松永 久宏・吉澤 千秋
- V-345 RCはり曲げ試験によるポリウレタ樹脂を用いたCFRPプレート接着補強工法の曲げ補強効果に関する研究／九州大学[学]櫻井 俊太・日野 伸一・小林 朗
- V-346 補強繊維成型版の載荷試験(その1)／AKITEC [正]藤下一斗・秋田 浩志・土松 秀数
- V-347 RC躯体継目部の接合工構造について／東海旅客鉄道[正]渡瀬 久・福田 和彰・久保 淳一郎

**V-7 (幸町北6号館621講義室) / 9月5日(木)**

- せん断・ねじり(1) / 8:40~10:10 / 三木 朋広(神戸大学)**
- V-585 T形RCはりのせん断破壊挙動の非線形有限要素法による再現解析／寒地土木研究所[正]中村 拓郎・二羽 淳一郎・小林 研太
  - V-586 杭が引抜き力を受ける杭基礎フーチングのせん断耐力に及ぼす載荷条件の影響／鉄道総合技術研究所[正]角野 拓真・轟 俊太朗・田所 敏弥
  - V-587 T形断面RCはりのせん断耐力とフランジ内応力分布の関係に関する一考察／鉄道総合技術研究所[正]中村 麻美・中田 裕喜・田所 敏弥
  - V-588 フランジを有するUFCはりのせん断耐荷機構に及ぼすウェブ配置の影響／東京工業大学[学]加藤 雅基・大窪 一正・山下 悠貴
  - V-589 拘束型重ね継手を有するプレキャストコンクリートはりのせん断実験／前橋工科大学[学]阿久津 佑介・岡野 素之・飯塚 豊
  - V-590 部材外周に補強用鋼材を複数配置したせん断スパン比が小さい梁のせん断耐力に関する実験的検討／東日本旅客鉄道[正]阿部 麻友子・醍醐 宏治・鈴木 裕隆
  - V-591 ストッパー周りに配置した補強鉄筋が受け持つせん断耐力に及ぼす各種諸元の影響／鉄道総合技術研究所[正]岡本 圭太・轟 俊太朗・田所 敏弥
  - V-592 機械式鉄筋定着工法の掛かりの違いがせん断補強効果に及ぼす影響に関する実験的検討／大成建設[正]山本 悠人・畑 明仁・大宮 正弘
  - V-593 列車の使用時繰り返し載荷を想定したRCおよびPRC梁部材の振動特性評価／鉄道総合技術研究所[正]徳永 宗正・渡辺 勉・池田 学

- せん断・ねじり(2) / 曲げ / 10:25~11:55 / 村田 裕志(大成建設)**
- V-594 高炉スラグ微粉末を用いたRCはりにおける収縮特性とせん断耐力に関する基礎研究／神戸大学[正]三木 朋広・江宮 文音・河野 克哉
  - V-595 ASRが生じたRC部材の含水率の低下が耐力に与える影響の実験的研究／東日本旅客鉄道[正]千頭 啓司・築嶋 大輔・廣田 元嗣
  - V-596 混和材の種類がRCはりのせん断特性に与える影響／太平洋セメント[正]小亀 大佑・安田 瑛紀・河野 克哉
  - V-597 鉛直打継目を有するRCはりの曲げ・せん断特性について／東洋建設[正]末岡 英二・竹中 寛・水谷 征治
  - V-598 ストラッドシートで補強されたRC梁の曲げ耐力に関する実験的研究／北海学園大学[正]高橋 義裕・立石 晶洋・荒添 正棋

- V-599 ストラッドを軸方向鋼材に用いた杭部材の鋼材比についての考察／鹿島建設[正]黒岩 育子・山野辺 慎一・滝沢 聡
- V-600 圧縮鉄筋が腐食したRCはりの降伏時以前の挙動／高知工業高等専門学校[学]桑野 仁成・國元 陸登・近藤 拓也
- V-601 圧縮鉄筋が腐食したRCはりの降伏後における挙動／高知工業高等専門学校[学]國元 陸登・桑野 仁成・近藤 拓也
- V-602 機械式鉄筋定着を用いたせん断補強筋の性能評価に関する実験的研究／金沢大学[学]河原 真洸・小池 修平・榎谷 浩

- 付着・定着・継手(1) / 12:40~14:10 / 吉武 謙二(清水建設)**
- V-603 FEMによる接着系ボルト定着部の定量的耐荷性能評価に向けた基礎的研究／愛知工業大学[正]宗本 理・鈴木 森晶・嶋口 儀之
  - V-604 ひび割れ注入補修があと施工アンカーの引抜き耐力に与える影響／日本ヒルティ [正]石原 力也・国枝 稔・荒川 遥
  - V-605 鋼管で拘束された重ね継手の引張性能に関する実験的研究／鉄建建設[正]安保 知紀・石橋 忠良・土井 至朗
  - V-606 セラミックヘッドアンカー継手の耐疲労特性に関する実験的検討／鹿島建設[正]高橋 周斗・新井 崇裕・横田 祐起
  - V-607 あと施工アンカーを用いた接続部の設計に関する一考察／西日本高速道路[正]井上 健太・関 宏一郎・児嶋 基成
  - V-608 中性子回折法による短繊維補強コンクリート部材中の鉄筋ひずみ分布の計測／三井住友建設[正]竹山 忠臣・恩田 陽介・佐々木 亘
  - V-609 超高強度繊維補強コンクリート部材に異形PC鋼棒をプレテンション用緊張材として用いる場合の定着性能／大成建設[正]井上 真之介・細谷 学・濱野 真彰
  - V-610 アンカーフレーム定着方式の引抜きせん断耐力に関する模型実験／東電設計[正]玉置 久也・馬場 悠介・金子 想
  - V-611 異形鉄筋と同径のねじ部を有するアンカーボルトの力学的性能評価／ショーボンド建設[正]野口 堅冬・小倉 浩則・宮田 勝治

- 付着・定着・継手(2) / 14:25~15:55 / 平 陽兵(鹿島建設)**
- V-612 突出梁を有するRC柱梁接合部における機械式定着部の静的引張特性に関する検討／鉄道総合技術研究所[正]西村 脩平・中田 裕喜・幸良 淳志
  - V-613 突出梁を有するRC柱梁接合部における機械式定着部の高応力繰返し耐力に関する検討／鉄道総合技術研究所[正]幸良 淳志・中田 裕喜・西村 脩平
  - V-614 カブラーへの鉄筋の挿入長さが異なるねじ鉄筋継手単体の特性／東京鉄鋼[正]栗原 光司・後藤 隆臣・笹谷 輝勝
  - V-615 特性の異なるねじ鉄筋継手を用いた実大RC壁部材の性能評価／東京鉄鋼[正]後藤 隆臣・栗原 光司・平野 勝識
  - V-616 噛み合わせ継手の高強度に向けた実験的検討／東日本旅客鉄道[正]谷村 将規・小泉 秀之
  - V-617 モルタル充てん継手に関する設計疲労強度の照査／日本スプライススリーブ[正]松本 智夫・阿瀬 正明・二羽 淳一郎
  - V-618 機械式継手部の耐荷性能に及ぼす各種パラメータの影響に関する実験的検討／熊本大学[学]森本 健斗・尾上 幸造・村上 力也
  - V-619 付着割裂条件下におけるコンクリート中の腐食鉄筋の付着特性／京都大学[学]裏野 将大・山本 貴士・高橋 良和
  - V-620 グラウトで充填された斜材ケープルの切断時の挙動に関する実験／中日本高速道路[正]小野 聖久・服部 雅史・野鳥 昭二

**第VI部門**

建設事業計画、設計技術、積算・契約・労務・調達、施工技術、環境影響対応  
技術、維持・補修・保全技術、建設マネジメントなど

**VI-1 (幸町北8号館811講義室) / 9月3日(火)**

- 設計概念 / 8:40~10:10 / 渡邊 洋介(鹿島建設)**
- VI-001 道路施設とシールド発進立坑を包括した躯体の設計と施工について／清水建設[正]小野 裕輔・小島 太朗・菊地 勇氣
  - VI-002 道路トンネル分岐合流部工事(その1)小土被り下の開削切抜げを伴うトンネル合流部設計概要／大成建設[正]亀岡 廉・川島 広志・岡嶋 和義
  - VI-003 道路トンネル分岐合流部工事(その2)非開削切抜げを伴う大断面道路トンネル分岐部設計概要／大成建設[正]伊藤 潤・日高 直俊・山本 亮太
  - VI-004 道路トンネル分岐合流部(その3)棲部構造変化点の影響を考慮したセグメント設計／大成建設[正]岡嶋 和義・日高 直俊・西岡 尊寿

- VI-005 道路トンネル分岐合流部に適用する特殊セグメントの開発(その1)特殊セグメント試験計画概要／大成建設[正]日高 直俊・服部 佳文・岸山 雄多佳
- VI-006 道路トンネル分岐合流部に適用する特殊セグメントの開発(その2)フランジ付セグメント単体曲げ試験・継ぎ手曲げ試験／大成建設[正]川島 広志・日高 直俊・山本 亮太
- VI-007 道路トンネル分岐合流部に適用する特殊セグメントの開発(その3)部分的耐力向上継手の曲げ試験／大成建設[正]西岡 尊寿・日高 直俊・川島 広志
- VI-008 道路トンネル分岐合流部に適用する特殊セグメントの開発(その4)組立後補強セグメント単体曲げ試験／大成建設[正]亀田 佳明・日高 直俊・岸山 雄多佳

- 設計技術(1) / 10:25~11:55 / 齋藤 隆(大林組)**
- VI-009 施工事例分析に基づく線路下カルバートの構造諸元の決定方法に関する一考察 / ジェイアール東海コンサルタンツ [正]柳川 一心・今枝 潤志・仲山 貴司
- VI-010 線路上空人工地盤の設計鋼重簡易チェック方法構築に関する一考察 / JR東日本コンサルタンツ [正]関口 穂・嶋田 敦・長田 圭史
- VI-011 主鋼材へ突起付きH形鋼を適用した大口径深礎の設計 / リテックエンジニアリング [正]有山 裕亮・山崎 啓治・萩原 直樹
- VI-012 斜面上の大口径深礎におけるずり出しトンネルの影響検討 / リテックエンジニアリング [正]山本 英雄・山崎 啓治・萩原 直樹
- VI-013 大口径深礎の設計における杭周面の鉛直方向せん断地盤反力度の影響 / 鹿島建設 [正]山崎 啓治・有山 裕亮・萩原 直樹
- VI-014 神戸発電所第3号、第4号 大口径場所打ち杭を適用した貯炭サイロ基礎の設計 / 大成建設 [正]川崎 渉・杉本 真隆・窪田 晃
- VI-015 神戸発電所第3号、第4号 貯炭サイロ基礎工事のうち大口径場所打ち杭の施工 / 大成建設 [正]金田 貴洋・杉本 真隆・窪田 晃
- VI-016 JIS改正に伴うアレイ架台基礎への影響比較(その2) / 大林組 [正]三浦 国春・三浦 桂子

- 設計技術(2) / 耐震・免震 / 14:55~16:25 / 松井 俊二(大成建設)**
- VI-017 大型石炭火力発電所の取水口設計に関する一考察 / 中国電力 [正]河村 美咲・梶田 拓志・玉井 孝謙
- VI-018 時刻歴応答解析による仮橋の耐震性能検証 / MKエンジニアリング [正]伊藤 剛・大野 剛・井手 大輔
- VI-019 橋と荷役機械の動的相互作用を考慮した連成解析の実施 / 大成建設 [正]新井 秀幸・服部 真未子・野勢 辰也
- VI-020 PC鋼材を利用したRC中空断面に対する斜材定着方法の設計例 / 長大 [正]田中 剛・織田 敏彰・鍋島 信幸
- VI-021 水平材の機能を有効に活用したRC主塔の設計例 / 長大 [正]黒木 唯真・田中 剛・織田 敏彰
- VI-022 桁式高架橋を全体で捉えた耐震補強対策工法の提案 / JR東日本 [正]高井 俊博・小笠原 賢・渋谷 敏男
- VI-023 長大PC鉄道橋の支承取替工事 / 鉄建建設 [正]大野 俊平・佐藤 拓郎・菊地 佳誉
- VI-024 建築用タワークレーンのマスト接合部の強度に関する研究(その4 増設ボルトの影響) / 労働安全衛生総合研究所 [正]高梨 成次・大幢 勝利・高橋 弘樹

- 設計技術(3) / 特殊構造物 / 16:40~18:10 / 浦野 和彦(安藤・間)**
- VI-025 車輛通行によりプレキャストL型擁壁たて壁に作用する水平応力の評価 / 世紀東急工業 [正]小友 行峰・丸山 収
- VI-026 FEM解析によるトンネル覆工への盛土近接施工の影響検討 / 大成建設 [正]板垣 賢・後藤 文明・大西 吉実
- VI-027 首都高速1号羽田線更新工事 鮫洲埋立部の暫定拡幅構造 / 三井住友建設 [正]藤原 恭平・大西 孝典・堀田 尚史
- VI-028 首都高速1号羽田線更新工事暫定接続部における既設橋の補強設計および施工 / 大林組 [正]玉田 和法・小島 直行・堀田 尚史
- VI-029 河川仮切廻し工の土留設計について / 清水建設 [正]野末 翔也・北村 元・梶田 典嗣
- VI-030 大和トンネル拡幅工事 既設頂版のジャッキアップに係る仮受支柱の設計・施工 / 西松建設 [正]田村 健・中 俊喜・大西 慶典
- VI-031 オープンケーソン(アーバンリング工法)における計画段階で導かれた最大必要圧入力と実施圧入力の差異に対する考察 / 大成建設 [正]殿内 秀希・渡邊 知英・木山 陽一
- VI-032 京都線移管に伴う料金所改修のためのFRP壁高欄設置について / 阪神高速道路 [正]北村 将太郎・坂井 康人・吉田 章人

VI-1 (幸町北8号館811講義室) / 9月4日(水)

- 開削トンネル / 8:40~10:10 / 緒方 明彦(熊谷組)**
- VI-409 大阪特有の地盤条件下での大規模掘削について / 大鉄工業 [正]西原 太一・和田 直樹
- VI-410 開削トンネル工事における盤ぶくれ対策とリスクアセスメント / 大林組 [正]鈴木 成・中瀬 和彦・刈屋 好男
- VI-411 高速道路本線面体上部の気泡混合土による埋戻し実績 / 鹿島建設 [正]松井 雅紀・羽富 公彦・竹内 業史
- VI-412 大断面ボックスカルバートのプレキャスト工事の施工報告—東京外環自動車道大和田工事— / 清水建設 [正]浦島 理・小島 裕隆・広地 豪
- VI-413 ボックスカルバート頂版等へのプレキャストPC床版の適用 / 大成建設 [正]長岡 潤・坂本 明伸・神田 基

- VI-414 都市部における河川復旧工でのプレキャスト化による工程短縮 / 鹿島建設 [正]瀬戸 祥太・松井 雅紀・竹内 業史
- VI-415 開削トンネル工事における本体工の生産性および品質向上に向けた対策事例 / 大林組 [正]江口 史門・石田 聡史

**■地下構造物(1) / 10:25~11:55 / 高橋 敏樹(大林組)**

- VI-416 土木構造物・建築物一体構造としての渋谷駅西口地下施設の設計・施工 / 大成建設 [正]高橋 佑輔・内菌 雅仁・加藤 隆
- VI-417 地下鉄営業線構内におけるホーム延伸部の掘削について—銀座線新橋駅改良土木工事— / 東京地下鉄 [正]千田 健斗・鈴木 章悦・藤野 覚
- VI-418 出水対策を施した営業線直下の駅構内地盤改良施工—一日比谷線仰御徒町駅改良工事— / 東京地下鉄 [正]小島 秀元・長谷 篤・吉村 正
- VI-419 東西線早稲田駅エレベーター設置工事における埋設物輻輳箇所の水処理を用いた非開削工法 / 東京地下鉄 [正]佐々木 孝太・一寸木 朋也・熊谷 純樹
- VI-420 東西線神楽坂駅改良に伴う土木工事における既設躯体片持ち端部下の導坑掘削について / 東京地下鉄 [正]一寸木 朋也・岡澤 義治・大庭 尚史
- VI-421 既設構築直下へのコンクリート打設に関する試験施工—東西線南砂町駅終端部工区改良土木工事— / 東京地下鉄 [正]新井 泰・吉田 裕介・渡辺 慎一
- VI-422 地下鉄駅ホームドア設置のためのホーム床版補強工事 / 東京地下鉄 [正]小西 真治・青木 正明・江原文武

VI-1 (幸町北8号館811講義室) / 9月5日(木)

**■地下構造物(2) / 8:40~10:10 / 服部 佳文(大成建設)**

- VI-616 大断面シールド発進立坑における鋼製函体の計画(その1) / 清水建設 [正]馬場崎 宗之助・荒木 尚幸・澤田 泰希
- VI-617 大断面シールド発進立坑における鋼製函体の計画(その2) / 清水建設 [正]澤田 泰希・清水 省吾・馬場崎 宗之助
- VI-618 狭隘スペースでの地下壁構築を可能とする本仮設兼用合成壁「J-WALL® II工法」の適用 / 大林組 [正]古荘 伸一郎・黄 再弘・松原 秀和
- VI-619 大深度円形立坑の本体側壁に作用する側圧に関する一考察 / 熊谷組 [正]山口 哲司・岩波 基
- VI-620 円形セグメントを用いたフルプレキャスト工法「スーパーリング工法」の開発—工法の施工手順と特長(その1)— / 鹿島建設 [正]増田 昌弘・酒匂 智彦・裏山 昌平
- VI-621 円形セグメントを用いたフルプレキャスト工法「スーパーリング工法」の開発—実物大施工実験の実施およびデータ分析(その2)— / 鹿島建設 [正]裏山 昌平・増田 昌弘・酒匂 智彦
- VI-622 「スーパーリング工法」の開発—設計手法と実物大施工実験の再現解析(その3)— / 鹿島建設 [正]望戸 健雄・小坂 琢郎・牛垣 勝

**■地下構造物(3) / 10:25~11:55 / 井上 隆広(安藤・間)**

- VI-623 URT工法PCボックス形式の作業用エレメント省略に伴う検討 / ジェイアール西日本コンサルタンツ [正]中谷 紘也・若林 正憲・近藤 政弘
- VI-624 南北線後楽園駅連絡出入口設置工事における非開削工事の施工実績 / 東京地下鉄 [正]長谷 篤・吉村 正・大崎 友輝
- VI-625 既設ビル躯体を利用した土留めとパイプルーフを用いた非開削工法—半蔵門線青山一丁目駅渋谷方エレベーター設置に伴う土木工事— / 東京地下鉄 [正]鈴木 章悦・吉駒 博・高橋 賢一
- VI-626 併設シールド間の連絡路(1)トンネルの非稼働空間を活用した工程短縮 / 大成・佐藤・東洋特定建設工事共同企業体 [正]奥田 豊・京屋 直正・吉田 祥二
- VI-627 併設シールド間の連絡路(2)地上とトンネル内の双方から行う薬液注入工 / 大成建設 [正]道本 真悟・入野 克樹・吉田 祥二
- VI-628 併設シールド間の連絡路(3)薬液注入管が残置された地中で行う曲線パイプルーフ工 / 大成建設 [正]新宅 建夫・入野 克樹・上村 健太
- VI-629 併設シールド間の連絡路(4)トンネル間掘削に伴う計測管理計画と結果 / 首都高速道路 [正]石田 高啓・上村 健太・吉田 将大

**■地下構造物(4) / 12:40~14:10 / 中出 剛(熊谷組)**

- VI-630 ニューマチックケーソン工法による地下書庫構築プロジェクト—東京大学 総合図書館別館新設工事— / 清水建設 [正]前田 裕一・遠藤 和雄・野城 智也
- VI-631 高水圧下におけるニューマチックケーソン工法の躯体水密性向上および沈設管理方法 / 東急建設 [正]大久保 貴史・樋口 春樹・鈴木 一

- VI-632 ケーソン壁コンクリートへのパイプクーリングの適用と温度応力解析の妥当性／清水建設[正]後藤 大輔・頃安 研吾・野村 朋宏
- VI-633 ユニット鉄筋を用いたニューマチックケーソンの施工実績／鹿島建設[正]山本 泰三・柏倉 翔・小沢 栄二
- VI-634 市街地での大口径鋼製リング圧入工法の施工における地表面変位／鉄建建設[正]山田 宣彦・西村 知晃・橋本 崇俊
- VI-635 高い地下水位を考慮した地下躯体の解体事例／東急建設[正]鶴岡 佑樹・柴野 一則・大平 祥喜
- VI-636 石災法の消火用屋外給水配管に高密度ポリエチレン管を用いた施工例／コスモエンジニアリング[正]吉村 博紀・中野 剛宏・鈴木 剛史
- VI-637 大段差におけるジオテキスタイルを用いた道路段差軽減工法の実証的検討／前田建設工業[正]坂藤 勇太・川西 敦士・吉本 勝哉

■土留め(1) / 14:25~15:55 / 坂梨 利男(鹿島建設)

- VI-638 硬質地盤でのソイルセメント連壁構築にCCC工法を採用／東急建設[正]中島 敏勝・前田 欣昌
- VI-639 ソイルセメント壁築造に伴う流動値管理を考慮した室内配合試験と実施結果／加藤建設[正]佐々木 大樹・佐藤 弘樹・浅沼 功
- VI-640 AWARD-Para工法のフィールド試験(その1:工法と試験の概要)／戸田建設[正]田中 宏典・浅野 均・赤木 寛一
- VI-641 AWARD-Para工法のフィールド試験(その2:室内配合試験)／早稲田大学[学]大山 哲也・赤木 寛一・川上 開誠
- VI-642 AWARD-Para工法のフィールド試験(その3:施工性・品質の評価)／西松建設[正]吉野 修・安井 利彰・下坂 賢二
- VI-643 くさび緊結式支保工を用いた仮設作業構台の荷重分散効果の検証／大林組[正]白子 将則・高橋 正登・山下 徹
- VI-644 大規模立坑における『作業構台兼用ユニット式盛替梁』の開発による工程短縮／大成建設[正]奥寺 亮太・亀元 邦英
- VI-645 腹起しの設計についての考察(ハンマストラットの場合)／大林組[正]佐藤 峻雅・高橋 正登・平尾 淳一

■土留め(2) / 16:10~17:40 / 山口 哲司(熊谷組)

- VI-646 土留め壁背面の残置躯体評価による仮設工低減／東急建設[正]鈴木 一・森 正宏・井上 貴文
- VI-647 地下駅に接続する出入口の仮設設計(その1)／清水建設[正]太田 諒・石島 修祐・佐竹 省胤
- VI-648 地下駅に接続する出入口の仮設設計(その2)／清水建設[正]中村 廣遊・石島 修祐・佐竹 省胤
- VI-649 埋立地盤における地盤改良体を用いた山留めの施工事例／加藤建設[正]久米 悠太・菅野 航太・川浪 健太郎
- VI-650 埋立地盤における地盤改良体を用いた山留めの解析検証／加藤建設[正]徳山 悦子・菅野 航太・須長 真之
- VI-651 慣用法で設計された地盤改良体による仮設土留めの現場事例／加藤建設[正]菅野 航太・伊藤 浩邦・大河内 保彦
- VI-652 スパイラルパイルの引抜特性に関する基礎的研究／東京都大学[学]佐野 和弥・末政 直見・伊藤 和也
- VI-653 北海道胆振東部地震波を用いた盛土前のウィングの応答解析／砂子組[正]古川 大輔・近藤 里史・成田 憲昭
- VI-654 関東ロームの平面ひずみ三軸試験について／東日本旅客鉄道[正]LI CHENG・加藤 精亮・柿原 芳彦

VI-2 (幸町北8号館812講義室) / 9月3日(火)

■シールドトンネル(1) / 8:40~10:10 / 小坂 琢郎(鹿島建設)

- VI-156 凝灰岩層下における急曲線・急勾配の泥濃式推進工事の施工実績／前田建設工業[正]飯尾 友彦・小野 雅毅・千葉 直樹
- VI-157 小口径長距離シールドの工期短縮に関する施工実績／西松建設[正]渡邊 忠尚・安村 秀樹・村上 初央
- VI-158 泥水モードと泥土圧モードとを併用したシールド技術による複雑な岩盤層に対応したガス導管トンネルの建設／大成建設[正]青木 孝平・小林 優矢・金森 研二
- VI-159 カuttingング層の大きい小口径大深度地中連続壁の施工／大成建設[正]加藤 秀一・小俣 栄太・上地 勇
- VI-160 アクティブ制振装置のシールドへの適用について(その1)／大林組[正]服部 鋭啓・菅野 静・松原 健太
- VI-161 アクティブ制振装置のシールドへの適用について(その2)／大林組[正]菅野 静・服部 鋭啓・松原 健太
- VI-162 巨礫が点在する硬質砂礫地盤での泥土圧シールド工の施工実績とトラブル対策／佐藤工業[正]萩原 奈々・倉田 学・児玉 ひと美
- VI-163 丸の内通りの夜間道路規制条件下でのシールドトンネル施工／大成建設[正]三好 新・飯村 英之・相田 宗行

■シールドトンネル(2) / 10:25~11:55 / 井上 隆広(安藤・間)

- VI-164 泥濃式シールド工法による小口径・長距離シールドの施工実績／フジタ[正]芳崎 貴彦・廣田 基樹・坂井 陸規
- VI-165 シールド掘進中における想定外のメタンガス発生への対応／西松建設[正]宇田 好一郎・村上 初央・松永 英都
- VI-166 大断面シールドトンネル併設影響に対する一考察／鹿島建設[正]紀伊 吉隆・藤原 勝也・中元 佑一
- VI-167 URUP工法による大断面シールドトンネルの地上発進・地上到達について／大林・西武特定建設工事共同企業体[正]今岡 洋輔・林 成卓・丹沢 淳一
- VI-168 大断面シールドトンネルにおける小土被り・併設施工／大林組[正]西岡 恭輔・蛭子 延彦・新井 直人
- VI-169 空港直下を掘進する大断面泥水式シールドの施工方法／清水建設[正]福富 悠太・安井 克豊・西田 充
- VI-170 H&Vシールド工法によるスパイラル掘進の施工報告／清水建設[正]成田 彩華・吉池 主・太田 博啓
- VI-171 大断面道路トンネル上部開削区間における低土被りによる影響を考慮した覆工検討概要／大成建設東京支店外環大泉トンネル作業所[正]織田 隆志・千国 洋道・近藤 基博

■シールドトンネル(3) / 14:55~16:25 / 木村 晃(熊谷組)

- VI-172 換気所直下におけるシールドトンネルの施工管理と変位計測結果／大成建設[正]森田 康平・盛岡 諒平・上地 勇
- VI-173 シールド工法におけるテールシール圧力制御システムの開発／戸田建設[正]中山 卓人・近藤 紀夫・小林 修
- VI-174 切削セグメントの施工および計測結果／西松建設[正]鷺見 悟・村上 初央・坪井 広美
- VI-175 道路シールドトンネル内のポンプ室のプレキャスト化計画／清水建設[正]富澤 奈岐沙・古井 正弘・村上 和也
- VI-176 シールド工用大深度円形立坑におけるニューマチックケーソンの脱型時の強度に関する検討／早稲田大学[学]宮崎 雄介・岩波 基・山口 哲司
- VI-177 吊り型枠による立坑頂版施工(設計編)／鹿島建設[正]梶川 初太郎・落 宏平・田口 未由希
- VI-178 吊り型枠による立坑頂版施工(施工編)／鹿島建設[正]落 宏平・紀伊 吉隆・田口 未由希

■シールドトンネル(4) / 16:40~18:10 / 谷口 潤(大成建設)

- VI-179 凍結工法における凍土解凍充填の施工報告／東急建設[正]向井 良輔・堀 浩之・下村 義直
- VI-180 地盤凍結工法における温水管を用いた凍土成長の抑制とその効果／精研[正]大畝 丈広・富田 一隆・堀 浩之
- VI-181 薬液注入工法を用いたシールドトンネル間の非開削工法の設計・施工／大成建設[正]久木田 駿一・永井 政伸・尾関 孝人
- VI-182 寒冷地におけるシールド工用セグメントの製造および貯蔵に関する考察(その3)／日本ヒューム[正]山中 典幸・小泉 淳・清水 幸範
- VI-183 寒冷地におけるシールド工用セグメントの製造および貯蔵に関する考察(その4)／バシフィックコンサルタンツ[正]天野 裕基・清水 幸範・萩原 啓太
- VI-184 大断面シールドトンネルにおける開口部セグメントの設計／鹿島建設[正]北原 雅俊・小坂 琢郎
- VI-185 国内と海外におけるシールドセグメント覆工設計構造解析法に関する研究／早稲田大学[学]片山 智裕・岩波 基・山口 哲司
- VI-186 非開削切り抜け工法の設計方法における適正な2次元FEM解析モデルに関する研究／早稲田大学[学]二宮 優太・岩波 基・山口 哲司

VI-2 (幸町北8号館812講義室) / 9月4日(水)

■シールドトンネル(5) / 8:40~10:10 / 服部 鋭啓(大林組)

- VI-486 シールド機外周の地山状態計測へのソーナーの適用検討／鉄建建設[正]岩瀬 隆・浅田 昭
- VI-487 トラブル回避システムを活用した大深度海底下でのシールド掘進実績／鹿島建設[正]白井 健泰
- VI-488 文字認識読取技術を活用したセグメント管理システムの開発／西松建設[正]田中 勉・田口 毅・坪井 広美
- VI-489 セグメント注入孔に設置した圧力測定器によるテールグリス圧の計測—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その22)—／鹿島建設[正]阿部 聡・遠藤 勉・齋藤 寿秋
- VI-490 セグメント注入孔に設置した完全止水型シールドテール部圧力測定器の開発—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その21)—／鹿島建設[正]高柳 哲・遠藤 勉・齋藤 寿秋

- VI-491 泥土圧シールド工法の掘削土量体積管理のための新システム／鹿島建設[正]本田 和之・吉迫 和生・紀伊 吉隆
- VI-492 大断面泥土圧シールド発進におけるリスク対策および初期掘進結果／西松建設[正]たみあ とりあんでいに・村上 初央・坪井 広美
- VI-493 粘度計による泥土塑性流動性可視化の試み／曙ブレーキ工業[正]熊田 和行・早川 淳一・新木 健司

■シールドトンネル(6) / 10:25~11:55 / 増澤 伸司(熊谷組)

- VI-494 新型セグメント継手の耐荷性能(その2~大口径用) / IHI建材工業[正]山口 隆一・清水 亮一・峯崎 晃洋
- VI-495 新型リング継手の諸性能 / IHI建材工業[正]小林 一博・清水 亮一・峯崎 晃洋
- VI-496 新型セグメント継手の耐荷性能(その1~中小口径用) / IHI [正]塩原 亮介・山口 隆一・清水 亮一
- VI-497 締結力を有するセグメント継手の開発(実大RCセグメントリング自重荷試験) / 日本ヒューム[正]浦澤 康治・磯崎 智史・小泉 淳
- VI-498 分割されたFFUセグメントの継手の開発(せん断試験) / 大成建設[正]竹中 計行・尾関 孝人・坂本 博明
- VI-499 分割されたFFUセグメントの継手の開発(圧縮試験) / 銭高組[正]原田 尚幸・西田 与志雄・高見 昂亮
- VI-500 先行ピットの巨礫切削性能に関する実験的検証 / 奥村組[正]伊東 俊彦・二井 俊次・吉田 篤司
- VI-501 風化程度の異なる軟岩における泥土圧シールド ローラーカッター異常摩耗 / 清水建設[正]藤石 忠夫・金子 一生・木村 弘幸
- VI-502 砂礫地盤におけるカッターピットの摩耗要因の評価に関する研究 / 大林組[正]星野 智紀・服部 鋭啓・阿部 靖

VI-2 (幸町北8号館812講義室) / 9月5日(木)

■シールドトンネル(7) / 8:40~10:10 / 青山 哲也(清水建設)

- VI-804 しらすに関するシールド添加材の基礎的研究(その2) / 大林組[正]大前 慶恵・松原 健太・山田 祐樹
- VI-805 しらすに関するシールド添加材の基礎的研究(その1) / 大林組[正]上田 潤・松原 健太・山田 祐樹
- VI-806 新しい気泡シールド工事に用いる起泡剤で作成した気泡混合土の流動性に関する調査 / 大林組[正]三浦 俊彦・木村 志照・武田 厚
- VI-807 泥土圧シールド工法における添加材に及ぼす地下水の影響について / 前田建設工業[正]白川 元彦・高本 賢司・田嶋 裕二
- VI-808 気泡シールド工法に用いる気泡の圧力下における性状 / 鹿島建設[正]吉迫 和生・辻 良祐・瀧川 信二
- VI-809 泥土加圧シールド工法で用いる新たな加泥材の開発 / 大林組[正]木村 志照・三浦 俊彦・服部 鋭啓
- VI-810 環境配慮型シールドマシンテール部止水材「テールキーパー」の開発 / 大成建設[正]森田 泰司・中尾 朋弘・石井 宏明

■シールドトンネル(8) / 10:25~11:55 / 高浜 達矢(大林組)

- VI-811 AIを活用したセグメントのトレーサビリティ管理手法の研究 / 大林組[正]西森 昭博・松原 健太・上田 潤
- VI-812 機械学習を用いたシールド機旋回量の推定 / 大成建設[正]福井 学・志田 智之・田村 憲
- VI-813 シールドマシンの方向制御AIモデルの評価 / 清水建設[正] 杉山 博一・和田 健介・野澤 剛二郎
- VI-814 シールドマシンの操作特性を考慮した自動操縦AIモデル / 清水建設[正]和田 健介・杉山 博一・野澤 剛二郎
- VI-815 シールド機動力学モデルによるS字急曲線部におけるシールド挙動シミュレーション / 長岡技術科学大学[正]杉本 光隆・田浦 康司・荒東 伸一
- VI-816 SENSによるトンネル周辺地盤挙動の解析 / 長岡技術科学大学[学]尾崎 祥太郎・杉本 光隆・松本 浩司
- VI-817 急勾配・急曲線部における実測データによるシールド挙動シミュレーション / 長岡技術科学大学[学]山之内 崇記・杉本 光隆・安井 克豊

■アセットマネジメント(1) / 12:40~14:10 / 新田 耕司(中央復建コンサルタンツ)

- VI-818 塩害を受ける小規模RC道路橋の観察維持管理のための一考察 / 八千代エンジニアリング[正]伊藤 均・溝渕 利明
- VI-819 橋梁長寿命化修繕計画策定システムの開発 / 宮城県建設センター [正]千葉 遼太・加藤 実・白石 郁夫
- VI-820 地下鉄トンネル検査データに基づく維持管理計画の具体化の試み / 早稲田大学[学]酒井 亮太・赤木 寛一・小西 真治
- VI-821 データベースの利活用による橋梁の現況と劣化傾向の把握 / 山形県[正]吉田 博之・後藤 美保・早坂 康志

- VI-822 兵庫県内市町の定期点検データに基づく道路橋の劣化特性評価 / 兵庫県まちづくり技術センター [正]渡邊 佳秀・岩戸 寿明・美濃 智広
- VI-823 複数の道路管理者の橋梁点検調書を用いたコンクリート構造物の早期劣化傾向の分析 / 長岡工業高等専門学校[学]長部 拓海・島津 太一・井林 康
- VI-824 地方自治体の管理橋梁におけるAI活用の一考察 / 八千代エンジニアリング[正]野田 一弘・中島 道浩・永富 大亮
- VI-825 市町村が管理する橋梁の健全度評価に影響を与える要因分析~橋梁点検データを用いて~ / 西部技術コンサルタント [正]上坂 未希・田邊 信男

■アセットマネジメント(2) / 14:25~15:55 / 馬越 正純(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-826 レンガ高架橋の劣化メカニズムの解明 / 東日本旅客鉄道[正]大上 貴寛・波多野 景治
- VI-827 モルタル吹付工の劣化とその対策工に関する一考察 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]西本 朝彦・山崎 充・岩崎 真二郎
- VI-828 トンネルカルテを活用した鉄道トンネルの維持管理 / 東日本旅客鉄道[正]菅原 和孝・込山 実・水野 光一朗
- VI-829 センサデータを活用した橋面変位影響範囲の推定事例 / 三井共同建設コンサルタント[正]吉武 俊章・石橋 直樹・江本 久雄
- VI-830 斜張橋ケーブルにおける健全性の評価について / 大阪市役所[正]永橋 俊二・土井 清樹・入谷 琢哉
- VI-831 海岸保全施設における石積およびブロック積の評価指標についての検討 / 日本工営[正]權納 拓史・小谷 拓・沢田 陽佑
- VI-832 諸元情報等を考慮したディープラーニングモデルによる橋梁(コンクリート部材)の劣化要因・健全度判定 / 金沢大学・日本海コンサルタント[正]町口 敦志・喜多 敏春・多田 徳夫
- VI-833 橋梁点検データからみたコンクリート部材の早期劣化 / 金沢大学[学]下田 聖也・小川 福嗣・近田 康夫

■アセットマネジメント(3) / 16:10~17:40 / 堀 裕倫(大成建設)

- VI-834 サンプル選択バイアスを考慮した社会基盤施設の統計的劣化予測モデル / 大阪大学[学]二宮 陽平・貝戸 清之
- VI-835 確率制御理論を援用した水源揚水井の最適洗浄方策に関する考察 / 関西大学 [正]兼清 泰明・楠見 晴重・久保 潤平
- VI-836 市民協働型インフラ管理体制の構築に向けたインフラ観察システムの開発(その1) / 舞鶴工業高等専門学校[正]嶋田 知子・玉田 和也
- VI-837 豊田市における重要度の低い橋梁に対する維持管理の方向性(その5) / 八千代エンジニアリング[正]中島 道浩・野田 一弘・永富 大亮
- VI-838 市町による点検結果データの包括的活用が劣化予測に与える影響 / 金沢大学[正]小川 福嗣・近田 康夫
- VI-839 秋田県におけるシェッド・シェルターの維持管理 / オリエンタルコンサルタンツ[正]古賀 秀幸・宮内 健・安倍 敦
- VI-840 自治体職員が構築する直営施工(橋梁補修DIY)を活用した橋梁アセットマネジメント / 玉名市役所 [正] 木下 義昭
- VI-841 下水道ストックマネジメントにおける管路の耐荷性能に着目したリスク発生確率の評価 / 日本工営[正]市村 直登・岡本 萌・中村 ゆかり
- VI-842 水力発電設備の確率論的地震リスク評価手法についての一考察 / 東京電力ホールディングス[正]恒川 明伸・黒瀬 高秀・栗田 哲史

VI-3 (幸町北8号館821講義室) / 9月3日(火)

■鉄道(1) / 8:40~10:10 / 川崎 祐征(東海旅客鉄道)

- VI-187 無道床橋りょう区間におけるレールスペーサーを使用したレール重軌条化工法 / 東京地下鉄[正]松尾 東・藤井 諒・猪瀬 和也
- VI-188 レール自動溶接車による溶接作業定着の取組み / 九鉄工業[正]原 一生
- VI-189 営業線における地上部ロングレール化工事の概要 / 東京地下鉄[正]大澤 純一郎・磯崎 悠・大竹 真人
- VI-190 営業線で使用する一体型防振分岐装置の検討 / 東京地下鉄[正]松川 俊介・佐藤 佑亮・金川 周平
- VI-191 短時間間合いにおけるSC挿入の分割施工 / 大鉄工業[正]橋 航平・吉田 涼
- VI-192 鋼橋上におけるプレバックド工法を用いた道床の早期材令における強度の緩和に関する検証 / 東京地下鉄[正]新井 逸郎・久保田 聡一・藤井 諒
- VI-193 高流動CA補修材を用いたてん充層補修方法の施工に関する検討 / 西日本旅客鉄道[正]梅野 晃平・大橋 知奈・内藤 智樹

VI-194 東海道線支線地下化に伴う軌道低下の施工について／大鉄工業[正]梶原 弘治・神岡 繁宏

■鉄道(2) /10:25~11:55/林 宏延(鹿島建設)

- VI-195 鉄道営業線駅構内における増床版架設方法の検討／東鉄工業[正]磯前 聡・今井 英樹・宇津木 浩行  
 VI-196 桁構造を踏まえた最適な橋りょう撤去計画と実施／東海旅客鉄道[正]野瀬 裕華子  
 VI-197 PC桁の横移動工法による工期短縮実績／鹿島建設[正]高木 泰雅  
 VI-198 複線軌道線間の狭隘箇所における長径間PC桁架設報告／東急建設[正]村井 秀仁・宮崎 徹・木下 孝治  
 VI-199 線路越しPC桁クレーン架設工について／大成建設[正]齋藤 英弘・桑島 元信・沖西 学  
 VI-200 低空頭下における既設高架橋撤去の合理化と施工実績／鹿島建設[正]久保 達也・田中 誠・山本 信也  
 VI-201 新幹線用仮設線路防護壁の開発／東日本旅客鉄道 [正] 明見 正雄・栗林 健一・鬼塚 充明

■鉄道(3) /14:55~16:25/大川 真佐雄(大成建設)

- VI-202 奥羽本線秋田駅構内形陸橋幅幅および桁交換工事／東日本旅客鉄道[正]吉田 明寛・成田 紘也  
 VI-203 関西本線四日市構内阿瀬知川橋りょう橋架け替え工事／東海旅客鉄道[正]高橋 昌大・山崎 誠幸・大畑 和弘  
 VI-204 長大間合い切替での架道橋架替え工事実績(既設撤去)／鹿島建設[正]小澤 智裕・幸野 寛伸・加納 暢彦  
 VI-205 長大間合い切替での架道橋架替え工事実績(新設運搬・横取・降下架設)／鹿島建設[正]加納 暢彦・幸野 寛伸・小澤 智裕  
 VI-206 片持ち梁構造での斜角ゲルバー桁受替工事における変位抑制の検討／JR西日本[正]和田 直樹・森 勇樹・荒木 信武  
 VI-207 東海道線本線交差部桁受替施工／大成建設[正]磯部 大輔・西口 典之・古賀 康弘  
 VI-208 片持ち橋脚で受替えた斜角ゲルバー桁の挙動と計測管理に関する一考察／JR西日本[正]益井 大樹・藤岡 慶祐・水谷 真治  
 VI-209 東海道新幹線赤淵川橋りょうにおける平面線形整正の取り組み／東海旅客鉄道[正]小林 昂弘・宇佐美 龍一・他谷 周一

■鉄道(4) /16:40~18:10/松本 浩一(熊谷組)

- VI-210 東京メトロ銀座線渋谷駅改良に伴う第2回線路切替施工報告／東急建設[正]樋口 春樹・池田 伸裕・小島 文寛  
 VI-211 銀座線渋谷駅改良工事における軌道工事の計画と施工について(第2回線路切替)／東京地下鉄[正]今井 奨・矢野 誠・大山 和利  
 VI-212 鉄マクラギ特殊シーサークロッシングを含んだ線路切替工事／東日本旅客鉄道[正]湊 卓也・長嶋 秀幸・須賀 陽太郎  
 VI-213 鉄道地下化切替工事における軌道擦り付け区間のジャッキダウン／大成建設[正]真崎 澁太・上坂 龍平・古東 哲  
 VI-214 成田(我)線成田・下総松崎間の高架化工事における線路切替について／東日本旅客鉄道[正]大矢 新吾・小林 義雄・薄田 秀平  
 VI-215 こ線橋道路橋の耐震補強工事における運転手続き削減対策／シーエヌ建設[正]大西 亨匡・丹間 泰郎・長谷部 光春  
 VI-216 連続したRC壁式橋脚のラーメン構造化による耐震補強について／東日本旅客鉄道[正]舟山 雅史  
 VI-217 プレキャストパネルと高強度繊維補強モルタルを用いた耐震補強工法の市街地への適用／東急建設[正]鈴木 元太・濱田 修・鈴木 将亮

VI-3 (幸町北8号館821講義室) /9月4日(水)

■鉄道(5) /8:40~10:10/竹谷 勉(東日本旅客鉄道)

- VI-503 H形鋼の高力ボルト摩擦接合継手の標準化に関する一考察／JR東日本コンサルタンツ[正]工藤 伸司・石井 高広・郡司 拓弥  
 VI-504 腐食欠損した鋼桁に対するトラス補強の効果について／前橋工科大学[学]市川 晃希・谷口 望・若狭 周汰  
 VI-505 ロッキング橋脚を有する鋼鉄道橋の耐震性評価／東海旅客鉄道[正]鈴木 亨・岩田 秀治・高橋 佑斗  
 VI-506 リベットを用いた模擬試験体による基礎試験／東日本旅客鉄道[正]若狭 周汰・小林 寿子  
 VI-507 腐食欠損を有するリベット鋼桁の剛性評価に関する研究／前橋工科大学[学]山田 簡大・谷口 望・若狭 周汰  
 VI-508 線路下横断工に用いる簡易工事桁の合理的な設計／東海旅客鉄道[正]土屋 正宏・佐々木 敦司・鬼頭 直希  
 VI-509 バラスト撤去量低減を目的とした斜ウェブ工事桁に関する解析的検討／東日本旅客鉄道[正]山下 洋平・小林 寿子・山本 達也

VI-510 FRP材料の鉄道構造物適用に関する基礎研究／東日本旅客鉄道[正]山本 達也・後藤 貴士・久保 圭吾

■鉄道(6) /10:25~11:55/今西 立彦(JR東海)

- VI-511 散水消雪区間のコンクリート鉄道橋におけるASR発生状況と対策工に関する検討／東日本旅客鉄道 [正]土田 詩織・阿部 雄太・大橋 暁  
 VI-512 鉄道橋りょうの横桁狭隘部に発生した変状と対策工／東日本旅客鉄道[正]円谷 翔  
 VI-513 炭素繊維シートによる補助工法を用いた鉄道RCボックス桁のひび割れ対策／東海旅客鉄道[正]萩谷 俊吾・上西 寿康  
 VI-514 BIMモデルから自動したFEM解析によるPRCランガー桁の解析的検討／東日本旅客鉄道[正]高島 いぶき・山本 達也・竹谷 勉  
 VI-515 超高強度繊維補強コンクリート(UFC)を用いた軽量桁の性能に関する一考察／東日本旅客鉄道[正]細川 良美・小林 寿子  
 VI-516 軌道点検について／大阪高速鉄道[正]森川 佳則・篠原 航大・大前 雄史  
 VI-517 トンネル内コンクリート道床更新時における一考察／東京地下鉄[正]小林 実・猪瀬 和也・赤松 学  
 VI-518 トンネルに施工された吹付けモルタルの維持管理に関する検討／西日本旅客鉄道[正]深野 雄三・西田 幹嗣・楨 健

VI-3 (幸町北8号館821講義室) /9月5日(木)

■鉄道(7) /8:40~10:10/神谷 弘志(東日本旅客鉄道)

- VI-843 トンネル近接施工に関する影響検討および管理体制の検討／東日本旅客鉄道[正]山本 亮・後藤 祐輝  
 VI-844 鉄道直下交差道路新設工事の工期短縮・工費削減／シーエヌ建設[正]丹間 泰郎・杉尾 伸一  
 VI-845 ダイアゲート池袋ビル建設に伴う駅構内での線路下横断地下道構築工事／西武建設[正]石原 康徳  
 VI-846 線路下横断工における函体内掘削時の工程短縮と計測管理／東海旅客鉄道[正]浅野 翔也・齋藤 力哉・高橋 幸宏  
 VI-847 線路下横断工事における放電破砕工法による支障物撤去／東鉄工業[正]高木 勇馬・紙尾 隆志・高瀬 誠司  
 VI-848 軌道トンネル坑口における止水鉄扉設置工事／鹿島建設[正]岡 直彦・渡邊 友崇・奥野 光弘  
 VI-849 地下鉄防振対策によるトンネル振動軽減効果の評価に関する研究／新潟大学[学]山田 壮太  
 VI-850 山岳トンネルで発生した路盤隆起の原因とその対策／東日本旅客鉄道[正]遠藤 大輔・梶谷 賢治

■鉄道(8) /10:25~11:55/伊藤 竜記(鉄道総合技術研究所)

- VI-851 スパイラル杭と高強度繊維補強床版を用いたホームドア基礎構造の提案／東急建設[正]野中 隆博・西岡 英俊・大塚 克也  
 VI-852 盛土式ホームにおける可動柵杭基礎への性能照査型設計の適用／東海旅客鉄道[正]大木 基裕・林 宏樹・舟橋 秀磨  
 VI-853 軽量盛土を使用した新駅整備計画について／東日本旅客鉄道[正]鈴木 裕二・庄司 裕紀  
 VI-854 発泡スチロール(EPS)による新駅の急速施工に関する施工技術／東鉄工業[正]熊谷 諭  
 VI-855 EPSによるプラットホームの構築／鹿島建設[正]葛尾 亮太・江口 元・石川 伸之  
 VI-856 プラットホーム先端タイルの張出長拡大に関する実験的検討／東日本旅客鉄道[正]池田 翔太・平尾 隆太郎・熊木 智宏  
 VI-857 張出歩道を用いたホーム新設／三軌建設[正]原 禎幸・沼館 克哉・西本 讓規  
 VI-858 曲線区間に存在するホームにおける過大離隔等の解消について／東日本旅客鉄道[正]荒澤 秀輔

■鉄道(9) /12:40~14:10/福岡 寛記(四国旅客鉄道)

- VI-859 営業線近接に於ける連続地中壁(TRD工法)の施工／東鉄工業[正]千葉 順仁  
 VI-860 軌道に近接したニューマチックケーソン基礎施工における影響遮断壁の有効性／西日本旅客鉄道[正]山本 健太郎・宮下 純平・長谷 秀明  
 VI-861 ソイルセメント杭に多量の遅延剤を用いる場合の添加量の設定事例／大林組[正]村上 賢治・鈴木 剛・山本 忠久  
 VI-862 鉄道高架橋下の低空頭狭隘条件での全周旋回機による場所打ち杭造成／鹿島建設[正]大西 諒・貞末 和宏・海沼 誠司  
 VI-863 鉄道盛土上における小口径回転圧入鋼管杭を用いた防音壁基礎の施工／西日本旅客鉄道[正]大和 三晃・飯島 正泰・猿渡 隆史  
 VI-864 特殊分岐器近傍での大口径場所打ち杭施工に関する検討について／東日本旅客鉄道[正]鈴木 徹也  
 VI-865 鉄道直下埋設管閉塞工事における注入吐出設備の施工について／東鉄工業[正]池内 政志・上澤 繁樹

- 鉄道(10) / 14:25~15:55 / 森 泰樹(西日本旅客鉄道)
- VI-866 軟弱地盤上の築堤に伴う鉄道構造物への影響解析 / 東日本旅客鉄道[正]牛木 隆匡・高橋 彰俊
  - VI-867 鉄道橋の桁撤去と透水性スラグモルタルによる盛土・路盤構築 / 東鉄工業[正]佐藤 豊
  - VI-868 空隙の大きな石積み擁壁の耐震補強工事における新しい注入材の実現場での適用性の確認 / 佐藤工業[正]鈴木 正朗
  - VI-869 営業線に隣接する土留壁の変状への対策の検討 / 西日本旅客鉄道[正]飯田 真治・橋本 哲朗・白石 藍子
  - VI-870 軌道高架化工事における仮線路盤構築への格子状補強シートの適用実績 / 鹿島建設[正]岡本 道孝・永谷 英基・田淵 哲也
  - VI-871 既設盛土一体化橋梁(インテグラル橋梁)工法の施工 / フジタ[正]宮嶋 真澄・岡本 浩資・平島 萌
  - VI-872 補強盛土一体橋りょうの施工時及び施工後の挙動 / 四国旅客鉄道[正]森 智志・合田 雄亮

- 鉄道(11) / 16:10~17:40 / 中村 貴久(鉄道総合技術研究所)
- VI-873 平成30年7月豪雨に伴う高山本線災害復旧 / 東海旅客鉄道[正]宮下 優也・新美 利典・守護 圭太・木村 宗平
  - VI-874 平成30年7月豪雨で被災した岩徳線盛土の応急・復旧対策 / JR西日本[正]森田 拓弥・大歳 正明・西田 幹嗣
  - VI-875 豪雨災害に伴う山陽本線の早期運転再開を目指した復旧盛土構造計画 / 西日本旅客鉄道[正]富田 佳孝・萬代 能久・富山 善史
  - VI-876 西日本豪雨により被災した鉄道河川橋脚の機能確認について / 西日本旅客鉄道[正]本田 正和・松本 英宣・横田 直倫
  - VI-877 JR東日本における落石災害と斜面管理の取組み / 東日本旅客鉄道[正]村岡 洋・小林 武史・池津 大輔
  - VI-878 レーダ雨量を活用した土石流発生危険度評価手法に関する検討 / 東海旅客鉄道[正]林 宏樹・新海 英昌・大木 基裕
  - VI-879 海岸護岸背面の陥没対策とその効果の検証 / 西日本旅客鉄道[正]高野 修壯・西田 幹嗣・楨 健

VI-4 (幸町北8号館822講義室) / 9月3日(火)

- 軌道保守(1) / 8:40~10:10 / 泉 英二(四国旅客鉄道)
- VI-218 低温時のロングレールの保守作業に伴うレール軸力の変化とレール内方変位の把握 / 鉄道総合技術研究所[正]玉川 新悟・西宮 裕騎・三原 輝久
  - VI-219 吊り上げ式レール軸力測定法におけるひずみ評価の効率化に関する検討 / 新潟大学[学]滝林 裕太・阿部 和久・紅露 一寛
  - VI-220 レール損傷時の軸力変動に伴う挙動確認試験 / 東日本旅客鉄道[正]板倉 真理佳・神津 大輔・久保 崇紀
  - VI-221 モニタリングデータを用いたロングレールの安全度管理に向けて / 東日本旅客鉄道[正]柳森 和真・斎藤 典孝・垂井 晃一
  - VI-222 分役レール撤去棒線化した箇所への張り出し事故防止に向けた検討 / 東日本旅客鉄道[正]安田 致敏・西藤 安隆・川村 彩智
  - VI-223 橋りょう用伸縮継目を用いた橋上ロングレール化の検討について / 九州旅客鉄道[正]安永 知生
  - VI-224 水噴霧装置によるレール伸長抑制効果 / 東京地下鉄[正]徳永 浩二・劔持 尚樹・米原 善秀
  - VI-225 TC型省力化軌道における緊張器取扱いの見直しに向けた取組みについて / 東日本旅客鉄道[正]山地 毅彦・池田 京・平尾 修一

- 軌道保守(2) / 10:25~11:55 / 咲村 隆人(東海旅客鉄道)
- VI-226 車上からの超音波によるレールの破断検知手法の検討 / 鉄道総合技術研究所[正]細田 充・水谷 淳・山本 隆一
  - VI-227 電食詳細検査による電食発生対策の一考察 / メトロレールファシリティーズ[正]後藤 洋次
  - VI-228 列車通過時にレール開口部に発生する軸箱振動加速度の特徴 / 鉄道総合技術研究所[正]相澤 宏行・細田 充・山本 隆一
  - VI-229 頭部摩耗レールに対応する頭部横裂測定器の開発 / 東日本旅客鉄道[正]石坂 佳祐・長谷 清・金子 真一
  - VI-230 モニタリング装置を活用したシェリング進展管理に関する研究 / 東日本旅客鉄道[正]臼井 瑛憲
  - VI-231 曲線内軌の中きしみ割れ発生メカニズムの検討と転動疲労試験機による再現試験 / 鉄道総合技術研究所[正]辻江 正裕・西村 英典・松井 元英
  - VI-232 超音波探傷を活用した伸縮継目細密検査非解体化の検討 / JR西日本[正]長谷田 貴士・狩野 修志・伊藤 大介
  - VI-233 除草剤を用いた線路内の雑草管理方法の改訂について / 九州旅客鉄道[正]谷川 光・湯ノ口 洋平・西川 貢

- 軌道保守(3) / 14:55~16:25 / 神津 大輔(東日本旅客鉄道)
- VI-234 ステレオカメラを活用した線路巡視支援システムの基礎技術の開発 / 鉄道総合技術研究所[正]川崎 恭平・清水 惇・齊藤 拓也
  - VI-235 列車巡視支援システムの開発検討について / JR九州[正]猿木 雄三・清水 惇・川崎 恭平
  - VI-236 道床検査システムによる軌道管理に関する研究 / 東日本旅客鉄道[正]矢ヶ崎 真也・高橋 奈津希・綾織 広晃
  - VI-237 レーザスキャナによる道床形状判定および軌道中心間隔算出手法の開発 / 鉄道総合技術研究所[正]清水 惇・川崎 恭平・長峯 望
  - VI-238 材料モニタリングデータを活用した新たなレール検査の手法の検証 / 東日本旅客鉄道[正]篠田 勝己・石坂 佳祐・平野 隆
  - VI-239 線路設備モニタリング画像の解析による軌道材料厚さの推測 / 東日本旅客鉄道[正]屋木 祥吾・塚田 祐士・西藤 安隆
  - VI-240 線路設備モニタリングデータを活用した継目板損傷の予兆検知の検討について / 日本線路技術[正]小林 聡一・糟谷 賢一・廣畑 翔介
  - VI-241 画像によるレール継目部の異常抽出技術の基礎的検討 / 西日本旅客鉄道[正]渡邊 達郎・藤原 武夫・近藤 英記

- 軌道保守(4) / 16:40~18:10 / 安藤 洋介(JR東日本)
- VI-242 新幹線大規模レール交換における機械化の取組み / 東鉄工業[正]榎本 健一
  - VI-243 北陸新幹線の貯雪構造区間における長尺レール交換 / 西日本旅客鉄道[正]吉田 昂史・和田 隆司・伊藤 旭
  - VI-244 分岐器両側介在ロングレール区間における伸縮継目を使用しない分岐器移設工法の検討 / 東日本旅客鉄道[正]石野 氏暁・堀 雄一郎
  - VI-245 道床安定剤による安定処理の有用性に関する検証 / 東日本旅客鉄道[正]埴山 直大・山口 剛志
  - VI-246 簡易弾性化シート工法の施工工法の改良に関する検討 / 九州旅客鉄道[正]森 裕昭・早瀬 亮
  - VI-247 ローカル線区における効果的なMTT施工方法の検討 / 九州旅客鉄道[正]豊里 亮喜・谷川 光・福山 幹康
  - VI-248 小型MTTによる軌道整備の効果検証 / 西日本旅客鉄道[正]池田 智史・瀬川 律文・林本 和也
  - VI-249 軌陸4頭TTを用いた効率的なつき固め方法の検討 / 大鉄工業[正]藤川 雄輝・松元 淳二・吉田 和宏

VI-4 (幸町北8号館822講義室) / 9月4日(水)

- 軌道保守(5) / 8:40~10:10 / 片山 雄一郎(四国旅客鉄道)
- VI-519 東海道新幹線のまくらぎ浮き管理手法 / 東海旅客鉄道[正]榎本 悠・川嶋 昭一
  - VI-520 東海道新幹線の鋼橋における桁応力低減に向けた取組み / JR東海[正]鞍馬 敦士・千田 耕大・矢田 太郎
  - VI-521 車体振動を用いた浮きまくらぎ検知手法の数値的検討 / 東京大学[学]久野 元・蘇 迪・長山 智則
  - VI-522 曲線区間の内外軌に発生したレール波状摩耗の位相関係の把握 / 鉄道総合技術研究所[正]梶原 和博・田中 博文
  - VI-523 騒音対策によるレール削正方法の検討 / 東日本旅客鉄道[正]百合野 晃大・亀田 政人・島谷 任克
  - VI-524 レール削正による波状摩耗の凹凸除去モデルの構築とレール削正効率の試算 / 鉄道総合技術研究所[正]田中 博文・梶原 和博・三和 雅史
  - VI-525 新幹線軌道における転動音が与える影響とその管理手法に関する研究 / 東日本旅客鉄道[正]大島 崇史・西山 晃平
  - VI-526 スベノ社製レール削正車によるレール削正の効率化の取組み / 西日本旅客鉄道[正]村上 邦宏・瀬川 律文

- 軌道保守(6) / 10:25~11:55 / 玉川 新悟(鉄道総合技術研究所)
- VI-527 多種路面に対応したクロッシング形状検出と評価方法についての研究 / 東京地下鉄[正]米原 善秀・渡邊 真一・徳永 浩二
  - VI-528 新幹線用レール鋼製ノーブ可動クロッシングのき裂進展解析 / 鉄道総合技術研究所[正]水谷 淳・及川 祐也・山本 隆一
  - VI-529 改良断面トングレール敷設による保守低減効果の検証 / 東海旅客鉄道[正]倉 源太・星 祐太・小林 幹人
  - VI-530 表面硬化マンガククロッシング敷設による材料延命の検討 / 東海旅客鉄道[正]石原 克弥・井上 陽一・小田 和彦
  - VI-531 転てつ機モニタリングデータを活用した分岐器不転換原因調査に関する一考察 / JR東日本[正]溝口 佳哉・中島 裕晋・堀 雄一郎
  - VI-532 2000形分岐器におけるボールベアリング設置位置の検討 / JR東日本[正]堀 雄一郎

- VI-533 特殊分岐器ふく進検査の測量機を用いた自動化による省力化と精度向上／東日本旅客鉄道[正]安藤 洋介・鈴木 拓海・宮崎 照久
- VI-534 高番数分岐器における分岐器調整作業方法の検討／東日本旅客鉄道[正]安藤 洋次郎・堀 雄一郎

VI-4 (幸町北8号館822講義室) / 9月5日(木)

■軌道保守(7) / 8:40~10:10 / 藪中 嘉彦(西日本旅客鉄道)

- VI-880 普通継目部における斜め構造化の基礎的検討／JR東日本[正]栗原 巧・神津 大輔
- VI-881 継目板ボルトの折損に対する耐久性の検討／九州旅客鉄道[正]木須 瞳・市原 正昭・榎並 志則
- VI-882 超音波法を用いた新幹線レール締結装置ボルトの軸力測定／西日本旅客鉄道[正]菅田 智也・川端 慎治・田中 恒平
- VI-883 非線形FEM解析による軌道パッド下面応力分布の算定／鉄道総合技術研究所[正]浦川 文寛・鈴木 実・弟子丸 将
- VI-884 レール高低調整用可変パッドの損傷低減対策品に関する検討／鉄道総合技術研究所[正]鈴木 実・栢田 吉弘
- VI-885 レール締結装置の動的繰返し載荷試験における構成部材の摩耗形態に関する一考察／鉄道総合技術研究所[正]本村 裕基・弟子丸 将・足立 博哉
- VI-886 構造物境界部におけるラダーマクラギによる動的変位抑制効果／鉄道総合技術研究所[正]箕浦 慎太郎・渡辺 勉・盛田 慶
- VI-887 凍害環境下におけるAE剤を使用していない経年PCまくらぎの性能評価／鉄道総合技術研究所[正]渡辺 勉・飯島 亨・盛田 慶

■軌道保守(8) / 10:25~11:55 / 堀籠 健(東日本旅客鉄道)

- VI-888 砕石流れ箇所の道床および路盤状態調査／東海旅客鉄道[正]本道 諒太・川崎 祐征・加藤 信二郎
- VI-889 新たな道床管理手法の提案及び噴泥対策工法の検討／四国旅客鉄道[正]片山 雄一郎・徳武 康一
- VI-890 弾性波(P波)速度を用いた鉄道バラストの剛性評価に関する研究／鉄道総合技術研究所[正]福中 力也・桃谷 尚嗣・中村 貴久
- VI-891 バラスト道床状態の音特性による評価方法に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所[正]中村 貴久・吉川 秀平・福中 力也
- VI-892 下負荷面モデルを用いた実物大バラスト軌道モデルの基礎的検討／鉄道総合技術研究所[正]木次谷 一平・中村 貴久・伊藤 孝記
- VI-893 EFFECTS OF FREEZE-THAW OF ROADBED AND SUBGRADE ON TRAIN VIBRATION AT HIGH-SPEED RAILWAY IN COLD REGIONS/Graduate School of Engineering, Hokkaido University [学]頼 昊・張 守龍・石川 達也
- VI-894 まくらぎ間隔の拡大に伴う道床横抵抗力特性の変化に関する基礎的検討／横浜国立大学[学]小山 詠美梨・早野 公敏・伊藤 孝記
- VI-895 橋台裏区間における編成車両走行時の軌道の動的応答解析／JR東海[正]川崎 祐征・本道 諒太・戸田 圭彦

■軌道保守(9) / 12:40~14:10 / 堀 雄一郎(東日本旅客鉄道)

- VI-896 低ばね化したs型弾直軌道の載荷試験による性能評価／鉄道総合技術研究所[正]吉川 秀平・高橋 貴蔵・桃谷 尚嗣
- VI-897 東北新幹線盛岡～八戸駅間スラブ軌道凍上対策／東日本旅客鉄道[正]堀籠 健・須藤 裕誠・平野 将人
- VI-898 積雪寒冷地におけるCAモルタルの損傷原因とその補修用材料に関する一検討／ニチレキ[正]高橋 成汰・三澤 祥文
- VI-899 トンネル海底部におけるてん充層の劣化度評価／西日本旅客鉄道[正]南里 卓洸・山根 寛史・津田 晃宏
- VI-900 単線トンネルにおける老朽化したスラブ板の交換施工について／東鉄工業[正]山本 裕太郎
- VI-901 TC型省力化軌道の有道床工事へのD・BOXの導入とモニタリングによる監視／東日本旅客鉄道[正]仁藤 雄基・山地 毅彦・柿崎 慎介
- VI-902 路盤改良を適用した既設線省力化軌道の変形特性に関する研究／鉄道総合技術研究所[正]伊藤 孝記・桃谷 尚嗣・木次谷 一平
- VI-903 砂路盤上におけるSFCてん充道床の適用に関する研究／鉄道総合技術研究所[正]湖上 翔太・高橋 貴蔵・中村 貴久

■軌道保守(10) / 14:25~15:55 / 森本 勝(東海旅客鉄道)

- VI-904 狭軌用牽引式軌道検測装置／日本線路技術[正]野口 泰介・栗原 宏幸

- VI-905 慣性センサを用いたハンディ軌道検測器の開発／東海旅客鉄道[正]新井 朋也・永沼 泰州
- VI-906 軌道構造を考慮した動的軌道変位分布と静的軌道変位分布の比較／鉄道総合技術研究所[正]石川 智行・坪川 洋友・三和 雅史
- VI-907 高頻度データを用いた列車動揺管理について／東日本旅客鉄道[正]杉村 歩・千葉 健介・齊藤 貴斗
- VI-908 従来の軌道管理手法における線路設備モニタリングデータの活用／東日本旅客鉄道[正]斎藤 典孝・谷田部 潤・小関 千代吉
- VI-909 軌道変位と列車動揺の位置合わせ手法に関する一考察／東日本旅客鉄道[正]山本 修平・元好 茂・久保 崇紀
- VI-910 異常値判定手法の改良による軌道変位推移予測プログラムの精度向上／鉄道総合技術研究所[正]須藤 雅人・大島 崇史・三和 雅史
- VI-911 高頻度データによる4級線の軌道変位進みの分析／東日本旅客鉄道[正]吉田 尚・元好 茂・久保 崇紀

■軌道保守(11) / 16:10~17:40 / 川崎 恭平(鉄道総合技術研究所)

- VI-912 長波長復元波形を活用した乗り心地管理の取り組み／東海旅客鉄道[正]木村 瞭太・北田 悟・小久保 将寿
- VI-913 マルタイによる原波形軌道狂いの改善／日本機械保線[正]菅原 拓也
- VI-914 絶対線形計測装置IMS3000を活用した軌道整備計画の策定／東日本旅客鉄道[正]石見 涼・齊藤 俊明・齋藤 俊祐
- VI-915 東北新幹線(小山試験線)保守困難箇所の解消に向けた取り組み／東日本旅客鉄道[正]篠瀬 和清・堀籠 健・小竹 章紀
- VI-916 MTT計画支援システム導入による効果と改善方法について／南海電気鉄道[正]小出 泰弘・赤松 崇智・坂口 佳隆
- VI-917 線路設備モニタリング装置を活用した軌道管理に関する取り組み／東日本旅客鉄道[正]佐藤 惇一・小堀 雄太
- VI-918 分岐器の長波長通り変位解消に向けた整備手法の検討(分岐器吊り上げ移動)／東日本旅客鉄道[正]今井 雄介・溝口 佳哉・小竹 里紗
- VI-919 5m弦を修正するためのマルタイ軌道整備システムの開発／東海旅客鉄道[正]前田 昌克・永沼 泰州

VI-5 (幸町総合教育棟 第11大講義室) / 9月3日(火)

■山岳トンネル(1) / 8:40~10:10 / 畝田 篤志(鹿島建設)

- VI-250 私市円山古墳の直下を通過する舞鶴若狭自動車道におけるII期線の超近接施工について／西日本高速道路[正]土井 翔悟・宮内 智昭・中畦 耕史
- VI-251 小土被りの脆弱地山における変位抑制対策の検討と施工に関する一考察／鴻池組[正]山田 浩幸・山本 浩志・北野 敬太
- VI-252 河川直下のトンネル掘削時の対策／西松建設[正]井内 厚志・永田 謙一郎・鈴木 健
- VI-253 小土被り部における早期閉合掘削時の縦断方向地表面沈下曲線についての一考察／西松建設[正]鈴木 健・大谷 達彦・林 久資
- VI-254 小土被り強風化花崗岩地山における配水池近傍での近接施工／鉄建建設[正]舟橋 孝仁・濱田 宏・唐戸 裕二
- VI-255 坑口形状の変更による地すべり対策について／西松建設[正]竹山 真吾
- VI-256 坑口部に分布する岩屑流堆積物区間における補助工法の施工実績／西松建設[正]梅田 和明・跡部 芳昭・諏訪 至
- VI-257 地すべり多発地域における供用線トンネル掘削に関する一考察／熊谷組[正]嶋田 浩一・松本 壮太郎・松本 晃市郎

■山岳トンネル(2) / 10:25~11:55 / 服部 明彦(ウエスコ)

- VI-258 鋼製インバート支保工を用いた内空変位抑制と沈下対策の効果について／安藤ハザマ[正]池村 幹生
- VI-259 付加体におけるトンネル掘削の安定対策／前田建設工業[正]金子 和己・上村 正人・野田 力
- VI-260 ルーズな堆積土砂部におけるトンネル掘削の施工事例／前田建設工業[正]松澤 郷至・林 敦史
- VI-261 41mの埋戻土直下の未固結地山を土被り22mで掘削(その1)―事前FEM解析による支保パターンの検討―／岩田地崎建設[正]中島 慶介・高根 大輔・五十嵐 大希
- VI-262 41mの埋戻土直下の未固結地山を土被り22mで掘削(その2)―掘削状況と計測結果―／熊谷組[正]五十嵐 大希・高根 大輔・中島 慶介
- VI-263 未固結地山における扁平大断面トンネルの施工／大成建設[正]大西 吉実・川野 雄毅・久保 圭史
- VI-264 熊本57号災害復旧二重峠トンネル(大津工区)工事における掘削工程短縮について／清水建設[正]藤田 知大・東島 栄司
- VI-265 二重峠トンネル(大津工区)工事における既設県道直下の施工について／清水建設[正]郡司 恭志・東島 栄司・金岡 幹



- 山岳トンネル(3) / 14:55~16:25 / 安井 成豊(施工技術総合研究所)
- VI-266 中断面長大トンネルにおける掘削ズリ搬出の改善/四国地方整備局[正]谷村 昌史・毛利 浩徳・阿部 浩之
- VI-267 新幹線断面における効率的な山岳トンネル構築への取り組み/熊谷組 [正] 米谷 裕樹
- VI-268 狭隘な長大トンネルでの連続ベルコンの適用/大林組 [正] 宮越 晃大・西村 長嗣・玉野 達
- VI-269 急速施工用インバート栈橋の開発と現場導入/鉄建建設 [正]杉田 崇・宇田 誠・植村 義幸
- VI-270 小断面山岳トンネル掘削における湧水対策/大林組[正] 岡崎 雄一・高橋 佳孝・古市 圭典
- VI-271 矢板工法トンネルにおける出水対策/西松建設[正]寺西 淳次・大谷 達彦・祖父江 久徳
- VI-272 多数の断層破碎帯を有するトンネルの施工/鴻池組[正] 若林 宏彰・川岸 鳳耶・木村 圭吾
- VI-273 大量湧水を伴う風化花崗岩におけるトンネル施工実績/鹿島建設[正]杉本 康平・高原 英彰・本田 宣之

- 山岳トンネル(4) / 16:40~18:10 / 斎藤 有佐(大林組)
- VI-274 温度調整機能付きコンクリートプラントについての一考察/五洋建設[正]大森 慎敏・山本 正治・油谷 晃佑
- VI-275 液体急結剤を用いた乾式コンクリート吹付け実験結果とその適応性の評価/清水建設[正]林 悟史・末田 将大・鈴木 正憲
- VI-276 ターゲット自動認識法によるDigital出来形測量精度/清水建設[正]遠藤 大治・大川了・西田 匡志
- VI-277 球面切羽全断面工法トンネルの力学挙動特性/清水建設 [正]寺尾 創・大川了・西田 匡志
- VI-278 山岳トンネルDigital出来形測量の試行/西日本高速道路 [正]山中 慎也・信永 博文・木村 厚之
- VI-279 山岳トンネルDigital出来形測量の計測誤差/清水建設[正] 山本 将・信永 博文・山中 慎也
- VI-280 Digital出来形測量による山岳トンネル吹付け厚評価方法/清水建設[正]谷村 浩輔・藤田 一宏・奈良 久
- VI-281 切羽掘削形状モニタリングシステムの開発/西松建設 [正]山本 悟・三井 善孝・高橋 将史

VI-5 (幸町総合教育棟 第11大講義室) / 9月4日(水)

- 山岳トンネル(5) / 8:40~10:10 / 淡路 動太(清水建設)
- VI-535 山岳トンネルの斜坑・本坑交差部における設計・施工について/西松建設[正]中谷 真英・鈴木 晴美・梅田 克史
- VI-536 山岳トンネルにおける2切羽同時施工のための計画/佐藤工業[正]山口 和也・吉野 隆之・馬庭 宏光
- VI-537 岩盤中での発破振動の伝搬に関する実測例/飛鳥建設[正] 小林 真人・兼松 亮・川端 康夫
- VI-538 狭小トンネルへの発破超低周波音消音装置の適用/飛鳥建設[正]菅原 健・藤本 克郎・岩根 康之
- VI-539 制御エリアを限定したANCによるトンネル発破音の低減効果/フジタ[正]阿部 将幸・野間 達也・小谷 朋央貴
- VI-540 発破掘削の低周波音に着目した防音扉の改造/奥村組 [正]三澤 孝史・高村 浩彰・稲留 康一
- VI-541 凝灰岩地山の山岳トンネルにおける周辺環境を考慮した最適な掘削方法の選定と実施/大林組[正]後藤 尚貴・伊藤 智治・玉野 達
- VI-542 電気雷管の発火温度とジャミング時の孔内温度について/安藤・間[正]鈴木 雅行・円城 篤志

- 山岳トンネル(6) / 10:25~11:55 / 砂金 伸治(首都大学東京)
- VI-543 矢板工法トンネルの点検管理のポイント/中日本高速道路 [正]山崎 哲也・八木 弘
- VI-544 矢板工法トンネルの覆工再生に向けたリニューアル工法の検討/中日本高速道路[正]鈴木 俊雄・中村 純・岩井 清彦
- VI-545 既設トンネルの断面を拡大する掘削における断面位置に関する解析的検討/土木研究所[正]長谷川 慶彦・日下 敦・小出 孝明
- VI-546 既設トンネル覆工における繊維シート接着工の配置パターンに関する一考察/ドボクリエイト[正]森本 真吾・岡部 正・五味 綾子
- VI-547 CIMを活用した水路トンネル接続部の施工シミュレーションおよび施工実績/鹿島建設[正]北村 義宜・高田 丈夫・紺野 勝之
- VI-548 小断面トンネルにおける液体急結剤を用いた乾式吹付けコンクリート施工実績/鹿島建設[正]紺野 勝之・柳沼 良明・高田 丈夫
- VI-549 供用中の高速道路における山岳トンネルのインバート設置工事について一北陸自動車道正善寺トンネル補強工事一/鉄建建設[正]植村 義幸・加藤 真一・宇田 誠

- VI-550 変状トンネルにおける初期応力測定の実用に関する考察/フジタ[正]村山 秀幸・新井 智之・児玉 淳一

VI-5 (幸町総合教育棟 第11大講義室) / 9月5日(木)

- 山岳トンネル(7) / 8:40~10:10 / 橋 直毅(中央復建コンサルタンツ)
- VI-920 ベアリングプレートの変形に基づくロックボルトの軸力推定手法に関する基礎実験/安藤・間[正]黒竹 光輝・辰巳 順一・野間 康隆
- VI-921 「高速・高剛性ボルト(高高ボルト)システム」の開発/カテックス[正]安田 耕治・足立 忠彦・水谷 和彦
- VI-922 「高速・高剛性ボルト(高高ボルト)システム」の開発一高压大量湧水を想定した室内模型試験一/カテックス[正]岩本 昭仁・足立 忠彦・水谷 和彦
- VI-923 「高速・高剛性ボルト(高高ボルト)システム」の開発一現場適用事例一/前田建設工業[正]水谷 和彦・金子 和己・足立 忠彦
- VI-924 耐酸性セメントを用いたロックボルト定着材の基本物性および試験施工/奥村組[正]廣中 哲也・米倉 亜州夫・倉田 桂政
- VI-925 可動式研磨ディスクを用いた吹付けコンクリート面の平滑化/安藤ハザマ[正]日向 哲朗・稲葉 秀雄・湯本 健寛
- VI-926 薄肉化した高強度鋼管を用いた新AGF工法の開発/大林組 [正]伊藤 哲・斎藤 有佐
- VI-927 3次元数値解析に基づく先受け工の効果に関する考察/首都大学東京[学]佐藤 優弥

- CIM (1) / 10:25~11:55 / 北原 剛(大成建設)
- VI-928 港湾におけるCIMの活用と展望/東洋建設[正]中嶋 道雄・前田 康利・安達 昭宏
- VI-929 上部工下部工接合部検討での3Dモデル活用とその発展について/五洋建設[正]寺村 和久・琴浦 毅
- VI-930 フルプレキャスト方式による共同溝内部構築工/戸田建設 [正]堀 昭・藤井 豊・仲野 弘識
- VI-931 施工管理におけるVR技術およびCGアニメーションの活用について/清水建設[正]小野澤 龍介・原 忠・前田 俊宏
- VI-932 CIMを活用した掘進シミュレーションシステムの実用/鹿島建設[正]衛藤 優・石原 泰幸・大林 信彦
- VI-933 CIMを活用した橋梁上部工事における施工の効率化について/IHインフラ建設[正]若林 良幸・中村 定明・保田 敬一
- VI-934 水門工事におけるCIMモデル活用の事例/鴻池組[正]宇都 本 彰夫・後藤 宇・井ノ崎 郁弥
- VI-935 連携型データプラットフォームによる情報共有の取組み/鹿島建設[正]上田 純広・山沢 哲也・大家 史

- CIM (2) / 12:40~14:10 / 片山 政弘(熊谷組)
- VI-936 ダム建設事業における設計・施工情報を考慮したCIMの適用事例/八千代エンジニアリング[正]齋藤 康宏・伊藤 優太・中野 裕之
- VI-937 設計段階の重力式コンクリートダムにおけるCIM導入に対する課題/八千代エンジニアリング[正]伊藤 優太・中野 裕之・齋藤 康宏
- VI-938 タブレットおよび電子小黑板使用によるトンネル施工管理の生産性向上/大成建設[正]久原 岳・今中 晶紹・笹西 孝行
- VI-939 併設トンネルの地質情報統合のための三次元モデル化/フジタ[正]新井 智之・村山 秀幸・丹羽 廣海
- VI-940 HoloLensによる建築限界表示に関する実験的検討/東日本旅客鉄道[正]石田 将貴・井口 重信・高見澤 拓哉
- VI-941 乗換線橋桁架設計画における3Dモデルの活用/JR東日本[正]上山 裕太・吉田 直人・三瓶 晃弘
- VI-942 鉄道高架化工事におけるBIM/CIMの活用/鹿島建設[正]森口 智聡

- CIM (3) / 14:25~15:55 / 佐藤 靖彦(西松建設)
- VI-943 SMC-GeoCIMの開発と施工現場への適用/三井住友建設 [正]湖山 美鈴・永友 大彰・安田 泰
- VI-944 道路土工へのICT全面活用一山田町震災復興事業での事例一/大林組[正]山中 孝文・西 彰一・山中 哲志
- VI-945 3次元微動アレイ探査を用いたBIM/CIM地質モデルの作成事例/応用地質[正]新清 晃・小西 千里・花岡 俊久
- VI-946 工事進捗に伴う効率的な統合進捗3次元モデルの構築/パスコ[正]矢尾板 啓・瀬戸 康平・宮田 岩往
- VI-947 法面における3次元モデルの施工管理及び維持管理への活用/日特建設[正]藤田 哲・宇次原 雅之
- VI-948 建設現場におけるBIM/CIMモデルの新たな活用/清水建設[正]増田 亜由子・荒木 尚幸・柳川 正和
- VI-949 3次元点群モデルのFEMデータへの変換手法に関する一検討/北見工業大学[学]鈴木 紗苗・宮森 保紀・齋藤 剛彦

VI-950 ARによる三次元FEM解析結果の可視化／鹿島建設[正]  
山口麗華・上田純広・山沢哲也

■CIM (4) /16:10~17:40/後閑 淳司(鹿島建設)

VI-951 TLSによる土留の出来形確認の実用性検証／安藤・間[正]  
田邊卓・石濱裕幸  
VI-952 簡易レーザースキャナ(BLK360)の土木工事への適用性検証／安藤・間[正]篠原隆士・山岸真理・田邊卓  
VI-953 スキャナ計測作業効率化のための多機能ターゲットの考案／安藤・間[正]山岸真理・篠原隆士・石濱裕幸  
VI-954 UAV空中写真測量における新技術活用の効果検証の事例／西松建設[正]湊康裕・田中勉・佐藤靖彦  
VI-955 JRE-BIMの取り組みについて／東日本旅客鉄道[正]竹市八重子・藤川昌也  
VI-956 無電柱化工事における3次元可視化データを活用したICT施工技術／大成ロテック[正]瀧口高・若狭昇太・草薙博明  
VI-957 UNREALエンジンを使用したパイプ・イン・パイプ工法における鋼管挿入の接触検討／東急建設[正]太田啓介・水井隆之

VI-6 (幸町総合教育棟 多目的室1) /9月3日(火)

■建設マネジメント(1) /8:40~10:10/今石 尚(大成建設)

VI-282 海外建設プロジェクトにおける契約管理手順に関する一考察／ティーネットジャパン[正]鈴木信行  
VI-283 復興CM方式のマネジメントの成果山田町震災復興事業での例／大林組[正]西彰一・谷和男  
VI-284 事業促進PPPの業務「見える化」の試み①～現状の課題と業務記録簿の改善～／大林組[正]川上季伸・島田浩樹・光谷友樹  
VI-285 事業促進PPPの業務「見える化」の試み②～集計結果と活用の試み～／国土技術政策総合研究所[正]島田浩樹・川上季伸・光谷友樹  
VI-286 設計・施工との独立を基本とする事業監理業務の課題と改善に関する一考察／国土技術政策総合研究所[正]中洲啓太・島田浩樹・光谷友樹  
VI-287 建設・環境系問題においてポートフォリオマネジメント導入による安全文化向上に関する一考察／アジア共同設計コンサルタント[正]下池季樹  
VI-288 海外工事における紛争処理条項の重要性についての一考／前田建設工業[正]酒井照夫

■建設マネジメント(2) /10:25~11:55/永田 尚人(熊谷組)

VI-289 公有地活用PPPにおけるリスク回避手法としての使用貸借契約の活用に関する提案／建設技術研究所[正]中島裕之  
VI-290 アジア各国における建設業の労働災害の傾向／労働安全衛生総合研究所[正]大幢勝利・高橋弘樹・吉川直孝  
VI-291 土木構造物のリスクマネジメントにおける保険の導入についての調査と一考察／鉄道総合技術研究所[正]大屋戸理明・渡辺健・西岡英俊  
VI-292 藤沢市における効率的な道路陥没防止手法の研究結果の報告(官学産共同研究)／藤沢市[正]西山博光・横手寛紀・張ヶ谷昌彦  
VI-293 藤沢市道における効果的な道路陥没防止手法(官学産共同研究)一空洞モニタリング結果からの考察～／ジオ・サーチ[正]藤井邦男・北村和利・小島佳幸  
VI-294 藤沢市道路陥没ポテンシャルマップの開発(官学産共同研究)／東京大学生産技術研究所[正]瀬良良子・平田良祐・山本陽子  
VI-295 設計段階からの安全衛生への配慮に関する世界の動向／労働安全衛生総合研究所[正]豊澤康男・大幢勝利・吉川直孝  
VI-296 トンネル掘削時の発破音と弾性波による切羽状況のリスク評価手法について／安藤ハザマ[正]大沼和弘・中谷匡志

■建設マネジメント(3) /14:55~16:25/松本 江基(安藤・間)

VI-297 中部横断自動車道下部温泉早川IC～六郷ICにおける工事からのフィードバック～設計から供用開始まで効率的に行うために～／中日本高速道路[正]菅浩亮・篠田貴・星野実  
VI-298 新規施設での公共施設等運営事業の統合分析によるスキーム検討／パシフィックコンサルタンツ[正]大西智樹・宮本和明  
VI-299 我が国建設産業のコスト管理に関する研究／大成建設[正]野村栄治・皆川勝・五艘隆志  
VI-300 北海道のコンクリート橋梁における判定区分を用いた劣化予測／岩田地崎建設[正]河村巧・須藤敦史・佐藤京  
VI-301 公共事業の受発注者間の問題に関する受注者アンケートについて／建設技術研究所[正]堀仁・木下誠也・畔柳耕一

VI-302 公共事業発注者の事業執行力・遂行力に関するアンケートについて／地球温暖化防止全国ネット[正]松本美紀・木下誠也・関健太郎  
VI-303 公共事業の課題解決に対する幾何公差の適用の提案／国土基盤モデル研究会[正]城古雅典・森脇明夫・宮本勝則

■建設マネジメント(4) /16:40~18:10/川上 季伸(大林組)

VI-304 道路施設の対策評価に影響を及ぼす要因～道路施設点検データを活用して～／西部技術コンサルタント[正]田邊信男  
VI-305 作業所内におけるToDoタスク管理について／小野組[正]小池裕介  
VI-306 橋梁の修繕設計の品質確保に関する検討／国土技術研究センター[正]小宮朋弓・小島実・山本正嗣  
VI-307 建設発生土の有効かつ適正利用促進のためのトレーサビリティシステムの開発(その2)／先端建設技術センター[正]高野昇・新妻弘章・大竹利幸  
VI-308 CPSの概念を導入した土木技術開発手法について(その1)～CPSの概念を土木技術開発に導入する取り組み概要～／大成建設[正]名合牧人・青木浩章・片山三郎  
VI-309 CPSの概念を導入した土木技術開発手法について(その2)～AI画像処理技術を活用した施工状況のデジタル化～／大成建設[正]石井喬之・名合牧人  
VI-310 CPSの概念を導入した土木技術開発手法について(その3)～作業の自動化を行う判断指標としての作業強度の定量評価～／大成建設[正]高井賢・名合牧人・Groud Julien  
VI-311 CPSの概念を導入した土木技術開発手法について(その4)～建機自動化開発におけるシミュレーション技術の有効性について～／大成建設[正]畠山峻一・名合牧人・青木浩章

VI-6 (幸町総合教育棟 多目的室1) /9月4日(水)

■建設マネジメント(5) /8:40~10:10/宮田 和(清水建設)

VI-551 プレキャストコンクリート製品の活用促進に向けた調査・検討／国土技術研究センター[正]山本正嗣・小宮朋弓・市村靖光  
VI-552 新人教育における建設産業全体像に関する説明資料／高島テクノロジーセンター[正]和久昭正  
VI-553 アセットマネジメント推進に向けた分野横断・一体的な体制整備に関する一考察／八千代エンジニアリング[正]山本浩貴・野田一弘・渡辺憲吾  
VI-554 建設業に携わる建設技術者数の将来推計と需給予測／建設経済研究所[正]三石真也・越智雄士・笠原由加里  
VI-555 作業所における情報共有システムの提案／大成建設[正]小林雅幸・荻野正貴・原山之克  
VI-556 意識改革とICT活用による施工管理業務の働き方改革に関する一考察／前田建設工業[正]笹倉伸晃・笠井陽介・小泉伸之  
VI-557 新技術地域実装を担うスーパー道守構想／長崎大学[正]高橋和雄・松田浩  
VI-558 地域の建設技術者の役割とその教育／東北工業大学[正]今西肇・小野貴史

■建設マネジメント(6) /10:25~11:55/嵩 直人(鹿島建設)

VI-559 BIM/CIMモデルを用いた供用中高速道路に近接する構造物の計画検討／清水建設[正]石井佳枝・唐澤剛・浅野実海  
VI-560 海の森水上競技場におけるポート・カヌーコースの展張システム／大成建設[正]清水剛・福原哲・安川武志  
VI-561 岩手県大槌町安渡地 冠水被害対策／前田建設工業[正]前田篤志  
VI-562 事業実施後に発現した多様なストック効果の事例分析／国土技術政策総合研究所[正]後藤和彦・鈴木貴大・中洲啓太  
VI-563 施工段階の実施状況を踏まえた技術提案・交渉方式の適用効果について／国土技術政策総合研究所[正]石本圭一・光谷友樹・島田浩樹  
VI-564 技術提案・交渉方式技術協力・施工タイプの効率的な実施に向けた検討／国土技術政策総合研究所[正]光谷友樹・中洲啓太・石本圭一  
VI-565 橋梁修繕事業における設計者と施工者が各段階で連携を図る契約方式の検討／建設コンサルタンツ協会[正]万名克実・鈴木泰之・笠原勝人  
VI-566 調査・設計等業務における入札環境を踏まえた統計分析／国土技術政策総合研究所[正]鈴木貴大・菊田友弥・中洲啓太

- 建設環境(1) / 8:40~10:10 / 伊藤 達也(熊谷組)
- VI-958 鉱山跡地管理工事における大規模法面緑化対策 / 大林組 [正] 榎原 直樹・鳥居 雅規・山縣 三郎
- VI-959 鉱山跡地管理工事における雨水放流ルートの高pH対策 / 大林組 [正] 眞武 俊輔・榎原 直樹・杉本 英夫
- VI-960 生活圏に存在するため池における底質の除染と放射性物質対策 / 東洋建設 [正] 實久 和彦・松尾 秀一・宮原 和仁
- VI-961 乾式磁力選別処理による重金属等を含むトンネル掘削土の処理事例 / DOWAエコシステム [正] 吉 俊輔・友口 勝・高橋 康朗
- VI-962 AR (拡張現実) を活用した汚染土壌の掘削管理技術 / 大林組 [正] 佐波 弘一郎・竹崎 聡・田島 僚
- VI-963 プロペラ式湖水浄化装置による貧酸素水域の改善効果について(その2) / ゼニヤ海洋サービス [正] 川本 靖行・西田 秀紀・稲田 精一
- VI-964 処分場におけるICTを活用した遮水工施工管理ツールの開発 / 大成建設 [正] 野本 裕・海老原 正明・大久保 英也
- VI-965 中海浚渫地環境修復事業での石炭灰造粒物(Hiビーズ)による覆砂工事の施工について / 中国電力 [正] 栗原 優一・清重 直也・中本 健二

■建設環境(2) / 港湾・海洋構造物 / 10:25~11:55 / 伊藤 一教 (大成建設)

- VI-966 福島第一原子力発電所土木工事における石炭灰活用の取組(その1 設計編) / 東京電力HD [正] 増井 香織・藤田 純一・坂本 守
- VI-967 福島第一原子力発電所土木工事における石炭灰活用の取組(その2 施工編) / 安藤ハザマ [正] 高木 亮一・田所 治・増井 香織
- VI-968 福島第一原子力発電所土木工事における石炭灰活用の取組(その3 品質管理編) / 東京電力HD [正] 河原 忠弘・古川 園 健朗・坂本 守
- VI-969 福島第一原子力発電所土木工事における石炭灰活用の取組(その4 物性編) / 安藤ハザマ [正] 室山 拓生・坂本 守・増井 香織
- VI-970 大規模な養浜工事の施工と品質管理 / 鹿島建設 [正] 荻野 博史・伊丹 洋人
- VI-971 大規模な養浜工事における汚濁防止フェンス等による濁水流出対策 / 鹿島建設 [正] 伊丹 洋人・荻野 博史・酒匂 智彦
- VI-972 大規模な養浜工事における水面浮体型ドローンを活用した濁度計測 / 鹿島建設 [正] 山本 克則・秋山 完幸・荻野 博史
- VI-973 ケーソン岸壁の上部工における潮待ち作業短縮工法 / 東洋建設 [正] 谷田部 拓・深水 克博・坂本 一真

■港湾・海洋・河川 / 12:40~14:10 / 野田 和久(大林組)

- VI-974 多軸式特殊台車を使用した大型クレーンの運搬 / 大成建設 [正] 平野 純也・奥貫 孝佳
- VI-975 空港制限区域内における大口径鋼管杭の打設 / 大成建設 [正] 高山 隼斗・高木 宏彰・平川 智也
- VI-976 棧橋改良における一部プレキャスト化に関する取り組み / 四国地方整備局 [正] 松田 智太
- VI-977 大規模揚炭棧橋新設工事のプレキャスト化について / 大成建設 [正] 山岡 大祐・野勢 辰也・服部 真未子
- VI-978 現場ヤード内で大量製造したプレキャスト埋設型枠の品質および出来形 / 鹿島建設 [正] 関 健吾・荒波 光貴・工藤 匡貴
- VI-979 臨海部の鋼管杭打設における連結継手部の性能確保について / 鹿島建設 [正] 小澤 一喜・酒匂 智彦・高村 尚
- VI-980 ガンサイザー<sup>®</sup>による、津波被害を受けた防波堤の解体工法 / 日本工機 [正] 村田 健司・米澤 新・鹿住 孝
- VI-981 タワーポンツーン工法による国内最長沈埋函の沈設実績 / 鹿島建設 [正] 西尾 章・小沢 栄治・水田 博昭

■海外工事 / 14:25~15:55 / 西嶋 岳郎(安藤・間)

- VI-982 シンガポールにおける初の凍結施工その2—SCLトンネル施工— / 大成建設 [正] 山名 陵太・多田 博光・小椋 浩
- VI-983 シンガポールにおける初の凍結施工その1—計画から凍土造成まで— / 精研 [正] 小椋 浩・多田 博光・竹田 智
- VI-984 張出し架設工法によるエクストラードズ橋の施工 / 東急建設 [正] 作田 大幸・鈴木 晴久・山川 卓也
- VI-985 ボックスカルバート型函体沈設による発電所冷却水放水路の施工 / 大成建設 [正] 杉本 悠・岡原 義典・鶴橋 宏昌
- VI-986 海外での圧入工法の活用事例: 油圧式杭圧入引抜機のZ形鋼矢板への適用 / 技研製作所 [正] 山口 雅史
- VI-987 海外の軟弱地盤改良工における受発注者間の地盤リスク負担に関する一事例 / 大成建設 [正] 大岡 晃・木之下 聡・石井 裕泰
- VI-988 逆巻き工法における鋼製切梁支保工からセミRC床版への

- GPS・リモートセンシング / 16:10~17:40 / 黒台 昌弘(安藤・間)
- VI-989 ダイナミックマップと道路基盤地図情報とを組み合わせた道路交通分析に適した大縮尺道路地図の調製手法に関する一考察 / アジア航測 [正] 田中 拓也・今井 龍一・谷口 寿俊
- VI-990 山間部建設現場における衛星測位シミュレーション(その1) —ダム建設現場におけるレイトレス解析— / 前田建設工業 [正] 工藤 新一・河野 浩之・秤谷 嘉明
- VI-991 山間部建設現場における衛星測位シミュレーション(その2) —簡易かつ高精度なシミュレーションによる予測— / 構造計画研究所 [正] 江森 洋都・古川 玲・吉敷 由起子
- VI-992 工事車両運行実績データの見える化・分析・活用方法—新桂沢ダムの原石運搬道路での実施事例— / 鹿島建設 [正] 中村 泰広・有坂 壮平・天野 和洋
- VI-993 小型軽量2周波NTRIPシステムの基礎性能実験 / 群馬工業高等専門学校 [正] 先村 律雄・半谷 一晴・小林 雅人
- VI-994 ICT土工における過転圧防止に関する実証的考察 / 砂子組 [正] 成田 憲昭・廣上 伸二・田尻 太郎
- VI-995 RTK搭載ドローンを用いたGCP点数削減に関する実験的研究 / 砂子組 [正] 八戸 政人・丹野 宏柄・山本 公志

VI-7 (幸町総合教育棟 第21大講義室) / 9月3日(火)

■リニューアル(1) / 8:40~10:10 / 熊坂 徹也 (オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-312 市町村が管理する劣化・損傷を伴う特殊な構造橋梁の対応措置について / 近畿建設協会 [正] 和田 實・古市 亨・杉本 直人
- VI-313 目安箱による市町村が管理する既設橋梁の維持管理支援—奈良県東吉野村への支援事例— / 災害科学研究所 [正] 東山 浩士・和田 寛・浦田 和弥
- VI-314 AHPによる利用者と管理者の2視点に基づく補修優先順位付けに関する研究 / 福島工業高等専門学校 [正] 江本 久雄・猪狩 吉弘
- VI-315 ある重交通路線の橋梁損傷と維持管理に際しての一考察 / エイト日本技術開発 [正] 中村 圭秀・小野 和行
- VI-316 道路構造物の点検に用いる撮影画像に対する一考察 / 中日本ハイウェイエンジニアリング東京 [正] 大窪 克己・日野 潤太郎
- VI-317 トンネルLED照明の適正な清掃頻度の検討 / 本州四国連絡高速道路 [正] 清水 一生・吉本 紀一・西野 晋二
- VI-318 継続的な橋梁維持管理を見据えた直営補修の検討 / 上山市 [正] 柏倉 義誉・武田 秀人・皆川 浩
- VI-319 橋りょうメンテナンスの取り組みについて / 神奈川県小田原市役所 [正] 千石 武史・曾根 浩樹・佐野 俊祐

■リニューアル(2) / 10:25~11:55 / 田辺 重男(安藤・間)

- VI-320 鋼鉄道橋に施工した耐火塗料の暴露試験体の燃焼試験について / ジェイアール東海コンサルタンツ [正] 門田 祐一郎・向井 天・桑原 幹雄
- VI-321 耐火塗料施工後7年が経過した鋼鉄道橋の塗膜状態の評価 / 東海旅客鉄道 [正] 向井 天・加藤 千博・桑原 幹雄
- VI-322 鋼鉄道橋の耐火塗料施工箇所における補修工法の省工程化について / 大日本塗料 [正] 桑原 幹雄・尾田 光・向井 天
- VI-323 中国地方の高速道路の橋梁部遮音壁劣化状況を踏まえた遮音板の一検討 / 西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 高砂 圭司・中井 拓郎
- VI-324 景観に配慮した断面補修材の適用事例 / 千代田コンサルタント [正] 大淵 将宏・水谷 智充・新倉 徹也
- VI-325 神崎川河口部付近における鋼矢板護岸の腐食調査 / 日本インシーク [正] 安井 章雄・向本 敏美・高橋 昇三
- VI-326 孔食が生じた鋼板のリップ付き当て板による補修方法に関する実験的検討 / 五洋建設 [正] 王 涛・谷口 修・内藤 英晴
- VI-327 大馬門橋補剛桁への接近設備の改善 / 本州四国連絡高速道路 [正] 清原 一宏・松尾 俊宏・松葉 真人

■リニューアル(3) / 14:55~16:25 / 青木 峻二(大林組)

- VI-328 地下鉄トンネルにおける塩害対策区間の劣化状況に関する一考察 / メトロレールファシリティーズ [正] 武藤 義彦・工藤 啓士朗・小松 正典
- VI-329 地下鉄トンネルにおける塩害対策補修方法の一考察 / メトロレールファシリティーズ [正] 谷田 剛史・篠原 大輔・田口 真澄
- VI-330 地下鉄開削トンネルにおける塩害補修工法の防食効果持続性の検討 / 東京地下鉄 [正] 田口 真澄・諸橋 由治・瀬戸 岳史
- VI-331 開削トンネル下層路盤における湧水対策 / 阪神高速道路 [正] 加瀬 駿介・杉岡 弘一・星住 哲也

- VI-332 二次製品パネルを用いた水路トンネルにおける底盤修繕の検討／東日本旅客鉄道[正]竹内 洋介・川崎 淳・岡澤 亮太
- VI-333 小田急小田原線他社営業線に近接した跨線橋橋台および盛土の耐震補強計画／西松建設[正]土屋 光弘・兜 俊彦・早川 雄馬
- VI-334 湾岸線土工部における地盤改良の対策効果確認手法の検討／首都高速道路[正]杉原 航平・数本 篤・阿部 昂祐
- VI-335 首都高速1号羽田線更新工事鮫洲埋立部の函体施工概要／三井住友建設[正]谷口 博胤・小島 直之・大西 孝典

■リニューアル(4)／16:40～18:10／久保 雅敬(四国建設コンサルタント)

- VI-336 紫外線硬化型ポリエステル樹脂製GFRPシートを接着した鋼材の引張強度特性／建設技術研究所[正]光川 直宏・長尾 剛・高橋 修
- VI-337 コンクリート構造物の点検時の緊急補修材(簡易補修スプレー)の開発／東日本旅客鉄道[正]久保原 猛・北川 一希・太田 雅人
- VI-338 老朽化が著しい既設鋼管に対する構造的安全性評価手法／東急建設[正]水井 隆之・田中 悠一・野口 聡
- VI-339 PC鋼棒にテーパ型ナットを取付けたあと施工アンカーにおける充填状態を変化させた引抜試験／サンコーテクノ[正]藤井 保也・今井 清史・新村 哲太郎
- VI-340 鋼鉄道橋支承部におけるアクリル樹脂注入工法による補修の効果／東日本旅客鉄道[正]石澤 俊希・横井 太一・吉倉 智宏
- VI-341 塗膜防水材を用いた吹付けリニューアル工法の開発その1 剥落防止性能など基礎物性に関する検討／大成建設[正]橋本 貴之・大塚 勇・澤田 幸平
- VI-342 塗膜防水材を用いた吹付けリニューアル工法の開発その2 壁部材への試験施工による施工法の実証／成和リニューアルワークス[正]池山 正一・菅野 道昭・大塚 勇
- VI-343 塗膜防水材を用いた吹付けリニューアル工法の開発その3 トンネル全体構造系の解析的検討／大成建設[正]澤田 幸平・橋本 貴之・池山 正一

VI-7 (幸町総合教育棟 第21大講義室)／9月4日(水)

■リニューアル(5)／8:40～10:10／森崎 静一

(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-567 中央自動車道における2橋同時の床版取替工事—山中橋・沓掛橋の施工事例—／大林組[正]天野 寿宣・三田村 健二・富永 高行
- VI-568 新たなPCa床版接合法「スリムファスナー<sup>®</sup>」による床版取替の急速施工／大林組[正]富永 高行・天野 寿宣・内田 雅一
- VI-569 RC床版に設置された補強鋼板の損傷実態／首都高速道路技術センター [正]繪鳩 武史
- VI-570 上田川橋床版取替工事(その1) —PC合成桁へのPCa床版の適用—／大林組[正]仲田 宇史・富永 高行・天野 寿宣
- VI-571 上田川橋床版取替工事(その2) —PC合成桁へのリンクスラブの適用—／大林組[正]三田村 健二・仲田 宇史・池端 信哉
- VI-572 RC床版の一部を残置した床版急速取り替え用鋼床版構造の提案／東海大学[正]中村 俊一・富永 知徳・横関 耕一
- VI-573 RC床版の一部を残置した床版急速取り替え用鋼床版構造の施工方法／横河NSエンジニアリング[正]利根川 太郎・富永 知徳・横関 耕一
- VI-574 RC床版の一部を残置した床版急速取り替え用鋼床版構造の応力解析／日本製鉄[正]横関 耕一・富永 知徳・利根川 太郎

■リニューアル(6)／10:25～11:55／友利 方彦(JR東日本)

- VI-575 既設RC床版および更新鋼床版継手における舗装の疲労試験／駒井ハルテック[正]平野 穂菜美・橋 肇・濱野 真彰
- VI-576 各種コンクリート切断工法における騒音の比較検討／横河ブリッジ[正]白水 晃生・山浦 明洋・藤尾 浩太
- VI-577 自動芝刈機の導入へ向けた取り組みについて／中日本高速道路[正]グエン フォンハー・中島 賢治・薬科 憲治
- VI-578 プレキャストPC床版による床版取替工事の施工報告—NEXCO西日本高速道路リニューアルプロジェクト—／熊谷組[正]村上 峻太郎・鬻谷 亮太・的場 重道
- VI-579 急速施工を可能とするプレキャスト壁高欄の静的性能試験報告／横河ブリッジ[正]竹内 聖治・山浦 明洋・白水 晃生
- VI-580 急速施工を可能とするプレキャスト壁高欄の衝突性能試験報告／横河ブリッジ[正]山浦 明洋・竹内 聖治・白水 晃生
- VI-581 RC柱の耐震補強に用いる吹付け用プレミックスモルタルの開発／奥村組[正]劉 ルイ嵐・山口 治・松本 恵美
- VI-582 RC柱の耐震補強に用いる吹付け用プレミックスモルタルの現場適用／奥村組[正]高木 洋輔・黒岡 健司・山口 治

VI-7 (幸町総合教育棟 第21大講義室)／9月5日(木)

■リニューアル(7)／8:40～10:10／内藤 英樹(東北大学)

- VI-996 中間弾性支点を有する単純PRC4主桁の列車高速走行時の動的挙動検討／JR東日本コンサルタンツ[正]相田 悟・小林 薫・尾木 和人
- VI-997 首都高速1号羽田線更新工事における土質調査を活用した設計／首都高速道路[正]小島 直之・大西 孝典・玉田 和法
- VI-998 跨道・渡河区間を横断する道路橋の耐震補強対策の設計・施工／オリエンタルコンサルタンツ[正]広瀬 知晃・森田 和宏・萩原 佑
- VI-999 本州四国連絡道路の一般橋の耐震補強設計／本州四国連絡高速道路[正]溝上 善昭・森下 尊久
- VI-1000 橋面排水の改善による橋梁の長寿命化のための腐食マトリックス(その1) —腐食マトリックスを用いた評価手法の提案—／中央復建コンサルタンツ[正]澤田 幸治・奈良 敬・河合 良治
- VI-1001 橋面排水の改善による橋梁の長寿命化のための腐食マトリックス(その2) —腐食マトリックスを用いた既設橋への適用とその改善例—／富士技建[正]水内 将司・古市 亨・石崎 茂
- VI-1002 高耐震性バイルベント橋脚の開発と設計—首都高速1号羽田線(東品川橋・鮫洲埋立部)更新工事におけるう回路構築の急速施工—／大林組[正]岩城 孝之・富永 高行・山本 多成
- VI-1003 高耐震性バイルベント橋脚の施工—首都高速1号羽田線(東品川橋・鮫洲埋立部)更新工事における迂回路構築の急速施工—／大林組[正]山本 多成・河合 吾一郎・岩城 孝之

■リニューアル(8)／10:25～11:55／松田 大地

(アサノ大成基礎エンジニアリング)

- VI-1004 鉄道PC桁河川橋りょうの鋼製支承部変状対策工事／東日本旅客鉄道[正]田中 悠葵・小菅 匠・狩野 周
- VI-1005 不等沈下により支点移動が生じた既設アーチ橋における付加応力軽減策について／大阪市[正]入谷 琢哉・山内 誉史・土井 清樹
- VI-1006 鉄道高架橋の軽量防音壁落下事象と対策／東日本旅客鉄道[正]阿部 睦樹・北村 栄治・白井 毅
- VI-1007 横羽線浜川崎付近のロッキング橋脚を有する橋梁の耐震対策／首都高速道路[正]梶原 仁・数本 篤・大嶋 健太
- VI-1008 既設道路橋の橋梁補修における2.3の検討事例／長大[正]野村 肇
- VI-1009 槽状桁の疲労き裂に対する樹脂注入による支点変位対策の効果／東急建設[正]早川 健司・石坂 真二・松尾 裕一郎
- VI-1010 鋼トラス橋の点検保守を可能とする新たな仮設検査路足場の開発／富士技建[正]岡本 哲・岸上 弘宣・横山 和昭
- VI-1011 土木学会選奨土木遺産長野県昭和橋の樹脂注入併用型下面増厚工法による長寿命化対策／日本建設保全協会[正]宗 栄一・竹内 謙・片桐 崇

■リニューアル(9)／12:40～14:10／吉田 善紀(鉄道総合技術研究所)

- VI-1012 連結工を有する上路プレートガーダーで発生した沓座および桁座の変状と対策／東日本旅客鉄道[正]西村 信之輔・白柏 秀章・竹内 照晶
- VI-1013 鋼鉄道橋支承部におけるタップ加工を施したソールプレートの適用／東日本旅客鉄道[正]下古谷 将義・石澤 俊希・長尾 拓真
- VI-1014 鋼受桁における滞水変状の現況評価および対策方法提案／東海旅客鉄道[正]森田 雅也・稲葉 涼二
- VI-1015 温度変化に伴うロングレール軸力による鋼トラス橋りょう応力集中箇所の補強について／東日本旅客鉄道[正]千原 広大・鈴木 延彰・波場 志郎
- VI-1016 北海道胆振東部地震により被災した鉄道橋りょうの復旧／北海道旅客鉄道[正]中西 祐介・河村 佳英・川村 力
- VI-1017 北陸新幹線合成桁ソールプレート溶接部の疲労に対する維持管理方針の検討／西日本旅客鉄道[正]米山 義広・坪川 俊行・丹羽 雄一郎
- VI-1018 軟弱地盤上に建設された東海道新幹線葛川橋りょうの桁上工工事の実施／東海旅客鉄道[正]大橋 翼
- VI-1019 専用架設機によるUFC床版架設時の鋼桁ひずみ計測／鹿島建設[正]永井 勇輔・一宮 利通・村岸 聖介

■リニューアル(10)／14:25～15:55／大塚 康範(ケンセイ)

- VI-1020 箒川橋りょう河床工沈下事象と対策工について／東日本旅客鉄道[正]青木 勇・浜田 栄治・小川 隆貴
- VI-1021 被災データに基づく道路橋基礎の洗掘の有無に関する線形判別分析／国土技術政策総合研究所[正]宮原 史・木村 崇・七澤 利明

- VI-1022 東海道新幹線の衝撃振動試験実施困難箇所での試験方法の検討/JR東海[正]榊田 圭佑・他谷 周一
- VI-1023 風化地盤に対するグラウンドアンカーの緊張定着力について/基礎地盤コンサルタンツ[正]近藤 光広・望月 敦人・竹花 慎理
- VI-1024 法面構造物補修に関するNETIS(新技術情報提供システム)掲載技術の活用を促進する取り組み/日本工営[正]杉崎 友是・大平 和明・保坂 寛之
- VI-1025 落石シミュレーションを用いた不安定巨岩に対する対策工の検討/西日本旅客鉄道[正]長澤 征耶・三城 一晃・森 泰樹
- VI-1026 神戸淡路鳴門自動車道鳴門管内の既設盛土補強の設計事例について/八千代エンジニアリング [正]佐々木 直也・吉川 修一・越野 勝
- VI-1027 地すべり地形に構築された道路盛土の健全性評価の試み/岐阜大学[正]村田 芳信・八嶋 厚・荻谷 敬三

■リニューアル(11) /16:10~17:40/森瀬 喬士(中日本高速道路)

- VI-1028 流水抵抗性を有した覆工裏空隙注入材の適用/JR東海 [正] 蚊津見 和雅・近藤 智
- VI-1029 無機系安定剤の開発と凝結遅延効果及び材料分離抑制効果/エルジー [正]鈴木 康之・若菜 和之・下田 一雄
- VI-1030 山岳トンネルの迫り部におけるポリウレタン樹脂吹付け工法の適用性について/西日本旅客鉄道[正]鎌田 和孝・近藤 政弘・水谷 真基
- VI-1031 山岳トンネルにおける漏水対策の選定方法に関する一考察/東日本旅客鉄道[正]今井 文彦・久保原 猛・北川 一希
- VI-1032 青函トンネル竜飛先導導坑の隆起路盤変状補修工事について/鹿島建設[正]館 雅春・高橋 英樹・才神 貴幸
- VI-1033 供用中トンネルにおけるインバート設置について/西松建設[正]荒川 哲平・岡本 隆幸・大谷 達彦
- VI-1034 盤ぶくれが生じた明神トンネルにおけるインバート設置工事の施工について/西日本高速道路[正]香川 佳隆・篠原 愛明
- VI-1035 吹付けコンクリート覆工で供用されている道路トンネルの対策要否判定/日本工営[正]小谷 拓・沢田 陽佑・権納 拓央

VI-8 (幸町総合教育棟 第22講義室) /9月3日(火)

■建設ロボット/8:40~10:10/神崎 恵三(熊谷組)

- VI-344 自動化施工システムのロックフィルダム工事への適用/鹿島建設[正]青木 恒・出石 陽一・高見 聡
- VI-345 深層強化学習を用いた自動ブルドーザによる最適まき出し経路の探索/鹿島建設[正]田島 大輔・浜本 研一・三浦 悟
- VI-346 HMDを用いた臨場型遠隔映像システムの開発その1. 基本性能検証/大成建設[正]加藤 崇・木下 勇人・西田 与志雄
- VI-347 HMDを用いた臨場型遠隔映像システムの開発 その2. 作業効率の比較検証/大成建設[正]木下 勇人・西田 与志雄・加藤 崇
- VI-348 のり面においてUAVを活用した資材運搬事例/ライト工業 [正]川添 英生・上野山 武信・谷川 顕二郎
- VI-349 自動鉄筋結束ロボットの開発—車輪形状の変更と移動性能の向上—/千葉工業大学[正]伊東 稔明・保坂 謙史郎・高橋 要
- VI-350 鉄筋結束ロボットの实用化に向けた実験的研究/大成建設 [正]森 直樹・高橋 要・西村 健志
- VI-351 遠隔操作と自動制御の協調による遠隔施工システムの実証/鹿島建設[正]浜本 研一・三浦 悟・若林 幸子

■自動化システム/10:25~11:55/竹本 久高(鹿島建設)

- VI-352 次世代通信規格(5G)を用いた建設生産システムの構築(その1)~可搬型ネットワークソリューションによる建設現場の電波品質の向上~/大成建設[正]青木 浩章・岩村 英隆・大竹 博
- VI-353 次世代移動通信規格(5G)を用いた建設生産システムの構築(その2)~可搬型通信ネットワークソリューションの建設現場利用~/大成建設[正]上原 弓弦・青木 浩章・岩村 英隆
- VI-354 10t級クローラダンプを用いた自動走行システムの開発/大成建設[正]片山 三郎・青木 浩章・若山 真則
- VI-355 転輪型RI密度・水分計の測定精度向上の検討/ソイルアンドロックエンジニアリング[正]森 安弘・池永 太一・青木 浩章
- VI-356 転輪型RI密度水分計による非破壊計測の実験/大成建設 [正]後藤 洗一・青木 浩章・池永 太一
- VI-357 ブルドーザの自動運転システムに関する撒き出し実験報告/安藤・間[正]千野 雅紀・武石 学
- VI-358 簡易パイプクーリングシステムの実現場への適用報告/みらい建設工業[正]青木 駿・山本 隆信・小平 浩二

- VI-359 コンクリート自動締固め管理システムの適用範囲の拡大/竹中土木[正]倉知 星人・千葉 力・原科 実
- VI-360 ケーソン自動制御掘付システム「函ナビ」Auto起重機船併用機能拡張へ向けた取組み/東洋建設[正]山口 陽介

■橋梁(1) /14:55~16:25/利波 宗典(大成建設)

- VI-361 小牧高架橋における張出し施工の工程短縮と上げ越し管理/清水建設[正]今井 遥平・中島 淳太・布下 浩
- VI-362 フーチングの薄層連続打設による温度ひび割れ抑制対策(岩城橋建設工事(その1)における施工実績)/鹿島建設 [正]阿部 雅弘・大村 恵治・高橋 淳
- VI-363 河口部橋梁基礎工事における作業構台およびタワークレーン施工の実績/鹿島建設[正]上田 峻也・十河 浩・中島 与博
- VI-364 都市高速道路上空における鋼床版箱桁のベント一括架設の実績/鹿島建設[正]松井 修治・田中 敦典・花野 修平
- VI-365 プレキャストセグメント製作設備における橋形クレーンについて/鹿島建設[正]横山 由宏
- VI-366 幅20mの橋脚における部分パイプクーリングのひび割れ抑制効果の確認/安藤・間[正]小林 哲也・赤池 考起・飯田 信一
- VI-367 橋台パラペットへの部分パイプクーリングの適用事例/安藤ハザマ[正]栗原 浩彦・赤池 考起・土居 航
- VI-368 制約条件が多い状況下での歩道橋の急速施工/大林組[正]横木 孝輔・齋藤 隆・兼丸 隆裕

■橋梁(2) /16:40~18:10/南 浩郎(鹿島建設)

- VI-369 橋梁上部工張出し工法における管内圧力の測定結果に関する一考察/安藤・間[正]酒井 智哉・赤池 考起・栗原 浩彦
- VI-370 橋梁上部張出し工法において水平換算距離に関する一考察/安藤・間[正]土居 航・赤池 考起・栗原 浩彦
- VI-371 管内圧力によるスランプ管理手法の提案/安藤ハザマ[正]赤池 考起・栗原 浩彦・土居 航
- VI-372 新柳瀬橋の高耐久RC床版についてその1(計画から試験施工)/西松建設[正]我彦 聡志・串田 雅宏・西田 徳行
- VI-373 新柳瀬橋の高耐久RC床版についてその2(現場施工)/西松建設[正]小倉 仁志・串田 雅宏・三井 功如
- VI-374 長支間PC橋のコンクリート品質向上に対する取組み/大成建設[正]川端 誠・小湊 祐輝・半井 恵介
- VI-375 加熱改質フライアッシュを使用したコンクリートによる橋梁上部工の施工/熊谷組[正]庄司 啓明・武田 隆・神内 亮太
- VI-376 無線式傾斜計を用いたPC桁傾斜管理システム/鉄建建設 [正]伊吹 真一・朱 宮昊・杉船 誠

VI-8 (幸町総合教育棟 第22講義室) /9月4日(水)

■橋梁(3) /各種基礎(1) /8:40~10:10/稻積 一訓(大林組)

- VI-583 繊維補強コンクリート床版と床版防水の性能確認試験/大成建設[正]内田 悟史・栗本 勝康・三上 勝久
- VI-584 新柳瀬橋の高耐久RC床版についてその3(スケーリング抵抗性と気泡組織)/西松建設[正]山崎 雅登・我彦 聡志・小倉 仁志
- VI-585 単スパン合成桁の床版部分打ち換え時のステップ解析/砂子組[正]戸井田 真之介・男澤 真樹・丸山 欣一
- VI-586 仮設H形鋼杭の打ち止め管理とパイロハンマーの有効打ち込み力評価/砂子組[正]山本 寛子・井元 俊介・佐藤 欣治
- VI-587 3H(スリーエイチ: Hybrid Hollow High pier)工法の新たな取り組みについて/先端建設技術センター [正]吉川 正・中澤 直樹・田辺 重男
- VI-588 岩盤掘削を伴う場所打杭の施工/九鉄工業[正]森山 貞文
- VI-589 周辺工業地帯の基幹工業用水配管に近接した軟弱地盤中の大深度ケーソン基礎の施工—川崎港臨港道路東扇島水江町線主橋梁部(MP5・6)橋梁下部工事—/清水建設[正]田中 直樹・古川 雅之・遠藤 和雄
- VI-590 河川内における50m超えの鋼管矢板の施工/前田建設工業 [正]河野 靖之

■各種基礎(2) /10:25~11:55/伊藤 弘之(鹿島建設)

- VI-591 硬質な中間層を有する地盤における鋼管矢板基礎の施工/NB工法協会[正]板橋 美保・野巻 雅紀・駒澤 辰弥
- VI-592 低コスト先端改良杭工法(パングなし先プレ)の開発/鉄建建設[正]山内 真也・山本 淳・中村 征史
- VI-593 リバース工法における掘削データに関する一考察/鉄建建設 [正]竹田 茂嗣・岩瀬 隆
- VI-594 施工中の既製杭の支持層到達を判定する支持層検出システムの開発/奥村組[正]清水 智明・松倉 勝幸・平川 泰行
- VI-595 足羽川河川内での50m級の場所打ち杭施工事例/前田建設工業[正]東 克樹・水野 亮・谷口 司
- VI-596 場所打ち杭施工時における鉄筋かごの引込み力に関する

- オールケーシング工法での一例／清水建設[正]川村 和湖・長澤 正明  
 VI-597 ニューマチックケーソン工法における生産性向上への取り組み／オリエンタル白石[正]東 洋輔・加藤 茂樹・熊本 光弘  
 VI-598 石積み壁背面における人工地盤基礎杭の施工計画と管理／東日本旅客鉄道[正]池本 宏文・中村 真二・辻岡 恵介

VI-8 (幸町総合教育棟 第22講義室) / 9月5日(木)

- 各種基礎(3) / 施工計画(1) / 8:40~10:10 / 原田 雅弘(熊谷組)  
 VI-1036 人工地盤構築時の既設深礎杭再利用における設計施工時の検討／東日本旅客鉄道[正]中村 真二・池本 宏文  
 VI-1037 岩盤杭打ち工法による中硬岩への鋼矢板打設事例／大林組[正]大城 一徳・石川 進也・中島 通宏  
 VI-1038 ストラッド場所打ち杭工法における圧送によるコンクリート打込み／東日本旅客鉄道[正]ホアンティ ザン・鈴木 健一・堀田 智弘  
 VI-1039 既存橋周りにて打撃工法と圧入工法を併用した鋼管矢板基礎の施工事例／大林組[正]岡本 章太・新倉 一郎・ムハンマド スルザマン アブ サレ  
 VI-1040 急斜面における仮設コンクリート構台の計画／清水建設[正]王子然・藤田 淳・岩淵 真  
 VI-1041 杭施工時における転石等への対応に関する一考察／中国電力[正]織掛 晴弘・安野 孝生・篠田 龍一  
 VI-1042 上野駅公園口改良工事における仮囲い外での場所打ち杭の施工検討／東日本旅客鉄道[正]山根 華織・池本 宏文・嵯峨 嘉邦  
 VI-1043 大深度土留め壁へのTRD工法の適用について／清水建設[正]平田 望・高橋 伸知・上嶋 靖治

- 施工計画(2) / 10:25~11:55 / 盛岡 義郎(鹿島建設)  
 VI-1044 地下鉄営業線における新駅設置に伴う地下水位低下工計画一その1.揚水試験による地盤の水理特性の把握一／鹿島建設[正]小林 正和・中島 悠介・吉田 健太郎  
 VI-1045 地下鉄営業線における新駅設置に伴う地下水位低下工計画一その2.三次元浸透流解析による水理特性評価およびディープウェル配置検討一／鹿島建設[正]中島 悠介・藤野 覚・郡山 剛  
 VI-1046 狭隘な施工エリアにおけるSFT工法による函体推進工事／清水建設[正]上嶋 靖治・竹村 瑞元・宗像 慎也  
 VI-1047 大規模開削工事における工程短縮の取り組み／大林組[正]河野 道考・山浦 克仁・田村 慶太  
 VI-1048 周辺環境に配慮した高知南国道路五台山トンネルの施工状況について／国土交通省四国地方整備局[正]土肥 学・青江 匡剛  
 VI-1049 トンネル天井板撤去工事の工期短縮の取り組み／名古屋高速道路[正]末次 宏基・杉浦 裕幸・鈴木 重人  
 VI-1050 試験施工を踏まえたトンネル天井板撤去工事の施工／熊谷組[正]岩脇菜摘・鈴木 重人・杉浦 裕幸  
 VI-1051 トンネル天井板撤去工事における施工上の工夫 Contrivance in construction of tunnel ceiling board removal work／熊谷組[正]木村 健輔・吉井 孝彰

- 施工計画(3) / 12:40~14:10 / 木村 聡(安藤・間)  
 VI-1052 起重機船による端部鋼殻の一括架設／大成建設[正]市川 直樹・坂本 明伸・神田 基  
 VI-1053 出水期における河川構造物の施工について／清水建設[正]氏家 麻那  
 VI-1054 車両接触で損傷した壁高欄およびRC床版の補修報告／首都高メンテナンス西東京[正]鳴海 竣介・八木 勝之・福島 大貴  
 VI-1055 ケミカルプレストレスを活用した鋼コンクリート合成床版の耐久性向上に関する取り組み／日本車輛製造[正]神頭 峰磯・松永 誠  
 VI-1056 スランプの異なるコンクリートの流動勾配の計測による施工性評価に関する一考察／飛鳥建設[正]榎島 修・小林 剛  
 VI-1057 地下鉄営業線直下におけるジェットクリート工法(JC工法)による既設構築下補強計画／鹿島建設[正]吉田 健太郎・藤田 智之・北川 豊  
 VI-1058 地下鉄営業線直下におけるジェットクリート工法(JC法)による既設構築下補強実績／鹿島建設[正]藤田 智之・吉田 健太郎・北川 豊  
 VI-1059 JR渋谷駅改良工事における繊維混入高流動コンクリートの施工／大成建設[正]岡野 満・椎橋 顕一・加藤 隆

- 施工計画(4) / 14:25~15:55 / 安藤 陽(清水建設)  
 VI-1060 PRC下路桁の分割施工に伴うスラブへのプレストレス導入に関する解析的検討／東日本旅客鉄道[正]坂本 峻・山本 達也・竹谷 勉

- VI-1061 鉄道電化区間においてコの字天秤を使用した工事桁架設について／仙建工業[正]浅沼 伸彦・伊藤 克廣・佐々木 崇人  
 VI-1062 鉄道在来線トンネルのトローリ線支持金物支持更新に伴う問題点と解決事例／仙建工業[正]民部田 敬志・大場 宏樹・佐々木 崇人  
 VI-1063 鉄道活線下における鉄道橋梁(鋼橋梁桁)撤去方法の1事例／仙建工業[正]佐藤 春海・菊池 英雄・大場 宏樹  
 VI-1064 JR営業線における既設擁壁の耐震補強対策について／東鉄工業[正]櫻井 淳司・館野 宣夫  
 VI-1065 首都圏大規模ターミナル駅の線路切替に関するリスク対策／東日本旅客鉄道[正]芳山 慧子・堀田 智弘  
 VI-1066 JR渋谷駅改良第1回線路切替宮益架道橋架替におけるリスク管理／東日本旅客鉄道[正]横山 力・新関 信  
 VI-1067 JR渋谷駅改良第1回線路切替軌道およびホームのこう上におけるリスク管理／東日本旅客鉄道[正]阿部 久乃

VI-9 (幸町総合教育棟 多目的室2) / 9月3日(火)

- 情報化施工(1) / 8:40~10:10 / 中村 泰弘(鹿島建設)  
 VI-377 ICT活用工事に関する技術基準類の改定／施工技術総合研究所[正]鈴木 健之・岩淵 裕・二瓶 正康  
 VI-378 ICT施工における工事進捗マネジメント手法の試行結果／日本建設機械施工協会[正]伊藤 文夫・森川 博邦・大槻 崇兵  
 VI-379 兵庫県におけるICT活用工事(土工)効果検証／施工技術総合研究所[正]藤島 崇・永沢 薫・中田 和秀  
 VI-380 振動ローラ加速度応答システムの路盤材料への適用性検討について／土木研究所[正]橋本 毅・山田 充・山内 元貴  
 VI-381 UAV(ドローン)を活用した大規模土工の土量調整について／大成建設[正]井尾 匡志・沼宮内 宏明・望月 聖  
 VI-382 切土・盛土におけるICT活用工事の実施結果およびICT建機の出来形精度検証／安藤ハザマ[正]木付 拓磨・齋藤 祐磨・川本 卓  
 VI-383 造成工事における土工・舗装工のICT施工の適用事例／西松建設[正]番 貴博・佐藤 靖彦・中園 龍治  
 VI-384 高速道路ジャンクション工事におけるICT土工への取り組み／熊谷組[正]木下 広一・奥村 拓央・神崎 恵三

- 情報化施工(2) / 10:25~11:55  
 VI-385 機械学習によるトンネル切羽の岩盤判定と支保パターン決定に関する研究／関西大学[学]金子 元紀・楠見 晴重・尹 禮分  
 VI-386 スマートグラスを用いた山岳トンネル工事における遠隔検査／五洋建設[正]森屋 陽一・三國 貴一・石田 仁  
 VI-387 プロジェクションマッピングを活用した覆工鉄筋の施工方法に関する基礎的検討／清水建設[正]青野 泰久・吉河 秀郎・竹内 啓五  
 VI-388 レーザースキャナを用いたアタリ判定／佐藤工業[正]須佐 見 朱加・京免 継彦  
 VI-389 コンクリート表層品質のAI画像診断に基づくトンネル施工／日本国土開発[正]佐野 健彦・佐原 晴也・森 智彦  
 VI-390 コンクリート工事におけるトラックアジテータの待機時間の実態調査(その2 待機時間低減に向けた取り組み)／戸田建設[正]本木 章平・羽田 正沖・東 舞  
 VI-391 ICTを用いたコンクリート仕上げの高さ管理システムの開発／大日本土木[正]長谷川 勝幸・花井 敦・中田 光治  
 VI-392 ニューマチックケーソン工法の函内掘削形状計測システムの開発と計測事例の考察／大林組[正]柳 東雲・稲川 雄宣・中村 清志

- 情報化施工(3) / 14:55~16:25 / 武石 学(安藤・間)  
 VI-393 機械学習を適用した地下ダム施工時の基盤層推定法に関する研究／日本大学[学]小久保 雅人・大村 啓介・青野 胡桃  
 VI-394 中小建設業によるi-Constructionにおける山間地電源確保／立命館大学[正]横山 隆明・黒河 洋吾・可児 憲生  
 VI-395 施工現場の工程進捗データの共有・活用に関する基礎的研究(その1)／国土技術政策総合研究所[正]森川 博邦・大槻 崇・藤島 崇  
 VI-396 施工現場の工程進捗データの共有・活用に関する基礎的研究(その2)／施工技術総合研究所[正]椎葉 祐士・藤島 崇・森安 亮之  
 VI-397 備讃瀬戸航路におけるICT浚渫について／国土交通省四国地方整備局[正]藤井 愛彦・宇都宮 正明・西岡 正則  
 VI-398 一関遊水地舞川水門新設工事におけるICT・CIM活用事例／鴻池組[正]秋田 満留・松田 岳人・牛嶋 浩一郎  
 VI-399 ICTを利用した陸上から行う低水護岸の構築／小野組[正]大野 智也・今西 肇  
 VI-400 新丸山ダム転流工事におけるICT施工報告について／前田建設工業[正]高橋 圭

■測量・計測(1) / 16:40~18:10 / 近藤 高弘(大成建設)

- VI-401 各種UAV機器による出来形精度検証実験について(その1) / 熊谷組[正]東館 昌吾・神崎 恵三・高市 善幸
- VI-402 各種UAV機器による出来形精度検証実験について(その2) / 熊谷組[正]神崎 恵三・東館 昌吾・高市 善幸
- VI-403 地上レーザスキャナの測定精度に与える照射角度の影響に関する実験的考察 / 東日本旅客鉄道[正]井口 重信・高見澤 拓哉
- VI-404 PPK測定技術を応用したUAV計測のさらなるカイゼン / 大林組[正]田島 僚・山中 孝文
- VI-405 3次元データを用いた法面の出来形計測手法について / ライト工業[正]平尾 裕斗
- VI-406 歩行型レーザスキャナーシステムの精度評価検証 / 朝日航洋[正]山口 裕哉・白石 宗一郎・木村 沙智
- VI-407 レーザスキャナーを用いた架空線と上部工との離隔調査 / 佐藤工業[正]佐藤 等・京免 継彦・大田 清市
- VI-408 UAV測量による構造物の沈下管理事例~カヌー・スラローム会場整備工事~/ 鴻池組[正]井ノ崎 郁弥・國富 和真・安田 裕輔

VI-9 (幸町総合教育棟 多目的室2) / 9月4日(水)

■測量・計測(2) / 8:40~10:10 / 石黒 真聖(鹿島建設)

- VI-599 地上移動体搭載型レーザスキャナによる軌道トンネルの3次元計測 / 佐藤工業[正]大田 清市・平尾 健二・奈良 久
- VI-600 既存トンネル復旧工事における3次元点群データの活用 / 佐藤工業[正]平尾 健二・大田 清市
- VI-601 3Dレーザスキャナで計測した特徴点を用いたトンネル変形計測手法の開発 / 鹿島建設[正]清水 清一郎・宮嶋 保幸
- VI-602 小断面トンネルでの活用を目的とした地上移動体搭載型レーザスキャナー性能実験 / 安藤ハザマ[正]澤城 光二郎・早川 健太郎・黒台 昌弘
- VI-603 トモグラフィによるメタンガス濃度分布の評価 / 大成建設[正]八尋 英恵・本島 貴之・佐ノ木 哲
- VI-604 新名神高速道路における大阪府北部地震時のモニタリング結果について / 西日本高速道路[正]前原 直樹・村上 豊和
- VI-605 レーザスキャナーによるポーラスアスファルト舗装路面の測定方法に関する一検討 / 東亜道路工業[正]梅田 準・増戸 洋幸・塚本 真也
- VI-606 高速道路における舗装補修工事へのICT施工と課題 / 大成ロテック[正]佐々木 恵・上沼 一喜・川村 和将

■測量・計測(3) / 10:25~11:55 / 黒台 昌弘(安藤・間)

- VI-607 散乱型RI密度計による密度計測とバックグラウンド計測の同時計測技術 / ソイルアンドロックエンジニアリング[正]池永 太一・小林 泰三・齋藤 恵美
- VI-608 散乱型RI密度計の不陸影響範囲に関する検討 / 竹中土木[正]千葉 力・大村 啓介・池永 太一
- VI-609 盛土材料管理システムの開発 / 竹中土木[正]椎葉 偉久・大村 啓介・小西 一生
- VI-610 静的圧入締固め工法における地表面隆起管理事例 / 大林組[正]三浦 桂子・齊藤 智・蓮花 太平
- VI-611 ウェアラブル端末を用いた量出し測量システムによる工事測量の省力化 / 大成建設[正]木村 貴圭・米倉 良介
- VI-612 埋設管マッピングシステムによる可視化 / 前田建設工業[正]松本 保明・阿部 匡彦
- VI-613 KLAセンサーの開発 / 熊谷組[正]大越 靖広・張 海華・服部 翼
- VI-614 非GNSS環境下での3次元計測方法の検討 / 熊谷組[正]天下井 哲生・北原 成郎・二瓶 大樹
- VI-615 NTRIPを用いた1周波GNSSによる出来形計測 / 関東測量[正]大橋 祥子・大手 一信・半谷 一晴

VI-9 (幸町総合教育棟 多目的室2) / 9月5日(木)

■技術開発(1) / 8:40~10:10 / 坂本 守(安藤・間)

- VI-1068 土工事におけるリアルタイム材料管理の実現に向けた取り組み—画像粒度モニタリングの試行— / 鹿島建設[正]田中 恵祐・藤崎 勝利・緑川 達也
- VI-1069 Deep Learningによるコンクリート骨材の粒径判別技術に関する基礎的研究 / 熊谷組[正]北川 博一・佐藤 英明
- VI-1070 Deep Learningによるコンクリート骨材の岩種判別技術に関する基礎的研究 / 熊谷組[正]佐藤 英明・北川 博一
- VI-1071 GNSSとクラウドサーバを活用したコンクリート出荷管理システムの適用実績 / 鹿島建設[正]是永 明日香・福井 直之・戸澤 清浩
- VI-1072 コンクリート打設誘導と運搬状況可視化システムの適用実績

- VI-1073 について / 鹿島建設[正]戸澤 清浩・福井 直之・筒井 武志
- 紙素材を活用したニューマチックケーソン工法用防音カバーの基礎試験 / 清水建設[正]狩野 巧・工藤 博幸・佐藤 元信
- VI-1074 骨材貯蔵施設の温度上昇抑制と視覚対策への紙素材の活用 / 清水建設[正]宮瀬 文裕・正井 洋一・宇野 昌利
- VI-1075 散乱型RI水分計を用いた簡易含水比測定器の開発 / ソイルアンドロックエンジニアリング[正]桑田 岳治・池永 太一・中村 洋丈

■技術開発(2) / 10:25~11:55 / 岡本 俊彦(大成建設)

- VI-1076 音響管を用いたニューマチックケーソンの排気騒音低減技術の開発 / 錢高組[正]角田 晋相・原田 尚幸
- VI-1077 ケーソン掘残し幅計測システムの開発 / 鹿島建設[正]坂梨 利男・緑川 達也・森本 直樹
- VI-1078 中間貯蔵施設内の土壌貯蔵施設における分別処理後土壌の粉じん飛散防止技術 / 鹿島建設[正]田中 真弓・清水 清一郎・大橋 麻衣子
- VI-1079 耐候性と生分解性を有する粉じん飛散防止材の一般工事における適用性の評価 / 鹿島建設[正]大橋 麻衣子・埴原 新奈・田淵 哲也
- VI-1080 山岳トンネルにおける吹付けコンクリートの自動化 / 鹿島建設[正]大塚 隆明・岩野 圭太・松本 修治
- VI-1081 モルタル供試体におけるTBMセンターカッタービットの掘削性能に関する基礎的研究 / 呉工業高等専門学校[学]河相 拓真・重松 尚久・河村 進一
- VI-1082 リサイクルできる紙製風門の開発 / 清水建設[正]宇野 昌利・宮瀬 文裕・一瀬 康弘
- VI-1083 ダブルジャッキを用いたSFT工法による営業線下部横断函体推進施工実績 / 鹿島建設[正]中村 祐

■技術開発(3) / 12:40~14:10 / 池松 建治(鹿島建設)

- VI-1084 特殊緩衝材を用いた礫層掘削を対象とした長寿命カッタービットの開発 / 丸和技研[正]佐々木 誠・森田 泰司・嘉屋 文康
- VI-1085 AIによるシールド掘進合理化技術の実装検証報告 / 清水建設[正]樋口 貴哉・大木 智明・増田 湖一
- VI-1086 既設トンネル補強用セグメントの開発(その3: FEM解析) / 日之出水道機器[正]山下 良・日高 哲郎・藤本 宏義
- VI-1087 既設トンネル補強用セグメントの開発(その4: 載荷試験) / 東京地下鉄[正]岩本 佑太・田崎 和之・水上 博之
- VI-1088 気泡消失理論の提案と実験的検証(その1: 中流動コンクリート) / IHI [正]木作 友亮・武藤 香穂・黒澤 隆
- VI-1089 気泡消失理論の提案と実験的検証(その2: 普通コンクリート) / IHI [正]吉田 有希・塩永 亮介・武藤 香穂
- VI-1090 気泡消失装置による実物大施工実験(プレキャストコンクリート製品) / IHI建材工業[正]武藤 香穂・黒澤 隆・倉田 幸宏
- VI-1091 マルチGNSS端末を利用した労働生産性向上のための検証結果報告 / 西武建設[正]須長 真介・金野 直樹・小倉 渉

■技術開発(4) / 14:25~15:55 / 小島 英郷(清水建設)

- VI-1092 ラインガイド方式によるドローンを活用した構造物点検の検証実験結果の報告 / 西武建設[正]井戸田 和也・宮内 博之・植本 敬大
- VI-1093 OCR技術を活用した伝票管理システムの開発 / 大成建設[正]石田 桂子・森田 泰司・鈴木 聡
- VI-1094 新規規制コーン[ステイコーン]の改良 / 首都高メンテナンス神奈川[正]木村 誠・山本 啓貴・福島 満
- VI-1095 鋼橋防食工事の作業環境を改善できる新たな湿式プラスト工法の開発 / 西日本高速道路[正]横山 和昭・小島 裕貴・福田 雅人
- VI-1096 首都高速道路における壁高欄塗装の機械化施工について / サーフェステクノロジー [正]森 清・川瀬 洗佑
- VI-1097 移動式パッチャープラントの開発 / 浅沼組[正]山本 均・原田 大樹・石井 創次郎
- VI-1098 シングルボードコンピュータを用いた部材温度追従養生の実験的検討 / 太平洋セメント[正]中崎 豪士・森 寛晃・面来 洋児
- VI-1099 プレキャスト部材の接合方法に関する実験的検討 / 大林組[正]川田 崇暉・伊藤 克也・齋藤 隆

■技術開発(5) / 16:10~17:40 / 西内 美宣(熊谷組)

- VI-1100 ID-SIMSによる監督業務の効率化に向けた実証試験 / 東日本旅客鉄道[正]田原 孝・森 圭太郎
- VI-1101 2Dレーザー回転スキャナーを用いたコンクリート打込み管理システムの検討 / 佐藤工業[正]前田 幸男・弘光 太郎・森 賢宇
- VI-1102 ステレオカメラを活用した自動配筋検査システムの実証 /

- VI-1103 鹿島建設[正]森本 直樹・後閑 淳司・酒匂 智彦  
ステレオカメラを用いた作業員の位置検出／佐藤工業[正]  
森 賢宇・弘光 太郎・前田 幸男
- VI-1104 新幹線用通路走行台車の開発／大鉄工業[正]坂本 士・森  
田 貢・守分 巧
- VI-1105 新幹線確認車B（ミニ確認車）の開発導入による効果の検  
証／JR東日本旅客鉄道[正]山中 貞男・真田 裕樹
- VI-1106 溝工事用の土砂ガードに働く崩土荷重の簡易推定／労働安  
全衛生総合研究所[正]玉手 聡・堀 智仁・菊田 亮一
- VI-1107 溝工事用の土砂ガードに働く崩土荷重の実験的考察／日本  
スピードショア[正]菊田 亮一・前田 英樹・玉手 聡

## VI-10（幸町総合教育棟 多目的室3）／9月3日(火)

## ■施工技術(1)／8:40～10:10／大木 基裕(東海旅客鉄道)

- VI-033 施工条件の異なる環境下における防水ゲート設置方法の検  
討／東京地下鉄[正]堀 真大・青木 正明・江原 文武
- VI-034 鉄道営業線に近接した桁架設工事における計測計画と施工  
結果／西松建設[正]佐山 裕之・土屋 光弘・兜 俊彦
- VI-035 PC単純下路桁鉄道橋の架け替え工事／大成建設[正]大塚  
信介・岩元 篤史
- VI-036 既設高架橋に近接した新設高架橋工事—東京メトロ千代田  
線北綾瀬駅改良工事—／東京地下鉄[正]中田 隆一・吉村  
正・細川 翔太
- VI-037 銀座線渋谷駅における狭隘な施工区間での既設橋脚の撤去  
／東京地下鉄[正]西川 祐・加藤 大輔・北村 太
- VI-038 銀座線渋谷駅改良工事に伴う狭隘条件下における鋼桁の架  
設について／東京地下鉄[正]西川 祐・加藤 大輔・北村 太
- VI-039 駅改良工事における地盤改良工の影響についてその1—東  
西線木場駅改良工事—／東京地下鉄[正]村上 哲哉・塚越  
力也・森 暢典
- VI-040 駅改良工事における地盤改良工の影響についてその2／鹿  
島建設[正]大隈 充浩・森 暢典・橋口 弘明

## ■施工技術(2)／10:25～11:55／西田 与志雄(大成建設)

- VI-041 低温環境におけるトンネル覆工コンクリートの初期強度向  
上に関する基礎的研究／太平洋マテリアル[正]竹下 永造・  
村手 三郎・土師 康一
- VI-042 膨張材を用いた二次覆工コンクリートの初期強度発現に関  
する実験的検討／戸田建設[正]土師 康一・澤村 淳美・竹  
下 永造
- VI-043 初期強度発現性を改善したコンクリートのシールド二次覆工  
への適用／戸田建設[正]澤村 淳美・土師 康一・高橋 健一
- VI-044 港湾横断部のシールド掘削時の振動予測に関する基礎的計  
測／清水建設[正]星野 壮一・堀田 昌夫・金子 暢秀
- VI-045 E1東名高速道路盛土部における小土被り矩形推進工事／  
大林組[正]佐藤 健二朗・小山 亮介・俊成 安德
- VI-046 掘削距離に応じた接続トンネルの施工方法／前田建設工業  
[正]佐藤 芳宣・冬木 武浩・椎橋 孝一郎
- VI-047 大容量吹付けを可能にする液体急結剤を用いた生産性向上  
への取り組み／清水建設[正]高波 太郎・大川 了・唐澤 剛
- VI-048 シールドテープインジェクション工法の現場適用事例／安藤  
ハザマ[学]白岩 誠史・大場 春樹・勝野 晃宏

## ■施工技術(3)／14:55～16:25／杉山 律(安藤・間)

- VI-049 保温養生材によるコンクリートの保温養生効果に関する実  
験的検討(その2)／りんかい日産建設[正]中出 睦・野原  
貴純・高山 浩一
- VI-050 コンクリート埋設用合成樹脂ととう電線管を用いたパイプ  
クレーリングの実施／大林組[正]安 漢儒・光森 章・野島 省吾
- VI-051 水門堰柱における鉛直パイプクレーリングの適用事例／熊谷  
組[正]蘇 茜・中出 剛・緒方 明彦
- VI-052 注水併用エアクレーリング工法の大口径パイプへの適用／熊  
谷組[正]濱 慶子・神田 裕史・神崎 恵三
- VI-053 ミスト粒径の違いによるクレーリング効果の一考察／熊谷組  
[正]水谷 真琴・神崎 恵三・山口 哲司
- VI-054 コンクリート水平打継部の一体性および耐久性を確保する  
省力的な新処理手法の検討／西武建設[正]村上 順業・辻  
陽一郎・中村 純也
- VI-055 生産性向上に資する締固め不要コンクリートの実現に向け  
た一実験／鹿島建設[正]松本 修治・柳井 修司・坂井 吾郎

## ■施工技術(4)／16:40～18:10／三浦 国春(大林組)

- VI-056 中国道上熊谷地区における平成30年7月豪雨の盛土崩壊の  
復旧対策／熊谷組[正]中出 剛・朝倉 功・松下 聖史
- VI-057 高速道路トンネル坑口近傍におけるのり面災害復旧対策—  
圏央道(外回り)川口トンネル北坑口—／熊谷組[正]片山  
政弘・長町 明彦・鈴木 勝

- VI-058 急峻地における地すべり対策鋼管抑止杭の施工／大成建設  
[正]根本 健太郎・中島 康介
- VI-059 地滑り層に巨礫を含む地盤における掘削土留め工の施工に  
ついて／鉄建・加賀田組共同企業体[正]市川 智久・山本  
淳・山内 真也
- VI-060 ワイヤー掛け工と岩盤接着工法併用による落石対策／東日  
本旅客鉄道[正]淀 健・松尾 賢・片山 浩一
- VI-061 盛土崩壊の要因となったふとんかごの鉄線腐食に関する一  
考察／西日本高速道路エンジニアリング中国[正]岸 功泰・  
森岡 昭二・佐々木 薫
- VI-062 スコリア層切土における植生工の検討と施工／西松建設  
[正]佐藤 靖彦・吉永 浩二・丸山 大輔

## VI-10（幸町総合教育棟 多目的室3）／9月4日(水)

## ■施工技術(5)／8:40～10:10／増原 康布(熊谷組)

- VI-423 洪水吐導流壁波返しへのプレキャスト部材の採用／鹿島建  
設[正]重松 明・藤澤 敦・直井 智治
- VI-424 山岳トンネル覆工コンクリートのプレキャスト化／西松建  
設[正]佐藤 幸三・山田 勉・小高 武
- VI-425 ハーフプレキャスト工法による立坑頂版の無支保施工／前  
田建設工業[正]小峰 風太・小宮 啓・長田 将吾
- VI-426 掘削区間におけるストラット付き控え壁式擁壁の施工／大  
成建設[正]瓜谷 匠・清水 裕雄・岩崎 孝夫
- VI-427 埋設型枠を用いた橋脚施工のひび割れ予測解析および確認  
試験／大林組[正]高橋 敏樹・川西 貴士・齋藤 隆
- VI-428 現場打ちコンクリート柱のPCa化を始めとする工程短縮策  
とその効果／大成建設[正]棚倉 大智・米倉 良介
- VI-429 引張展開式のロール状先組み鉄筋工法の開発と地下躯体での  
施工実績／鹿島建設[正]河野 哲也・坂西 由弘・川崎 文義
- VI-430 プレート定着型せん断補強鉄筋を用いたスラブ試験体による  
耐力の検証／佐藤工業[正]hiromitsu taro・川崎 友之・  
本田 隆行

## ■施工技術(6)／10:25～11:55／加藤 康生(鹿島建設)

- VI-431 河川に近接した深礎杭施工における大量湧水の対処方法／  
西松建設[正]小島 一郎・佐山 裕之・土屋 光弘
- VI-432 供用路線近接施工を考慮した擁壁の修正設計および施工報  
告／清水建設[正]宮岡 香苗・南郷 健太郎・麻生 大策
- VI-433 ニューマチックケーソンでの既設橋脚に近接した発破作業  
の施工事例／前田建設工業[正]猪飼 和人
- VI-434 グラウンドアンカー自由長部で生じるアンカー力摩擦損失の  
低減方法／大成建設[正]小谷 直也・浅山 愛郎・元山 泰久
- VI-435 地下鉄立体交差部における上部構造の支持方法変更に伴う  
挙動確認計測計画—東西線茅場町駅改良土木工事—／東京  
地下鉄[正]橋口 弘明・大迫 りょう・半田 陽介
- VI-436 ホーム通路幅員の確保に向けた薄型仮囲い構造に関する検  
討／東日本旅客鉄道[正]飯塚 大介・池本 宏文・中村 真二
- VI-437 ホーム上での杭打ちについて／名工建設[正]峯澤 勝志・  
伊藤 文彦・寒川 清徳
- VI-438 吊り足場上でライナープレートを用いて構築する仮締切り  
設備／第一建設工業[正]春日 秀文・小林 久人・藤本 俊伸

## VI-10（幸町総合教育棟 多目的室3）／9月5日(木)

## ■施工技術(7)／8:40～10:10／谷口 裕史(安藤・間)

- VI-655 バイプロハンマ工法の荷重計測と生産性向上／鹿島建  
設[正]内田 拓史・高田 丈夫・曾根川 大治
- VI-656 蛍光Pコンを用いたコンクリート打設の層厚管理／鹿島建  
設[正]曾根川 大治・内田 拓史・高田 丈夫
- VI-657 ベントナイト混合土の現場変形試験／清水建設[正]近江  
健吾・唐澤 剛・浅野 実
- VI-658 変形を受けたベントナイト混合土の現場と室内における透  
水試験／清水建設[正]檜 一茂・浅野 実・唐澤 剛
- VI-659 ベントナイト混合土の膨潤性に関する室内試験／清水建設  
[正]藤山 亮大・唐澤 剛・浅野 実
- VI-660 大規模造成工事における真空圧密工法の施工実績／鹿島建  
設[正]畠山 貴嗣
- VI-661 異なる混合処理方式による事前混合処理工法の改良実績に  
ついて(その2)／日本国土開発[正]高垣 豊・四宮 圭三

## ■施工技術(8)／10:25～11:55／山田 淳夫(安藤・間)

- VI-662 高速道路大規模更新工事における切土法面対策の取組み／  
熊谷組[正]大橋 勇詩・田尻 丈晴・松村 健人
- VI-663 高速道路大規模更新工事における盛土法面浸透水排除対策  
の取組み／熊谷組[正]神田 裕史・田尻 丈晴・松村 健人
- VI-664 河川内における既設道路橋の上部工撤去の施工計画と施工



- 結果／西松建設[正]天羽 健・高橋 寛行・土屋 光弘  
 橋梁撤去工事での施工方法改善による工程順守事例／大林組[正]上原 郷・山浦 克仁・富所 宏多  
 VI-666 地中砂埋めトラフに収容された電力ケーブルの撤去工法開発(その3)／関電工[正]井口 昌之・内藤 元昭・吉本 正浩  
 VI-667 大口径長尺鋼管杭引抜き撤去時の課題と対策／東洋建設[正]小峰 孝彦・坂本 健治・児島 史剛  
 VI-668 非開削充填工法の開発／日本電信電話[正]日吉 健至・新宅 将志・出海 経太郎  
 VI-669 防止フィルム工法による落書き防止対策の施工／首都高メンテナンス西東京[正]鈴木 彩仁

■施工技術(9) / 12:40~14:10 / 名合 牧人(大成建設)

- VI-670 浚渫工事におけるICT活用への取り組みと課題／東洋建設[正]東山 弘  
 VI-671 ICTを活用した施工管理支援システムの現場導入に関する検討／奥村組土木興業[正]谷 義経・藤森 章記・梅宮 利之  
 VI-672 MR (Mixed Reality)による施工計画・施工管理／鹿島建設[正]岩下 直樹・板橋 信男・山本章貴  
 VI-673 RC躯体構築工事における各種の省人化・省力化技術の検証／鹿島建設[正]山本章貴・岩下 直樹・板橋 信男  
 VI-674 硫黄山噴火災害対策における無人化施工適用事例／熊谷組[正]飛鳥馬 翼・中嶋 修作・天下井 哲生  
 VI-675 型枠振動機制御システムの実施工への適用性と実験供試体での材齢2年の品質評価／若築建設[正]秋山 哲治・小山 稔樹・濱田 秀則  
 VI-676 地先出入口を確保したまま管路を布設する簡易掘削機の開発について／関電工[正]三角 久・村松 誠司・加藤 恒

■地盤改良(1) / 14:25~15:55 / 浦野 和彦(安藤・間)

- VI-677 掘削攪拌装置と鉛直面での回転装置併用の地盤改良工法／竹中土木[正]津國 正一・小西 一生  
 VI-678 切削効率を高めた高圧噴射攪拌工法の開発(1) 一気中噴射試験による高吸水性ポリマー水噴射の効果検証一／戸田建設[正]下坂 賢二・赤塚 光洋・大野 康年  
 VI-679 切削効率を高めた高圧噴射攪拌工法(2) 一気中噴射実験による研摩材噴射の効果検証一／大洋基礎工業[正]大野 康年・伊藤 孝芳・下坂 賢二  
 VI-680 導電率による中層混合処理工法の品質管理システムの活用に向けた基礎的検証／加藤建設[正]牧野 貴哉・田中 正祥・森田 晃司  
 VI-681 施工履歴データを用いた中層・表層地盤改良の出来形管理基準の整備／施工技術総合研究所[正]竹本 憲充・高本 敏志・田中 克彦  
 VI-682 SDS試験による注入固化地盤の評価／日本基礎技術[正]岡田 和成・横井 勉・辻 浩平  
 VI-683 画像変位計測を用いた新しい薬液注入施工管理の実証的検討／前田建設工業[正]川西 敦士・坂藤 勇太・岡本 英彦  
 VI-684 早期強度発現型地盤改良における排泥強度について／大阪防水建設社[正]本橋 俊之・稲川 雄宣  
 VI-685 MPS-CAEによるパワーチャッキング工法の可視的性能評価／明石工業高等専門学校[学]川原 知也・桑原 秀一・稲積 真哉

■地盤改良(2) / 16:10~17:40 / 土屋 光弘(西松建設)

- VI-686 深層混合処理工法による高強度地盤改良体の施工事例／竹中土木[正]植松 佑太・川口 育久・小西 一生  
 VI-687 重要文化財の保存修理工事における高圧噴射攪拌工法の適用例／三信建設工業[正]島野 嵐・野澤 雅  
 VI-688 開削トンネル部における盤ぶくれ対策地盤改良工~ケーソン直下の高圧噴射攪拌工~／大成建設[正]藤名 瑞耀・坂本 明伸・神田 基  
 VI-689 既設改良工区に隣接した工区で施工した真空圧密工の影響について／大林組[正]青池 祥平・遠藤 泰基・佐々木 徹  
 VI-690 真空圧密工法の地盤沈下特性、および深度方向への影響について／大林組[正]佐々木 大輝・伊藤 智治・佐々木 徹  
 VI-691 吸水性改質材を混合したカルシア改質土の材料特性／五洋建設[正]田中 裕一・野中 宗一郎・浜谷 信介  
 VI-692 カルシア改質土の植物生育条件に関する検討／五洋建設[正]山田 耕一・田中 裕一・斗沢 照夫  
 VI-693 低温環境下におけるカルシア改質土の固化特性／日本製鉄[正]赤司 有三・藤井 郁男  
 VI-694 カルシア改質土のバックホウ混合専用バケットの性能試験／五洋建設[正]野中 宗一郎

VI-11 (幸町総合教育棟 多目的室4) / 9月3日(火)

■安全管理(1) / 8:40~10:10 / 榊原 直樹(大林組)

- VI-063 エアレント内部における熱中症被害対策の検討に向けた暑熱環境実測／太陽工業[正]川岸 靖・谷脇 孝一・親川 昭彦  
 VI-064 トンネル建設現場における粉じん濃度測定への簡易粉じん濃度測定器の適用性の検討／山口大学[学]掛谷 幸士朗・林 久資・進士 正人  
 VI-065 ビーコンによる位置確認システムの基礎研究／鉄建建設[正]中村 征史・長尾 達児・三木 敏光  
 VI-066 シンガポール地下鉄工事での発注者主導による請負者安全環境管理への成績評価手法／大成建設[正]助川 友斗・森川 貴史・原 毅  
 VI-067 危険エリアにおける土木工事の治安対策に関する一事例／大成建設[正]澤田 繁治・佐藤 章二・平野 充  
 VI-068 掘削用機械の斜面降下時における進行方向と安定性の関係／労働安全衛生総合研究所[正]堀 智仁・玉手 聡  
 VI-069 掘削に伴う営業線躯体のリバウンドと対策について／大成建設[正]市原 鴻・桑本 寛之・谷一 彰彦  
 VI-070 橋梁の解体工事における死亡災害の調査／労働安全衛生総合研究所[正]高橋 弘樹・大幡 勝利・高梨 成次

■安全管理(2) / 工程管理 / 10:25~11:55 / 松井 雅紀(鹿島建設)

- VI-071 反射法弾性波探査による切羽前方の弾性波速度推定と事例検証／安藤ハザマ[正]山本 浩之・中谷 匡志・今村 杉夫  
 VI-072 岐阜山県トンネル工事における災害防止施策／前田建設工業[正]鈴木 敏之  
 VI-073 舗装修繕工におけるMCシステム利用による出来形管理の省力化／施工技術総合研究所[正]佐野 昌伴・芹澤 啓・平岡 茂樹  
 VI-074 Raspberry Pi 3 と Sense Hat を用いた転倒危険早期警告装置／キック[正]才原 勝敏・西垣 重臣  
 VI-075 斜面ひずみ簡易モニタリング「表面ひずみ棒」による施工時斜面変状確認／佐藤工業[正]永尾 浩一・松崎 大介・田坂 玄  
 VI-076 鉄道近接工事における橋脚基礎掘削の施工計画及び施工管理について／熊谷組[正]貴船 一樹・太田 桂介・木下 正之  
 VI-077 ツインアーチフォーム工法によるトンネル覆工の施工実績／鹿島建設[正]沖 俊貴・尾鍋 卓巳・中村 隆之  
 VI-078 画像と機械学習を用いた現場作業の稼働状況把握に向けた現場検証／大林組[正]山中 哲志・小俣 光弘・関川 祐市  
 VI-079 竹割式坑門のプレキャスト化／大林組[正]大西 良昌・山崎 哲也

■品質管理(1) / 14:55~16:25 / 八朝 秀晃(熊谷組)

- VI-080 流動化処理土による地下空洞の充填に関する一考察(その2)／徳倉建設[正]和泉 彰彦・三ツ井 達也  
 VI-081 AIを活用したトンネル切羽地質状況評価システムの施工現場への適用事例／安藤・間[正]鶴田 亮介・中谷 匡志  
 VI-082 地すべり性地山を有するトンネル掘削における地山挙動の監視について／大林組[正]伊藤 正寛・対馬 祥一・浜田 崇  
 VI-083 タブレット端末を用いたトンネル覆工コンクリートの表層品質の確保を目的としたシステムの開発と傾向の分析／長岡工業高等専門学校[学]茨木 泰介・井林 康・森浜 哲志  
 VI-084 削孔検層による溶岩洞穴調査の評価方法の検討／安藤ハザマ[正]井ノ口 拓郎・寶谷 周・山本 浩之  
 VI-085 トンネル坑口部の改良盛土計画／戸田建設[正]工一 寿史・小沼 宏嗣  
 VI-086 機械学習によるコンクリート打継面の良否判定技術に関する基礎的検討／鹿島建設[正]中村 真人・松本 修治・今井 道男  
 VI-087 後施工せん断補強筋工法における削孔位置自動抽出システムの開発／奥村組[正]田邊 裕之・郭 勝華・浜松 慎一  
 VI-088 コンクリートの状態が金属系あと施工アンカーの引抜き耐力に与える影響に関する載荷実験／土木研究所[正]巽 義知・日下 敦・小出 孝明

■品質管理(2) / 16:40~18:10 / 上原 郷(大林組)

- VI-089 フィルダムコアゾーンにおける現場透水係数と地盤剛性に関する検討事例／水資源機構[正]坂本 博紀・福島 雅人・小林 弘明  
 VI-090 近接施工区間における載荷盛土併用真空圧密ドレーン工法による地盤改良／五洋建設[正]新伊 豊・小野 友成・上野 一彦  
 VI-091 廃棄物処分内における三重管基礎杭工法による杭の施工／鹿島建設[正]水野 浩平・樋江井 夕紀夫・西嶋 徹  
 VI-092 台形CSGダムにおけるICT技術を活用した母材採取／鹿島建設[正]上本 勝広・村山 英俊・佐藤 秀樹  
 VI-093 積雪寒冷地における冬期盛土施工／佐藤工業[正]岩淵 一歩・大西 満・猪股 諒大

- VI-094 塩酸溶解熱法による固化材含有量計測システム「セメダス」の開発／大林組[正]望月 勝紀・森田 晃司・久保 博
- VI-095 水深60m超の大深度ケーソンにおける全量モルタルでの中埋打設／大成建設[正]草柳 太郎
- VI-096 阿蘇大橋地区斜面对策工事におけるUAVでの施工管理報告／熊谷組[正]行實 涼・野村 真一・山上 直人

VI-11 (幸町総合教育棟 多目的室4) / 9月4日(水)

■品質管理(3) / 8:40~10:10 / 大友 健(大成建設)

- VI-439 PPC箱桁橋ジャッキダウン施工時の管理基準の設定と施工状況の報告／清水建設[正]平井 幹・小林 顕・坂本 貴嗣
- VI-440 保温・保湿養生マットによる養生効果に関する一考察／戸田建設[正]奥村 正樹・田中 徹・末原 卓
- VI-441 1,500m相当の長距離圧送したコンクリートのフレッシュ性状の変化に関する一考察／戸田建設[正]仲野 弘識・堀昭・大橋 英紀
- VI-442 後添加方式による中流動覆工コンクリートの品質管理手法に関する一考察後添加方式による中流動覆工コンクリートの品質管理手法に関する一考察／安藤・間[正]中村 康祐・白岩 誠史・杉浦 規之
- VI-443 N式貫入試験による貫入量を導入した打重ね管理事例／[正]竹中 宏光
- VI-444 実打設の打重ね管理に適用可能なN式貫入試験器の開発／安藤・間[正]岡村 亮太郎
- VI-445 画像認識アルゴリズムによる溶接不良自動検出に関する検証／東日本旅客鉄道[正]水野 弘二・井口 重信
- VI-446 3次元データを活用した舗装工事の出来形管理の高度化に向けた調査研究／大林組[正]伊藤 薫・森川 博邦・小塚 清

■品質管理(4) / 10:25~11:55 / 齋藤 淳(安藤ハザマ)

- VI-447 UAVと赤外線カメラによる橋脚ひび割れ等調査の現場適用性評価／奥村組[正]山田 三洋・金 和寛・筒井 祐貴
- VI-448 新設コンクリート構造物の品質管理への衝撃弾性波法の適用事例／リック[正]片岡 繁人・岩野 聡史・大野 健太郎
- VI-449 東京ミッドタウン日比谷の地下連絡通路に採用した六面鋼殻合成セグメントの性能確認試験—新日比谷地下通路工事報告(その6)—／鹿島建設[正]上木 泰裕・橋口 弘明・岡ノ谷 圭亮
- VI-450 鉄道橋りょうにおける各種PC桁への高炉セメント適用／九州旅客鉄道[正]徳永 光宏・眞野 亮・中村 昌司
- VI-451 既存橋梁更新における新設橋脚及び基礎コンクリートの長距離圧送に伴う品質評価試験について／大成建設[正]浜野 旭・鈴木 祐太郎・尾野 祐規
- VI-452 既存橋梁更新における新設橋脚及び基礎コンクリートの長距離圧送による施工／大成建設[正]佐野 賢治・鈴木 祐太郎・尾野 祐規
- VI-453 低熱ポルトランドセメントを用いたコンクリート構造物の品質向上／前田建設工業[正]林 太将・中井 将人・布川 洋樹
- VI-454 貼付型養生シートを用いた函体コンクリートの表層品質向上対策／西松建設[正]川野 恭章

VI-11 (幸町総合教育棟 多目的室4) / 9月5日(木)

■ダム(1) / 8:40~10:10 / 黒木 博(大成建設)

- VI-695 ダム基礎岩盤における機械学習を用いた割れ目判定技術の開発／鹿島建設[正]岡田 祐子・升元 一彦・野中 隼人
- VI-696 土質材料の画像粒度計測におけるドーム型照明の効果に関する実験的検討／安藤ハザマ[正]野間 康隆・山田 聡・和辻 総一郎
- VI-697 打球探査法を用いたコンクリート骨材の品質管理／鹿島建設[正]白鷺 卓・福井 直之・中村 元郎
- VI-698 堤体増厚コンクリートのひび割れ抑制対策(笠堀ダム高上げ工事報告)／鹿島建設[正]水上 裕治・山内 孝信・門脇 要
- VI-699 堤内仮排水路閉塞コンクリートのケーリング実績／鹿島建設[正]柴田 勝博・佐藤 敏亮・阿部 高
- VI-700 小石原川ダムにおけるロック材に対する品質判定の定量化／鹿島建設[正]小原 隆志・小林 弘明・坂本 博紀
- VI-701 打設間隔を短縮して試験施工した砂防堰堤垂直壁の温度応力解析とモニタリング／大日コンサルタント[正]町 勉・深見 秀隆・伊藤 誠記

■ダム(2) / 10:25~11:55 / 冨森 淳(安藤・間)

- VI-702 寒冷地におけるダムコンクリートのプレクーリング実績／鹿島建設[正]和田 篤・室野井 敏之・福井 直之
- VI-703 重力式ダムにおける付加体堆積物地盤の処理／西松建設[正]中尾 光宏

- VI-704 大水深での自動WJ切断工法による鋼管矢継手管の切断／清水建設[正]村田 有里紗・小川 正博・井川 信也
- VI-705 ダム湖内の流入水路における水中コンクリートの施工／清水建設[正]井川 信也・小川 正博・衛藤 佳弘
- VI-706 減勢工におけるシュート部の施工／清水建設[正]小川 正博・岩越 海渡・衛藤 義弘
- VI-707 ダム湖内の呑口立坑における躯体構築について／清水建設[正]内海 崇晴・小川 正博・衛藤 佳弘
- VI-708 ダム湖内の呑口立坑におけるリング支保工撤去／清水建設[正]高畑 研・衛藤 佳弘・小川 正博

■ダム(3) / 12:40~14:10 / 徳永 篤(大林組)

- VI-709 ダム湖内に構築するコンクリート構造物における大深度コンクリート打設について／大成建設[正]矢部 和史・水野 智亮・谷地 宣之
- VI-710 制約条件下での仮締切工移設の施工計画とその実績／鹿島建設[正]楠木 覚士・沼本 仁志・小浴 優
- VI-711 コンクリート練上り温度予測システムの開発／清水建設[正]武重 俊樹・立花 すばる・山下 哲一
- VI-712 ダムコンクリート自動打設システム／清水建設[正]立花 すばる・森山 忍・山下 哲一
- VI-713 ダム湖における濁水中の透明度向上エリア形成による視認性改善技術の現地適用検討／鹿島建設[正]三室 恵史・岡山 誠・新保 裕美
- VI-714 巡航RCD工法によるハッ場ダム堤体コンクリートの施工報告／清水建設[正]山口 浩・木村 雅臣・平塚 毅
- VI-715 ダム通砂運用に向けた西郷ダム改造工事の計画・設計上の特徴／熊谷組[正]高木 秀和・佐藤 努・江島 裕章

■ダム(4) / 14:25~15:55 / 佐藤 英明(熊谷組)

- VI-716 コンクリートダム下流面への自動スライド型枠の適用実績／鹿島建設[正]尾口 佳丈・岡山 誠・福井 直之
- VI-717 超高速施工フィルダムにおけるグラウチングの3D可視化による施工管理実績／鹿島建設[正]松本 孝矢・江口 貴弘・宮崎 智也
- VI-718 ハッ場ダム天端ピア部レベル2地震動への対応事例の報告／清水建設[正]市花 圭一朗・松尾 聡・干川 正也
- VI-719 ハッ場ダムにおけるプレキャスト型枠の適用／清水建設[正]本明 将来・岩淵 真・市花 圭一朗
- VI-720 選択取水塔工における大幅な工程短縮、種々の合理化実績について／鹿島・竹中土木・三井住友特定建設工事共同企業体[正]尾村 大輔
- VI-721 コンクリートダムの施工における真空断熱材の越冬養生への適用実績／鹿島建設[正]室野井 敏之・山本 秀哉・佐藤 靖彦
- VI-722 耐凍害性の向上を目的とした中空微小球のダムコンクリートへの適用実績／鹿島建設[正]渡部 貴裕・遠藤 裕丈・佐藤 靖彦

■維持・管理 / 検査技術・診断(11) / 16:10~17:40 / 森 康雄(熊谷組)

- VI-723 九州地区西岸の耐候性鋼材橋の錆と付着塩分量／西日本高速道路エンジニアリング九州[正] 藁科 彰
- VI-724 単線トンネルの側壁コンクリートに生じた劣化原因に関する一考察／東日本旅客鉄道[正]今野 恵子・酒井 景祐・三上 淳
- VI-725 経年変化した透光性遮音板における物理特性の評価手法に関する研究／高速道路総合技術研究所[正]岩吹 啓史・松原 亨
- VI-726 鋼鉄道橋の箱桁ダイヤフラムに発生した疲労き裂について／東日本旅客鉄道[正]山下 雄也・窪田 利幸
- VI-727 鋼鉄道橋の箱桁ダイヤフラム付近に生じた変状の原因推定／東日本旅客鉄道[正]大島 博之・窪田 利幸
- VI-728 衝撃荷重載荷による上路トラス橋RC床版の耐荷性能照査／大日本コンサルタント[正]横山 広・高山 淳一・田中 大気
- VI-729 光ファイバーセンサーを用いた上路トラス橋RC床版の変位計測光ファイバーセンサーを用いた上路トラス橋RC床版の変位計測／大日本コンサルタント[正]園山 俊貴・横山 広・田中 大気

VI-12 (幸町総合教育棟 第31大講義室) / 9月3日(火)

■山岳トンネル(8) / 8:40~10:10 / 多寶 徹(安藤・間)

- VI-097 特殊増粘剤を用いた低セメント量高流動コンクリートによる超大断面水路トンネルの覆工施工／大林組[正]五十嵐 正剛・谷口 昭一・末永 卓
- VI-098 特殊増粘剤を含有した新規の液型混和剤を用いた低セメント量高流動コンクリートのトンネル覆工への適用検討／大林組[正]西浦 秀明・丹羽 武志・村田 匠

- VI-099 特殊増粘剤を用いた低セメント量高流動コンクリートのトンネル覆工への適用検討／大林組[正]杉本 匡章・出口 宗浩・近藤 諒学
- VI-100 低セメント量の高流動コンクリートを採用した覆工の施工事例／大林組[正]原口 雄人・永松 雄一・佐藤 陽亮
- VI-101 トンネル覆工高流動コンクリートの施工前実験の評価／大成建設[正]新津 祐樹・橋本 貴之・松元 淳一
- VI-102 トンネル覆工コンクリート表層品質評価を現場導入した効果／佐藤工業[正]森浜 哲志・喜多 則勝・宇野 洋志城
- VI-103 比抵抗による覆工コンクリート脱枠強度予測装置の開発／戸田建設[正]関根 一郎・若竹 亮・相羽 周
- VI-104 3Dレーザスキャナを用いた覆工コンクリートの出来形測量自動化／五洋建設[正]前田 智之・石田 仁・藤田 真司

■山岳トンネル(9) / 10:25~11:55 / 高市 一馬 (大成建設)

- VI-105 センترلに設置した圧力計によるコンクリート打設高さ検知システム／奥村組[正]齋藤 隆弘・張 志セン・小野 緑
- VI-106 覆工コンクリートにおけるひび割れ誘発目地の効果的な形成方法と形成した目地の品質／奥村組[正]浅野 剛・齋藤 隆弘・張 志瑄
- VI-107 覆工コンクリートに形成した目地によるひび割れの誘発特性／奥村組[正]張 志瑄・齋藤 隆弘・小野 緑
- VI-108 剥離剤塗布による覆工コンクリート打継部のひび割れ抑止効果／奥村組[正]田中 寛大・岩崎 光・齋藤 隆弘
- VI-109 コンクリート打継面用縁切材の付着性能に関する考察／東海大学[学]高橋 楽・森 賢宇・宇野 洋志城
- VI-110 コンクリート打継面用縁切材の開発および適用に関する考察／佐藤工業[正]の場 栄次・對馬 大郎・越坂 誠一
- VI-111 覆工コンクリート打継面への塗布型縁切材の適用効果に関する考察／佐藤工業[正]豆田 憲章・合欽垣 誠司・宇野 洋志城

■山岳トンネル(10) / 14:55~16:25 / 海瀬 忍

(高速道路総合技術研究所)

- VI-112 超大断面トンネルにおける部分パイプクーリングの解析的検討／安藤・間[正]倉重 至・田口 敬二・赤池 考起
- VI-113 センترل2台による型枠養生が覆工コンクリートの品質に及ぼす効果／飛鳥建設[正]熊谷 幸樹・日下 慎也・木下 倫孝
- VI-114 背面平滑型トンネルライニング工法(FILM工法)のモルタル充填性の改善等の工夫について／清水建設[正]田中 彰・藤野 晃・中谷 剛
- VI-115 覆工コンクリート背面の排水性能を向上させるFILM工法用高排水シートの開発／東急建設[正]伊藤 誠・満尾 淳・内田 匠一
- VI-116 覆工コンクリートの急速施工における圧入打設の施工性と品質／奥村組[正]小野 緑・浜田 元・齋藤 隆弘
- VI-117 覆工コンクリート天端吹上げ打設空間の縮小による材料分離低減効果の検証／鹿島建設[正]日野 博之・手塚 康成・福田 博之
- VI-118 高性能化した透水性型枠シートによる覆工コンクリート側壁下部の表面品質の向上効果／フジモリ産業[正]村田 知哉・細田 優介・小野 緑
- VI-119 センترل下げネコ部に透水性型枠シートを簡便・確実に設置する方法の開発／奥村組[正]浜田 元・岩崎 光・横山 哲哉

■山岳トンネル(11) / 16:40~18:10 / 手塚 仁 (熊谷組)

- VI-120 山岳トンネル覆工における分割型プレキャスト覆工システムの開発／清水建設[正]末田 将大・安井 成豊・寺戸 秀和
- VI-121 山岳トンネルにおける分割型プレキャスト覆工の設計／清水建設[正]山田 健明・真下 英人・井野 裕輝
- VI-122 実構造物における曲げじん性の確認試験に関する考察／高速道路総合技術研究所[正]前川 和彦・伊藤 哲男・海瀬 忍
- VI-123 インパート下部に大口径のさや管が設置されるトンネルの施工について／安藤ハザマ[正]辰巳 順一・西川 篤哉・佐々木 淳
- VI-124 埋設型枠を用いたインパート覆工コンクリートの充填性に関する実験的検討／清水建設[正]名倉 健二・末田 将大・御領園 悠司
- VI-125 赤外線熱画像診断技術による埋設型枠コンクリートの充填性評価／清水建設[正]御領園 悠司・久保 昌史・名倉 健二
- VI-126 トンネル換気用ジェットファン取付金具への地震による影響／ダイヤコンサルタント[正]原 翔平・日下 敦・小出 孝明
- VI-127 遠隔立会システムによる山岳トンネルICT施工管理／清水建設[正]木村 厚之・信永 博文・山中 慎也

VI-12 (幸町総合教育棟 第31大講義室) / 9月4日(水)

- 山岳トンネル(12) / 8:40~10:10 / 嶋本 敬介 (鉄道総合技術研究所)
- VI-455 自走式水平ボーリング孔内観察ロボットの開発／大林組[正]藤岡 大輔・中岡 健一・森 拓雄
- VI-456 調査坑からの本坑探査技術について—平成28年度三遠南信池島トンネル調査坑工事—／三井住友建設[正]石川 滋・山田 文孝・中齊 剛
- VI-457 RPDを用いた連続打撃動的貫入試験による脆弱部の支保パターン検討／鹿島建設[正]岡崎 勇樹・北村 義宣・小林 幸司
- VI-458 油圧式削岩機のダンピング圧変動を利用した地山の圧縮強さ推定／奥村組[正]塚本 耕治・小泉 匡弘・進士 正人
- VI-459 差し角自動制御システムの適用による爆破掘削時の余掘り量低減効果／清水建設[正]荒井 匠・大川 了・山邊 恵太
- VI-460 ドリルジャンボの機械データを活用した新しい切羽評価点法の提案／清水建設[正]大坪 宏行・大川 了・山邊 恵太
- VI-461 山岳トンネルにおける三次元モデルの活用／熊谷組[正]宇山 大治・辻 栄太郎・志水 政弘
- VI-462 予測型CIMの岩判定業務への活用／大林組[正]三宅 由洋・富永 英治・山根 裕之

■山岳トンネル(13) / 10:25~11:55 / 石田 滋樹

(中電技術コンサルタント)

- VI-463 TDEM法による第三紀層膨潤性地山の探査(その2)／戸田建設[正]原 敏昭・磯 真一郎・齋藤 章
- VI-464 非火薬破砕剤を用いた坑内弾性波探査による切羽前方の予測／安藤・間[正]五味 春香・辰巳 順一
- VI-465 トンネル切羽前方における三次元比抵抗推定法の改善／新潟大学[学]竹内 新・阿部 和久・椎谷 成孝
- VI-466 複数手法を組み合わせた切羽前方探査システム／清水建設[正]吉河 秀郎・青野 泰久・淡路 動太
- VI-467 トンネル掘削発破を起振源とする三次元切羽前方探査手法の検討／安藤ハザマ[正]中谷 匡志・山本 浩之・榎本 陽史
- VI-468 トンネル事前調査の地山評価に関する一考察／飛鳥建設[正]兼松 亮・小林 真人・金子 伸
- VI-469 トンネル切羽画像のフラクタル次元解析による岩盤評価(新生代第四紀火山岩類の事例)／フジタ[正]宇田川 義夫・伊藤 由明・押村 嘉人

VI-12 (幸町総合教育棟 第31大講義室) / 9月5日(木)

■山岳トンネル(14) / 8:40~10:10 / 吉川 直孝

(労働安全衛生総合研究所)

- VI-730 山岳トンネル工事における地山情報可視化・情報共有の取り組み／大成建設[正]谷 卓也・古賀 快吾・宮本 真吾
- VI-731 切羽プロジェクトマッピングシステムの開発／大成建設[正]古賀 快吾・谷 卓也・宮本 真吾
- VI-732 切羽プロジェクトマッピングシステムを活用した山岳トンネルの施工事例／大成建設[正]宮本 真吾・福原 俊一・谷 卓也
- VI-733 トンネル切羽の鏡吹付けコンクリートの厚さ管理システムの開発／鹿島建設[正]宮嶋 保幸・福島 大介・戸邊 勇人
- VI-734 トンネル切羽での走向傾斜評価システムの開発／鹿島建設[正]福島 大介・戸邊 勇人・宮嶋 保幸
- VI-735 デブスカメラを用いたトンネル切羽監視システムの開発における基礎研究／三井住友建設[正]中村 隆史・請関 大海・塩崎 正人
- VI-736 AIを用いた山岳トンネルの切羽評価に関する一考察／土木研究所[正]菊地 浩貴・日下 敦・小出 孝明

■山岳トンネル(15) / 10:25~11:55 / 田川 謙一 (東海旅客鉄道)

- VI-737 吹付けコンクリートの遠隔操作技術の開発(その1)／熊谷組[正]尾畑 洋・坂西 孝仁・手塚 仁
- VI-738 吹付けコンクリート吹付の遠隔操作技術の開発(その2)／熊谷組[正]坂西 孝仁・宮川 克己・手塚 仁
- VI-739 HMDによるトンネルコンクリート吹付機の遠隔操作技術の開発／大成建設[正]西田 与志雄・友野 雄士・高倉 克彦
- VI-740 作業員の熟練度に依存しないトンネル施工方法の確立／大林組[正]渡辺 匠・加藤 隆雄・黒川 尚義
- VI-741 山岳トンネル 長尺防水シート自動展張システムの開発／大林組[正]齋藤 有佐・渡辺 淳・阪口 雅信
- VI-742 山岳トンネルにおける切羽無人化鋼製支保工建込みシステムの導入／前田建設工業[正]江頭 遼一・賀川 昌純
- VI-743 山岳トンネルにおける掘削施工サイクルの自動取得について／安藤・間[正]天童 涼太・横内 静二・早川 健太郎
- VI-744 山岳トンネルにおける掘削サイクル判定システムの開発／西松建設[正]三井 善孝・山本 悟・園田 香織

■リニューアル(12) / 12:40~14:10

- VI-745 トンネル内換気対象物質の低減状況と将来予測/高速道路総合技術研究所[正]清水 雅之・伊藤 哲男・海瀬 忍
- VI-746 長期耐久性に優れた透光板材料の採用検討/首都高速道路[正]引地 宏陽・蔵治 賢太郎・染谷 厚徳
- VI-747 限界管理等測定業務の効率化に向けた点群データの精度などの検証/東日本旅客鉄道[正]栗林 健一・白崎 広和・向井 鷹則
- VI-748 コンクリートの劣化対策に適用する透明塗料を用いた省力化表面保護工法の開発/東鉄工業[正]杉山 竜哉・松田 康紀・羽矢 洋
- VI-749 高速道路トンネルにおける点検結果のばらつき要因に関する一考察/山口大学[学]宮地 智仁・海瀬 忍・林 久資
- VI-750 トンネル覆工の評価精度向上を目的としたひび割れ分布把握に関する検討/山口大学[学]相緒 春菜・中村 剛・藏重 聡志
- VI-751 中央道恵那山トンネルにおける計測・監視体制の取組み/中日本高速道路[正]森瀬 喬士・竹田 豪文・藤岡 一頼
- VI-752 シールドトンネルの維持管理における内空計測方法の検討/東京電力パワーグリッド[正]和田 好史・内藤 幸弘・菊地 裕

■リニューアル(13) / 14:25~15:55/倉田 雅人

(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-753 既設トンネルに近接した地形変化が与える覆工変状原因の予測について/西日本高速道路エンジニアリング中国[正]末永 拓嗣・下山 洋・風呂川 京介
- VI-754 既設道路トンネルの大規模な地震被害リスクを考慮した対策優先度に関する研究/山口大学[学]浦川 佳樹・林 久資・進士 正人
- VI-755 火害を受けたトンネルの対策工と覆工補強/北海道旅客鉄道[正]網嶋 和彦・川村 力
- VI-756 地下構造物の地山側鉄筋の補強技術の開発/大成建設[正]高倉 克彦・阿部 智彦・遠藤 一広
- VI-757 炭素繊維シートによるセグメントの補強効果の検討/東電設計[正]阿南 健一・吉本 正浩・和田 好史
- VI-758 道路トンネルの大規模更新と辰野トンネルの改修/中日本高速道路[正]田尻 丈晴・松村 健人・大木 研人
- VI-759 巻厚不足対策における内巻補強工の設計/パシフィックコンサルタンツ[正]前田 洗樹・田尻 丈晴・松村 健人
- VI-760 道路トンネルの内巻補強工の施工/熊谷組[正]森 康雄・今井 裕之・垣見 広

■維持・管理/検査技術・診断(12) / 16:10~17:40/宇野 洋志城

(佐藤工業)

- VI-761 供用中の高速道路における移動計測車両を用いた路面計測状況報告/ネクスコ・エンジニアリング東北[正]山家 信幸・村山 暢・千葉 京衛
- VI-762 高速道路トンネル覆工コンクリートの性状に関する一考察/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京[正]笹本 直之・渡邊 太郎・大窪 克己
- VI-763 道路トンネルの鉄筋区間におけるひび割れ発生原因の推定/日本工営[正]沢田 陽佑・小谷 拓
- VI-764 寒冷地トンネル覆工におけるひび割れの季節変動について/建設技術研究所[正]禿 和英・須藤 敦史・河村 巧
- VI-765 新幹線PRC単純桁の長期計測結果の考察/JR東日本コンサルタンツ[正]中原 美佳・逸見 研二・八嶋 宏幸
- VI-766 老朽化した旧式鉄道橋梁の長寿命化および減災に向けた取り組み/南海電気鉄道[正]窪田 勇輝・小出 泰弘・吉田 育央
- VI-767 トンネル内路盤コンクリートの健全度評価に関する検討/西日本旅客鉄道[正]坂本 寛章・近藤 政弘・田中 成昂

VI-13 (幸町総合教育棟 第32講義室) / 9月3日(火)

■維持・管理/検査技術・診断(1) / 8:40~10:10/新井 崇裕(鹿島建設)

- VI-128 非破壊調査による標識基礎部アンカーボルトの点検効率化/西日本高速道路エンジニアリング中国[正]大段 好勝・坂東 誉浩・松永 嵩
- VI-129 ガードレール支柱の根入れ長診断技術の開発/原子燃料工業[正]藤吉 宏彰・松永 嵩・栗島 翔
- VI-130 照明柱路面境界部の非破壊検査技術による検証結果(NS+システム)/NS検査[正]新美 久仁彦・松浦 康博・畠山 瑠美子
- VI-131 照明柱路面境界部腐食の非破壊検査技術による検証結果(COLOPATスキャン)/東京理化学検査[正]長嶋 功一・安部 健・松浦 康博
- VI-132 照明柱路面境界部腐食の非破壊検査技術による検証結果

- (非破壊検査技術の比較)/アミック[正]松浦 康博・陰山 公明・西山 博光
- VI-133 亜熱帯島嶼環境における鋼管柱腐食劣化診断の有効性の継続調査について/大日本コンサルタント[正]中池 竜司・本田 博幸・田代 大樹
- VI-134 亜熱帯島嶼環境下において再劣化を繰り返すRC橋の耐荷力検討/大日本コンサルタント[正]田代 大樹・本田 博幸・中池 竜司

■維持・管理/検査技術・診断(2) / 10:25~11:55/内田 慎哉

(富山県立大学)

- VI-135 広帯域超音波法(WUT)を用いたPCグラウト充填探査の基本特性と精度向上/日本ピーエス[正]福島 邦治・山田 浩司・木下 尚宜
- VI-136 磁気法による既設PC鋼材の異状検知に関する実橋調査/川田建設[正]北野 勇一・小濱 博明・高澤 茂樹
- VI-137 電磁波レーダによる鉄筋コンクリートの反射応答画像の数値化について/ジオ・サーチ[正]森田 英明・鷺見 高典・吉田 亮
- VI-138 表面弾性波可視化技術のコンクリートコア面への適用性/京都大学[学]渡邊 拓哉・島堀 貴秀・茅野 茂
- VI-139 道路橋床版防水層の健全性評価システムに関する実験的研究/施工技術総合研究所[正]三浦 康治・榎園 正義・米来 哲之
- VI-140 タイヤ/路面騒音を活用した路面異常検知技術に関する検討/鹿島道路[正]岡部 俊幸・川村 彰・富山 和也
- VI-141 広帯域AEセンサを用いた車両走行ノイズ評価に関する研究/施工技術総合研究所[正]榎園 正義・勝呂 翔平・長谷 俊彦

■維持・管理/検査技術・診断(3) / 14:55~16:25/歌川 紀之(佐藤工業)

- VI-142 コンクリート構造物に対する赤外線サーモグラフィ法非破壊検査の確立/明星大学[学]近藤 肇・小山 昌志・石川 真志
- VI-143 赤外線熱画像による橋梁コンクリートの温度差領域と密実性の関係/西日本高速道路エンジニアリング四国[正]橋爪 謙治・林 和彦・橋本 和明
- VI-144 近赤外分光法を用いたPCグラウトの塩化物イオン濃度推定に関する基礎的研究/フジタ建設コンサルタント[正]山本 晃臣・上田 隆雄・野島 昭二
- VI-145 可変スポット径のレーザ加熱光学系を用いた浮き・剥離の顕在化/東京大学[学]久保田 祐貴・早川 智彦・望戸 雄史
- VI-146 高速走行時におけるモーションプラー補償に基づくトンネル覆工浮き・剥離検査システム/東京大学[正]早川 智彦・久保田 祐貴・望戸 雄史
- VI-147 はく落要注意箇所の自動抽出システムの機能改良/メトロレールファシリティーズ[正]篠原 秀明・小川 力也・塙 麻美子
- VI-148 スペクトル分析による軌道部材の劣化把握に関する検討/鉄道総合技術研究所[正]坪川 洋友・水谷 淳

■維持・管理/検査技術・診断(4) / 16:40~18:10/松田 敏(熊谷組)

- VI-149 栈橋下面点検ロボット「ピアグ」の画像処理/大林組[正]濱地 克也・青木 峻二・沼崎 孝義
- VI-150 二輪型マルチコプタを用いた構造物の近接撮影およびIFC 3次元モデルを用いた点検管理システムの研究開発について/ドーコン[正]佐藤 誠・長谷川 英司・大山 高輝
- VI-151 ロボットによる高橋脚の打音点検実証試験/ネクスコ東日本エンジニアリング[正]赤木 琢也・高櫻 裕一・小出 至也
- VI-152 橋梁点検ロボットBRIDGEVIEWの作業性と適用範囲の拡大に向けた改良/建設技術研究所[正]石田 辰英・松井 義昌・広瀬 茂男
- VI-153 トンネル維持管理の効率化・高精度化を目的とした覆工マーカーの利用方法/施工技術総合研究所[正]寺戸 秀和・安井 成豊・新田 恭士
- VI-154 トンネル覆工表面画像撮影の品質確保に資する覆工表面状況の評価/西日本高速道路エンジニアリング九州[正]谷口 徹也・中嶋 健史
- VI-155 トンネル全断面点検・診断システムの社会実装に向けた取り組み/東急建設[正]伊藤 正憲・中村 聡・上野 隆雄

VI-13 (幸町総合教育棟 第32講義室) / 9月4日(水)

■維持・管理/検査技術・診断(5) / 8:40~10:10/江里口 玲

(太平洋セメント)

- VI-470 構造物診断のためのIoT最先端通信技術(LPWA)導入に向けた調査研究/大阪大学[正]小泉 圭吾・福田 芳雄・澤田 雅彦
- VI-471 LPW を利用した簡易橋梁モニタリングシステムの一検討/京橋ブリッジ[正]公門 和樹

- VI-472 点検困難箇所解消に向けた遠隔支援システムの活用事例／西日本高速道路エンジニアリング中国[正]田中 修平・鈴木 正範・太田 雅彦
- VI-473 塗布型圧電素子を活用した鋼橋モニタリング手法に関する基本性能の検討／東日本旅客鉄道[正]秋山 啓太・斎藤 岳季・海野 雄士
- VI-474 社会基盤の維持管理に関するIoTとAIによる支援化の課題の考察／三重大学[正]桜井 宏・岡田 包儀・鈴木 明人
- VI-475 自治体による点検合理化に向けたドローン活用事例／京都府[正]春田 健作・柴田 巧・万所 ユミ
- VI-476 飯桁橋・トラス橋への点検用ドローンの取り組みについて報告／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京[正]中村 尚武・伊東 剛・堀 隆一
- VI-477 自律飛行ドローンによる通信用マンホール点検技術の開発／NTTアクセスサービスシステム研究所[正]内堀 大輔・中川 雅史・柳 秀一

■維持・管理／検査技術・診断(6) / 10:25~11:55 / 渡邊 晋也  
(施工技術総合研究所)

- VI-478 スマホとカメラを用いたコンクリート構造物表面のひび割れ幅測定器の開発に関する検討／JR東日本コンサルタンツ[正]赤堀 誠・小林 薫・佐々木 尚美
- VI-479 超高解像度カメラを用いた橋梁の画像診断において点検スキルが診断結果に与える影響の分析／金沢大学[学]浦田 渡・南 貴大・藤生 慎
- VI-480 コンクリート構造物のデジタル画像に含まれるひび割れ自動検出／電源開発[正]尾留川 剛・萬寶 徹郎・西澤 祥一
- VI-481 損傷図データをを用いた橋梁の健全度自動診断に関する基礎的研究／金沢大 [学]南 貴大・浦田 渡・藤生 慎
- VI-482 深層学習を用いた画像分類によるひび割れ部位の判別／長崎大学[学]寺野 聡恭・松田 浩・古賀 掲維
- VI-483 AIを用いた画像解析技術によるひび割れ点検業務の生産性向上に関する検討／大林組[正]青木 峻二・富井 孝喜・齊藤 翔太
- VI-484 鹿児島県内でのSIP地域実装におけるひび割れ画像解析技術の適用／大成建設[正]堀口 賢一・本澤 昌美・中野 智章
- VI-485 ひび割れ画像解析におけるAIを用いたひび割れ検出技術の検出精度と作業性向上効果の確認／大成建設[正]本澤 昌美・堀口 賢一・吉本 稔

VI-13 (幸町総合教育棟 第32講義室) / 9月5日(木)

■維持・管理／検査技術・診断(7) / 8:40~10:10 / 西村 毅(安藤・間)

- VI-768 3次元点群データを活用した変状検出の一考察／首都高速道路[正]濱野 北斗・神田 信也
- VI-769 深度画像を用いたトンネル付帯構造物の劣化箇所抽出／東日本旅客鉄道[正]滝澤 彰宏・齊藤 岳季・神谷 弘志
- VI-770 栈橋上部工点検用ROVおよび点検診断支援ソフトによる点検作業の効率化／港湾空港技術研究所[正]野上 周嗣・加藤 絵万・田中 敏成
- VI-771 トンネル覆工マーカーを用いた位置座標補正効果に関する現場検証／施工技術総合研究所 [正]井野 裕輝・安井 成豊・寺戸 秀和
- VI-772 テンプレートマッチングを利用した防波堤の位置検出手法の開発／海上・港湾・航空技術研究所[正]松村 聡・水谷 崇亮・市田 輝喜
- VI-773 構造物の3D計測とその利活用に関する研究／長崎大学 [学]伊勢田 幹太・松田 浩・古賀 掲維
- VI-774 特殊橋梁における三次元管理の有効性の検証／西日本高速道路エンジニアリング九州[正]東 克徳・田中 克則

■維持・管理／検査技術・診断(8) / 10:25~11:55 / 全 邦釘(東京大学)

- VI-775 深層学習を用いた鋼橋における塗膜劣化の画像処理技術／高速道路総合技術研究所[正]白川 裕之・須田 一哉・井合 雄一
- VI-776 深層学習による画像認識を用いた橋梁添架設備の領域検出技術の研究／日本電信電話[正]濱野 勇臣・内堀 大輔・中川 雅史
- VI-777 深層学習によるアーチダム表面変状の検出とその分布特性／八千代エンジニアリング[正]粟飯原 稔・権神 侑貴・安野 貴人
- VI-778 ダム堤体管理における深層学習検出情報の定量化の実現／八千代エンジニアリング[正]天方 匡純・安野 貴人・藤井 純一郎
- VI-779 Deep Learning 及びAIによる変状自動抽出／メトロレールファシリティーズ[正]渡辺 貞之・篠原 秀明・米丸 陸海
- VI-780 落石斜面検査へのドローンの活用に関する検証試験／東日本旅客鉄道[正]神谷 弘志・齊藤 岳季・中村 大輔
- VI-781 AIによる打音データ判定フロー／佐藤工業[正]京免 継彦

■維持・管理／検査技術・診断(9) / 12:40~14:10 / 藤生 慎(金沢大学)

- VI-782 回転式打音診断支援システム(S-SJ)の現地検証について／ネクスコ東日本エンジニアリング[正]清水 俊吾・高櫻 裕一・門平 篤志
- VI-783 自己組織化マップを用いた打音診断／佐藤工業[正]黒田 千歳・歌川 紀之・島田 拓夢
- VI-784 鋼橋床版の打音点検装置の開発／西日本高速道路エンジニアリング九州[正]藤岡 靖・藁科 彰・小原 大樹
- VI-785 鉄道トンネルの打音調査を対象とした音・振動連成解析／鉄道総合技術研究所[正]津野 究・船越 宏治・嶋本 敬介
- VI-786 電磁波レーダ探査による覆工巻厚調査結果と濁音範囲の相関について／西日本高速道路エンジニアリング中国[正]鈴 将彦・尾中 亮太・坂東 誉浩
- VI-787 デジタル打音検査によるジェットファンアンカーの診断基準構築に向けて／原子燃料工業[正]小川 良太・福岡 透・清水 寛
- VI-788 ソナーを用いた鉄道橋梁の洗掘調査手法に関する一考察／東海旅客鉄道[正]野中 大輔
- VI-789 浮体による通水中の水路壁面点検装置の開発(その2)／東京電力ホールディングス[正]森岡 宏之・森文章・山内 優

■維持・管理／検査技術・診断(10) / 14:25~15:55 / 岡本 修一  
(大成建設)

- VI-790 ボルト緩みの遠隔検知／東急建設[正]島田 裕貴・小西 拓洋
- VI-791 レーザドップラ振動計を用いた橋梁通信管路のボルト緩み検知に関する検証／日本電信電話[正]池口 雄大・齋藤 千紘・中川 雅史
- VI-792 異種材料間の境界面剥離の推定に対する共振法の適用性検討／東北大学[学]夏目 泰輔・内藤 英樹
- VI-793 非接触音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発—地下発電所空洞における長距離計測—／桐蔭横浜大学[正]上地 樹・杉本 恒美・森岡 宏之
- VI-794 遮音壁支柱の効率的な点検手法に関する研究／高速道路総合技術研究所[正]兼重 仁・岩吹 啓史・安田 英明
- VI-795 伸縮装置通過音による鋼製フィンガージョイントの異常検知に関する実験的検討／岐阜大学[学]加藤 瑛那子・木下 幸治・多賀 翔一
- VI-796 列車走行音を活用した軌道状態の異常検知に関する基礎研究／東日本旅客鉄道[正]清水 彰久・山本 修平・元好 茂

■維持・管理／検査技術・診断(13) / 16:10~17:40 / 大窪 和明  
(東北大学)

- VI-797 確率モデルを用いたトンネル上床における浮きの発生予測手法検討／東京地下鉄[正]小瀧 香・今泉 直也・根本 早季
- VI-798 環境条件を勘案したコンクリート構造物の劣化リスクに関する研究／東日本旅客鉄道[正]原田 悟・岸 利治・鎌田 和久
- VI-799 降雨による鉄道盛土の簡易的な被災箇所推定手法の提案について／九州旅客鉄道[正]上村 寿志・佐藤 武斗・森 勇樹
- VI-800 AHPを用いた健全度判定メカニズム分析その2／東京地下鉄[正]小川 大貴・今泉 直也・根本 早季
- VI-801 TCIによる覆工コンクリートの健全度評価に関する検討／高速道路総合技術研究所[正]前田 佳克・伊藤 哲男・海瀬 忍
- VI-802 在来線における高頻度動揺測定を活用した軌道工事の動的検取手法の提案／JR西日本[正]松本 麻美・西島 悠太・原田 祐樹
- VI-803 動的走行シミュレーションを用いた在来線における動的検収の適用条件の検討／鉄道総合技術研究所[正]西島 悠太・田中 博文・松本 麻美

## 第Ⅶ部門 環境計画・管理、環境システム、用排水システム、廃棄物、環境保全など

### Ⅶ-1 (幸町総合教育棟 多目的室6) / 9月3日(火)

#### ■水環境(1) / 8:40~10:10 / 山崎 慎一(高知工業高等専門学校)

- Ⅶ-001 環境DNA技術を用いたホタルのモニタリング手法 / 鹿島建設[正]大野 貴子・林 文慶・板川 暢
- Ⅶ-002 海草の環境DNA検出に及ぼす分析阻害の影響検討 / 大成建設[正]赤塚 真依子・高山 百合子・伊藤 一教
- Ⅶ-003 アサリの小規模親貝保護区の設置効果について / 大林組[正]大島 義徳・大谷 孝一・西村 修
- Ⅶ-004 移植サンゴの種類別生残・成長特性に関する一考察 / エコー[正]岡田 亘・知念 正吉・大村 誠
- Ⅶ-005 関東沿岸域の海岸マイクロプラスチックの実態分析 / 元防衛大学校[正]山口 晴幸
- Ⅶ-006 沿岸域を題材としたVR視聴の受容性における世代間相違について / フジタ建設コンサルタント[正]酒井 孟・山中 亮一・藤田 達也
- Ⅶ-007 尼崎運河の環境再生活動における関係価値の評価の試み / 徳島大学[学]宮内 尚輝・山中 亮一・上月 康則
- Ⅶ-008 水環境健全性指標の調査結果の新たな表示方法に関する提案 / 日水コン[正]清水 康生・下平 由美子

#### ■水環境(2) / 10:25~11:55 / 大島 義徳(大林組)

- Ⅶ-009 尼崎運河での全層貧酸素化の発生過程に関する一考察 / 徳島大学[学]戸田 涼介・山中 亮一・上月 康則
- Ⅶ-010 エストロゲン類を含めた河川水質調査および生態系への影響 / 早稲田大学[学]水野 晶貴・中村 祐太・榊原 豊
- Ⅶ-011 カワウコロニーが小規模閉鎖性池の水質に与えた影響 / 木更津高専[正]湯谷 賢太郎
- Ⅶ-012 マイクロコズムWET試験法による生態系機能に着目した影響評価 / 千葉工業大学[正]村上 和仁・土屋 友美・小幡 一樹
- Ⅶ-013 凍結防止剤及び融雪剤に対する人工土壌を用いたシマミミズの急性毒性試験 / 明石工業高等専門学校[学]木村 真悠・田村 修司・渡部 守義
- Ⅶ-014 アナモックスと従属脱窒の組み合わせによる効率的窒素除去 / 鹿島建設[正]多田羅 昌浩・柴田 晴佳・上野 嘉之
- Ⅶ-015 微細藻類・硝化細菌共生系プロセスとパッフルドリアクターによるアンモニア除去性能評価 / 長岡技術科学大学[学]福島 巧己・渡利 高大・三輪 徹
- Ⅶ-016 電解セルを用いた酸性河川水の中和処理 / 前橋工科大学[学]安井 達哉・田中 恒夫・島田 直人

#### ■バイオレメディエーション(1) / 14:55~16:25 / 緒方 浩基(大林組)

- Ⅶ-017 1,4-ジオキサン分解菌N23株による有機塩素化合物分解の基礎的検討 / 大成建設[正]渡邊 亮哉・山本 哲史・斎藤 祐二
- Ⅶ-018 Dehalococcoides sp. UCH007株の導入によるVOCs脱塩素化の促進効果と温度の影響 / 大成建設[正]伊藤 雅子・高畑 陽・内野 佳仁
- Ⅶ-019 原位置加熱法とバイオレメディエーションの併用を用いる打込み式電極注入管の開発 / 大成建設[正]高畑 陽・須網 功二
- Ⅶ-020 バイオレメディエーションと物理化学処理の併用によるセレン酸汚染土壌の浄化処理短時間化の検討 / ケー・エフ・シー [正]大塚 治・山下 光雄・小竹 史哉
- Ⅶ-021 APPLICATION OF BIO-FENTON PROCESS IN REMOVAL OF TETRACYCLINES IN SBR/Waseda University [正] Vadakke Pariyarth Ranjusha・Sakakibara Yutaka
- Ⅶ-022 ファイトフエントンを併用したPCP汚染土壌の修復における研究 / 早稲田大学[学]清水 孝憲・梁池 秀介・榊原 豊
- Ⅶ-023 イネ科植物の生体防御反応を利用した難分解性物質の浄化 / 早稲田大学[学]笹木 伶・榊原 豊・豊田 玲音
- Ⅶ-024 水生植物を用いた抗生物質除去法に関する実験的検討 / 早稲田大学[学]平原 壮・Vadakke Pariyarth Ranjusha・榊原 豊

#### ■バイオレメディエーション(2) / 16:40~18:10 / 高畑 陽(大成建設)

- Ⅶ-025 エアリフト構造を有するドレーンを用いた油回収技術の検討 / 鹿島建設[正]石神 大輔・河合 達司・大塚 誠治
- Ⅶ-026 鉄粉と微生物栄養剤を併用した原位置VOCs浄化手法の開発 / 大林組[正]森 一星・緒方 浩基・西田 憲司
- Ⅶ-027 地下水流速の大きい地盤汚染現場における原位置バイオ工法の開発 / 大林組[正]佐藤 ゆう子・緒方 浩基・西田 憲司
- Ⅶ-028 原位置生物処理における栄養剤のpH調整および浸透性向上に関する現場試験 / 大林組[正]佐藤 祐輔・本田 ゆう子・西田 憲司
- Ⅶ-029 電解水素注入による原位置独立栄養脱窒法のフィールド試験 / 早稲田大学[学]山田 大貴・榊原 豊・小森 正人

- Ⅶ-030 第一種特定有害物質における分解生成物質の汚染拡散について / 基礎地盤コンサルタンツ[正]佐野 豊生・高橋 秀明・細谷 貴
- Ⅶ-031 シアン汚染地地下水拡散防止技術の研究 / 大林組[正]緒方 浩基・大西 健司・日野 良太

### Ⅶ-1 (幸町総合教育棟 多目的室6) / 9月4日(水)

#### ■石炭灰・焼却灰利用 / 8:40~10:10 / 福武 健一(大林組)

- Ⅶ-063 焼却残渣固化式処分における振動締固めと配合に関する研究 / 安藤ハザマ[正]三反畑 勇・弘末 文紀・秋田 宏行
- Ⅶ-064 焼却残渣を埋立処分する固化式処分システムの示方配合に関する研究 ~ 産業廃棄物焼却残渣の固化式処分に関する基礎的研究 ~ / 安藤・間[正]青木 貴均・三反畑 勇・弘末 文紀
- Ⅶ-065 重金属等を含む焼却主灰造粒固化物の長期溶出挙動評価(その3) / 鹿島建設[正]河合 達司・篠原 智志・石神 大輔
- Ⅶ-066 木質バイオマス発電由来の燃焼灰の有効利用に関する試験検討 / 大林組[正]田島 孝敏・甚野 智子・大島 義徳
- Ⅶ-067 袋詰めフライアッシュセメントの硬化実験 / 東洋建設[正]山崎 智弘・角田 紘子
- Ⅶ-068 石炭灰埋立てに伴う軟弱地盤の長期沈下について / 相馬環境サービス[正]熊谷 祐一・菅野 大亮・佐々木 徹
- Ⅶ-069 鶴見川芦橋周辺におけるH<sub>2</sub>Sによる臭気抑制効果の検証について / 中国電力[正]立花 美咲・清重 直也・中本 健二
- Ⅶ-070 覆砂材としてのクリンカアッシュの適用性に関する基礎研究 / 中部電力[正]奥田 康三・滝川 真太郎・前田 浩伸

#### ■吸着層・重金属 / 10:25~11:55 / 河合 達司(鹿島建設)

- Ⅶ-071 遮水層併用型の吸着層工法の開発 - 数値解析に基づく盛土内の移流分散予測その2 - / 大林組[正]西田 憲司・鈴木和明・保高 徹生
- Ⅶ-072 遮水層併用型の吸着層工法の開発 - 数値解析に基づく盛土内の移流分散予測その3 - / 大林組[正]鈴木 和明・西田 憲司・保高 徹生
- Ⅶ-073 地下水汚染に対する鉛直遮水壁と揚水井戸の効果的な設置位置の検討2 / 大林組[正]柴田 健司・日笠山 徹巳・杉江 茂彦
- Ⅶ-074 キャピラリーバリア型覆土における砂の細粒分除去による側方排水性向上の効果 / 日本国土開発[正]坂本 篤・日景 一幸・亀井 雅大
- Ⅶ-075 初殺を用いた汚染水からの重金属吸着に関する研究 / 香川大学[学]谷中 彩寧・柴田 慶一郎・吉田 秀典
- Ⅶ-076 ふっ素汚染土壌に対する不溶化処理の施工事例 / 大林組[正]福武 健一・三浦 俊彦・日野 良太
- Ⅶ-077 ライフル射撃場環境対策工事におけるICT技術の活用事例 / 大成建設[正]井上 誠司・松尾 寿峰・中平 淳
- Ⅶ-078 搬出汚染土壌の電子化による一元管理システムの開発 / 竹中土木[正]田邊 康太・大村 啓介

### Ⅶ-1 (幸町総合教育棟 多目的室6) / 9月5日(木)

#### ■環境計画(1) / 8:40~10:10 / 高山 晴夫(鹿島建設)

- Ⅶ-091 ウォータータイトを施工した山岳トンネル周辺における水文調査結果の報告 / 西日本高速道路[正]櫻谷 慶治・岡 浩一・中村 繁樹
- Ⅶ-092 豪州ビクトリア州における動物と車両の衝突事故による乗員の負傷レベルの影響要因の分析 / 日本大学[正]伊東 英幸・畑山 喬・鷺尾 朋紀
- Ⅶ-093 環境影響評価法にもとづく計画段階環境配慮書手続きにおける道路事業と他事業の比較 / 国土技術政策総合研究所[正]大城 温・大河内 恵子・間瀬 利明
- Ⅶ-094 日本における建設材料の消費による環境負荷の変化に社会経済的要因が及ぼす影響 / 北海道大学[学]榎並 諒・ヘンリー マイケル
- Ⅶ-095 基礎杭用掘削孔におけるライニング地中熱交換器の水温特性 / 福井大学[学]鈴木 遥介・寺崎 寛章・岩本 知也
- Ⅶ-096 冷水循環時におけるライニング地中熱交換器の採熱性能 / 福井大学[正]寺崎 寛章・鈴木 遥介・福原 輝幸
- Ⅶ-097 太陽熱を利用した農業用ビニールハウスの夜間加温システム / 北九州市立大学[正]山田 百合子・伊藤 洋・松尾 祐介
- Ⅶ-098 太陽光発電施設の周辺気温の通年観測結果 / 矢作建設工業[正]桐山 和也・長沼 明彦・武藤 裕久

■環境計画(2) / 10:25~11:55 / 大城 温 (国土技術政策総合研究所)

- Ⅶ-099 土中に混入する外来生物の防除に関する基礎的検討/東亜建設工業[正]玉上 和範・浅井 貴恵・五十嵐 学
- Ⅶ-100 倒木が懸念される樹木のスクリーニングに関する基礎的研究について/西日本高速道路エンジニアリング四国[正]高畑 東志明・橋本 和明・松田 靖博
- Ⅶ-101 圃場土壌中の成分がバレイシヨ根塊に及ぼす影響/長岡技術科学大学[学]笹原 僚希・幡本 将史・渡利 高大
- Ⅶ-102 表土ブロック移植およびすき取り土被覆による盛土のり面の森林復元/寒地土木研究所[正]佐藤 厚子・畠山 乃・中村 誠宏
- Ⅶ-103 宮ヶ瀬ダム原石山法面緑化の追跡調査/安藤・間[正]池田 穰・木川田 一弥・和田 幸生
- Ⅶ-104 多摩丘陵の急傾斜地崩壊空間における樹木根系の力学的負荷低減効果について/神奈川県[正]遠藤 清亮・田口 雅丈
- Ⅶ-105 地震リスクコントロール手法を用いた水系地盤埋設パイプラインの地震リスクマネジメントに関する研究/常井技術士事務所[正]常井 友也

■環境計画(3) / 12:40~14:10 / 佐藤 温子 (寒地土木研究所)

- Ⅶ-106 ニホンザリガニの生息地を特徴付ける水位特性の解明/パシフィックコンサルタンツ[正]池田 幸資・土居 秀幸・加藤 敦子
- Ⅶ-107 十勝川水系札内川ダムにおける発信機を用いたオショロコマ追跡調査について/パシフィックコンサルタンツ[正]小林 功・池田 幸資・杉本 雄一
- Ⅶ-108 貯留水循環型ピオトープのモニタリング調査/東急建設[正]金内 敦・柴野 一則・椿 雅俊
- Ⅶ-109 オオヨモギの混播の有無がヨシ等の発芽に与える影響についての基礎的検討/寒地土木研究所[正]谷瀬 敦・村山 雅昭
- Ⅶ-110 オギ原再生のための維持管理に関する試み/東急建設[正]佐藤 たくみ・柴野 一則・金内 敦
- Ⅶ-111 ポーラスコンクリート水路における植生追跡調査/鹿島建設[正]高山 晴夫・越川 義功・増岡 臣一
- Ⅶ-112 無人航空機(UAV)の空撮画像によるクズのモニタリング手法の提案/熊谷組[正]河村 大樹・渡邊 修・岩本 啓己
- Ⅶ-113 ホタル保全の湿地における外来種アメリカザリガニの疑似巣穴による捕獲に関する試み/東急建設[正]柴野 一則・佐藤 たくみ・金内 敦

■騒音 / 14:25~15:55 / 横山 秀史 (鉄道総合技術研究所)

- Ⅶ-114 新型防音エアパネルの遮音効果 —TRD杭打機施工への適用—/鹿島建設[正]田淵 哲也・埴原 新奈・佐野 雄紀
- Ⅶ-115 アクティブ・ノイズ・コントロールによるトンネル発破音低減に関する検討/鹿島建設[正]佐野 雄紀・大西 健司・田淵 哲也
- Ⅶ-116 新幹線走行時のRC高架橋近傍音に関する研究/東日本旅客鉄道[正]森 圭太郎・高崎 秀明
- Ⅶ-117 振動ふるい用防音ハウスの設計方法に関する解析的検討/奥村組[正]外木場 康将・金澤 朗蘭・木下 茂樹
- Ⅶ-118 発電機騒音低減装置による騒音抑制効果の検証/日本車輛製造[正]平野 泰博・神頭 峰磯・萩原 和浩

■振動 / 16:10~17:40 / 佐野 雄紀 (鹿島建設)

- Ⅶ-119 高速走行時の低周波帯域の地盤振動の現象解明/鉄道総合技術研究所[正]野寄 真徳・横山 秀史
- Ⅶ-120 高速走行時の地盤振動の速度依存性評価法の改良/鉄道総合技術研究所[正]横山 秀史・野寄 真徳
- Ⅶ-121 高架橋振動特性が鉄道振動に与える影響の検討/鉄道総合技術研究所[正]権藤 徹・横山 秀史
- Ⅶ-122 地下ダム作業床造成時の振動測定から得られた琉球石灰岩の振動特性/前田建設工業[正]角 翼・松本 拓真・前田 啓太
- Ⅶ-123 桁式高架橋周辺における列車振動伝播の振動数特性/東日本旅客鉄道[正]金田 淳・野本 将太・高崎 秀明

Ⅶ-2 (幸町南6号館 第1講義室) / 9月3日(火)

■上下水道管理 / 8:40~10:10 / 平片 悠河 (長岡技術科学大学)

- Ⅶ-032 配水管網の水質監視データ活用とニューラルネットワークモデルによる残留塩素濃度推定/首都大学東京[正]荒井 康裕・中岡 祐輔・稲貝 とよの
- Ⅶ-033 三角型太陽熱淡水化装置(TrSS)の殺菌性能に関する実験的研究/福井大学[学]古市 健二・寺崎 寛章・梅村 朋弘
- Ⅶ-034 福岡市内に設置された雨水タンク貯留水の湯水時利用可能性に関する検討/福岡大学[正]渡辺 亮一・浜田 晃規・角銅 久美子
- Ⅶ-035 鉄道橋梁への下水道管きよ更生工法の適用について/JR九州コンサルタンツ[正]加藤 裕尊・井田 宏二・青野 正夫

- Ⅶ-036 酸素注入による下水管内硫化水素発生防止に関する基礎実験/大広エンジニアリング[正]盛谷 悠介・羽田野 袈裟義・藤里 哲彦
- Ⅶ-037 海域への排水に伴う発泡対策に関する一考察/中国電力[正]蟻正 慎介・藤村 隆弘・篠田 龍一
- Ⅶ-038 浄化槽へのUV-LED適用における消毒効果の検討/東洋大学[学]塩原 拓実・蛭江 美孝・柿木 明紘
- Ⅶ-039 パイロットスケールDHSリアクターを用いたタイ王国・コンケン市における高速下水処理/長岡技術科学大学[正]渡利 高大・桐島 佳宏・近 雄仁

■下水排水処理 / 10:25~11:55 / 小野寺 崇 (国立環境研究所)

- Ⅶ-040 タイの染色工場にて稼働する排水処理設備の処理パフォーマンス評価/香川高等専門学校[学]岡元 雄哉
- Ⅶ-041 最初沈殿池+DHSシステムに付加する芳香成分による殺菌システムの開発/香川高等専門学校[学]三好 直美・多川 正
- Ⅶ-042 厨房油脂排水処理へのウルトラファインバブルの適用に関する研究/高知工業高等専門学校[学]松浦 拓実・小松 咲良・山崎 慎一
- Ⅶ-043 非白金触媒アニオン交換型微生物燃料電池の下水処理場原位置評価/名古屋工業大学[学]杉岡 真璃・吉田 奈央子・迫田 光弘
- Ⅶ-044 メッシュ担体を用いた回転ろ床法による都市下水処理/長岡技術科学大学[学]高木 稜太・幡本 将史・湖上 俊次
- Ⅶ-045 浸漬型MBRの膜表面及び膜細孔内のファウリング物質の分析/東京都市大学[学]佐々木 敬成・長岡 裕
- Ⅶ-046 MBRにおける低有機物負荷運転が膜汚泥性状および微生物叢に及ぼす影響/長岡技術科学大学[学]鞍立 大喜・滝本 祐也・幡本 将史
- Ⅶ-047 低有機物負荷A/O-MBRで発生するバイオフィームにおける未培養門細菌の役割/長岡技術科学大学[学]滝本 祐也・鞍立 大喜・渡利 高大

■嫌気性処理 / 14:55~16:25 / 多川 正 (香川高等専門学校)

- Ⅶ-048 天然ゴム製造工場廃水を対象とした最適処理プロセスの検討/呉工業高等専門学校[学]片岡 大樹・角谷 萌・谷川 大輔
- Ⅶ-049 脱炭一体型廃水処理システムによる模擬糖蜜廃水の処理性能評価/呉工業高等専門学校[学]元川 大輔・妹尾 将吾・谷川 大輔
- Ⅶ-050 UASBリアクターを用いた難分解性水系ポリマー含有廃水の処理性能評価/長岡技術科学大学[学]酒井 優也・渡利 高大・米山 史紀
- Ⅶ-051 食品系有機性廃水を処理するEGSBリアクターの新たな嫌気性バルキングの原因解明/豊橋技術科学大学[学]原田 淳・山口 剛士・成廣 隆
- Ⅶ-052 嫌気性原生動物Cyclidium sp.とメタン生成古細菌の細胞内共生における種特異性/長岡技術科学大学[学]平片 悠河・幡本 将史・渡利 高大
- Ⅶ-053 硫酸酸化還元に関与する機能遺伝子を標的とした嫌気的硫酸酸化反応に関与する微生物の解析/長岡技術科学大学[学]小林 直央・川上 周司・幡本 将史
- Ⅶ-054 バイオガスによる阻害物除去機能を有する新規嫌気処理リアクターの開発~阻害物除去に及ぼす各因子の影響評価~/国立環境研究所[正]小野寺 崇・珠坪 一晃・水落 元之

■下水汚泥利用・リン回収 / 16:40~18:10 / 渡利 高大

- Ⅶ-055 高付加価値マッシュルーム栽培に向けた新規下水汚泥堆肥作製と微生物学的知見の収集/都城工業高等専門学校[学]黒木 和雄・高津佐 愛実・徳田 裕二郎
- Ⅶ-056 下水汚泥を用いたバチルス属細菌と自活性線虫を豊富に含む土壌改良資材の開発/長岡技術科学大学[学]池田 匠児・幡本 将史・渡利 高大
- Ⅶ-057 下水道資源の茶栽培への適用/鹿児島工業高等専門学校[学]森重 朱理・山田 真義・山内 正仁
- Ⅶ-058 消化汚泥の燃焼・熱分解による窒素成分の発生挙動に関する基礎検討/清水建設[正]加藤 雄大・小島 啓輔・隅倉 光博
- Ⅶ-059 亜臨界条件下における消化汚泥の燃焼・熱分解処理によるアンモニア生成/清水建設[正]小島 啓輔・加藤 雄大・隅倉 光博
- Ⅶ-060 OD汚泥・漁業残渣・食品廃棄物等を用いたバイオマスマタン発酵試験の事例報告/八千代エンジニアリング[正]中野 裕之・森定 真健・檀 智之
- Ⅶ-061 下水汚泥焼却灰からの高効率リン回収と回収リンの肥料化に関する基礎検討/西松建設[正]地井 直行・山崎 将義・石渡 寛之
- Ⅶ-062 農地還元可能なリン酸除去材のカラム試験による現場適用性評価/大林組[正]藤井 雄太・大島 義徳

## VII-2 (幸町南6号館 第1講義室) / 9月4日(水)

## ■循環資源・CCS (1) / 8:40~10:10 / 山田 祐樹(大林組)

- Ⅶ-079 産業廃棄物処分場におけるカルシウムスケール抑制を目指したCa吸着層に用いる材料選定に係わるカルシウム吸着特性評価 / 早稲田大学[学]高橋 智也・多賀 春生・小峯 秀雄
- Ⅶ-080 土質系廃棄物を用いた二酸化炭素固定化の反応速度に影響する諸因子の実験的評価 / 早稲田大学[学]多賀 春生・小峯 秀雄・後藤 茂
- Ⅶ-081 スラグ系廃棄物および建設廃棄物の遊離Caを活用したCO<sub>2</sub>固定化特性の調査 / 早稲田大学[学]内田 周作・多賀 春生・小峯 秀雄
- Ⅶ-082 高炉スラグ産出時における環境負荷配分を考慮した高炉セメントの環境影響評価 / 広島大学[学]柴崎 悠吾・河合 研至・桐野 裕介
- Ⅶ-083 乾燥スラッジ微粉末及び再生セメントの中性化抵抗性に関する研究 / 芝浦工業大学[学]宮崎 幹太・大川 憲・伊代田 岳史
- Ⅶ-084 震災コンクリート殻を漁場施設に利用する早期復興と食糧増産 / 人工海底山脈研究所[正]鈴木 達雄

## ■循環資源・CCS (2) / 10:25~11:55 / 田島 孝敏(大林組)

- Ⅶ-085 除染土壌の再生資材としての品質調整システムの開発(その1) / 大林組[正]八塩 晶子・山田 祐樹・日笠山 徹巳
- Ⅶ-086 除染土壌の再生資材としての品質調整システムの開発(その2) / 大林組[正]山田 祐樹・八塩 晶子・日笠山 徹巳
- Ⅶ-087 除染による除去土壌減容技術に関する一考察 / 鹿島建設[正]三浦 一彦・辻本 宏・大橋 麻衣子
- Ⅶ-088 粘土瓦のリサイクル:コンクリート粗骨材への適用 / 名古屋工業大学[学]時田 典典・上原 匠・加藤 潤一郎
- Ⅶ-089 使用済み瓦ボラスコンクリートの空隙の状態が熱拡散率に及ぼす影響 / 名古屋工業大学[学]鈴木 和磨・上原 匠・亀井 則幸
- Ⅶ-090 CO<sub>2</sub>地中貯留におけるリスクマネジメント / 電源開発[正]鳥羽瀬 孝臣

## VII-2 (幸町南6号館 第1講義室) / 9月5日(木)

## ■放射性廃棄物(1) / 8:40~10:10 / 西村 友良(足利大学)

- Ⅶ-124 中深度処分における機能確認方法に係る検討の概要—地下空洞型処分施設機能確認試験(その14)— / 原子力環境整備促進・資金管理センター [正]広中 良和・藤原 啓司・脇 寿一
- Ⅶ-125 地下空洞型処分施設におけるモニタリング項目の計測実現性確認(3)—地下空洞型処分施設機能確認試験(その15)— / 大林組[正]丹生屋 純夫・藤原 啓司・広中 良和
- Ⅶ-126 地下空洞型処分施設におけるモニタリング項目の計測実現性確認(4)—地下空洞型処分施設機能確認試験(その16)— / 大林組[正]森岩 寛稀・藤原 啓司・広中 良和
- Ⅶ-127 コア分析に基づく中深度処分施設の吹付けコンクリートの変質に関する検討—地下空洞型処分施設機能確認試験(その17)— / 鹿島建設[正]山川 剛・藤原 啓司・広中 良和
- Ⅶ-128 実規模施設での光ファイバセンサーの適用性検討(長期連続計測)—地下空洞型処分施設機能確認試験(その18)— / 鹿島建設[正]今井 道男・広中 良和・佐藤 公彦
- Ⅶ-129 既存計測技術を活用した中深度処分施設における機能確認方法の検討—地下空洞型処分施設機能確認試験(その19)— / 東電設計[正]伊藤 喜広・藤原 啓司・広中 良和
- Ⅶ-130 光ファイバセンサー技術を活用した中深度処分施設における機能確認方法の検討—地下空洞型処分施設機能確認試験(その20)— / 鹿島建設[正]佐々木 敏幸・藤原 啓司・広中 良和
- Ⅶ-131 熱/土/水/空気連成解析によるベントナイト緩衝材の再冠水挙動解析 / 福島工業高等専門学校[学]小林 千莉・金澤 伸一・市川 希

## ■放射性廃棄物(2) / 10:25~11:55 / 渡邊 保貴(電力中央研究所)

- Ⅶ-132 ベントナイトの定圧せん断強さに与える間隙水圧の影響 / 足利大学[正]西村 友良
- Ⅶ-133 珪砂配合率と温度を変化させたベントナイト緩衝材の一軸圧縮試験 / 福島工業高等専門学校[学]柳井 正樹・金澤 伸一・市川 希
- Ⅶ-134 ベントナイト原鉱石の膨潤特性測定結果に基づく緩衝材への年代変化に関する推察 / 早稲田大学[学]伊藤 大知・小峯 秀雄・後藤 茂
- Ⅶ-135 ボーリング孔閉塞のためのベントナイトペレットの基本特性の取得 / 鹿島建設[正]松本 聡碩・小林 一三・瀬尾 昭治
- Ⅶ-136 スクリューコンベアを用いたベントナイトペレット充填に関する一考察 / 大林組[正]板場 建太・森 拓雄

- Ⅶ-137 ベントナイトペレットによるPEM隙間充填技術の実規模実証試験 / 大林組[正]森 拓雄・丹生屋 純夫・小林 正人
- Ⅶ-138 幌延地下URLにおけるベントナイト混合土の原位置機械吹付け施工試験 / 大成建設[正]磯 さち恵・本島 貴之・白瀬 光泰
- Ⅶ-139 ベントナイト系材料を対象とした機械的除去技術(オーガ方式)の整備 / 原子力環境整備促進・資金管理センター [正]白瀬 光泰・小林 正人・磯 さち恵
- Ⅶ-140 ベントナイト系材料を対象とした流体的除去技術(ウォータージェット方式)の整備 / 原子力環境整備促進・資金管理センター [正]小林 正人・白瀬 光泰・磯 さち恵

## ■放射性廃棄物(3) / 12:40~14:10 / 白瀬 光泰

## (原子力環境整備促進・資金管理センター)

- Ⅶ-141 実施工に向けた覆土の施工方法検討 / 日本原燃[正]塚尾 伸・工藤 淳・伊藤 裕紀
- Ⅶ-142 実施工に向けた覆土の施工試験結果 / 安藤ハザマ[正]山田 淳夫・小栗 光・千々松 正和
- Ⅶ-143 実施工に向けた覆土の養生方法の検討 / 安藤ハザマ[正]小栗 光・千々松 正和・山田 淳夫
- Ⅶ-144 難透水性覆土施工への吹付け工法の適用性検討 / 鹿島建設[正]米丸 佳克・小林 一三・塚尾 伸
- Ⅶ-145 高レベル放射性廃棄物の温度によるベントナイト緩衝材の膨潤特性 / 福島工業高等専門学校[学]市川 希・金澤 伸一・武藤 尚樹
- Ⅶ-146 中庸熱セメントと高炉スラッジ微粉末を使用したモルタルの基本特性に関する検討(その2) / 清水建設[正]矢ノ倉 ひろみ・杉橋 直行・依田 侑也
- Ⅶ-147 硬化過程のモルタルを対象とした放射線分解ガス放出量の評価 / 原子力発電環境整備機構[正]後藤 考裕・北川 義人・石川 俊介
- Ⅶ-148 ゼオライト混入セメント固化体の強度特性および化学混和剤がセメント固化体に及ぼす影響 / 八戸工業高等専門学校[学]今淵 敦史・庭瀬 一仁
- Ⅶ-149 発熱性セメント固化廃棄物の模擬供試体による 高温履歴と圧縮強度及び物質移動抵抗性の関係性評価 / 八戸工業高等専門学校[学]酒井 大誠・庭瀬 一仁

## ■放射性廃棄物(4) / 14:25~15:55 / 松井 裕哉

## (日本原子力研究開発機構)

- Ⅶ-150 地層処分におけるベントナイトオブションの検討 ベントナイトの物性および締固め特性 / 原子力発電環境整備機構[正]山本 陽一・後藤 考裕・横山 信吾
- Ⅶ-151 地層処分におけるベントナイトオブションの検討 ベントナイト混合土の膨潤特性および透水特性 / 電力中央研究所[正]渡邊 保貴・横山 信吾・新橋 美里
- Ⅶ-152 地層処分におけるベントナイトオブションの検討 ベントナイト混合土の水分ポテンシャルと熱伝導率の測定 / 安藤ハザマ[正]伊藤 歩夢・千々松 正和・横山 信吾
- Ⅶ-153 地層処分におけるベントナイトオブションの検討 数値解析的なアプローチ / 神戸大学[正]橋 伸也・伊藤 真司・渡邊 保貴
- Ⅶ-154 吸水過程における温度変化を考慮したベントナイト緩衝材の膨潤圧試験 / 福島工業高等専門学校[学]武藤 尚樹・金澤 伸一・市川 希
- Ⅶ-155 高レベル放射性廃棄物の地層処分における地下施設からの湧水量評価のためのマルチスケールモデル化・解析技術の開発—(その1)全体概要— / 原子力発電環境整備機構[正]鈴木 覚・三枝 博光・野尻 慶介
- Ⅶ-156 高レベル放射性廃棄物の地層処分における地下施設からの湧水量評価のためのマルチスケールモデル化・解析技術の開発—(その2)水理地質構造のマルチスケールモデル化と数値解析技術の整備— / 大林組[正]鏡 顕正・田中 達也・森田 豊
- Ⅶ-157 高レベル放射性廃棄物の地層処分における 地下施設からの湧水量評価のためのマルチスケールモデル化・解析技術の開発—(その3)処分坑道の掘削過程における湧水量評価への適用— / 原子力発電環境整備機構[正]三枝 博光・鈴木 覚・野尻 慶介
- Ⅶ-158 高レベル放射性廃棄物の地層処分における地下施設からの湧水量評価のためのマルチスケールモデル化・解析技術の開発—(その4)地下施設の建設・操業のライフサイクルにおける湧水量評価への適用— / 原子力発電環境整備機構[正]野尻 慶介・三枝 博光・鈴木 覚

## ■放射性廃棄物(5) / 16:10~17:40 / 後藤 考裕

## (原子力発電環境整備機構)

- Ⅶ-159 地下水浸透流有限要素解析における揚水/注水の任意メッ



- シュ対応点源モデル(その2) / 清水建設[正]櫻井 英行・山田 俊子
- Ⅶ-160 坑道周辺のボーリング調査に基づく割れ目情報が物質移行時間に与える影響に関する検討 / 鹿島建設[正]田部井 和人・並川 正・羽根 幸司
- Ⅶ-161 処分坑道構築時のデータを用いた効率的な坑道周辺岩盤評価技術 / 鹿島建設[正]江崎 太一・升元 一彦・宮嶋 保幸
- Ⅶ-162 瑞浪超深地層研究所を活用した坑道一部埋戻し試験の試験計画検討 / 日本原子力研究開発機構[正]松井 裕哉・矢萩 良二・沖原 信光
- Ⅶ-163 岩盤の時間依存性挙動を考慮した地層処分施設坑道の掘削解析 / 山口大学[学]西内 瑞生・金澤 伸一・林 久資

- Ⅶ-164 小断面坑道の吹付けによる埋戻し材の施工試験(1) —実証試験に向けた材料、機械の選定— / 清水建設[正]矢萩 良二・石塚 光・戸栗 智仁
- Ⅶ-165 小断面坑道の吹付けによる埋戻し材の施工試験(2) —瑞浪超深地層研究所を活用した実証試験— / 清水建設[正]石塚 光・矢萩 良二・戸栗 智仁
- Ⅶ-166 品質の異なるベントナイトを用いた覆土材の検討 / 日本原燃[正]伊藤 裕紀・工藤 淳・千々松 正和
- Ⅶ-167 種類の異なるベントナイトを混合した覆土材の検討 / 安藤 ハザマ[正]千々松 正和・小栗 光・工藤 淳

## 共通セッション

Ⅳ-1 (幸町北4号館 428講義室) / 9月4日(水)

### ■計算力学(1) / 8:40~10:10 / 斎藤 隆泰(群馬大学)

- CS5-001 SPH-DEM連成解析手法の妥当性確認〜孤立波による砂山崩壊の再現解析〜 / 九州大学[学]辻 勲平・浅井 光輝・高瀬 慎介
- CS5-002 洗掘解析に向けた粒子法による水-土粒子混相流解析手法の妥当性確認 / 九州大学[学]藤井 孟大・浅井 光輝
- CS5-003 Adaptive Discontinuous Galerkin法のための高解像度化方法の検討 / 筑波大学[学]南手 陽太郎・田中 聖三
- CS5-004 個別要素法によるトンネル切羽3次元解析 / 新潟大学[学]今野 真精・阿部 和久・若月 和人
- CS5-005 互層岩盤の分離型マルチスケール解析のための弾塑性・損傷構成則の開発 / 東北大学[学]山中 耀介・鈴木 峻・大川 真里奈
- CS5-006 Phase-field亀裂モデルを用いたIsogeometric解析 / 東北大学[学]韓 霽珂・西 紳之介・森口 周二
- CS5-007 MPMを用いた崩壊土砂の衝撃作用の分析 / 東北大学[学]吉田 昂平・山口 裕矢・森口 周二
- CS5-008 数値解析により抽出される空間モードを利用した津波のリスク評価 / 東北大学[学]外里 健太・小谷 拓磨・森口 周二
- CS5-009 V&Vにおける不確かさの定量化に向けたRCはりの一斉載荷実験 / 茨城大学[正]車谷 麻緒・岡崎 慎一郎・山本 佳士

### ■計算力学(2) / 10:25~11:55 / 森口 周三(東北大学)

- CS5-010 岩盤既存亀裂を考慮した間隙水圧連成DEMによるトンネル切羽安定解析 / 地層科学研究所[正]関野 真登・清水 浩之・宇津野 衛
- CS5-011 基礎の引揚可視化実験とその数値解析 / 防衛大学校[正]野々山 栄人・宮田 喜壽・高野 大樹
- CS5-012 3週間程度の体積含水率の計測値に対するデータ同化 / 大阪産業大学[学]村川 樹・小田 和広・伊藤 真一
- CS5-013 二次元弾性波動問題におけるトポロジー感度法を用いた欠陥形状再構成 / 群馬大学[学]田代 匡彦・森川 光・斎藤 隆泰
- CS5-014 Huber型異方性半無限体での代数解の提案 / 井沢設計 [正]廣瀬 清泰・三上 浩・堀川 都志雄
- CS5-015 境界要素法による任意形状を有する遮音壁周辺の音場解析 / 中央大学[学]庄子 諒・吉川 仁・櫻山 和男
- CS5-016 Fourier級数によるHuber型異方性半無限体の数値解析 / 構造メンテ[正]樋口 慶太郎・河野 一資・廣瀬 清泰
- CS5-017 Ordinary State-Based Peridynamicsを用いた地震応答解析手法の開発 / 石川工業高等専門学校[学]一藤 亮太・新保 泰輝・荒木 光一
- CS5-018 2D-3Dハイブリッド解析手法と等方性損傷モデルを用いた流体構造連成解析 / 中央大学[学]金澤 功樹・凌 国明・車谷 麻緒

CS-1 (幸町南6号館 第2講義室) / 9月3日(火)

### ■International Session 国際セッション(1) / 8:40~10:10 / 崔 瑛(横浜国立大学)

- CS2-001 Experimental Investigation on Fatigue Performance Improvement of Repaired Patch Plate Joint by Post-Weld Heat Treatment with Induction Heating / Miss May Phyo Aung, Department of Civil and Environmental Engineering, Nagoya University, Nagoya, Japan [学] Aung
- CS2-002 MINED TUNNELLING WORKS UNDER THE 6 LANES

- LIVE EXPRESSWAY IN SINGAPORE / Shimizu Corporation [正] Athukorala Yehen・Tagawa Hiroaki
- CS2-003 Back Analysis of Shield Tunnel Segment Internal Force During Construction Stages in Ho Chi Minh City Metro Line 1 Project / Shimizu Corporation [正] Ito Kenichi・Ghani Masrur Abdull Hamid
- CS2-004 One Dimensional Consolidation Analysis Taking Account of Secondary Compression / Tokai University [学] Hong Pisith・Yoshidomi Takahiro・Sugiyama Motohiro
- CS2-005 Shear stress behavior of unsaturated undisturbed black volcanic ash soil under cyclic loading / Kyushu University[学] Putra Okri・Yasufuku Noriyuki・Ishikura Ryohei
- CS2-006 Discussion on Joint Surface Roughness Coefficient evaluated through the root mean square method / 京都大学[正]岸田 潔・張 晋通

### ■International Session 国際セッション(2) / 10:25~11:55 / Goit Chandra Shekhar (埼玉大学)

- CS2-007 種々の相対密度を有する砂に対する短繊維補強特性 / 名古屋大学[学] Jakhongirbek Ganiev・山田 正太郎・中野 正樹
- CS2-008 単粒子強度に着目した回転破壊による礫材の粒度変化特性 / 九州大学[学]金 在完・中島 典昭・安福 規之
- CS2-009 A COMPARATIVE STUDY ON LIQUEFACTION PREVENTION APPROACHES / Shimizu Corporation [正] Rungbanaphan Pongwit・Thanh Tran Viet
- CS2-010 TIME EFFECTS ON STRENGTH AND DEFORMATION CHARACTERISTICS OF GYPSUM MIXED CLAY / Master's Student, Department of Civil Engineering, The University of Tokyo [学] Shaikh Masum・Koseki Junichi・Kyokawa Hiroyuki
- CS2-011 Pore-water pressure measurement necessity when determining the SWCC utilizing the axis-translation technique / Ph.D Student, Department of Civil and Structural Engineering, Kyushu University, 744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395, Japan. [学] ALLOWAISY ADEL
- CS2-012 STUDY OF TUNNEL BEHAVIOUR LOCATED IN DIFFERENT SOIL CONDITION UNDER TRANSVERSAL SEISMIC LOAD / Kyoto University [学] Wahyuningtyas Indah・Miyazaki Yusuke・Sawamura Yasuo

### ■地下空間の多角的利用 / 14:55~16:25 / 馬場 康之(京都大学)

- CS15-001 内水氾濫時における大阪市中央部の地下空間浸水に関する検討 / 関西大学[学]草野 魁才・太田 和樹・石垣 泰輔
- CS15-002 京都市の地下鉄を考慮した浸水解析 / 中部大学[正]武田 誠・藪下 大貴・佐藤 大介
- CS15-003 南海トラフ巨大地震に伴う津波氾濫時の地下駅への流入特性 / 関西大学[学]庄田 侑平・石垣 泰輔・安田 誠宏
- CS15-004 大谷採石地下空間の残柱に対する構造安全性と安心感について / 宇都宮大学[正]清水 隆文・Bui Huy Thanh・Dintwe T.K.M.
- CS15-005 快適な社会に向けた水インフラ利用に関する調査研究—都市型地下ダムを含むカナート構想の提案— / 竹中工務店[正]稲葉 薫・平野 孝行・谷川 晋一
- CS15-006 地下管渠工事的社会的費用の算定に関する研究(交通シミュレーションによる外部費用の試算) / 日本非開削技術協会[正]角川 順洋・宮武 昌志・松永 浩
- CS15-007 漏水に伴うコンクリート中のカルシウム溶出の分析 / 金沢工業大学[学]普照 遥・木村 定雄・大嶋 俊一
- CS15-008 地下街防災推進事業の取組事例と今後の地下歩行空間に求められること / 日建設シビル[正]大森 高樹・小野 栄子

CS15-009 ユニモール地下街における避難検討/日建設計シビル[正]  
大森 高樹・小野 栄子・上村 修司

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(1) /16:40~18:10/  
五十嵐 善一(パスコ)

- CS9-001 塩害補修効果確認モニタリングの現場実証/日本工営 [正]  
松山 公年・園田 崇博・高地 透
- CS9-002 自治体橋梁における塩害モニタリングの現場実証/日本工  
営[正]園田 崇博・松山 公年・高地 透
- CS9-003 RC橋桁端部の塩害複合劣化モニタリング技術の検討/前  
田建設工業[正]小原 孝之・米田 大樹・土屋 智史
- CS9-004 断面修復部に生じるマクロセル腐食に対するモニタリング  
手法の提案/日本工営[正]高地 透・中野 雅章・松山 公年
- CS9-005 PC桁における導電塗料モニタリングの適用性/西日本旅  
客鉄道[正]前田 友章・仁平 達也
- CS9-006 ARマークを用いたコンクリート打設のバイブレータの差  
し込み位置の計測に関する基礎研究/東京都市大学[学]  
横田 拓也・今井 龍一・栗原 哲彦
- CS9-007 コンクリート打設におけるバイブレータの差し込み深さの  
計測に関する基礎的研究/八千代エンジニアリング[正]  
新井 勇次・今井 龍一・栗原 哲彦
- CS9-008 コンクリート構造物を対象とした環境評価用水分センサの  
基礎的検討/太平洋セメント[正]江里口 玲・工藤 正智・  
渡邊 晋也
- CS9-009 モーションキャプチャーによる潜函の微小変位計測および  
沈下量予測の可能性/鹿島建設[正]杜若 善彦・坂梨 利男・  
加藤 勝則

CS-1 (幸町南6号館 第2講義室) /9月4日(水)

■International Session 国際セッション(3) /8:40~10:10/  
木元 小百合(京都大学)

- CS2-026 Effects of pre-shear history on repeated liquefaction behavior of  
dense sand using hollow cylindrical torsional shear apparatus/  
Department of Civil Engineering, University of Tokyo [学] LIU  
Weichen・KOSEKI Junichi
- CS2-027 EFFECT OF CONTENT OF FIBER MATERIAL AND  
SLURRY DENSITY ON TRIAXIAL SHEAR PROPERTY FOR  
LIQUEFIED STABILIZED SOIL/ [学] Yujie CUI・Yukihiko  
KOHATA
- CS2-028 Effect of median particle size on Swave velocity and frequency domain  
responses of granular materials/Doctoral Student, Department of Civil  
Engineering, The University of Tokyo [学] Dutta Troyee Tanu・  
Otsubo Masahide・Kuwano Reiko
- CS2-029 Influence of fine shredded paper on the compaction  
properties of natural soil/ [学] Vivian Njambi Gathuka・  
Masataka Shinjo・Yasuo Sawamura
- CS2-030 Surface movements of an undercut slope studied by centrifuge  
model/Kyoto University[学]Aroonwattanaskul Krit・  
Pipatpongsa Thirapong・Kitaoka Takafumi
- CS2-031 多重せん断模型内土壌水分量とせん断変形による弾性波速  
度の変化/埼玉大学[学]陶 尚寧・内村 太郎・柴田 智也
- CS2-032 Effectiveness of coconut coir utilization in peat soil stabilization/  
The University of Tokyo [学] Gurugoda Arachchilage Rajni・  
Ishukura Ryohei・Yasufuku Noriyuki

■International Session 国際セッション(4) /10:25~11:55/党 紀  
(埼玉大学)

- CS2-033 CHALLENGES IN THE TRANSFER OF INTERNATIONAL  
TRAINING FOR IMPROVEMENT OF ROAD ASSET  
MANAGEMENT CAPABILITY IN LAO PDR/Master student,  
Hokkaido University [学] Bounnak Amphaphone・Henry Michale
- CS2-034 PHYSICAL MODELING OF TSUNAMI FLOW THROUGH  
DISCONTINUOUS VEGETATION/ [学] Naveed Anjum・  
Norio Tanaka
- CS2-035 STUDY ON EFFICACY OF RING ROADS FOR URBAN  
DEVELOPMENT, BY USING JAPANESE' S EXPERIENCES.  
"CASE OF KINSHASA"/足利大学 [正] NSIALA MPUNGI  
ZICO・渡邊 美樹
- CS2-036 IMPROVEMENT OF WATER QUALITY IN KUMAMOTO  
USING LACTIC ACID BACTERIA/Tokai University [学]  
Chowdhury Zahura・Kinoshita Riku・Kobayashi Kazuki
- CS2-037 DEMONSTRATION STUDY OF CONCRETE  
SUSTAINABILITY EVALUATION USING PARTIAL  
LEAST SQUARES STRUCTURAL EQUATION  
MODELING (PLS-SEM) /Hokkaido University [学] Vios  
Nicole Alexis・Opon Joel・Henry Michael

CS-1 (幸町南6号館 第2講義室) /9月5日(木)

■地震ハザード評価/8:40~10:10/田中 浩平(鉄道総合技術研究所)

- CS12-001 見過ごされてきた強力な鉛直地震動の構造物破壊への影響  
/地球システム総合研究所[正]前原 博・櫻井 春輔・園田  
恵一郎
- CS12-002 極短周期波動による被災とその計測の必要性/八戸工業大  
学[正] 塩井 幸武
- CS12-003 構造応答から計算されるSI値の特性評価と振動特性の算出  
/東京理科大学[学]加藤 駿・佐伯 昌之
- CS12-004 周期特性を考慮した2方向地震動の強度・方向性の評価方  
法に関する研究/群馬工業高等専門学校[正]井上 和真・  
梅山 雄多・五十嵐 晃
- CS12-005 早期地震諸元推定結果と地震基盤深さの関係に関する検討/  
鉄道総合技術研究所[正]丹羽 健友・岩田 直泰・山本 俊六
- CS12-006 震央方位を考慮した距離減衰式の高精度化の試み/芝浦工  
業大学[学]大貫 隆輔・紺野 克昭
- CS12-007 震源断層を特定した地震動予測地図による予測震度分布を  
用いた観測震度分布の近似表現/岐阜大学[学]高橋 幸宏・  
能島 暢呂・久世 益充
- CS12-008 震源不特定地震による予測震度分布を用いた観測震度分布  
の近似表現/岐阜大学[学]吉田 光太郎・能島 暢呂・久世  
益充
- CS12-009 サイト増幅特性に着目した地震動指標値のばらつきに関す  
る検討/エイト日本技術開発[正]福島 康宏・長尾 毅

■地盤震動/10:25~11:55/盛川 仁(東京工業大学)

- CS12-010 スパースモデリングの物理検層データへの適用の試み/東  
電設計[正]栗田 哲史
- CS12-011 地盤震動理論に基づいたパラメータ群による地震動増幅特  
性の高精度評価法/京都大学[学]林 穂高・後藤 浩之・澤  
田 純男
- CS12-012 自治体観測点を含む中国地方の地震観測点のサイト増幅特性  
評価/福井工業大学[正]西川 隼人・野口 竜也・宮島 昌克
- CS12-013 微動観測に基づく鳥取県智頭町における避難施設の建物振  
動特性の把握と地盤構造推定/鳥取大学[正]野口 竜也・  
齋藤 一茂・香川 敬生
- CS12-014 鳥取県北栄町西園・由良地域における稠密微動探査による  
地盤構造の推定/鳥取大学[学]西村 武・野口 竜也・留興  
勝也
- CS12-015 歴史的な土地改変を行った甲府市街地の微動による推定表  
層厚と地震被害との関係/山梨大学[学]吉田 旭宏・鈴木  
猛康・宮本 崇
- CS12-016 常時微動観測記録に基づく地盤の固有周波数の推定方法の  
提案/東電設計[正]中村 直樹・栗田 哲史・高橋 秀明
- CS12-017 青森県内4地点のKiK-netにおける水平方向の異质性につ  
いて/弘前大学[正]片岡 俊一
- CS12-018 微動H/Vの方位依存性を考慮した三方断層周辺の地下構  
造の推定/福井大学[学]国谷 努・小嶋 啓介・伊藤 雅基

■強震動・断層変位/12:40~14:10/古川 愛子(京都大学)

- CS12-019 鉛直多連地震観測システムの構築(その1 観測システムの  
概要) /中央開発[正]岩田 賢・橋本 和佳・田中 浩平
- CS12-020 鉛直多連地震観測システムの構築(その2 観測記録による  
検証とその特徴) /鉄道総合技術研究所[正]田中 浩平・  
坂井 公俊
- CS12-021 2000年鳥取県西部地震境港市役所における強震動の推定/  
鳥取大学[正]香川 敬生・星山 賢太郎・野口 竜也
- CS12-022 平成28年熊本地震前震における後続パルス波を再現する3  
次元断層モデル/京都大学[学]豊増 明希・後藤 浩之・澤  
田 純男
- CS12-023 強度にばらつきを持つ分岐断層の破壊方向に関するXFEM  
シミュレーション/京都大学[学]山下 大輝・後藤 浩之・  
澤田 純男
- CS12-024 統計分析に基づく地震断層変位量の予測/法政大学[学]  
諸井 亮磨・酒井 久和・片岡 正次郎
- CS12-025 個別要素法を用いた地表断層変位評価のための基礎的検討  
/ジェイアール総研エンジニアリング[正]日野 篤志・谷  
山 尚・西條 生
- CS12-026 2016年熊本地震における下水道埋設管路被害と地表断層変  
位との関係/筑波大学[学]畠山 大治・庄司 学・永田 茂
- CS12-027 断層変位を受けるRCボックスカルバートの継手効果に関  
する解析的検討/大成建設[正]坂下 克之・畑 明仁

■地中構造物・管路の地震応答と液化化/14:25~15:55/一井 康二  
(関西大学)

- CS12-028 大開駅妻壁の地震被害の相違に基づいた3次元非線形解析  
の妥当性検討/東京電力ホールディングス[正]大塚 経志  
郎・酒井 久和・西山 誠治

- CS12-029 2016年熊本地震の通信用橋梁添架管路被害に係る地盤震動の特徴/筑波大学[学]寺島 幹裕・庄司 学
- CS12-030 熊本地震における益城での通信管路の被災分析/日本電信電話[正]奥津 大・伊藤 陽・庄司 学
- CS12-031 2018年北海道胆振東部地震における通信設備の被災概況/日本電信電話[正]坂板 浩二・奥津 大・庄司 学
- CS12-032 平成30年北海道胆振東部地震の路面下空洞発生傾向と陥没予防手法の提案/ジオ・サーチ[正]佐藤 雅規・徳永 珠未・雑賀 正嗣
- CS12-033 土粒子模型による管路継手部の摩擦力と粒子軌跡との関係/神戸大学[学]山村 優・鍛田 泰子
- CS12-034 疑似有効ひずみに基づく通信用鋼管およびビニル管の地震被害率分析/日本電信電話[正]伊藤 陽・奥津 大・末富 岩雄
- CS12-035 繰返し非排水三軸試験によるマイクロスフェアを用いた不飽和化工法の液状化強度特性/大林組[正]加藤 一紀・樋口 俊一
- CS12-036 X線CTによるポーリングコアの液状化構造の解析/産業技術総合研究所[正]中島 善人

CS-2 (幸町南6号館 第3講義室) /9月3日(火)

■International Session 国際セッション(5) /8:40~10:10/

横山 隆明(立命館大学)

- CS2-013 OPTIMIZATION OF LIFE-CYCLE MANAGEMENT ON PORT MOORING FACILITIES / [学] SURYA DEWI PUSPITASARI・Yuichiro Kawabata・Hiroshi Yokota
- CS2-014 波浪推算モデル相違による海上工事可否判断への影響/五洋建設[正]ジャヤブラサッド シバランジャンニ・琴浦 毅
- CS2-015 USE OF DOUBLE WEIGHTING TO COMPENSATE FOR DATA VARIATION IN A MULTICRITERIA SUSTAINABILITY EVALUATION/Hokkaido University [学] Opon Joel・Henry Michael
- CS2-016 写真測量から3Dモデル再構築の検証/可見建設[正]エルシャフィ アブドララハマン・可見 憲生・須田 清隆
- CS2-017 舗装ひび割れ解析のための写真測量測定による3D再構成の解析/愛亀[正] Macome Jaime・西山 周・黒河 洋吾

■International Session 国際セッション(6) /10:25~11:55/

鎌田 知久(東京大学)

- CS2-018 APPLICATION OF MODIFIED LATIN HYPERCUBE SAMPLING METHOD FOR THE STUDY OF CEMENT-FLY ASH-SILICA FUME TERNARY PASTE SYSTEM / Hokkaido University [学] Ma Shengchi・Opon Joel・Henry Michael
- CS2-019 EFFECTS OF GLASS POWDER AS AGGREGATE AND BINDER ON ASR/Shibaura Institute of Technology [学] Soares Carneiro Ludmila・IYODA Takeshi
- CS2-020 Study on Structural Seismic Monitoring Using IoT Sensing Devices / [学] Rongzhi Zuo・Ji Dang
- CS2-021 Utilization of RSM and Desirability Analysis for Optimizing the Sustainability of Cementitious Material/北海道大学[学]吉田 勇介・オボン ジョエル・馬 勝馳
- CS2-022 Electrochemical study on the passive cathodic protection for steel bridge using Al-Zn based sacrificial anode / Kyushu University [正]楊 沐野・Kainuma Shigenobu・Zhuang Shusen
- CS2-023 Experimental Analysis on Moving Vehicle Force Identification from Bridge Responses Using an Extended Kalman Filter / [正] Haoqi Wang・Tomonori Nagayama・Di Su
- CS2-024 CYCLIC LOADING TEST OF U-SHAPED STEEL BELLOWS DAMPER AS ENERGY ABSORBER FOR BRIDGES-TRANSVERSE LOADING TEST / [正] Ahmed Arafat・Masahide Matsumura・Hiroshi Zui
- CS2-025 Effects of Laser Surface Treatment with Different Processing Parameters on Electrochemical Properties of Carbon Steel Plate / [学] Shusen Zhuang・Shigenobu Kainuma・Muye Yang

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(2) /14:55~16:25/

福士 直子(国際航業)

- CS9-010 プラスチック光ファイバーセンサを利用した鉄筋腐食の計測/神戸大学[正]芥川 真一・伊藤 聡・小西 真治
- CS9-011 磁力を利用したインフラの変状検知に関する基礎的研究/神戸大学[学]大島 淳矢・芥川 真一
- CS9-012 ヘテロコア型光ファイバ加速度センサによる高架橋振動測定の実験的検証/創価大学[正]山崎 大志・渡辺 一弘・佐々木 博幸

- CS9-013 加速度計を用いた自治体橋梁のたわみ評価に関する研究/日本工営[正]中津井 邦喜・松山 公年・園田 崇博
- CS9-014 音伝播特性に着目した照明柱の劣化検出の可能性/東京工科大学[正]天野 直紀・小林 誠治・下里 哲弘
- CS9-015 光の屈折率変化を利用した光ファイバー計測の影響要因に関する研究/神戸大学[学]増本 智紀・芥川 真一
- CS9-016 光ファイバセンサによる水路トンネルモニタリング~長期的な連続モニタリングデータの検証~/北海道電力[正]笠井 秀男・若松 洋介・今井 道男
- CS9-017 プラスチック光ファイバーセンサを利用した地下鉄トンネルの漏水計測/東京地下鉄[正]伊藤 聡・小西 真治・今泉 直也
- CS9-018 BOCDR方式分布型光ファイバーセンサによるひずみ計測/リテックエンジニアリング[正]早坂 洋太・今井 道男・古川 靖

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(3) /16:40~18:10

- CS9-019 BLEビーコンを用いた重機接近警告システムの開発/飛鳥建設[正]木村 圭佑・松田 浩朗・筒井 隆規
- CS9-020 準天頂衛星システムのサブメータ級測位補強サービスに関する実験/日本大学[学]中島 和希・佐田 達典・江守 央
- CS9-021 高精度衛星測位におけるGalileoの併用効果に関する研究/日本大学[学]宇野 敬太・佐田 達典・江守 央
- CS9-022 トンネル切羽モニタリングに向けたミリ波高速イメージングレーダーの性能確認/清水建設[正]岩城 英朗・多田 浩幸・青野 泰久
- CS9-023 トンネル地表面計測におけるRTK-GNSSの適用性の検討/国際航業[正]加藤 大佑・武石 朗・及川 典生
- CS9-024 土砂災害調査における調査支援システムの開発(その1) 一大規模土砂災害における初動時の災害調査の課題と土砂災害調査効率化アプリの開発について/中電技術コンサルタント[正]山野 亨・國時 正博・熊本 勝史
- CS9-025 土砂災害調査における調査支援システムの開発(その2) 一災害調査に用いるRTK受信機の性能評価一/茨城工業高等専門学校[学]大泉 拓也・岡本 修・桐山 魁
- CS9-026 土砂災害調査における調査支援システムの開発(その3) 一山間部におけるRTK受信機の測位性能の評価一/茨城工業高等専門学校[学]桐山 魁・岡本 修・大泉 拓也
- CS9-027 土砂災害調査における調査支援システムの開発(その4) 一構造物の点検調査におけるRTK受信機の測位結果と構造物図面データとの比較一/中電技術コンサルタント[正]河井 恵美・荒木 義則・猿渡 雄二

CS-2 (幸町南6号館 第3講義室) /9月4日(水)

■International Session 国際セッション(7) /8:40~10:10/

Yao Luan (埼玉大学)

- CS2-038 ホテアオイトとジュートNFRPで横拘束された低強度コンクリートの圧縮挙動/北海道大学[学]皆川 春奈・上田 多門
- CS2-039 In-situ non-destructive investigation on the variability of concrete strength of road structures in Thailand/Hokkaido University [正] Henry Michael・Horiuchi Kota・Matsumoto Koji
- CS2-040 MECHANICAL PROPERTIES OF FIBER REINFORCED GEOPOLYMER MORTAR AND CONCRETE/東京工業大学[学]賈 鵬飛・大窪 一正・二羽 淳一郎
- CS2-041 Mechanical Properties of Hot-dip Al and Al-45Zn Galvanized Steel Plates / [学] Yang Gao・Shigenobu Kainuma・Muye Yang
- CS2-042 ANALYTICAL STUDY ON PERMANENT REPAIR OF FATIGUE CRACKS OF WELDED GUSSET JOINTS.../首都大学東京[学] Thay Visal・小沢 拓弥・中村 一史
- CS2-043 様々な環境下でのコンクリートの比較品質評価に与えるかぶり厚と水セメント比の影響度/北海道大学[学]堀内 康太・松本 浩嗣・Henry Michael
- CS2-044 EXPERIMENTAL AND ANALYTICAL STUDY ON LOAD-CARRYING BEHAVIOR OF BAILEY BRIDGE / "Shiratori machi 6-51, Mezon shiratori, room 107" [学] KHOUNSIDA THAVONE
- CS2-045 NUMERICAL STUDY ON FAILURE PROCESS AND ULTIMATE STATE OF STEEL BEARING UNDER COMBINED LOAD/kyushu university [学] gibe hagere・TAMAI HIROKI・SONODA YOSHIMI

■我が国におけるBIM/CIMの将来展望(2) /10:25~11:55/

杉浦 伸哉(大林組)

- CS11-008 PC化による建設生産性向上の可能性に対する一考察/パシフィックコンサルタンツ[正]渡邊 武志・橋本 照政・工藤 克士

- CS11-009 銀山大橋橋脚工事におけるBIM/CIMによる建設プロセス改善検討／ドールン[正]中山 喜行・花山 聡夫・松田 伸吾
- CS11-010 Visual SLAM を用いたマーカースレスARシステムの開発検証と現場展開／安藤ハザマ[正]早川 健太郎・黒台 昌弘・澤城 光二郎
- CS11-011 高速道路事業における測量から維持管理までの全面的なCIM導入に向けて一神戸西バイパス事業における挑戦(測量編)一／西日本高速道路[正]日浅 崇平・栗野 翔太・田中 悟
- CS11-012 三次元CIMデータを用いた飛来塩分検討(橋梁長寿命化に向けて)／パシフィックコンサルタンツ[正]山本 智弘・鶴田 浩章・上田 尚史
- CS11-013 構造物の3Dデータと地下情報を統合した基盤モデルの構築／エンジニアリング協会[正]塩崎 功・箱田 利明・西山 昭一
- CS11-014 設計段階におけるBIM/CIM の活用事例の報告／復建調査設計[正]中野 寛隆

## CS-2 (幸町南6号館 第3講義室) / 9月5日(木)

## ■地盤の非線形応答 / 8:40~10:10 / 小野 祐輔(鳥取大学)

- CS12-037 インターロッキングブロックを用いた積組建造物の耐震性向上効果の検討／京都大学[学]浅野 恭介・古川 愛子
- CS12-038 熊本地震で被災した百間石垣に対するSPH-DEM法による崩壊シミュレーション／法政大学[学]篠崎 将也・酒井 久和・伊吹 竜一
- CS12-039 RTK-GNSSを用いた地震後係留施設の使用可否判断支援ツールの開発／港湾空港技術研究所[正]伊藤 広高・小濱 英司・遠藤 正洋
- CS12-040 2016年熊本地震における秋田配水場周辺地盤の地震時挙動の推定／長岡技術科学大学[学]根本 峻
- CS12-041 惣領橋の中間橋脚沈下被害に関する地盤の不整形を考慮した検討／[学]丹藤 修平・副島 健太郎・梶田 幸秀
- CS12-042 直接基礎構造物の沈下に着目した3次元動的有効応力解析一拡張型繰返し弾塑性モデルの適用一／大成建設[正]宇野 浩樹・居上 靖弘
- CS12-043 初期構造異方性を有する飽和砂のせん断試験に対する要素シミュレーション／日本工営[正]森 篤史・石川 裕規・芋野 智成
- CS12-044 陰的応力計算法による時刻歴応答解析の応答加速度を用いたニューマーク法に関する検討／石川工業高等専門学校[学]福森 雄基・稲場 光太郎・新保 泰輝
- CS12-045 ARX モデルを用いた高速道路盛土の振動特性の推定／芝浦工業大学[学]今井 秀樹・紺野 克昭・伊勢谷 真樹

## ■地震応答解析 / 10:25~11:55 / 篠原 聖二

(阪神高速道路技術センター)

- CS12-046 入力波動場に基づく、3次元非線形建物一地盤相互作用解析法／東京大学[正]飯田 昌弘
- CS12-047 ニューラルネットワークによる履歴復元力特性のモデル化及び非線形動的解析への適用／九州大学[学]明渡 貴史・松田 泰治・梶田 幸秀
- CS12-048 東北地方太平洋沖地震の余震観測記録に基づいた鶴見つばさ橋の地震応答特性／筑波大学[学]宇都宮 大治・庄司 学
- CS12-049 Analytical Study on the Seismic Response of a Langer Arch Bridge during the Nankai Trough Earthquakes / 早稲田大学[学]洪 子涵・小野 潔・片岡 正次郎
- CS12-050 免震支承を有する4径間連続鋼箱橋における2018年大阪府北部地震の観測記録を用いた再現解析および感度分析／建設技術研究所[正]松本 崇志・光川 直宏・服部 匡洋
- CS12-051 鋼単純合成鋼桁区間における2018年大阪府北部地震の地震観測記録と応答特性の評価／パシフィックコンサルタンツ[正]富 健一・服部 匡洋・馬越 一也
- CS12-052 既往3地震における長周期地震動の特徴とエネルギー関連・貯蔵タンクのスロッシング予測／筑波大学[学]山本 鐘太・庄司 学
- CS12-053 大阪府北部の地震におけるPCLNGタンクと周辺地盤の地震観測結果(その2)／大林組[正]阿久津 富弘・田摩 仁・西崎 丈能
- CS12-054 大阪府北部の地震におけるPCLNGタンクと周辺地盤の地震観測結果(その1)／大阪ガス[正]牛田 智樹・輪木 佑哉・樋口 俊一

## ■橋梁等の地震時挙動 / 12:40~14:10 / 庄司 学(筑波大学)

- CS12-055 位相特性が構造物応答の変動に与える履歴モデルの影響／鉄道総合技術研究所[正]名波 健吾・坂井 公俊・室野 剛隆
- CS12-056 熊本地震により被害を受けたゴム支承の損傷痕調査により地震時挙動の分析／土木研究所[正]横山 朋弘・余野 智哉・大住 道生

- CS12-057 ダイラタント流体材料の落橋防止システム用緩衝材への適用に関する基礎的検討／九州大学[学]矢部 賢也・松田 泰治・梶田 幸秀
- CS12-058 地震動作用時の橋梁における支承反力に関する基礎的検討／東北大学[学]佐々木 千歳・松崎 裕・運上 茂樹
- CS12-059 ミャンマー国吊橋の耐震性能照査に係わる報告1～Twantay橋解析概要と結果～／日本工営[正]吉田 剛・合田 哲郎・長井 宏平
- CS12-060 ミャンマー国吊橋の耐震性能照査に係わる報告2～設計図面モデルと現況再現モデルによる解析結果の違い～／日本工営[正]合田 哲郎・野末 康博・長井 宏平
- CS12-061 ミャンマー国吊橋の耐震性能照査に係わる報告3～Pathein 橋解析と考察～／日本工営[正]野末 康博・合田 哲郎・長井 宏平
- CS12-062 衝撃試験を利用した構造物のモード特性同定におけるFDD法の適用性検証／東京工業大学[正]盛川 仁・飯山 かほり・Ping Yu Chen
- CS12-063 微動および衝撃試験を利用したFDD法によるRCラーメン高架橋の振動モード特性同定／東京工業大学[学]ヘイユウ チン・飯山 かほり・盛川 仁

## ■地震・津波防災 / 14:25~15:55 / 山中 亮一(徳島大学)

- CS12-064 発生から陸地への遡上までのマルチスケール津波解析／九州大学[学]横野 泰河・浅井 光輝・古市 幹人
- CS12-065 都市全体の地震・津波による木造家屋倒壊解析に向けたASI-Gauss法の適用／九州大学[学]原 倅平・浅井 光輝・大谷 英之
- CS12-066 津波漂流物の橋桁への作用モデルに基づく道路ネットワークの信頼性解析／筑波大学[学] Liu Xiaojiao・庄司 学
- CS12-067 島越における3次元津波浸水シミュレーションと鉄道橋梁の津波応答解析／鉄道総合技術研究所[正]津野 靖士・佐藤 祐子・渡辺 健
- CS12-068 1771年明和地震における海底地すべりの影響評価／防災科学技術研究所[正]大角 恒雄・ハザリカ ヘマンタ
- CS12-069 津波避難人命リスクに対する防災丘陵の構造要件一概念特性と鎌倉市の津波防災への適用一／遥感環境モニター[正]金子 大二郎
- CS12-070 スタジアム防災プロジェクトの取り組み一Jリーグ観戦者対象の地震・津波防災意識啓発一／徳島大学[正]湯浅 恭史・中野 晋・蔣 景彩
- CS12-071 宇和海沿岸地域の南海トラフ地震事前復興デザイン共同研究の取り組み／愛媛大学[正]山本 浩司・森脇 亮・薬師寺 隆彦
- CS12-072 東日本大震災による京都府、大阪府、岡山県への長期避難者の心理的ストレス／岐阜大学[学]土田 康平

## CS-3 (幸町南6号館 第4講義室) / 9月3日(火)

## ■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(4) / 8:40~10:10 / 城古 雅典(前田建設工業)

- CS9-028 衛星SARデータを活用した貯水池周辺斜面の変動領域の抽出に関する検討／国土技術政策総合研究所[正]佐藤 弘行・石川 亮太郎・金銅 将史
- CS9-029 衛星SARデータによる貯水池周辺斜面の変動領域抽出に適した干渉SAR解析のパラメータ検討／国際航業[正]虫明 成生・佐藤 弘行・清水 則一
- CS9-030 衛星SARデータからのスタッキング解析による貯水池周辺斜面の変動抽出／国際航業[正]佐藤 渉・佐藤 弘行・清水 則一
- CS9-031 斜面防災を想定した光ファイバー式モニタリングの低コスト化に関する研究／神戸大学[学]井上 雅之
- CS9-032 時系列衛星SAR解析による河川堤防の標高値推定／京都大学[正]須崎 純一・日下部 貴也・穴原 琢磨
- CS9-033 現地データ収集の効率化について／西日本高速道路エンジニアリング中国[正]高橋 英樹・小澤 徹三・極楽寺 隼也
- CS9-034 土砂流出箇所の自動埋戻しと可視化に関する基礎的研究／神戸大学[学]福井 悠太
- CS9-035 航空機を用いたコンクリート構造物調査に関する基礎検討／アジア航測[正]瀧川 正則・勝木 太・中川 雅史

## ■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(5) / 10:25~11:55 / 澤田 純之(安藤・間)

- CS9-036 PC3径間連続合成桁の固有振動モードの推定／東日本高速道路[正]高久 英彰・葛西 茂・清川 裕
- CS9-037 PC3径間連続合成桁の固有振動モードの数値解析と実験解析との比較検証／日本電気[正]清川 裕・葛西 茂・木下 翔平
- CS9-038 橋梁部材の温度環境を利用したエネルギーハーベスティングの提案／山梨大学[学]小森 誠太・竹谷 晃一・入江 美月
- CS9-039 複数加速度センサを用いた橋梁のたわみ算出方法の適用性

- および精度向上に関する検討/TTES [正]梅川 雄太郎・菅沼 久忠・木下 幸治
- CS9-040 一般道の連続鋼箱桁橋における無線加速度計を利用した簡易BWIM/東京大学[正]加藤 宗・長山 智則・王 浩祺
- CS9-041 橋梁センサシステムによる実橋梁での実証実験報告/首都高速道路技術センター [正]村野 益巳・張 広鋒・式田 直孝
- CS9-042 モアレ計測技術を利用した高速道路における軸重測定に関する研究/産業技術総合研究所[正]李 志遠・津田 浩・永田 佳文
- CS9-043 高速道路におけるリニューアル工事着手までの鋼橋RC床版モニタリング報告/日揮[正]門 万寿男・樋本 智・笹沼 恭平
- CS9-044 低周波加速度センサを用いた多点同期モニタリングによる橋梁の変位解析/能美防災[正]遠藤 義英・井関 晃広・皆川 翔輝

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(6) /14:55~16:25/  
宇野 昌利(清水建設)

- CS9-045 斜面对策施設の凍上被害に対するMEMS傾斜センサの適用検証/中央開発[正]王寺 秀介・小野 丘・山口 弘志
- CS9-046 低周波加速度センサを用いた6つの実橋梁における活荷重変位と振動の長期モニタリング/能美防災[正]井関 晃広・遠藤 義英・皆川 翔輝
- CS9-047 輪荷重走行試験によるRC床版の疲労劣化に関するモニタリング技術の検討(その7) AEセンサデータを用いた加速度センサデータ分析結果の検証/富士通[正]金見 純司・梅田 裕平・菊地 英幸
- CS9-048 動画像を用いたRC桁橋の変位とひび割れ開閉挙動のモニタリング/日本電気[正]太田 雅彦・村田 一仁・高田 巡
- CS9-049 橋梁モニタリングのための低周波加速度センサを用いた試験車両走行時の変位解析/能美防災[正]皆川 翔輝・井関 晃広・遠藤 義英
- CS9-050 周囲環境の影響を考慮した後施工型腐食環境検知センサの応答に関する検討/日本工営[正]岡本 萌・中野 雅章・高地 透
- CS9-051 斜張橋ケーブル点検ロボットを用いた斜材保護管点検の実証試験/三井住友建設[正]嶋崎 正人・藤原 保久・車田 茂美
- CS9-052 加振振動によるボルト緩み検知試験/大成建設[正]近藤 高弘
- CS9-053 音声発信による危険箇所把握システムの開発/東日本旅客鉄道[正]赤沼 潤一・渡部 真太郎・越村 俊

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(7) /16:40~18:10/  
杉浦 伸哉(大林組)

- CS9-054 複合現実の空間を実現するデバイスを利用した土木分野への適用性の検討/日本工営[正]太田 敬一・後藤 裕子・畠田 和弘
- CS9-055 SfMを用いた構造物モデリングにおける全方位カメラの効率的な撮影手法の検討/日本大学[学]瀬戸山 竜二・佐田 達典・江守 央
- CS9-056 MMSによる覆工コンクリート出来形計測の検証/アジア航測[正]小野田 敏・佐野 健彦・松本 直樹
- CS9-057 バックパック型レーザー計測による計測事例の紹介/国際航業[正]江本 聡志・金子 雅博・沖 咲良
- CS9-058 3次元点群データを用いた歩道路面のバリエーション自動検出手法の検討/日本大学[学]奈良部 昌紀・佐田 達典・江守 央
- CS9-059 MMSのレーザスキャナ性能と計測精度との関係に関する基礎的研究/日本大学[学]藤村 大輔・山口 裕哉・白石 宗一郎
- CS9-060 地上型レーザースキャナーを用いた計測の再現性に関する研究/日本大学[学]樋口 智明・佐田 達典・江守 央
- CS9-061 スポット型ゲートウェイを利用した脈拍モニタリングシステムの開発/飛鳥建設[正]松田 浩朗・田頭 茂明・東 住也

CS-3 (幸町南6号館 第4講義室) /9月4日(水)

■土木教育一般(1) /8:40~10:10/鈴木 啓悟(福井大学)

- CS1-001 工業高校課題研究における橋梁セルフメンテナンズの事例と教育現場への提案/アイ・エス・エス[正]浅野 和香奈・加藤 勇・岩城 一郎
- CS1-002 ブータン国への橋梁維持管理に係る技術移転に関する考察/日本工営[正]二井 伸一・高橋 一暢・若林 康太
- CS1-003 ブータン国への橋梁維持管理に係る現状と技術移転の経過報告/アサノ大成基礎エンジニアリング[正]亀田 貴文・二井 伸一・高橋 一暢
- CS1-004 ブータン国での「Bridge Management System」の開発に係る課題と技術移転方針/地球システム科学[正]齋藤 高・二井 伸一・高橋 一暢

- CS1-005 学び直しのための構造物力学演習問題の開発/舞鶴工業高等専門学校[正]玉田 和也
- CS1-006 橋梁点検技術者及び准橋梁点検技術者資格認定制度及び今後の展開について/舞鶴工業高等専門学校[正]嶋田 知子・玉田 和也
- CS1-007 鉄道高架下BH杭の施工効率向上/熊谷組[正]長谷川 愛紗

■土木教育一般(2) /10:25~11:55/白旗 弘実(東京都市大学)

- CS1-008 VR技術と津波数値計算による津波防災ゲームの開発/東北学院大学[正]三戸部 佑太・佐瀬 一弥・佐々木 元志
- CS1-009 イベント型防災学習での「振り返り」と「評価」の方法に関する考察/徳島大学[正]松重 摩耶・上月 康則・山中 亮一
- CS1-010 洪水ハザードマップを活用した防災教育プログラムとその実践—小学校児童を対象として—/北海道大学[正]田中 岳・オ川 純一郎
- CS1-011 立体地形模型製作による小学校向け防災出前授業/呉工業高等専門学校[正]河村 進一・好本 憲史
- CS1-012 災害時の避難および避難行動などに関する学生アンケートによる実態調査/和歌山高専[正]辻原 治・谷本 菜緒・山口 恭平
- CS1-013 防災教育のための地震時火災リスク評価ツール/岡山県庁[正]岡本 輝正・辻原 治
- CS1-014 防災基礎講座向けループリックの作成と評価/岐阜大学[学]小関 貴徳
- CS1-015 防災意識向上を目的とした道路渋滞・道路封鎖を考慮した防災ダイスゲームの作成とその発展/石川工業高等専門学校[正]寺山 一輝・新保 泰輝

CS-3 (幸町南6号館 第4講義室) /9月5日(木)

■都市ネットワーク防災シミュレーション/8:40~10:10/  
丸山 喜久(千葉大学)

- CS12-073 大規模地震発生時の橋梁性能評価システムについて/西日本高速道路[正]藤井 雄介・難波 正幸
- CS12-074 鉄道ネットワークに対する地震対策効果の評価シミュレーターの開発/鉄道総合技術研究所[正]岩田 直泰・田中 浩平・山本 俊六
- CS12-075 復旧性評価データベースによる鉄道構造物の地震時復旧性評価法の構築(その1 評価法の概要について)/鉄道総合技術研究所[正]神澤 拓・田中 浩平
- CS12-076 復旧性評価データベースによる鉄道構造物の地震時復旧性評価法の構築(その2 RCラーメン高架橋を対象とした復旧性データベース)/ジェイアール総研エンジニアリング[正]西村 隆義・神澤 拓・田中 浩平
- CS12-077 個別要素法を用いた木造住宅の倒壊シミュレーションによる道路閉塞率の算出方法/ニュージェック[正]中村 友紀恵・山田 雅行・羽田 浩二
- CS12-078 都市地震被害推定のための異分野間数値解析技術の統合に関する基礎的検討/東京工業大学[正]飯山 かほり・大谷 英之・マッデゲダラ ラリス
- CS12-079 広域道路ネットワークの地震被害シミュレーションによる兵庫県南部地震の再現に関する検討/阪神高速道路技術センター [正]服部 匡洋・大石 秀雄・中村 真貴
- CS12-080 広域道路ネットワークの地震被害シミュレーションによる被災度評価に関する検討/地震工学研究開発センター [正]中村 真貴・馬越 一也・服部 匡洋

■リモートセンシングとネットワーク防災/10:25~11:55/  
劉 ウェン(千葉大学)

- CS12-081 地震発生時における高速道路上での車両挙動及び衝突に関する研究/京都大学[学]福永 健二・清野 純史・篠原 聖二
- CS12-082 高速道路を対象とした地震時機能的フラジリティ関数の構築と震災間比較/岐阜大学[学]加藤 宏紀・能島 暢呂・佐藤 多恵
- CS12-083 地震時の漏洩通報に基づくガス導管の被害予測結果の更新に向けた基礎的検討/千葉大学[学]河村 祥彰・丸山 喜久・水上 清二
- CS12-084 斜面カルテと空間情報データベースを用いた斜面の地震時信頼性評価手法/法政大学[学]梶 丹人・酒井 久和・梶谷 義雄
- CS12-085 地すべりの破砕度区分の深層学習による判定技術の研究/応用地質[正]西澤 幸康・谷川 正志・山内 政也
- CS12-086 全偏波航空機SAR画像を用いた2016年熊本地震による斜面崩壊と橋梁被害の検出/千葉大学[正]劉 ウェン・田邊 諒士・山崎 文雄
- CS12-087 航空測量データを用いた熊本地震における道路盛土沈下量の分析/高速道路総合技術研究所[正]日下 寛彦・中村 洋丈・中澤 正典

- CS12-088 複数の地震における航空写真に基づいた建物被害教師データの構築とその特徴／防災科学技術研究所[学]内藤 昌平・藤原 広行・中村 洋光
- CS12-089 地震災害時の係留施設におけるUAV写真測量の基準点配置と計測精度に関する研究／港湾空港技術研究所[正]大矢 陽介・伊藤 広高・小濱 英司

### ■土木教育一般(3) / 12:40~14:10 / 兵動 太一(富山県立大学)

- CS1-016 日本技術者教育認定機構JABEEにおける技術者倫理教育(その1:必要理念と実践)／北武コンサルタント[正]富澤 幸一
- CS1-017 高校教育小委員会による夏期講習会の取り組みについて／那須清峰高等学校[正]鈴木 良孝・渡邊 隆
- CS1-018 防災・減災対策の必要性を学べる『ポケドポ』カードゲームの多角的展開／パシフィックコンサルタンツ[正]光安 皓・阿部 翔太・小池 進太郎
- CS1-019 Virtual Realityを用いた構造力学学習支援システムの開発～高専デザコンを例として～／石川工業高等専門学校[正]新保 泰輝・高倉 未有
- CS1-020 高専におけるi-Constructionに対応した建設技術者教育と地域リカレント教育／松江工業高等専門学校[正]大屋 誠・浅田 純作・広瀬 望
- CS1-021 土木学会でのMOOC講座製作と活用の方向性／土木学会[正]中島 敬介
- CS1-022 土木学会継続教育(CPD)制度の見直しの検討／大成建設[正]尾高 義夫・竹村 次朗・中島 敬介
- CS1-023 地方建設業の人材育成の現状について／足利大学[正]藤島 博英

### ■土木教育一般(4) / 14:25~15:55 / 寺部 慎太郎(東京理科大学)

- CS1-024 タレントマネジメントシステムを活用した若手土木技術者の育成／前田建設工業[正]工藤 敏邦・秦 宗之・嶋木 俊哉
- CS1-025 周南市菊川地区における児童・生徒への交通安全教育を通じた通学路の意識と行動の変化について(2016-2018年度)／徳山工業高等専門学校[正]目山 直樹
- CS1-026 意図的行動における違反行為の防止対策に関する一考察／北海道旅客鉄道[正]小川 直仁・鈴木 聡士
- CS1-027 UAV・SiM/MVS測量を効果的に修得するためのゲーム教材の開発に関する一検討／岐阜工業高等専門学校[学]長屋 佑美・菊 雅美
- CS1-028 大規模造成工事におけるUAVおよびGNSS測量、MCによる生産性の向上／前田建設工業[正]芳賀 俊司
- CS1-029 ハンディGNSS受信機を用いた地上絵作成による測量技術の啓発／岐阜工業高等専門学校[正]菊 雅美・山川 奈巳・長屋 佑美
- CS1-030 河川改修に伴う鉄道下非開削工法による水路構築工事／東日本旅客鉄道[正]塚田 堅士・金木 健一・殿岡 彰
- CS1-031 廃炉地盤工学のカリキュラムの試作／早稲田大学[正]小峯 秀雄・後藤 茂

### ■土木教育一般(5) / 16:10~17:40 / 菊 雅美(岐阜工業高等専門学校)

- CS1-032 理系大学生(エンジニア初学者)に向けた会計学的重要性とその実践／日本大学[正]西山 孝樹・天野 光一・横沢 和夫
- CS1-033 港湾積算の講習会に関する一考察／港湾空港総合技術センター [正]島田 伊浩・的場 栄孝
- CS1-034 ハンドル式卓上材料試験機の開発と弾塑性の体感的実験／名城大学[正]小塩 達也・木全 博聖
- CS1-035 ハンドル式簡易材料試験機によるモルタルの圧縮試験／大同大学[正]木全 博聖・小塩 達也
- CS1-036 小学生向け体験学習イベントによる土木事業への理解を促進する活動／共同技術コンサルタント[正]松永 昭吾・出水 享
- CS1-037 遊び心に着目したのびのび人材育成と技術の伝承／西日本高速道路エンジニアリング四国[正]内田 純二・山下 弘晃・西川 秀
- CS1-038 ミニチュア工事現場体験会開催に関する活動報告と若年層の建設業イメージ調査／長岡工業高等専門学校[学]樋口 裕武・込山 晃市
- CS1-039 「コンクリート甲子園」を通しての人材育成について／香川県立多度津高等学校[正]尾崎 秀典

### CS-4 (幸町研究交流棟 5F会議室) / 9月3日(火)

### ■新設および大規模改修時における橋梁計画(1) / 8:40~10:10 / 石井 博典(横河ブリッジホールディングス)

- CS3-001 鋼床版の疲労耐久性向上に関する研究プロジェクト(その2)／関西大学[正]坂野 昌弘
- CS3-002 既設鋼床版のUリブ横リブ交差部に対するアングル補強の

解析的検討／日建設計シビル[正]田辺 篤史・松本 理佐・國年 滋行

- CS3-003 Uリブ鋼床版垂直補剛材上端部の疲労損傷に対する対策効果の実験的検討／建設コンサルタンツ協会[正]坂本 千洋・小西 日出幸・奥村 信太郎
- CS3-004 実橋における鋼床版Uリブ・横リブ交差部の補強効果の検証／日本工業試験所[正]一ノ瀬 ルイザ伯子・國年 滋行・坂野 昌弘
- CS3-005 大型Uリブ鋼床版のデッキき裂に対する疲労耐久性の検証／関西大学[学]李 井栄・坂野 昌弘・齊藤 史朗
- CS3-006 国道2号淀川大橋の大規模修繕工事に係る取組み／エイト日本技術開発[正]廣瀬 彰則・奈良 明彦・坂野 昌弘
- CS3-007 塩害により再劣化したPC箱桁橋の調査／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]橋 吉宏・紙谷 崇・辻角 学
- CS3-008 塩害により劣化したPC箱桁橋におけるPC鋼材の調査／中日本高速道路[正]稲葉 尚文・中川 健・辻角 学
- CS3-009 劣化したPC箱桁橋の耐荷力に関する検討／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋[正]辻角 学・中川 健・稲葉 尚文

### ■新設および大規模改修時における橋梁計画(2) / 10:25~11:55 / 畑山 義人(JR東日本コンサルタンツ)

- CS3-010 「神戸市税関前歩道橋」の提案／エイト日本技術開発[正]椛木 洋子
- CS3-011 設計競技における歩道橋計画の一提案—税関前歩道橋設計競技案の報告—／パシフィックコンサルタンツ[正]志田 悠歩・蘆田 暢人・石原 大作
- CS3-012 空間×デザイン×構造を兼ねたリングデッキ構造の提案(税関前歩道橋設計競技より)／オリエンタルコンサルタンツ[正]門田 峰典・王 智連・上野 淳人
- CS3-013 神戸市税関前歩道橋設計競技(コンペ)「SUPERIMPOSE BRIDGE」の提案／中央復建コンサルタンツ[正]丹羽 信弘・加藤 慎吾・長濱 伸貴
- CS3-014 景観に配慮した既設橋の架け替え設計／エイト日本技術開発[正]今西 修久・河村 淳・原田 秀典
- CS3-015 史跡鳥取城跡擬宝珠橋の設計／大日本コンサルタント[正]松井 幹雄・初鹿 明・金箱 温春
- CS3-016 新東名高速道路河内川橋工事における合理化施工への取組み／中日本高速道路[正]萩原 直樹・小谷内 祐弥
- CS3-017 都市部における鉄道高架橋の構造計画について／JR東日本コンサルタンツ[正]清水 靖史
- CS3-018 津波で流出した鋼鉄道橋の再利用判定基準案／東日本旅客鉄道[正]野澤 伸一郎・網谷 岳夫・滝沢 聡

### ■新設および大規模改修時における橋梁計画(3) / 14:55~16:25 / 野澤 伸一郎(東日本旅客鉄道)

- CS3-019 軟弱地盤における橋梁計画のあり方(一般国道55号安芸道路を事例にして)／国土交通省四国地方整備局[正]石川 真義・小野川 太心
- CS3-020 沈下対策を考慮した延長床版底版の構造検討について(第1報)／西日本高速道路[正]浅野 貴弘・上岡 一成
- CS3-021 新名神高速道路における内陸活断層への対応／西日本高速道路[正]加賀谷 俊介・竹内 彩・中谷 隆生
- CS3-022 地盤変状が橋の性能に及ぼす影響を最小化するための構造計画の事例／国土技術政策総合研究所[正]星隈 順一・今村 隆浩・西田 英明
- CS3-023 常時微振動計測によるPC橋梁の振動特性の長期モニタリング／三井住友建設[正]ヘン サルビソット・前原 直樹・内堀 裕之
- CS3-024 重交通道路上での桁架設工事における取り組み／大成建設[正]角田 泰基・松本 匠・團 博成
- CS3-025 橋梁におけるコンセプトデザインについて／三井住友建設[正]春日 昭夫
- CS3-026 橋の排水を考える／土木研究所[正]上仙 靖・山本 健太郎
- CS3-027 70万橋の耐久性実験～メンテナンスに学ぶ橋のデザイン～／土木研究所 [正] 西川 和廣

### ■ダイバーシティ & インクルージョン / 16:40~18:10 / 須田 久美子(鹿島建設)

- CS4-001 建設コンサルタント企業におけるダイバーシティ推進担当としての所感／建設技術研究所[正]瀬尾 弘美
- CS4-002 関東学院大学女子クラスにおける建設業界への女性進出の先駆けの事例／清水建設[正]白木 綾美・中藤 誠二・喜田 愛子
- CS4-003 CIMモデリングを通じたダイバーシティへの取り組み／五洋建設[正]中嶋 さやか・寺村 和久・ジャヤプラサッド シバランジャン
- CS4-004 支部間交流による若手技術者交流サロンの改善への示唆と展望／東京工業大学[正]山田 菊子・松浦 正典・田口 伸吾
- CS4-005 土木学会会員数にみる成熟したシビルエンジニアの活躍の

- CS4-006 現状と課題点／大成建設[正]加藤 隆・荒谷 太郎  
ダイバーシティ・マネジメント実現のための価値共有型倫理／山梨大学[正]岡村 美好
- CS4-007 土木学会におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進／建設技術研究所[正]米山 賢

CS-4 (幸町研究交流棟 5F会議室) / 9月4日(水)

- 橋と社会(1) / 8:40~10:10 / 長谷 俊彦(高速道路総合技術研究所)
- CS7-001 橋の役割—景観を創る—/NEXCO西日本コンサルタンツ[正]坂手 道明
- CS7-002 プレキャスト技術を用いた大型橋梁構造計画の一考察/大林組[正]大場 誠道
- CS7-003 充腹アーチを有するコンクリート二層アーチの計画と設計/ネクスコ西日本コンサルタンツ[正]吉田 直弘・松田 宏・大城 社司
- CS7-004 鋼アーチ人道橋の固有値解析と常時微動観測結果の検討/東京理科大学[学]竹村 晶平
- CS7-005 ダブルフェイス構造を有する伸縮装置のセットボルトの調査と補修/中日本高速道路[正]青木 慎之介
- CS7-006 都市高速道路高架橋の機能強化及び生産性向上の取組み/首都高速道路[正]伊原 茂
- CS7-007 橋梁メンテナンスイノベーションのためのAI活用/ピーエムシー [正]杉崎 光一・阿部 雅人
- 橋と社会(2) / 10:25~11:55 / 阿部 雅人(BMC)
- CS7-008 福島県平田村における市民協働型橋梁セルフメンテナンスシステムの実装/アイ・エス・エス[正]浅野 和香奈・阿部 喜彦・岩城 一郎
- CS7-009 地域と連携した維持管理手法の研究/石川工業高等専門学校[正]坂井 真奈美・津田 誠
- CS7-010 「大阪の橋」を活用した技術伝承・市民広報の取り組み~CVVの活動~/シビル・ベテランズ&ボランティアズ(CVV)[正]黒山 泰弘・古田 均・野坂 俊雄
- CS7-011 (一社)日本橋梁建設協会における技術者育成の取組み(ブリッジトーク) /日本橋梁建設協会[正]白石 薫・本間 順・大川 隆志
- CS7-012 日本橋梁建設協会における技術者育成の取組み(みかんプロジェクト) /日本橋梁建設協会[正]畠山 智行・本間 順・白石 薫
- CS7-013 1日限定開校「木更津鋼橋専門学校」/ツタワルドボク[正]藤木 修・片山 英資・本間 順
- CS7-014 阪神高速における震災経験・教訓の伝承に向けた取り組み/阪神高速道路[正]奥西 史伸・平田 健二・前川 和彦
- CS7-015 Actual condition of bridge maintenance management in developing countries and problem analysis for capacity improvement / [学] SOUMPHONPHAKDY Bounthipphasert
- CS7-016 PRELIMINARY FIELD SURVEY OF TRAFFIC BRIDGES WITH SHORT SPAN IN NORTHERN VIETNAM BY NON-DESTRUCTIVE METHODS/Saitama University [学] Nguyen Kien・Asamoto Shingo・Joshi Nirmla Raj

CS-4 (幸町研究交流棟 5F会議室) / 9月5日(木)

- 複合構造物(1) / 8:40~10:10 / 平陽兵(鹿島建設)
- CS6-001 合成床版の乾燥収縮解析モデルに関する一提案/日本ファブテック[正]山本 将士・武部 祐宜・今川 雄亮
- CS6-002 速硬ポリマーセメントモルタルの吹付けによる合成床版側鋼板とコンクリートのせん断付着耐力に関する検討/バコーボレーション[正]中嶋 浩之・酒井 武志・上野 英孝
- CS6-003 鋼コンクリート合成床版における「節突起リブ」のずれ止め効果—節状突起を配列した異形鋼板の引抜き試験—/川田工業[正]藤林 博明・小枝 芳樹・井口 建斗
- CS6-004 変断面位置のずれ止めの水平せん断挙動に着目した実験及び解析検討/宇都宮大学[学]柳沼 大介・中島 章典・Nguyen Minh Hai
- CS6-005 軽量コンクリート2種を用いたプレキャストPC床版における高強度頭付きスタッドの設計疲労曲線の提案/大阪工業大学[学]石原 涼澄・小林 崇・今川 雄亮
- CS6-006 RC床版とプレキャストPC床版接合部の実構造細目における合成作用の要素実験/建設技術研究所[正]小林 駿祐・松本 崇志・浅野 文佳
- CS6-007 プレキャストPC床版を有する合成桁の主桁—床版接合部の終局挙動に関する研究/大阪市立大学[学]浅野 文佳・松本 崇志・山口 隆司

- 複合構造物(2) / 10:25~11:55 / 溝江 慶久(川田工業)
- CS6-008 不完全合成を考慮した合成桁の終局荷重推定/広島大学[学]伊須田 遼・藤井 堅・谷 慎太郎
- CS6-009 二重合成I桁橋の適用支間長に関する一検討/大阪工業大学[学]大村 浩平・今川 雄亮・大山 理
- CS6-010 鉄骨鉄筋コンクリート部材のひび割れ幅評価法に関する研究/東北大学[学] PHEUN MINEA・内藤 英樹
- CS6-011 角鋼管と充填材を用いたRC-SRC接合構造の基礎的検討/鹿島建設[正]曾我部 直樹・岩本 拓也・平陽兵
- CS6-012 モルタル充填二重鋼管構造とした照明柱基礎連結部に関する実験的研究/大阪市立大学[正]角掛 久雄・菅 祐太郎・川満 逸雄
- CS6-013 芯材とモルタルによる同径鋼管の連結構造に関する基礎的研究/大阪市立大学[学]塩津 良将・川満 逸雄・角掛 久雄
- CS6-014 鉄道構造物に用いるコンクリート充填鋼管柱の現状と維持管理手法の検討/東日本旅客鉄道[正]網谷 岳夫・行澤 義弘
- CS6-015 ステンレス2重鋼管合成柱の曲げ耐荷性能に関する実験研究/太平洋マテリアル[正]石田 学・赤江 信哉・中島 裕

■複合構造物(3) / 12:40~14:10 / 石川 敏之(関西大学)

- CS6-016 国内最大級の複合ラーメン橋(仮称)羽田連絡道路橋の上下部剛結部の載荷実験/横河ブリッジホールディングス[正]石井 博典・本田 卓士・室水 良介
- CS6-017 圧延桁を用いた橋台部ジョイントレス構造の適用支間長に関する一検討/大阪工業大学[学]奥田 直人・今川 雄亮・大山 理
- CS6-018 上下部一体構造のアンカービーム方式接合部における貫通鉄筋の低減/鉄道総合技術研究所[正]土橋 亮太・斉藤 雅夫・南 邦明
- CS6-019 合成桁の長期ひずみ測定における温度差ひずみの評価手法に関する基礎的研究/大阪工業大学[正]今川 雄亮・大山 理
- CS6-020 斜角を有するSRC桁のゴム沓の設定用反力算定に関する解析的検討/ジェイアール西日本コンサルタンツ[正]玉井 博貴・佐伯 奈都美・藤原 良憲
- CS6-021 FRP材料の支圧破壊を考慮した損傷進展解析に関する研究/名古屋大学[学]寺口 大輝・北村 勇斗・北根 安雄
- CS6-022 一体成形サンドイッチパネル床版を有するGFRP検査路の開発/首都大学東京[学]辻本 輝司・叶 珉奎・王 元斌
- CS6-023 Investigation of Connection method of FRP Rods using Turnbuckle body/Toyohashi University of Technology [正] Phan Nhut・Matsumoto Yukihiko・Satria Yoresta Fengky

■土木分野におけるデジタルアーカイブと利活用(1) / 14:25~15:55 / 原口 征人(北海道開発技術センター)

- CS13-001 土木図書館におけるデジタルアーカイブの現状と課題/北海道教育大学[正]今 尚之
- CS13-002 映像CIMにおける情報通信整備の課題について/エムテック[正]風見 明祐・Macome Jaime・可見 憲生
- CS13-003 映像や写真などビジュアル情報の施工活用について/堀口組[正]漆箱 直清・西川 充・須田 清隆
- CS13-004 仮想臨場による公開見学会の広報効果/堀口組[正]湯浅 勝典・西川 充・須田 清隆
- CS13-005 映像CIMにおけるガイドラインの活用について/可見建設[正]可見 純子・黒河 洋吾・西川 充
- CS13-006 映像CIMにおける撮影ガイドラインの適用/堀口組[正]和島 直人・可見 純子・須田 清隆
- CS13-007 撮影ガイドラインの適用による映像CIMの展開/愛亀[正]熊谷 悠希・黒河 洋吾・須田 清隆

■土木分野におけるデジタルアーカイブと利活用(2) / 16:10~17:40 / 横山 隆明(立命館大学)

- CS13-008 建設事故防止における映像効果について/可見建設[正]可見 憲生・西川 充・黒河 洋吾
- CS13-009 映像を活用した品質管理と精密化施工/愛亀[正]黒河 洋吾・熊谷 悠希・須田 清隆
- CS13-010 映像による仮想臨場を活用したvisual-constructionの展開/堀口組[正]西川 充・須田 清隆・可見 憲夫
- CS13-011 CPP (Construction Process Profiling)による動的な建設現場の全体管理の試み/オーベック[正]大庭 将宣・五十嵐 貴範・樋口 高史
- CS13-012 建設現場の生産性を向上するための建設機械ナビシステム導入事例/東急建設[正]高倉 望・皆川 昌浩・内海 敦史
- CS13-013 サーモグラフィカメラとRTK-GNSSによるアスファルト締固めの温度管理/環境風土テクノ[正]本田 陽一・黒河 洋吾・重信 善昭
- CS13-014 垂直反射炉保存管理事業での光学的計測技術による調査/計測リサーチコンサルタント[正]渡邊 弘行

CS-5 (幸町研究交流棟 6F第一講義室) / 9月3日(火)

■原子力施設に係る土木技術(1) (断層変位、斜面) / 8:40~10:10 / 岡田 哲実(電力中央研究所)

- CS14-001 高性能計算を用いた断層変位評価一(1) 2014年長野県北部の地震の解析一/大成建設[正]篠原 魁・澤田 昌孝・羽場 一基
- CS14-002 高性能計算を用いた断層変位評価(2)予測解析における入力ずれ変位の設定方法の検討/電力中央研究所[正]澤田 昌孝・羽場 一基・堀 宗朗
- CS14-003 高性能計算を用いた断層変位評価一(3) 2016年熊本地震の解析一/大成建設[正]羽場 一基・澤田 昌孝・篠原 魁
- CS14-004 応力再配分による斜面安定解析手法に関する考察/地震工学研究所[正]大島 快仁・渡邊 泰介・宇高 竹和
- CS14-005 抑止杭によって補強された岩盤斜面の遠心力模型実験に関する数値解析/電力中央研究所[正]日高 功裕・小早川 博亮・石丸 真
- CS14-006 MPMを用いた斜面崩壊による土砂流下・堆積挙動に関する基礎的検討/日本大学[正]中村 晋
- CS14-007 原子力発電所周辺斜面の地震時崩壊を想定した岩塊衝撃力のDEM解析/電力中央研究所[正]栃木 均・中村 秀樹
- CS14-008 道路周辺斜面の3次元質点解析による落石挙動の確率論的衝突速度ハザード評価/東京都市大学[学]津田 悠人・吉田 郁政
- CS14-009 岩塊群の崩落挙動評価に必要な実験回数に関する一考察/東北大学[正]河井 正・水野 康介・中瀬 仁

■原子力施設に係る土木技術(2) (構造物、トンネル) / 10:25~11:55 / 渡辺 和明(大成建設)

- CS14-010 断層変位が作用した土被りが異なるRCカルバートの応答と損傷モード/大林組[正]堤内 隆広・山口 和英・伊藤 悟郎
- CS14-011 断層変位を受けるボックスカルバートの要求性能に応じた損傷評価/東北電力[正]山口 和英・伊藤 悟郎・肥田 幸賢
- CS14-012 断層変位を受けるトンネルの非線形シミュレーション解析による健全性評価/日本原子力発電[正]秋山 隆・藤原 由起・三橋 祐太
- CS14-013 断層変位と地震動の両方の影響を受ける防潮堤杭基礎の設計法/東北電力[正]岩館 礼・山口 和英・佐藤 達也
- CS14-014 離散鉄筋モデルを用いた非線形有限要素解析によるRC柱の二方向加力経路の影響検討/大成建設[正]園部 秀明・渡辺 和明・小野 英雄
- CS14-015 ベイズ推定を用いた原子力発電所屋外重要土木構造物のフラジリティ曲線算定手法/電力中央研究所[正]片山 吉史・酒井 俊朗・大島 靖樹
- CS14-016 詳細モデルを用いた原子力発電所建屋の地震応答解析の安定化および高速化の基礎検討/香川大学[正]本山 紘希・堀 宗朗・澤田 昌孝
- CS14-017 RC構造物のひび割れ性状の評価法に関する実験的研究/大林組[正]佐々木 智大・穴吹 拓也・渡辺 伸和
- CS14-018 RC構造物のひび割れ性状の評価法に関する解析的研究/大林組[正]渡辺 伸和・佐々木 智大・穴吹 拓也

■原子力施設に係る土木技術(3) (液状化、福島第一) / 14:55~16:25 / 河井 正(東北大学)

- CS14-019 砂地盤と対比した礫地盤の地震時挙動に関する遠心模型実験/鹿島建設[正]笹岡 里衣・國生 剛治・藤崎 勝利
- CS14-020 岩ざり地盤の液状化を対象とした遠心力模型実験/電力中央研究所[正]石丸 真・関口 陽・平賀 健史
- CS14-021 パライト沈降層のガンマ線・中性子線遮蔽性能に関する定量評価および遮蔽体密度構造とガンマ線遮蔽性能の関係についての考察/早稲田大学[学]宮路 将人・小峯 秀雄・後藤 茂
- CS14-022 陸側遮水壁の表層部対策について一凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その17)一/東京電力ホールディングス[正]後藤 貴哉・玉井 猛・添野 頼明
- CS14-023 福島第一原子力発電所放射性物質で汚染された土壌の回収について/大成建設[正]竹内 良平・堀内 友雅・小川 智広
- CS14-204 福島第一原子力発電所放射性物質で汚染されたフランジ型タンクの解体作業における汚染拡大防止対策/東京電力HD [正]鬼東 俊一・堀内 友雅・小川 智広
- CS14-025 ニューマチックケーソン工法を活用した福島第一原子力発電所の廃止措置に伴い発生する燃料デブリや放射性固体廃棄物の中間保管の概念/オリエンタル白石[正]本間 美湖・阿部 慎太郎・鈴木 忠勝

■我が国におけるBIM/CIMの将来展望(1) / 16:40~18:10 / 加藤 雅彦(長大)

- CS11-001 BIM/CIMにおける設計技術継承のための知識情報蓄積モデルの提案/宮城大学[正]蒔苗 耕司

- CS11-002 3次元モデルを活用した維持管理への取り組み/中央復建コンサルタンツ[正]井上 裕司・前田 憲治・谷野 知伸
- CS11-003 情報基盤ツールを活用した高速道路の維持管理の高度化・合理化/中日本ハイウェイエンジニアリング東京[正]平野 紘司・大窪 克己
- CS11-004 震災復旧した橋の維持管理で活用する施工段階のデータとCIMの活用/国土技術政策総合研究所[正]鈴木 慎也・西田 秀明・星隈 順一
- CS11-005 CIMとの連動による工程計画システムの構築/奥村組[正]宮田 岩住・桑島 元信・藤原 真吾
- CS11-006 高速道路事業におけるBIM/CIMの導入/東日本高速道路[正]門間 正挙・倉橋 逸美・山崎 洋大
- CS11-007 CIMクラウドを利用した受発注者連携の試行/五洋建設[正]石田 仁・森屋 陽一・藤田 真司

CS-5 (幸町研究交流棟 6F第一講義室) / 9月4日(水)

■土木分野におけるIoT/AIのあり方(1) / 8:40~10:10 / 河村 圭(山口大学)

- CS10-001 サイバーインフラマネジメントの実現に向けた取り組み/阪神高速道路[正]篠原 聖二・西岡 勉・坂本 直太
- CS10-002 「生コン情報電子化」の試行とこの利用がコンクリートの打込み方法及び効果/大成建設[正]大友 健・渡邊 高也・斎藤 勉
- CS10-003 ディープラーニングによる耐震性鋼の外観評点判定モデルの構築/富士フィルム[正]松本 一磨・中村 聖三
- CS10-004 ディープラーニングを用いたアスファルト舗装のひび割れ自動検出/愛媛大学[学]都築 幸乃・全 邦釘・山根 達郎
- CS10-005 深層学習を用いた道路舗装種別の画像判定技術に関する基礎的研究/建設技術研究所[正]宇都宮 優喬・今井 龍一・中村 健二
- CS10-006 道路舗装ひび割れ判読工程での機械学習技術適用検討/国際航業[学]福士 直子・田島 朋樹・松尾 義裕
- CS10-007 LightGBMによるコンクリート表面のひび割れ自動検出/愛媛大学[学]泉 翔太・瀬々 大樹・全 邦釘
- CS10-008 ディープラーニングによるダムポップアウトの自動検出手法の提案/八千代エンジニアリング[正]嶋本 ゆり・天方 匡純・藤井 純一郎

■土木分野におけるIoT/AIのあり方(2) / 10:25~11:55 / 栢見 周彦(JIPテクノサイエンス)

- CS10-009 森林内部の撮影画像を使ったSfM/MVSによる樹木位置および幹周の推定/熊本高等専門学校[正]入江 博樹・葉山 清輝・緒方 大樹
- CS10-010 時系列降雨分布データと再帰的畳み込み深層学習モデルを用いた短期降雨予測の試み/山梨大学[学]鄭 世韜・宮本 崇・阿部 雅人
- CS10-011 再帰型ニューラルネットワークによる河川水位予測/西日本技術開発[正]瀧口 晃・坂本 奈々美
- CS10-012 AIによる地中構造物の地震時の断面力予測に関する基礎的研究/大林組[正]秀島 喬博・佐藤 清・山本 修一
- CS10-013 rankSVMを用いた不均衡な訓練データからの機械学習と地震被害検知への応用/山梨大学[正]宮本 崇・丸山 諒
- CS10-014 高松市スマートシティ推進事業におけるIoT水位監視システムの実装とAI水位予測の取組み/福山コンサルタント[正]黒木 幹・山下 芳浩・美濃 吉広
- CS10-015 AIを予測に用いた防災システムの検討/茨城大学[正]齋藤 修・黒木 幹・加藤 誉士
- CS10-016 排水機場ポンプ設備における状態監視システムの開発について/寒地土木研究所[正]中島 淳一・新田 恭士・上野 仁士
- CS10-017 深層学習とSfMを用いた河川護岸の劣化診断支援手法/八千代エンジニアリング[正]藤井 純一郎・嶋本 ゆり・天方 匡純

CS-5 (幸町研究交流棟 6F第一講義室) / 9月5日(木)

■土木分野におけるIoT/AIのあり方(3) / 8:40~10:10 / 蒔苗 耕司(宮城大学)

- CS10-018 橋梁たわみ計測用IoT端末の開発/TTES [正]菅沼 久忠・梅川 雄太郎
- CS10-019 Semantic Segmentationを活用した橋梁3次元モデルへのひび割れ位置反映/愛媛大学[学]山根 達郎・叶井 和樹・全 邦釘
- CS10-020 セマンティックセグメンテーションによるトンネルの損傷検知に関する取り組み/パシフィックコンサルタンツ[正]川城 研吾・安田 亨・久下 沙緒里
- CS10-021 無線通信技術を活用した橋梁モニタリング/西日本高速道



路エンジニアリング関西[正]須山 夏樹・河田 直樹・村上

豊和

- CS10-022 鋼材腐食センサの遠隔無線モニタリングに関する検討/太平洋セメント[正]工藤 正智・早野 博幸・江里口 玲
- CS10-023 車両応答計測と画像認識を用いた道路橋伸縮装置部接触力評価/東京大学[正]蘇 迪・田中 裕一郎・長山 智則
- CS10-024 AIを活用したNATM発破良否判定システム[Blast AI]の開発/戸田建設[正]杉山 崇・中林 雅昭・田中 徹
- CS10-025 畳み込みニューラルネットワークを用いた切羽性状の評価に関する検討/飛鳥建設[正]鈴木 亮汰・松田 浩朗・兼松 亮

■土木分野におけるIoT/AIのあり方(4) /10:25~11:55/湧田 雄基  
(北海道大学)

- CS10-026 土木分野でのBIツール導入によるデータ分析の効率化・高度化に関する一考察/パシフィックコンサルタンツ[正]久下 紗緒里・吉岡 正泰・大森 陽一
- CS10-027 オープンブック方式へのIOT導入による業務効率化・付加価値付与について/前田建設工業[正]千葉 裕人・小林 正治
- CS10-028 映像認識AIとデジタルツインを用いた施工改善支援システム/奥村組[正]深見 誠・矢吹 信喜・藤島 崇
- CS10-029 冬用タイヤ自動判別技術の開発/西日本高速道路エンジニアリング四国[正]廣永 厚友・全 邦釘・林 詳悟
- CS10-030 建設現場における音声認識AIの活用/川田建設[正]川口 千大・畠中 真一・武川 勝美
- CS10-031 高松市スマートシティ推進事業におけるGPSログを用いたレンタサイクルの行動分析/福山コンサルタント[正]伊藤 将司・森友 雅彦・宮武 信宇
- CS10-032 ウェアラブルセンサーを用いた作業員の健康管理および生産性向上に向けた試行/前田建設工業[正]久慈 雅栄・河野 浩之・山内 崇寛
- CS10-033 海岸画像を用いた深層学習の判別精度向上に関する一検討/岐阜工業高等専門学校[学]宮下 侑莉華・菊 雅美・中村 友昭
- CS10-034 映像を用いた建設機械・車両稼働管理の検証/トライボットワークス[正]渋谷 義博・鎌田 玲央奈・小島 文寛

■道路橋床版の点検診断と長寿命化技術(1) /12:40~14:10/  
東山 浩士(近畿大学)

- CS8-001 輪荷重走行振動疲労実験におけるRC床版の衝撃係数に関する研究/日本大学[学]木内 彬喬・阿部 忠・澤野 利章
- CS8-002 鋼板接着補強床版の水張り条件下の輪荷重走行試験による補強効果/東京都[正]今吉 計二・関口 幹夫・石田 教雄
- CS8-003 コッター床版接合用目地材の開発/熊谷組[正]河村 彰男・渡邊 輝康・櫻井 正之
- CS8-004 コッター床版の連続術(負曲げ区間)への適用に関する実験的研究/熊谷組[正]渡邊 輝康・浅見 恭輔・渡瀬 博
- CS8-005 半剛接合構造を有するプレキャスト床版の実橋載荷試験/日鉄エンジニアリング[正]北 慎一郎・櫻井 信彰・三本 竜彦
- CS8-006 軸直角方向に間詰部を設けた取替RC床版の耐疲労性の検証/岩手大学[正]高橋 明彦・阿部 忠・小野 晃良
- CS8-007 走行荷重が作用する取替RC床版の押抜きせん断耐荷力/日本大学[学]木内 彬喬・小野 晃良・阿部 忠
- CS8-008 取替床版用コンクリート舗装における耐疲労性に関する実験研究/鹿島道路[正]伊藤 清志・阿部 忠・児玉 孝喜

■道路橋床版の点検診断と長寿命化技術(2) /14:25~15:55/  
佐藤 貢一(奈良建設)

- CS8-009 コンクリート床版上におけるアスファルト混合物層の平均温度推定に関する検討/東亜道路工業[正]増戸 洋幸・榎本 勇太・塚本 真也
- CS8-010 せん断疲労試験による防水層の耐久性評価に関する検討(第2報)防水工法の種類を変えた測定/ニチレキ[正]樋口 勇輝・馬場 弘毅・黄木 秀実
- CS8-011 道路橋RC床版の湿潤状態が複合防水材の接着性に及ぼす影響/大阪市立大学[学]遠藤 輝・小瀬 詠理・田村 悟士
- CS8-012 複合防水層を構成する浸透型防水材の性能規定化に向けた検討/阪神高速道路[正]松下 麗菜・青木 康素・関上 直浩
- CS8-013 鋳鉄床版の継手構造がアスファルト舗装に与える影響検討/日本工営[正]友田 富雄・清川 厚史・中野 雅章
- CS8-014 ホーンアンテナを用いた道路橋コンクリート床版上面の非破壊検査/応用地質[正]青池 邦夫・田中 正吾・高瀬 尚人
- CS8-015 高温超電導SQUID磁気センサを用いた鋼床版き裂検査技術の開発/超電導センシング技術研究組合[正]塚本 晃・波頭 経裕・安達 成司
- CS8-016 電磁波レーダを利用したRC床版上面の異常検知に関する検証/土木研究所[正]松本 直士・森本 敏弘・石田 雅博
- CS8-017 鋼板接着RC床版の健全性把握に関する調査手法の検討/内外構造[正]平山 智啓・鈴木 英之・藤田 賢司

■道路橋床版の点検診断と長寿命化技術(3) /16:10~17:40/

小松 怜史(電力中央研究所)

- CS8-018 北海道内のコンクリート床版における層状ひび割れ発生状況/寒地土木研究所[正]秋本 光雄・角間 恒・西 弘明
- CS8-019 積雪寒冷地で生じたコンクリート床版内部の水平ひび割れ発生要因についての一検討/施工技術総合研究所[正]渡邊 晋也・角間 恒・久保 善司
- CS8020 MMSデータを使った路面の滞水状況とひび割れの把握手法/アジア航測[正]山田 晴利・佐野 実可子・青柳 健二
- CS8-021 小口径コア型試験機を用いた各種試験法による内部損傷の診断法/一 [学]佐藤 大輝・阿部 忠・野口 博之
- CS8-022 実橋梁に施工した床版上面の断面修復工法における補修材料の耐久性/施工技術総合研究所[正]勝呂 翔平・渡邊 晋也・原田 拓也
- CS8-023 展張格子筋を用いたRC床版のSFRC上面増厚補強法における耐疲労性の評価/日本大学[学]中島 博敏・阿部 忠・塩田 啓介
- CS8-024 乾式接合透明ボルトナット防錆キャップの基本特性/共和ゴム[正]寺阪 剛・川崎 敏恵・藤井 克紀
- CS8-025 ボルトナット防錆キャップの複合腐食促進試験について/共和ゴム[正]川崎 敏恵・寺阪 剛・藤井 克紀



実績と信頼で築いてきた大学土木系教科書

# 「大学土木」シリーズ

A5判  
定価(本体2,800円+税)

- ・基礎力を着実に定着できるように、理解しやすい表現を用いて解説。
- ・用語解説の拡充によりレポート、論文等で重要用語を正しく使うことができる。
- ・論理的な思考力を鍛えられるよう、項目や説明の展開を整理して記述。



## 大学土木 道路工学 改訂3版

稲垣竜典 編 / 中村俊行・  
稲垣竜典・小梁川雅 共著  
248頁 978-4-274-21787-6



## 大学土木 水理学 改訂2版

玉井信行・有田正光 共編  
浅枝隆・有田正光・池谷毅・  
佐藤大作・玉井信行 共著  
244頁 978-4-274-21673-2



## 大学土木 河川工学 改訂2版

玉井信行 編 / 浅枝隆・  
鈴木篤・玉井信行・西川肇・  
安田美・青山定敬・朝香智仁 共著  
228頁 978-4-274-21653-4



## 大学土木 土質力学 改訂2版

安田進・山田恭央・  
片田敏行 共著  
194頁 978-4-274-21643-5



## 大学土木 水環境工学 改訂3版

松尾友矩 編  
田中修三・神子直之・  
齋藤利晃・長岡裕 共著  
276頁 978-4-274-21525-4



## 大学土木 鉄筋コンクリート 工学 改訂3版

町田篤彦 編 / 町田篤彦・関博・  
丸山武彦・檜貝勇・斎藤成彦 共著  
244頁 978-4-274-21524-7



**オーム社**

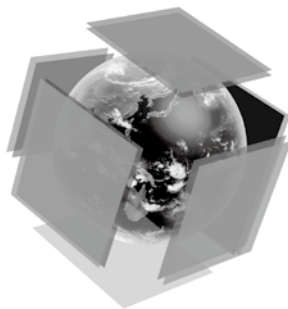
〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1  
TEL 03(3233)0853 FAX 03(3233)3440

[www.ohmsha.co.jp](http://www.ohmsha.co.jp)

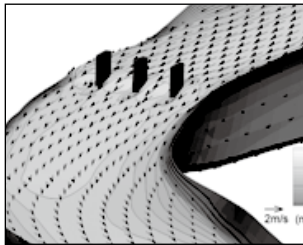
定価は変更になる場合があります。

### ▶ 確かな技術で未来を創る ◀

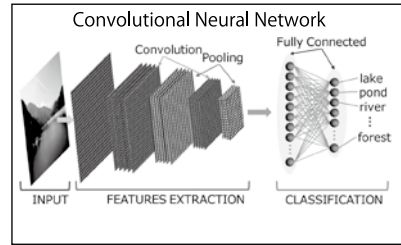
社会インフラ、防災、環境、サイエンス分野において、数値解析、システム構築、データ解析の専門技術を活かした高品質な技術サービスを提供いたします。



河川水理  
海岸水理  
環境水理  
氾濫防災  
下水道  
耐震・地盤  
情報システム  
GISデータ処理  
総合防災  
科学技術



河道内における橋脚周辺の3次元流況解析



深層学習(Dep Learning)による画像解析と物体検出



株式会社 ハイドロ総合技術研究所

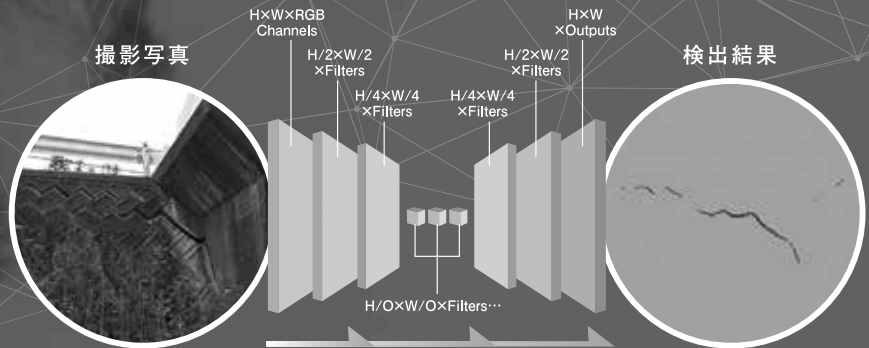
(旧:株式会社 ハイドロソフト技術研究所)

<https://www.hydrosoken.co.jp>

- ▶ 大阪本社 〒530-6126 大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル26F  
TEL:06-6479-3621 FAX:06-6479-3622
- ▶ 東京支社 〒105-6031 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー31F  
TEL:03-6721-5507 FAX:03-6721-5506
- ▶ 九州支社 〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル10F  
TEL:092-833-7700 FAX:092-833-7711

# 土木 × AI

## ディープラーニングによる ひび割れ検出ツールのご紹介



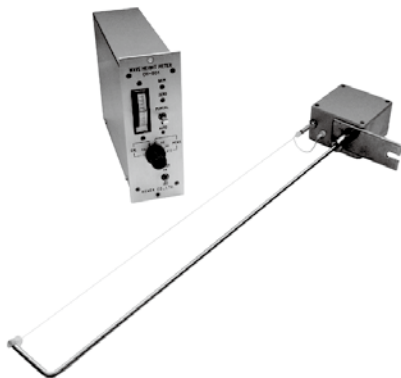
AIを使って、橋脚、コンクリートの画像からひび割れの箇所のみを検出します。CNN(畳み込みニューラルネットワーク)のエンコード・デコードモデルを用いて、構築しています。橋梁点検や護岸変状点検などの点検作業の効率化を図ります。

**Remoword Inc.** tel.0564-74-7725

問合せ先

E-mail : support@remoword.com

<https://www.remoword.com/>



波高計シリーズ



電磁流速計シリーズ



潮位観測装置

### 《営業品目》

プロベラ式流速計・電磁流速計・  
超音波式潮位計・波高計・濁度計・  
水位計製造販売



## 株式会社ケネック

<http://www.kenek-co.com>  
Email sales@kenek-co.com  
TEL 042-544-1011

“建設の安全”と“省力化”のお役に立つ、建設用副資材専門メーカーです。Epoch - Making New Type

無溶接による鉄筋結束金具  
場所打ち杭／鉄筋組立用

# ゼスロック® PAT.P

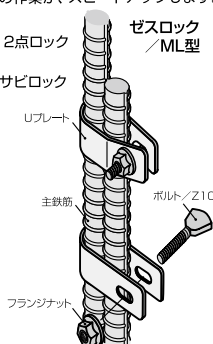
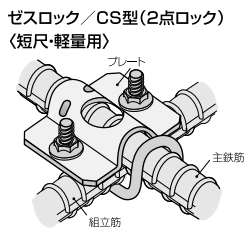
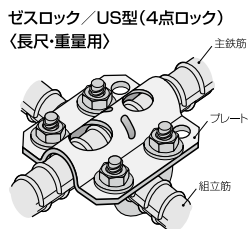


ゼスロックとは、鉄筋組立の“点溶接”に代わって、鉄筋をねじで組立結合する“無溶接(ゼロ溶接)”鉄筋結束金具のことです。

ねじ山の比較	ゼスナーねじ (円形ねじ)	メートルねじ

## 特長

- ゼスロックのゼスナーねじ(ゼン技研製品)は、ねじ山が大きく円形なので、ねじ組立ての作業が、スピードアップします。
- ゼスナーねじの締付け力は、トルク管理を提案します。
- 主鉄筋と組立筋の結合金具は、・長尺・重量用の、4点ロック(US型)・短尺・軽量用には、2点ロック(CS型)があり、各々の使い分けを提案します。
- 主鉄筋の重ね継手の結合金具(ML)は、上下鉄筋かこの重量を安全に支えるハチ巻きクサビロック(ねじ結合)です。



## 建設の安全と省力化・必ず役立つ 建設用副資材・金具

- ゼスロック® 無溶接による鉄筋結束金具 NETIS登録番号 KT-120038-VE
- プロテックPコン 塩害防止コーン・インサート NETIS登録番号 QS-110027-VE
- プロテックPコン シリウス MCコン・ZCコン NETIS登録番号 KT-120062-VE
- テンパー コンクリート床板の天端出し表示具 NETIS登録番号 KT-120062-VE
- 吊りカーン つりだな足場のつりチェーン用アンカー金具
- RCT-107 コンクリート専用壁つなぎ金具のアンカー

全国多数実績有

## 建設の安全と省力にアタック ゼン技研株式会社

本社 〒818-0105 太宰府市都府楼南5-16-13  
TEL (092)925-8161 FAX (092)925-3449  
URL <http://www.zen-g.co.jp/>  
東京営業所 〒108-0014 東京都港区芝5-26-30-3階  
TEL (03)6435-3899 FAX (03)6435-3842

## 鉄道・道路下 非開削立体交差施工



## アンダーパス技術協会

<http://underpass.info>

- アール・アンド・シー工法
- フロンテジャッキング工法
- SFT工法
- ESA工法

事務局 〒185-0032  
東京都国分寺市日吉町 2-30-7 植村技研工業(株)内  
TEL 042-574-1180  
分室 〒108-8381  
東京都港区芝 5-6-1 (株)奥村組内  
TEL 03-5439-5412

- 道路整備の推進
- 道路技術の向上
- 道路建設業の健全な発展

**3つの基本方針のもとに活動をしています!!**



一般社団法人 **日本道路建設業協会**

会長 西田 義則

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1 (東京建設会館)

電話 03-3537-3056

FAX 03-3537-3058

URL <http://www.dohkenkyo.or.jp/>

次代を創造する会社  
私たちが人と会社を  
結びます。



私がつくったもの  
見てもらいたい人がいる。



青木あすなる建設

<https://www.aconst.co.jp/>

# その先の向こうへ GOING FURTHER

1896年、広島県呉市にて創業した当社は、  
進取気鋭の精神と先端の建設技術をもって社会に貢献し、  
社会とともに成長してきました。  
新たなフィールドへ常に挑戦し続ける心は、  
いまでも当社のDNAに引き継がれています。  
時代が変わっても変わらないチャレンジスピリットと、  
時代の変化に応じた柔軟な自己革新力。  
現状に甘んじることなく、一步一步着実に前に進む。  
その先の向こうへ…五洋建設

本社 / 〒112-8576 東京都文京区後楽 2-2-8  
支店 / 札幌 東北 北陸 東京土木 東京建築 名古屋 大阪 中国 四国 九州  
<http://www.penta-ocean.co.jp/>

 **五洋建設株式会社**

## Zenitaka



時を超え、持続する価値創造を

変わり続ける社会にあって、変わらない私たちの思い。

銭高組は、創業以来

「社会から認められ社会から求められる企業」として歴史を刻んできました。

次代に豊かな環境を残すため、新たな価値を創り続けます。

Since **1705**

 **銭高組**  
URL <http://www.zenitaka.co.jp/>

美しい時代へ——東急グループ

# Town Value-up Management

タウン バリュースアップ マネジメント

## 街の新たな価値創造をめざして

私たち東急建設の原点は、多摩田園都市をはじめとする渋谷や東急沿線の街づくりです。私たちはこの原点に立ち、企画提案から新築、リニューアル、建て替えに至るまで、街のライフサイクルに末永く関わっていくことによって、建物ひとつひとつではなく、お客様や生活者の視点で“まち”全体を考え、常に新たな価値の創造に努めてまいります。

街並の美観向上

定住人口の増加

Town Value-up Management

来街者の増加

資産価値の向上



東急建設株式会社

<https://www.tokyu-cnst.co.jp>

## フジタと描く、未来のカタチ。

私たちフジタは、お客様や社会が想い描いている未来を想像し、

その実現に向かって、共にカタチにしていきます。

土木・建築の枠を超えて、まちづくりをサポートし、

そこに暮らす人々にとって本当に価値あるものを

創り続けることが私たちの使命だと考えます。

大和ハウスグループの一員として、

広い視野を持ち、グローバルに展開してきたフジタ。

たゆまず進む私たちに、どうぞご期待ください。



# FUJITA

 Daiwa House Group®

# SuperCD®ファミリ

Cool IOs シリーズ 意匠登録第1614758号



SuperCDシリーズ 意匠登録第1584766号

## ① SuperCD

名刺2枚サイズ  
サイネージ/ゲートウェイ/エッジコンピュータ  
IoT時代にマッチした超小型産業用パソコン



## ② PoEモデル

LANケーブルから電源を供給  
電源を得ることが難しい環境に最適



## ③ 超々小型モデル

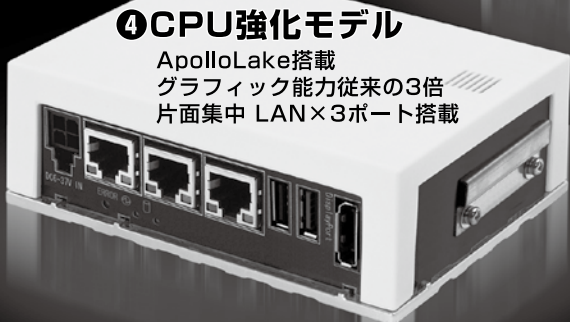
SuperCD mini  
必要最小限のインターフェース  
片面集中



次世代機準備中

## ④ CPU強化モデル

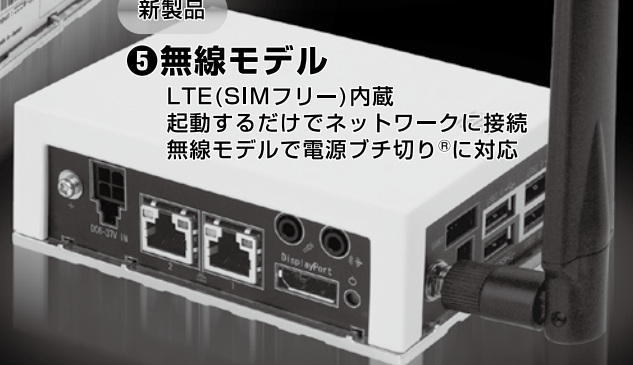
ApolloLake搭載  
グラフィック能力従来の3倍  
片面集中 LAN×3ポート搭載



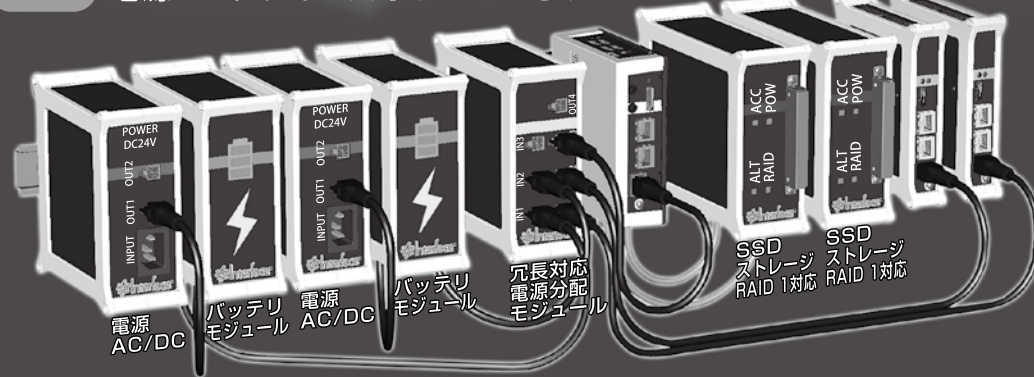
新製品

## ⑤ 無線モデル

LTE(SIMフリー)内蔵  
起動するだけでネットワークに接続  
無線モデルで電源プチ切り®に対応



開発中 電源/バッテリー/ストレージ オプション



電源  
AC/DC

バッテリー  
モジュール

電源  
AC/DC

バッテリー  
モジュール

冗長対応  
電源分配  
モジュール

冗長対応  
電源分配  
モジュール

冗長対応  
電源分配  
モジュール

冗長対応  
電源分配  
モジュール

冗長対応  
電源分配  
モジュール

## SuperCD 主な仕様

CPU: Atom E3845 1.91GHz  
メモリ: 4GB  
起動ドライブ: 32GB  
補助ドライブ: CFast

## SuperCD 主な特長

電源プチ切り®  
Windowsが快適に動作  
AJAN(Linux)標準搭載  
超小型、軽量  
豊富な固定金具(オプション)





# FEM 地盤解析ソフトウェア

# PLAXIS

静的線形解析

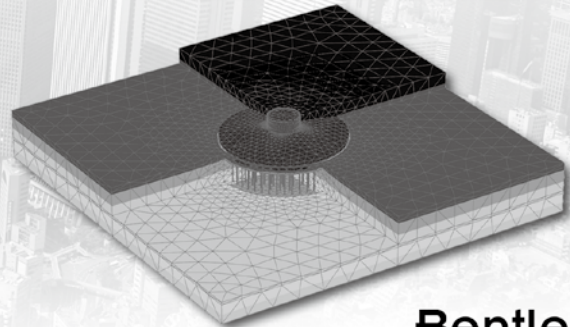
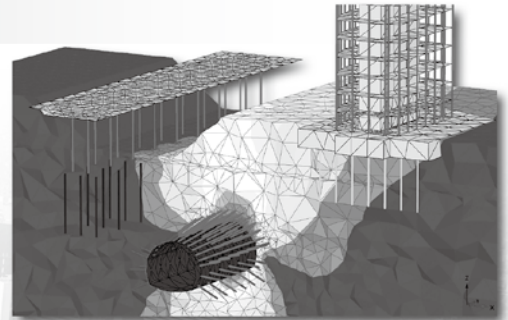
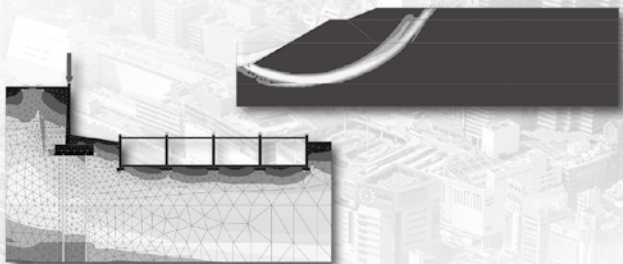
静的非線形解析

動的非線形解析

## 全世界で18,000ライセンスの販売実績

### 主な特長

- 使いやすいGUI、完全自動メッシュ生成機能
- 掘削や盛土の施工段階を簡単に設定可能
- 杭、アンカー、トンネルなどの専用要素を搭載
- 圧密解析、浸透流変形連成解析
- 作業効率化が可能なスクリプト機能



**Bentley**  
Advancing Infrastructure

PLAXISはBentley Systemsの製品です。

# 汎用線形・非線形構造解析システム

# DIANA

静的線形解析

静的非線形解析

温度応力解析

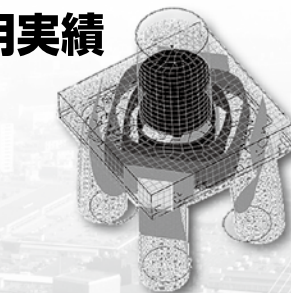
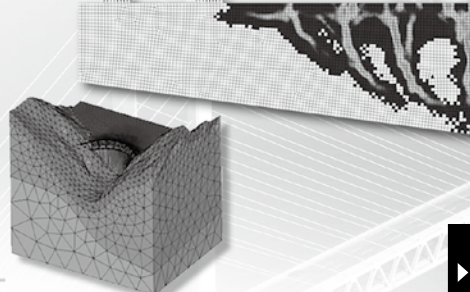
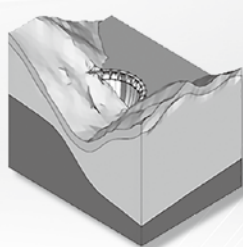
動的非線形解析

## 非線形問題について、長年の豊富な使用実績

### 主な特長

- 鉄筋コンクリート構造物のひび割れ解析
- 複合構造物の耐荷力解析 ● 地盤・構造物の連成解析
- コンクリートの損傷指標 ( $\sqrt{J_2}$ 、 $\bar{W}_n$ ) 出力が可能\*

\*2017年制定コンクリート標準示方書[設計編]対応



▶ DIANAを用いた「タンク構造物に対する非線形FEM解析手法」が、土木学会の技術評価制度(区分5)で、初の技術評価証(第0022号)を取得!

**DIANA FEA**  
a TNO Company

DIANAはDIANA FEA BVの製品です。

▶▶▶▶ <https://www.jip-ts.co.jp>

詳細等は

JIPテクノサイエンス

検索

※製品名は各社の商標または登録商標です。

**JIP** JIPテクノサイエンス株式会社  
解析ソリューション事業部

【東京】東京都中央区日本橋茅場町1-2-5 TEL:03-5614-3204  
【大阪】大阪府大阪市淀川区西中島2-12-11 TEL:06-6307-5462

✉ 共通 E-mail. fem\_sales@cm.jip-ts.co.jp

建設業システム42年の実績！平成31年度全国導入実績500社以上

## 建設業向けクラウドサービス - JCCクラウド -

大手ゼネコンから中小建設業までの業務内容・要望から効果・効率的な建設業統合情報システムプラットフォームを提供しています。

### 情報基盤 -プラットフォーム-

- ・技術者情報の管理
- ・建物実績の管理
- ・土木工事実績の管理
- ・グループウェア

### ◆数字で見るJCCクラウド◆



### 入札業務支援システム

過去実績を有効活用し入札業務の効率化を実現

- ・入札関連情報を蓄積し効率よく共有することでチャンスを逃しません！
- ・入札業務の進捗も全社で共有することで作業漏れを防止できます！
- ・入札資料や技術提案書を再利用することで業務を効率化できます！

### 要員配置システム

戦略的な案件獲得で利益率の向上

- ・技術者の配置を全社でタイムリーに共有、配置をシミュレーション！
- ・多くの新規案件があった場合、技術者配置の面から最適な選択ができます！
- ・法令を遵守した技術者配置、漏れ・重複の無い技術者配置を実現！

### ISO文書管理システム

### 営業情報管理システム

ISO27001:2013認証(情報セキュリティ) ISO9001:2015認証(品質)

# JCCソフト株式会社

TEL.025-544-6400

〒942-0013 新潟県上越市黒井 2598番地30

無料  
体験

30日間無料トライアル

お試し版で実際に試すことができ  
操作性と利便性を体感できます。  
お気軽にお問い合わせください！



JCCクラウド

検索

<https://www.jcc-cloud.jp/>

# マスコンクリートの3次元温度応力解析専用プログラム

目地検討も

らくらく  
温度応力

# ASTEAMACS

Ver.10

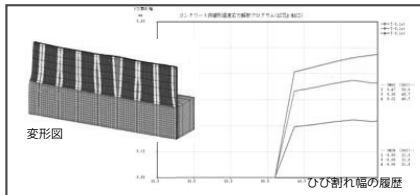
自由経路のパイプクーリング/柱頭部・防波堤定型パターン

最強バージョンアップ V10新規リリース

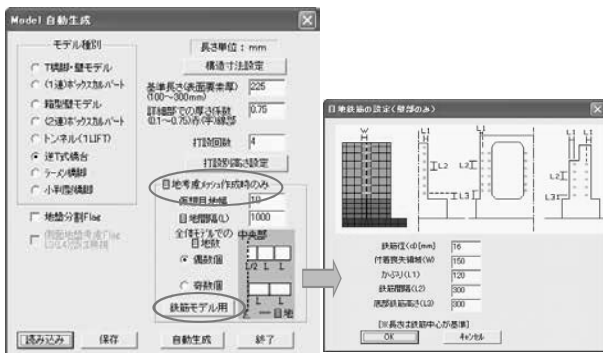
## MACS スタンダード版

土木学会RC標準示方書 2017  
JCIひび割れ制御指針 2016  
建築学会マスコン指針に準拠

マスコンクリートの温度応力検討専用開発されたシステムで、土木学会標準示方書・建築学会マスコン指針に準拠しています。コンクリート打設に伴う境界条件の変化や水和発熱・養生条件などを考慮した3次元非定熱伝導計算と強度発現を伴う温度応力計算を一貫して行なうことが出来ます。プリ・ポスト機能を重視し、標準データベースのデフォルト設定など解析初心者にも優しい設計となっております。自動メッシュ機能と条件自動設定のできる定型パターン12タイプが自動作成できます。(CS 機能完全内蔵)



	パイプクーリングなし	パイプクーリングあり
経験最高温度		
経験最小ひび割れ指数		

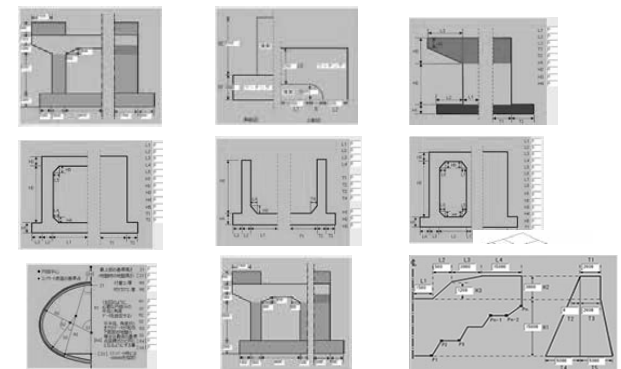
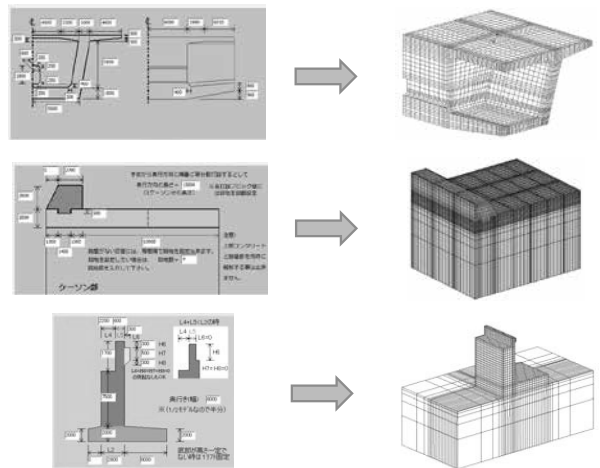


現場向けオートメッシュ搭載MACS

## MACS CS Construction Site

現場の技術者が手軽に温度応力評価ができます。スタンダード版との互換性があるので、更に詳細な検討につなぐことが可能です。解析対象構造を限定し、主要な機能のみのコンパクト版です。メッシュ、物性データ、境界条件の自動設定により、作業時間を大幅に短縮できます。

サイズを入力すると自動的にメッシュが完成します。



ASTEAMACS for Windows スタンダード版			MACS-CS
年間ライセンス	3ヶ月ライセンス	1ヶ月ライセンス	年間ライセンス
400,000円~	250,000円~	180,000円~	300,000円

上記はすべてサポート迄の価格です。



**最先端の  
3次元計測技術と  
データマネジメント技術で、  
あらゆる工種の  
生産性向上をお手伝いします**

**未舗装エリアでも**

**水中エリアでも**

**道路・河川エリアでも**



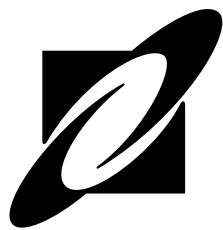
可搬型MMS



ドローン搭載型グリーンレーザースキャナ



高所設置型MMS



安藤ハザマ



熊谷組



佐藤工業



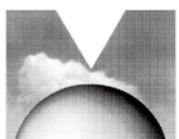
鉄建建設



飛島建設



西松建設



MAEDA

前田建設

今日も、未来を  
つくっています。

ビルを建てる。橋を架ける。道を繋ぐ。街を築く。

そのひとつひとつが未来の一部になっていく。

未来が仕事。それは、私たちの誇りです。

今日も、世界中の現場で、

未来が着々と生まれています。



時をつくる ころで創る

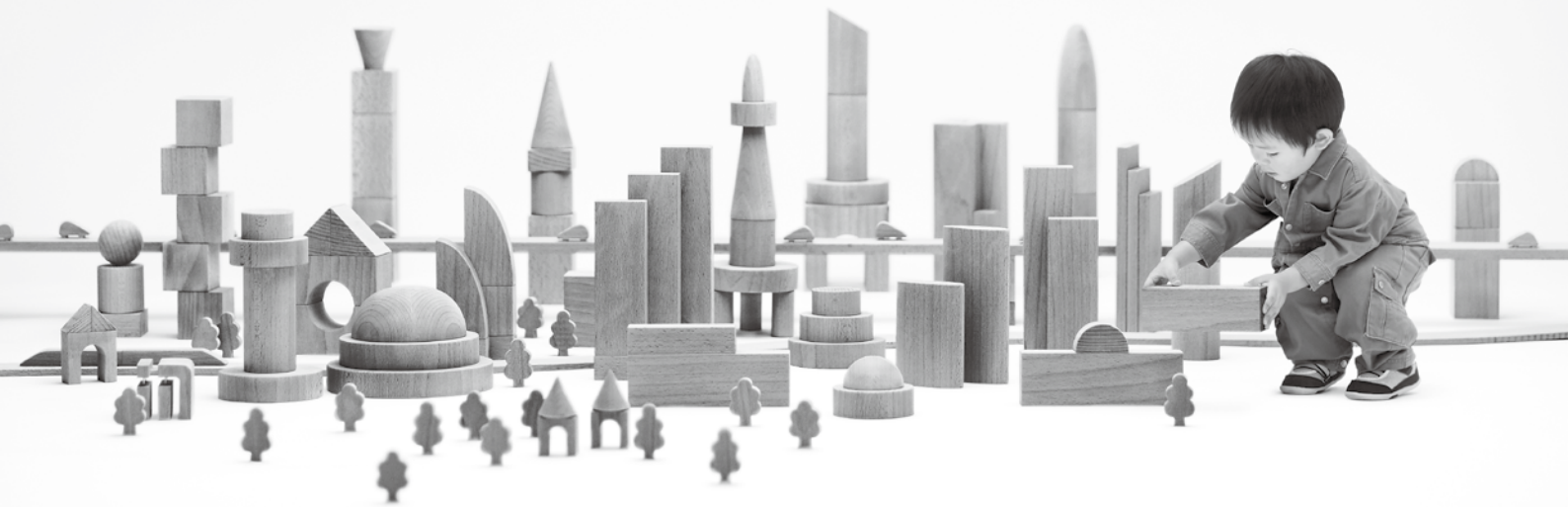


OBAYASHI

大林組



# 想像を、チカラに。



フランス人の小説家、ジュール・ヴェルヌが残したという言葉があります。「人が想像できることは、必ず人が実現できる」

100年以上も前に彼が空想したロケットや携帯電話が、世界の常識になっている今日。私たちは、「想像」の可能性を否定することはできません。いま、私たちが建設するひとつひとつが、地球の上でどんな存在なのかが問われる時代。これから築かなければいけないのは、人と地球のいい関係です。100年先、200年先、ずっと先の未来まで。私たちは、想像します。たとえいま困難に思えることでも、やがて世界の常識になる日が来るために。

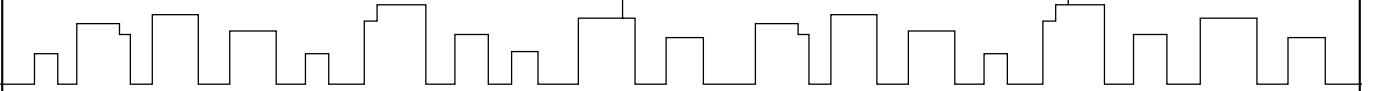
人が想像できることは、必ず人が実現できる。鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。




## 子どもたちに 誇れるしごとを。

目を輝かせて何かに没頭していた  
あの頃から、私たちの  
ものづくりへの気持ちは変わりません。  
ずっと思い描いてきた夢や情熱を、  
建造物に込めて未来へ伝えていきます。

SHIMIZU CORPORATION   
**清水建設**







同級生への返信は、  
すこし私を強くした。

メールありがとう。

ごめん、同級会には、行けません。

今、シンガポールにいます。

トムソン線226工区。

この国を南北に縦断する地下鉄を、  
私はつくっています。

本当はみんなに会いたい。


あの街の寒さも、雪も、坂道も、匂いも。

もうすこし、忘れたふりをします。

私のつくるこの地下鉄も、

きっといつか、誰かの青春を乗せるから。

地図に残る仕事。®

 大成建設  
TAISEI

*For a Lively World*

Directed by Makoto Shinkai



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、  
実現してきたデザインや技術は、  
現代に伝統として受け継がれています。

竹中工務店は、その伝統を

尊びながら、常に新しい

価値や試みを取り入れ、

革新的なデザインや技術を

創り出すことを目指しています。

人と自然が共に豊かになるには

どうしたらいいのか、

未来の環境をつくる使命を持つて

新しい建築を

世に送りだしていきたい。

そして、10年後、20年後、100年後、

その建物が「新しい伝統」になり、

未来の建築家たちの

礎になることを願っています。

「最良の作品を世に遺し、

社会に貢献する」

竹中工務店は、この経営理念のもと、

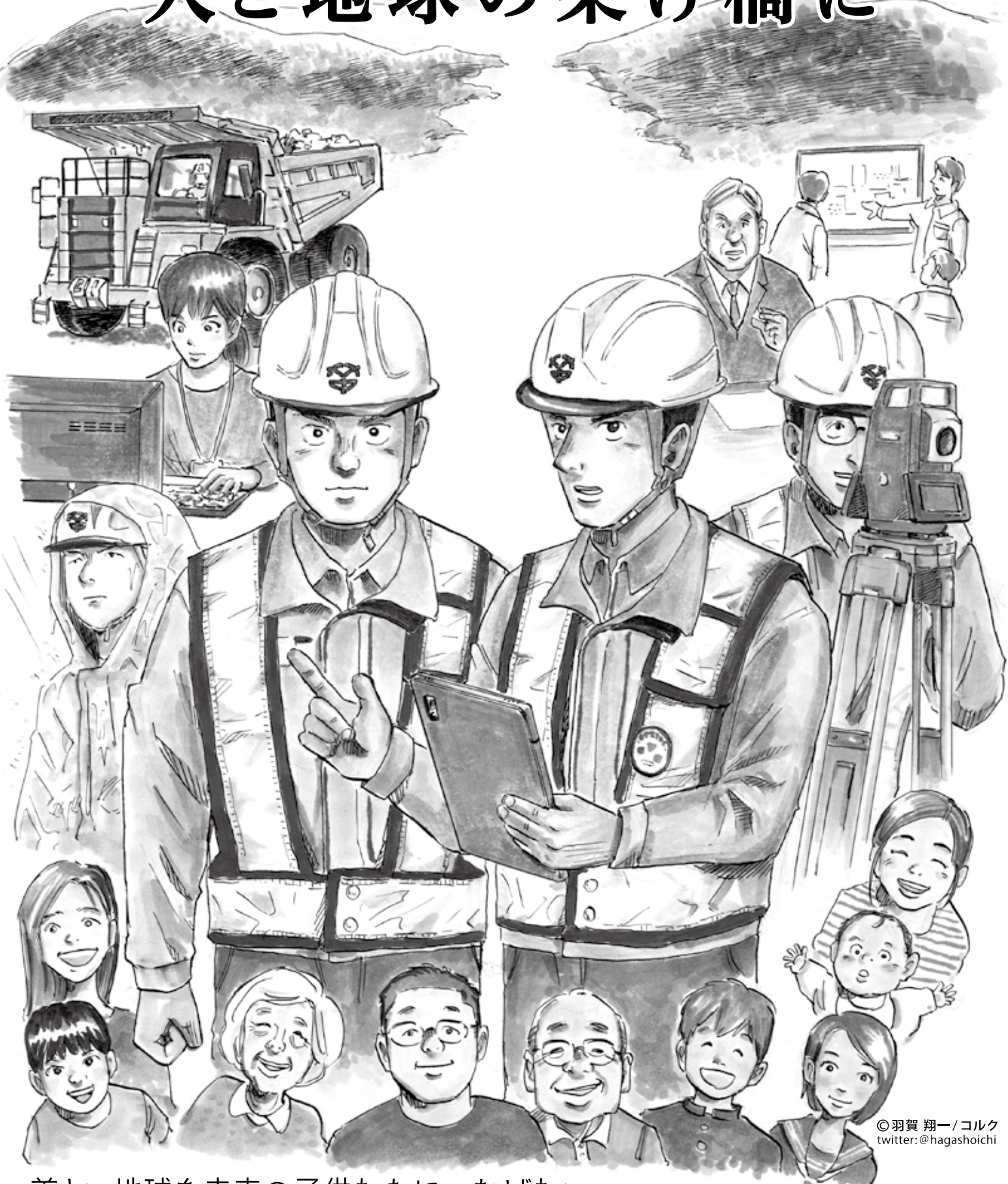
建築の可能性を追い求めていきます。

竹中大工道具館（兵庫県神戸市）  
設計施工・竹中工務店

想いをかたちに 未来へつなぐ

 TAKENAKA

# 人と地球の架け橋に



©羽賀 翔一/コルク  
twitter: @hagashoichi

美しい地球を未来の子供たちにつなげたい…  
私たちはそんな想いを込めて大地と向きあい  
ひとつひとつカタチにしていきます。

 **竹中土木**

<http://www.takenaka-doboku.co.jp/>

奥村組は考えます。

建設とは、人の幸せをつくることなのだ。

戦争で喪失した大阪のシンボル「通天閣」の再建。

震災後、74日間で成し遂げた「JR六甲道駅」の復旧。

地域と地域を結ぶトンネルの開通、

地震の被害を最小限に抑える免震技術の開発。

さまざまな場所で、人、暮らし、社会に貢献できる。

その喜びを実感できるから、建設の仕事には

魅力があります。夢や希望があります。

建設の道に、近道はありません。

そこにあるのは、地道という確かな道だけ。

その唯一の道を、奥村組は、愛と誇りを胸に、

まっすぐに、一步一步進んでいきます。

 **奥村組**  
OKUMURA CORPORATION

建設が好きだ。

本社：大阪市阿倍野区松崎町2-2-2 TEL.06(6621)1101

東京本社：東京都港区芝5-6-1 TEL.03(3454)8111

# 学会 on the WEB

## ■オンラインソリューション例



学術研究機関をオンラインシステムでサポートします。

秋田活版印刷株式会社では、土木学会はじめ各学会・研究機関の論文集・講演集の編集印刷製本はもとより、オンライン投稿システム・査読システム等の提供により、研究者の時間というコスト、事務局の経費というコストの削減をお手伝いするとともに、リアルタイムでの管理システムを実現します。

セキュアな環境で提供するオンラインシステムは、投稿の負担軽減、管理の効率化はもちろんのこと、デジタルデータ収集により学会誌・論文集・講演集・予稿集等の刊行物やCD-ROM・DVD・WEBコンテンツと幅広い活用が出来ます。

URL <http://www.kappan.co.jp/>  
**Kappan**  
E-mail [info@kappan.co.jp](mailto:info@kappan.co.jp)

■運用実績・事例はお問い合わせください

**秋田活版印刷株式会社**

〒011-0901 秋田県秋田市寺内三千列110-1  
TEL 018-888-3500 FAX 018-888-3505



# 人とくらしと環境と。

そのかけがえのない未来のために、さまざまな高度技術を駆使した「次代の環境」を追求し続けます。



## 総合建設コンサルタント

■都市モノレール・新交通システム・高架鉄道・地下鉄・LRT ■道路、橋梁・トンネル等構造物 ■高架化・地下事業・駅前広場  
■都市計画・交通計画・地域計画 ■再開発事業 ■環境調査・アセスメント ■測量・地質調査・施工監理 ■海外交通プロジェクト

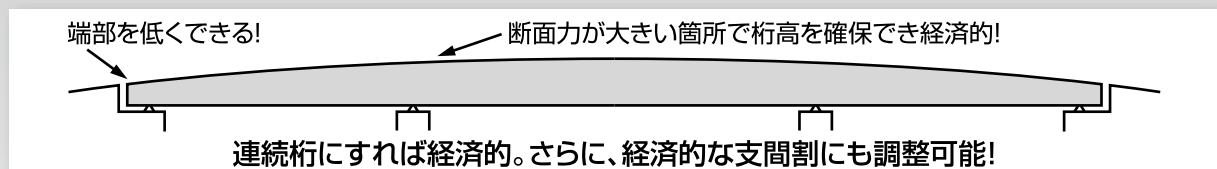
 **株式会社トニーチコンサルタント**  
<http://www.tonichi-c.co.jp/>

本社事業本部：〒151-0071 東京都渋谷区本町 1-13-3 Tel 03-3374-3551 Fax 03-3374-4744  
西日本支社：〒530-0028 大阪府大阪市北区万歳町 3-20 Tel 06-6316-1491 Fax 06-6316-0127  
中部支社：〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 4-6-15 Tel 052-262-4535 Fax 052-241-1815  
九州支店：〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 2-6-10 Tel 092-686-7300 Fax 092-686-7305

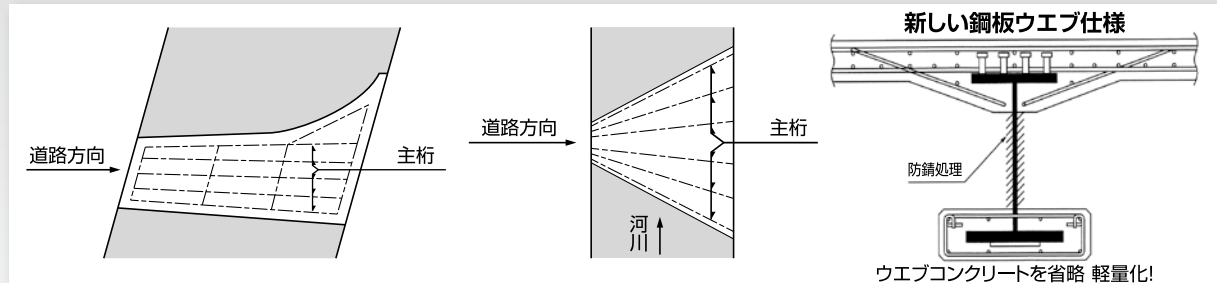
# 桁高変化が得意なプレビーム桁橋



- 桁剛性が高く、低い桁高が可能!
- 分割工法、連続桁が可能!
- 道路縦断に合わせ、必要な桁高に変化が可能!



- 他形式では困難とされる道路線形に対応可能!



- 鋼板ウェブ仕様で、死荷重低減・コストダウンが可能!
- 50年以上・1,000橋以上の実績があり、信頼される橋梁!

「カタログ」「設計・施工指針」「標準設計集」「設計・製作・施工要領書」「点検要領(案)」の図書販売、無料の設計計算プログラム、橋梁の実績等をホームページで公開中!

<http://www.prebeam.jp>

## プレビーム振興会

事務局 〒114-0023 東京都北区滝野川 1-3-11 TEL(03)3915-5394

東北支部 〒980-0021 仙台市青葉区中央 1-6-35 TEL(022)266-8887  
 中部支部 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-4-1 TEL(052)223-8211  
 北陸支部 〒939-1593 富山県南砺市苗島 4610 TEL(0763)22-6669  
 関西支部 〒550-0013 大阪市西区新町 2-4-2 TEL(06)6532-4174  
 九州支部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-5-19 TEL(092)431-7345

### プレビーム振興会会員

- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| ●(株)IHIインフラ建設 | ●コーアツ工業(株)     | ●(株)ピーエス三菱    |
| ●(株)安部日鋼工業    | ●昭和コンクリート工業(株) | ●東日本コンクリート(株) |
| ●川田建設(株)      | ●ドービー建設工業(株)   | ●(株)富士ピー・エス   |
| ●川田工業(株)      | ●日本高圧コンクリート(株) |               |
| ●極東興和(株)      | ●(株)日本ピーエス     |               |

### 賛助会員

- 協立エンジ(株)
- (株)駒井ハルテック
- エムエム建材(株)

# 次世代につなぐ国づくり

責任をもって国づくりを考え、次世代に襻を「つないでいく」という想いをこめて、安全で安心して暮らせる国土をつくるために、持続可能な社会に向けた仕組みづくりを通じ、私たちはこれからも幅広いサービスを提供していきます。

 **国土防災技術株式会社**

URL:<https://www.jce.co.jp/>

本社：〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番5号 TEL(03)3436-3673(代) FAX(03)3432-3787

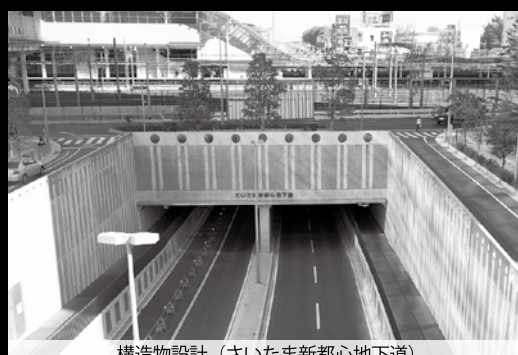




宮益架道橋架替 (埼京線上り線) 2018年度土木学会 田中賞



環境緑化 (バスタ新宿)

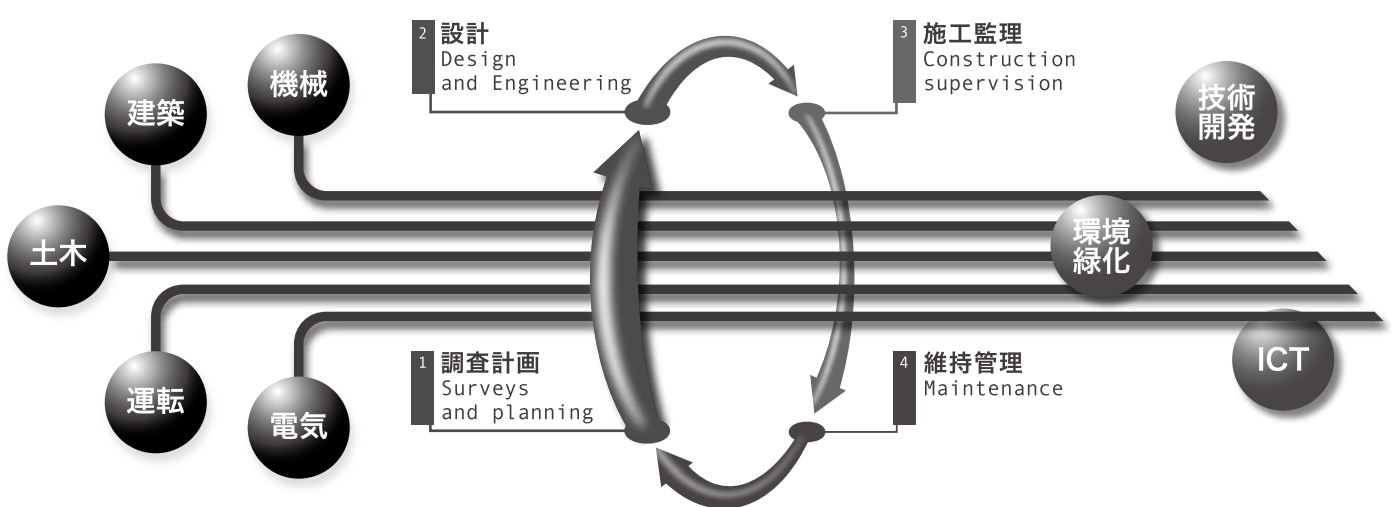


構造物設計 (さいたま新都心地下道)



ご線橋点検 (茅ヶ崎駅構内)

# 鉄道を基軸とした総合技術コンサルタンツとして 地域の社会インフラ整備に貢献



**JR東日本コンサルタンツ株式会社**  
JR East Consultants Company

〒141-0033 東京都品川区西品川一丁目1番1号 大崎ガーデンタワー14階  
TEL: 03-5435-7660 FAX: 03-5435-7645

どんなに時代が変わろうとも  
情報伝達に終わりはない  
ならばどんな情報の形とも  
肩を組んでいこうじゃないか  
そういう会社が  
ひとつくらいあったらいい  
情報産業の片隅で  
胸を張って歩いていく



情報と人の架け橋になる印刷会社



株式会社 大 應

<http://www.dai-oh.co.jp>

# 社会価値創造企業へ

日本トップブランドの技術により、社会価値創造企業になる



- 2019年 日本コンクリート工学会賞作品賞受賞
- 平成30年度PC工学会賞作品賞受賞
- 平成29年度土木学会賞田中賞作品部門受賞

小名浜マリブリッジ

社会・経済を支えるインフラを創る・守る



高度技術や道路空間の活用により  
安全・円滑・快適を実現



人・自然・まちが共生するインフラを創る・守る



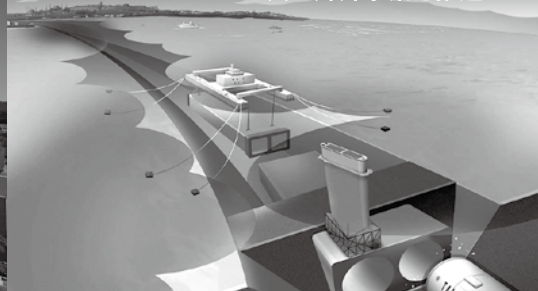
トータルプロデュースにより地域の魅力を向上



ソフト・ハードの両面で社会・地域を災害から守る



オリエンタルコンサルタンツグローバル  
と共に海外事業を推進



株式会社 **オリエンタルコンサルタンツ**

ORICONSUL

URL <https://www.oriconsul.com/>

本社／東京都渋谷区本町三丁目12番1号 住友不動産西新宿ビル6号館

支社／北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄



美しく、  
快適な  
地球環境づくりに  
邁進する

**Environment and new energy**  
環境・新エネルギー

小水力・地熱発電等のクリーンエネルギー  
事業の展開  
東南アジア諸国の地元企業と連携した  
生活環境改善を目指すエコ事業の展開

**Healthcare, welfare, construction**  
医療・福祉・建築

ITS 技術を駆使したデマンドバス  
事業など医療・福祉と連携した地域  
交通システムの整備  
地域の交流と発展に寄与する新たな  
建築設計

**Improvement of country foundation**  
国土基盤整備

国土強靱化施策に対応する安全・安心で  
豊かさを実感できる国土づくりを目指して  
「技術の長大」の復活と発展  
世界に誇る長大橋梁技術のさらなる  
国外発展

人・夢・技術



株式会社 長大

[www.chodai.co.jp](http://www.chodai.co.jp)

# 次世代へ届ける確かな技術 PC建協の未来への挑戦



会 長 藤井 敏道

副 会 長 益子 博志

副 会 長 大野 達也

副会長兼専務理事 柳橋 則夫



一般社団法人

**プレストレスト・コンクリート建設業協会** [略称]  
JAPAN PRESTRESSED CONCRETE CONTRACTORS ASSOCIATION **PC建協**

〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4番6号 第3都ビル

TEL.03-3260-2535 FAX.03-3260-2518

<https://www.pcken.or.jp/>

Design for Next Age

# 次代への構想

建設コンサルタントに求められるもの。  
その変化をとらえて、次の世代、次の時代に受け入れられる  
社会資本整備に貢献していきます。



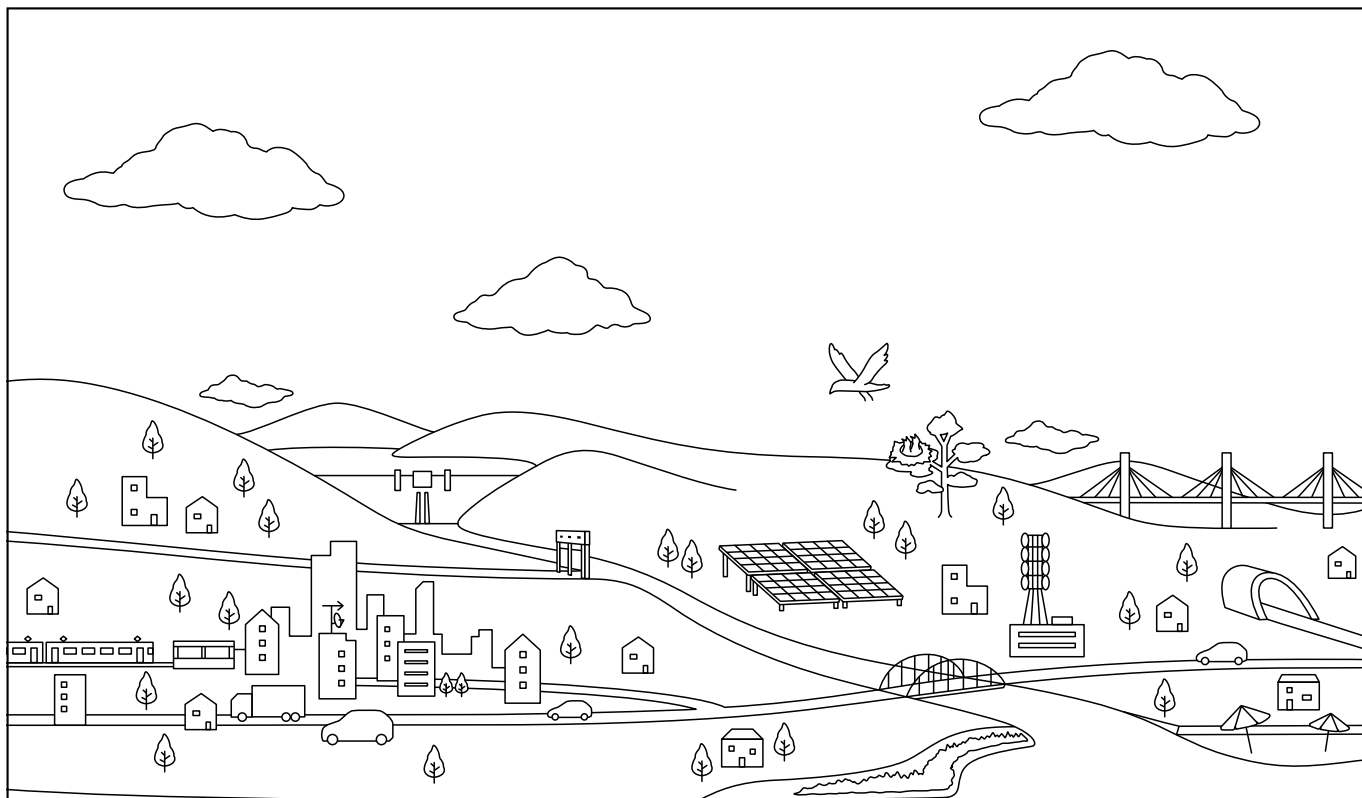
株式会社 **東京建設コンサルタント**  
TOKEN C. E. E. Consultants Co., Ltd.

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-15-6 TEL.(03)5980-2633 FAX.(03)5980-2601  
<http://www.tokencon.co.jp/>

支社・支店：東京本社、関西本社、東北支社、北陸支社、中部支社、中国支社、四国支社、九州支社、北海道支店

## 事業内容

河川計画、河川構造物、河川環境、水質保全、上下水道、道路、橋梁、交通、海岸、ダム、砂防、港湾、環境アセスメント、観測技術、模型実験、都市・地域計画、事業執行マネジメント、防災、LCM、機械電気設備技術、情報通信技術、測量・地質調査、施工管理、建築設計



# 人を想い 社会を創る

人々の暮らしに想いを馳せ、技術の力を発揮することが私たちの使命です。  
安全なインフラ整備で社会を支え、安心して暮らせるように。  
道路や橋を人々が行き交い、豊かに発展できるように。  
自然環境とも調和し、潤いのある生活が広がるように。

私たちは日本で最初の建設コンサルタントとして、  
70年以上にわたってこの想いのもと、歩んできました。  
そして、これからも。  
高い技術とあふれる英知で、  
安心して暮らせる明るい社会を創り続けます。

世界に誇れる技術と英知で、安全で潤いのある豊かな社会づくりに挑戦する

**CTI** 株式会社 **建設技術研究所**

〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1 (日本橋浜町Fタワー) TEL.03-3668-0451 <http://www.ctie.co.jp/>




# Producing The Future

次世代まで生きる防災システムを目指して

Pacific  
Consultants

Producing  
The Future™

 パシフィックコンサルタンツ株式会社

〒101-8462 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地  
地域本社・支社:首都圏、北海道、東北、北陸、中部、大阪、四国、中国、九州、沖縄

[www.pacific.co.jp](http://www.pacific.co.jp)